

平成24年度  
香 川 県  
歯の健康と医療費に関する実態調査  
報告書

平成25年3月

香川県  
(社) 香川県歯科医師会

共同研究 監修：香川大学教授 真鍋芳樹  
協力 香川県国民健康保険団体連合会  
香川県後期高齢者医療広域連合



# 目 次

I 平成24年5月歯科受診者の受診前1年間の1人あたり日数・医療費	1
一 調査の概要	1
1 調査の対象	1
2 残存歯数、歯周病の程度、歯科健診受診頻度の調査方法	1
二 調査・分析結果	3
A 平成24年5月歯科受診者の属性	3
(1) 性別・年齢階級別の構成	3
(2) 対象者の残存歯数の状況	3
2-1 年齢階級別残存歯数別人数	3
2-2 年齢階級別残存歯数状況	4
(3) 対象者の歯周病の状況	5
3-1 年齢階級別歯周病の程度別人数	5
3-2 年齢階級別歯周病の状況	5
(4) 対象者の歯科健診受診頻度の状況	6
4-1 年齢階級別歯科健診受診頻度別人数	6
B 平成24年5月に歯科を受診し、平成24年5, 8, 11, 平成24年2月に受診した者の状況	7
1 分析対象者および分析方法	7
2 分析項目	7
3 分析結果	9
(1) 残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況	9
残存歯数別日数	9
歯周病の程度別日数	10
歯科健診受診頻度別日数	11
残存歯数別診療費	12
歯周病の程度別診療費	14
歯科健診受診頻度別診療費	16
(2) 19分類別の分析	18
残存歯数別19分類疾病別日数	18
歯周病の程度別19分類疾病別日数	19
歯科健診受診頻度別19分類疾病別日数	20
残存歯数別19分類疾病別診療費	21
歯周病の程度別19分類疾病別診療費	22
歯科健診受診頻度別19分類疾病別診療費	23
(3) 主要疾病別分析	24
悪性新生物	24
虚血性心疾患	27
脳血管疾患	30
糖尿病	33
高血圧性疾患	36
動脈硬化症	39
肺炎	42
歯の疾患	45
(4) 生活習慣病に関する分析	48
まとめ・考察(Ⅰ)	54

Ⅱ 平成23年度特定健診受診者の特定健診結果	56
一 調査の概要	56
1 分析対象者および分析方法	56
二 調査・分析結果	57
A 平成23年度特定健診受診者の属性	57
(1) 性別・年齢階級別の構成	57
(2) 対象者の歯科階層化判定の状況	57
(3) 対象者の歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)の回答の状況	58
(4) 対象者の歯科質問項目5×7回答の状況	59
B 平成23年度特定健診受診者の特定健診結果の状況	60
(1) 特定健診の歯科階層化判定及び歯科質問項目1回答別、特定健診結果の状況	60
1-1 歯科階層化判定別 BMI	60
1-2 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 BMI	61
1-3 歯科質問項目5×7回答別 BMI	62
1-4 歯科階層化判定別 腹囲	63
1-5 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 腹囲	64
1-6 歯科質問項目5×7回答別 腹囲	65
1-7 歯科階層化判定別 HbA1c	66
1-8 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 HbA1c	67
1-9 歯科質問項目5×7回答別 HbA1c	68
1-10 歯科階層化判定別 尿糖	69
1-11 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 尿糖	70
1-12 歯科質問項目5×7 尿糖	71
1-13 歯科階層化判定別 喫煙	72
1-14 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 喫煙	73
1-15 歯科質問項目5×7回答別 喫煙	74
1-16 歯科階層化判定別 メタボ判定区分	75
1-17 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 メタボ判定区分	76
1-18 歯科質問項目5×7回答別 メタボ判定区分	77
まとめ・考察(Ⅱ)	78
Ⅲ 平成23年度特定健診受診者のうち平成23年5, 8, 11,平成24年2月に受診した者の状況	80
一 調査の概要	80
1 分析対象者および分析方法	80
2 分析項目	80
二 調査・分析結果	81
(1) 特定健診の歯科質問項目からの歯科階層化判定別医科、歯科、調剤別 一人あたり日数・診療費の状況	81
1-1 歯科階層化判定別日数	81
1-2 歯科階層化判定別診療費	82
(2) 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別医科、歯科、調剤別 一人あたり日数・診療費の状況	83
2-1 歯科質問項目1別日数	83
2-2 歯科質問項目1別診療費	84
(3) 歯科質問項目5×7回答別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況	85
3-1 歯科質問項目5×7回答別日数	85
3-2 歯科質問項目5×7別診療費	86



(4) 主要疾病別分析 .....	87
悪性新生物 .....	87
虚血性心疾患 .....	90
脳血管疾患 .....	93
糖尿病 .....	96
高血圧性疾患 .....	99
動脈硬化症 .....	102
肺炎 .....	105
歯の疾患 .....	108
(5) 生活習慣病に関する分析 .....	111
まとめ・考察(Ⅲ) .....	114
IV 平成 23 年度特定健診受診者のうち平成 24 年 5 月に歯科を受診した者の状況 .....	116
一 調査の概要 .....	116
1 分析対象者および分析方法 .....	116
二 調査・分析結果 .....	117
A 特定健診の歯科質問項目と残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況 .....	117
(1) 特定健診の歯科質問項目からの歯科階層化判定別、残存歯数・歯周病の程度・	
歯科健診受診頻度の状況 .....	117
1-1 歯科階層化判定別残存歯数 .....	117
1-2 歯科階層化判定別歯周病の程度 .....	118
1-3 歯科階層化判定別歯科健診受診頻度 .....	119
(2) 歯科質問項目 1 (何でもかんで食べられる) 別、残存歯数・歯周病の程度・	
歯科健診受診頻度の状況 .....	120
2-1 歯科質問項目 1 別残存歯数 .....	120
2-2 歯科質問項目 1 別歯周病の程度 .....	121
2-3 歯科質問項目 1 別歯科健診受診頻度 .....	122
(3) 歯科質問項目 5×7 別、残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況 .....	123
3-1 歯科質問項目 5×7 別残存歯数 .....	123
3-2 歯科質問項目 5×7 別歯周病の程度 .....	124
3-3 歯科質問項目 5×7 別歯科健診受診頻度 .....	125
B 残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度と特定健診の検査結果の状況 .....	126
(1) 残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度とHbA1c .....	126
1-1 残存歯数とHbA1c .....	126
1-2 歯周病の程度とHbA1c .....	127
1-3 歯科健診受診頻度とHbA1c .....	128
まとめ・考察(Ⅳ) .....	129

## I 平成24年5月歯科受診者の受診前1年間の1人あたり日数・医療費

### 一 調査の概要

#### 1 調査の対象

平成24年5月末日時点で香川県内の40歳以上の国民健康保険被保険者あるいは後期高齢者医療被保険者で、同月中に歯科を受診した者を調査対象とした。

分析は以下の視点で行った。なお分析に当たって、レセプトの個人コードを基に名寄せを行い、受診者1人あたりの諸数値を求めた。なお、個人コードは完全に数値化され、個人名等の特定は不可能な状態で分析を行った。

(A) 香川県歯科医師会会員の調査協力を得て、平成24年5月に歯科を受診した40歳以上の国民健康保険あるいは後期高齢者医療の被保険者のレセプトに記載された残存歯数と歯周病の程度、歯科健診受診頻度を基に、これらの状況を分析した。

(B) 香川県国民健康保険団体連合会および香川県後期高齢者医療広域連合の協力を得て、平成23年5月、8月、11月、平成24年2月診療分のレセプト(これらは疾病分類を行っている)を入手し、上記歯科受診者と突合を行い、歯科受診前約1年間の医科(入院・入院外)・歯科・調剤の日数・診療費及び19分類疾病や悪性新生物、脳血管疾患等主要疾病、生活習慣病の日数・診療費と残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度との関連を分析した。今年度は新たに肺炎についても分析を行った。

以下の表に分析対象としたレセプト数(調剤を含む)と名寄せ人数等を示す。

平成 24 年 5 月診療分の歯科 〔(A)の視点の分析〕	レセプト数	17,055 件	
平成 24 年 5 月に歯科受診者で、 平成 23 年 5, 8, 11,平成 24 年 2 月(病類月)診療分 〔(B)の視点の分析〕	レセプト数	155,682 件	
	医 科	入院レセプト	1,707 件
		外来レセプト	83,381 件
	歯科レセプト		23,245 件
	調剤レセプト		47,349 件
	名寄せ人数		15,950 人
	歯科受診者の		93.5%

#### 2 残存歯数、歯周病の程度、歯科健診受診頻度の調査方法

① 歯科レセプトの傷病名部位欄に、香川県歯科医師会員が残存歯数及び歯周病の程度、歯科健診受診頻度を記載した。

② 残存歯数は、智歯は含み、C4は除外した。

残存歯数を基に「0～4 歯」「5～9 歯」「10～14 歯」「15 歯～19 歯」「20 歯以上」の5分類で分析した。

③ 歯周病の程度は、抜歯部位以外の最も重症な部位について、下の判定表を参考に、歯槽骨の吸収程度(X線撮影)、歯周ポケットの深さ、歯の動揺度(Miller分類)、根分岐部病変(Lindhe 分類)などを総合的に考慮して4段階に分類した。

歯周病のないものはP-を記載し、軽度P1、中程度P2、重度P3と記載した。残存歯数が0のものは歯周病の程度は記載せず、集計時に無歯とし、P-～P3ならびに無歯の5分類で分析した。

歯周病	ポケット	歯の動揺	骨吸収(歯根長の)	根分岐病変
軽度「P1」	3～5mm	0～1度	1/3 以下	なし
中等度「P2」	4～7mm	1～2 度	1/3～1/2	軽度
重度「P3」	6mm以上	2～3 度	1/2 以上	2～3 度

- ④ 歯科健診受診頻度は、平成 23 年 6 月～平成 24 年 5 月に歯科健診を受診した回数を記載した。歯科健診とは、治療目的ではなく歯の健康維持のため歯科医院等で口腔内診査を受け、状況に応じて指導やPMTTC等のメンテナンスを行っていることで、歯周治療終了後のSPTも含めた。また、1回の歯科健診で、一連の処置等により複数の受診日数がある場合でも、歯科健診の回数としては1回と数えた。

## 二 調査・分析結果

### A 平成 24 年 5 月歯科受診者の属性

#### (1) 性別・年齢階級別の構成

対象となった歯科受診者 17,055 人の性別・年齢階級別の構成は次のとおりである。

表 A-1-1 性別・年齢階級別人数・割合

年齢階級	男 性		女 性	
	人数	割合	人数	割合
40 歳 代	273	3.8%	360	3.6%
50 歳 代	478	6.7%	693	7.0%
60-64 歳	956	13.3%	1,377	13.9%
65-69 歳	1,239	17.3%	1,612	16.3%
70-74 歳	1,413	19.7%	1,863	18.8%
75-79 歳	1,409	19.7%	1,891	19.1%
80 歳 以上	1,399	19.5%	2,092	21.2%
合 計	7,167	100.0%	9,888	100.0%

#### (2) 対象者の残存歯数の状況

##### 2-1 年齢階級別残存歯数別人数

年齢階級別残存歯数について人数ならびに割合を表 A-2-1 および図 A-2-1 に示す。

40 歳代では 0-4 歯が 0%、20 歯以上が 93.0%であるのに対して、80 歳以上では 0-4 歯が 21.2%、20 歯以上が 30.3%と年齢が高くなるにつれて、残存歯数が減少していた。

表 A-2-1 年齢階級別残存歯数階級別人数

年齢階級	0-4歯	5-9歯	10-14歯	15-19歯	20歯以上	総数
40 歳 代	0	5	12	27	589	633
50 歳 代	18	38	34	102	979	1,171
60-64 歳	74	106	159	292	1,702	2,333
65-69 歳	119	175	235	392	1,930	2,851
70-74 歳	189	249	317	511	2,010	3,276
75-79 歳	370	376	475	557	1,522	3,300
80 歳 以上	741	565	598	528	1,059	3,491
合 計	1,511	1,514	1,830	2,409	9,791	17,055
40 歳 代	0.0%	0.8%	1.9%	4.3%	93.0%	100.0%
50 歳 代	1.5%	3.2%	2.9%	8.7%	83.6%	100.0%
60-64 歳	3.2%	4.5%	6.8%	12.5%	73.0%	100.0%
65-69 歳	4.2%	6.1%	8.2%	13.7%	67.7%	100.0%
70-74 歳	5.8%	7.6%	9.7%	15.6%	61.4%	100.0%
75-79 歳	11.2%	11.4%	14.4%	16.9%	46.1%	100.0%
80 歳 以上	21.2%	16.2%	17.1%	15.1%	30.3%	100.0%
合 計	8.9%	8.9%	10.7%	14.1%	57.4%	100.0%

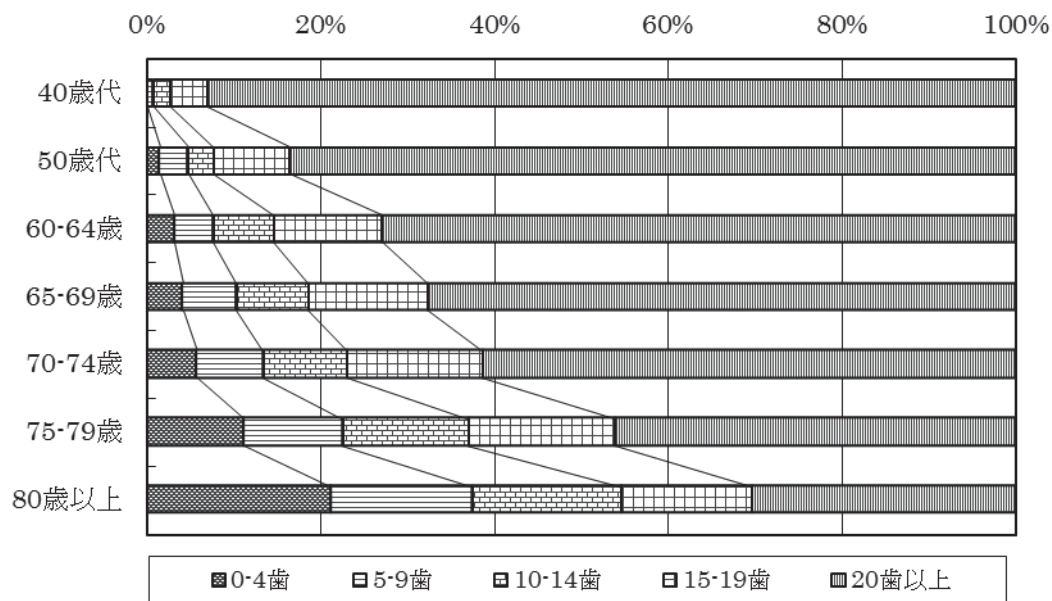


図 A-2-1 年齢階級別残存歯数階級別人数の割合

## 2-2 年齢階級別残存歯数状況

対象者のうち 80 歳以上(3,491 人)の平均残存歯数は 13.4 本で、20 歯以上(8020 達成者)は 1,059 人(30.3%)であった。80 歳以上の平均残存歯数は、平成 17 年 2 月調査では 10.6 本、平成 19 年 2 月調査では 11.7 本、平成 20 年 5 月調査では 12.5 本、平成 21 年 5 月調査では 11.8 本、平成 22 年 5 月調査では 12.6 本、平成 23 年 5 月調査では 14.4 本であったが、今回の調査では 13.4 本で、昨年より 1.0 本減少した。また 80 歳以上で 20 歯以上の割合は、平成 17 年 2 月調査では 19.7%、平成 19 年 2 月調査では 22.7%、平成 20 年 5 月調査では 24.9%、平成 21 年 5 月調査では 24.8%、平成 22 年 5 月調査では 27.0%、平成 23 年 5 月調査では 31.1%であったが、今回の調査では 30.3%となり、0.8%減少した。

しかし 50 歳以上から 74 歳までの各年齢階級において平均残存歯数は、昨年より増加し、また 50 歳以上から 79 歳までの各年齢階級において 20 歯以上の割合も、昨年より増加しており、全体的には、着実に改善されている。

表 A-2-2 年齢階級別残存歯数状況

年齢	人数	平均 残歯数	最小値	最大値	人数		割合	
					0-19歯	20歯以上	0-19歯	20歯以上
40 歳 代	633	26.3	6	32	44	589	7.0%	93.0%
50 歳 代	1,171	24.0	0	32	192	979	16.4%	83.6%
60-64 歳	2,333	22.0	0	32	631	1,702	27.0%	73.0%
65-69 歳	2,851	21.1	0	32	921	1,930	32.3%	67.7%
70-74 歳	3,276	19.9	0	32	1,266	2,010	38.6%	61.4%
75-79 歳	3,300	16.9	0	32	1,778	1,522	53.9%	46.1%
80 歳 以上	3,491	13.4	0	32	2,432	1,059	69.7%	30.3%
合 計	17,055	19.0	0	32	7,264	9,791	42.6%	57.4%

### (3) 対象者の歯周病の状況

#### 3-1 年齢階級別歯周病の程度別人数

年齢階級別歯周病の程度について人数ならびに割合を表 A-3-1 および図 A-3-1 に示す。

表 A-3-1 の下段には無歯を除いた者のうちの P- ～P3 の割合を示している。

40 歳代では P1(軽度)が 51.5%、P3(重度)が 8.2%であるのに対して、80 歳以上では P1 が 21.0%、P3 が 22.5%と年齢が高くなるにつれて、歯周病の程度が重症になっていた。

表 A-3-1 年齢階級別歯周病の程度別人数

年齢階級	P-	P1	P2	P3	P1～P3(再掲)	無歯	総数
40 歳 代	18	326	237	52	615	0	633
50 歳 代	37	413	566	148	1,127	7	1,171
60-64 歳	44	744	1,147	377	2,268	21	2,333
65-69 歳	50	816	1,474	479	2,769	32	2,851
70-74 歳	48	892	1,712	561	3,165	63	3,276
75-79 歳	52	720	1,744	626	3,090	155	3,297
80 歳 以上	65	662	1,722	710	3,094	331	3,490
合 計	314	4,573	8,602	2,953	16,128	609	17,051
40 歳 代	2.8%	51.5%	37.4%	8.2%	97.2%		
50 歳 代	3.2%	35.5%	48.6%	12.7%	96.8%		
60-64 歳	1.9%	32.2%	49.6%	16.3%	98.1%		
65-69 歳	1.8%	28.9%	52.3%	17.0%	98.2%		
70-74 歳	1.5%	27.8%	53.3%	17.5%	98.5%		
75-79 歳	1.7%	22.9%	55.5%	19.9%	98.3%		
80 歳 以上	2.1%	21.0%	54.5%	22.5%	97.9%		
合 計	1.9%	27.8%	52.3%	18.0%	98.1%		

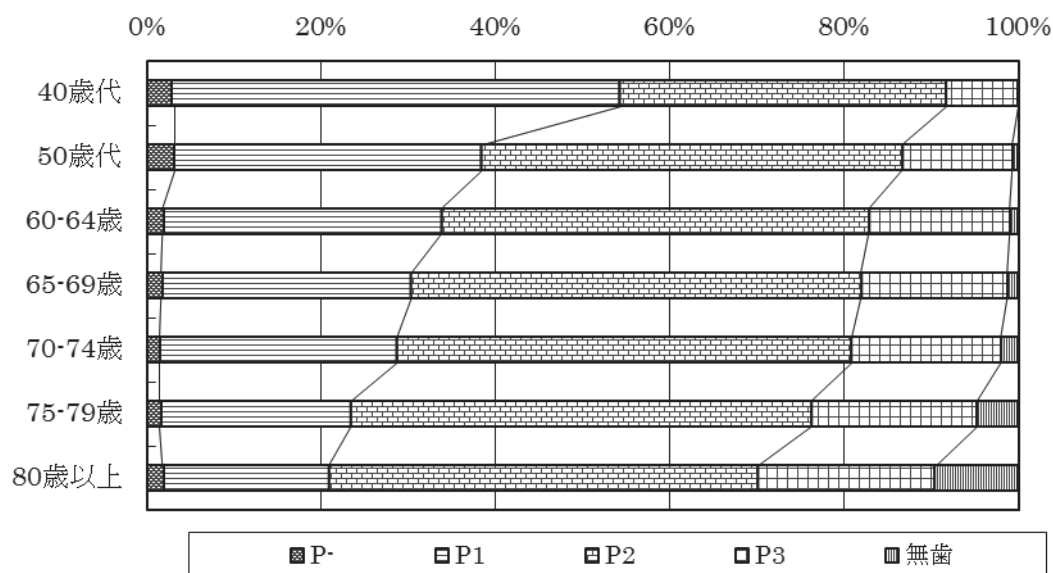


図 A-3-1 年齢階級別歯周病の程度別割合

#### 3-2 年齢階級別歯周病の状況

有歯者のうち何らかの歯周病がある者(P1～P3)は、全ての年齢階級で、98%前後と高率になっていた。年齢階級別歯周病の程度別割合は、昨年と比較して大きな変化は認められなかった。

#### (4) 対象者の歯科健診受診頻度の状況

##### 4-1 年齢階級別歯科健診受診頻度別人数

年齢階級別歯科健診受診頻度について人数ならびに割合を表 A-4-1 および図 A-4-1 に示す。歯科健診を受診していない人の割合は 70-74 歳の年齢階級が 49.8%と最も少なく、40 歳代が 66.9%で最も多かった。歯科健診を受診する人の割合は、60-74 歳が高く、ここから高齢層、若年層になるにつれて、少しずつ減少していた。

歯科健診を受診している人の割合は、平成 21 年が 37.5%、平成 22 年が 39.7%、平成 23 年が 41.1%で、今回は 43.3%と、年々増加している。

表 A-4-1 年齢階級別歯科健診受診頻度別人数

年齢階級	0回	1回	2回	3回以上	総数
40 歳 代	423	83	57	69	632
50 歳 代	694	177	106	194	1,171
60-64 歳	1,260	366	253	453	2,332
65-69 歳	1,512	434	311	594	2,851
70-74 歳	1,632	500	379	763	3,274
75-79 歳	1,865	431	318	686	3,300
80 歳 以上	2,276	424	259	532	3,491
合 計	9,662	2,415	1,683	3,291	17,051
40 歳 代	66.9%	13.1%	9.0%	10.9%	100.0%
50 歳 代	59.3%	15.1%	9.1%	16.6%	100.0%
60-64 歳	54.0%	15.7%	10.8%	19.4%	100.0%
65-69 歳	53.0%	15.2%	10.9%	20.8%	100.0%
70-74 歳	49.8%	15.3%	11.6%	23.3%	100.0%
75-79 歳	56.5%	13.1%	9.6%	20.8%	100.0%
80 歳 以上	65.2%	12.1%	7.4%	15.2%	100.0%
合 計	56.7%	14.2%	9.9%	19.3%	100.0%

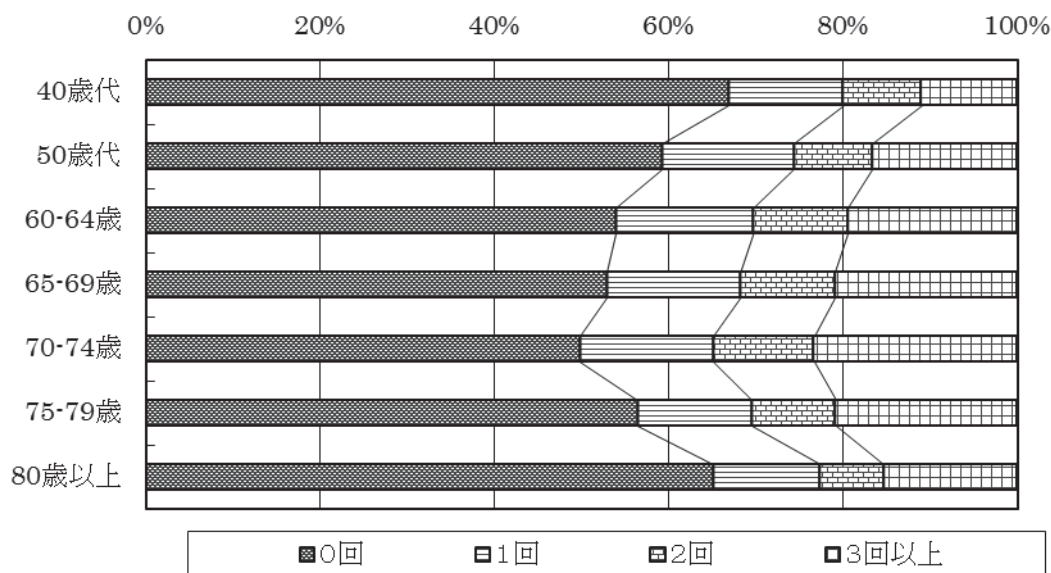


図 A-4-1 年齢階級別歯科健診受診頻度別割合



## B 平成 24 年 5 月に歯科を受診し、平成 23 年 5, 8, 11, 平成 24 年 2 月に受診した者の状況

### 1 分析対象者および分析方法

香川県国保連合会および香川県後期高齢者医療広域連合では毎年度 5, 8, 11, 2 月診療分のレセプトについて疾病分類を行っているので、この 4 か月分のレセプトを用いて以下の項目について分析を行った。分析に当たって、レセプトの個人コードを基に名寄せを行い、分析に使用した。レセプトは 4 か月分なので求めた諸数値を 3 倍して、受診者 1 人あたり 1 年間の諸数値を求めた。

診療日数や診療費の分布はほとんどの場合、正規分布しない。そのような分布において、平均値は飛び外れた高い値に影響を受けるので、集団の代表値として適さないこともある。そのような場合、中央値は代表値として有用である。そこで、今回の分析では、それぞれの平均値とともに中央値を求めた。グラフでは、平均値を棒グラフに、中央値を折れ線グラフで示した。

### 2 分析項目

#### (1) 医科(入院・外来含む)、歯科、調剤別

#### (2) 疾病 19 分類

疾病 19 分類に調剤を加えた 20 分類で分析した。

下表に 19 分類名および本報告書での表記について記した。

疾病 19 分類＋調剤	本報告での表記	対象者(人)
調剤	0_調剤	11,992
感染症及び寄生虫症	1_感染症	1,259
新生物	2_新生物	1,635
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3_血液・免疫	105
内分泌、栄養及び代謝疾患	4_内分泌	3,089
精神及び行動の障害	5_精神	809
神経系の疾患	6_神経系	1,000
眼及び付属器の疾患	7_眼	4,381
耳及び乳様突起の疾患	8_耳	882
循環器系の疾患	9_循環器系	6,157
呼吸器系の疾患	10_呼吸器系	2,546
消化器系の疾患	11_消化器系	11,792
皮膚及び皮下組織の疾患	12_皮膚	2,124
筋骨格系及び結合組織の疾患	13_筋骨格系	4,708
尿路性器系の疾患	14_尿路性器系	1,388
妊娠、分娩及び産じょく	15_妊娠分娩	2
周産期に発生した病態	16_周産期	0
先天奇形、変形及び染色体異常	17_先天奇形	63
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18_症状・徴候	1,286
損傷、中毒及びその他の外因の影響	19_損傷・中毒	1,629

なお、15\_妊娠分娩、16\_周産期は該当が少数あるいは 0 だったため分析から除外した。



### (3) 主要疾病別

以下の疾病を主要疾病として分析した。なお、今年度から肺炎を分析項目に加えた。

主要疾病名	対象者(人)
悪性新生物	1,249
虚血性心疾患	630
脳血管疾患	825
糖尿病	1,468
高血圧性疾患	4,240
動脈硬化症	74
肺炎	90
歯の疾患	10,999

### (4) 生活習慣病

以下の疾病を生活習慣病として分析した。

悪性新生物	虚血性心疾患	脳血管疾患
糖尿病	高血圧性疾患	動脈硬化症

生活習慣病で受診した者は 7,448 人(46.7%)であった。

残存歯数、歯周病の程度、受療状況等は年齢にも大きく依存するため、主要疾病と生活習慣病の分析では、年齢階級別に分析した。

### 3 分析結果

#### (1) 残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況

##### 残存歯数別日数(一人あたり1年間、日)

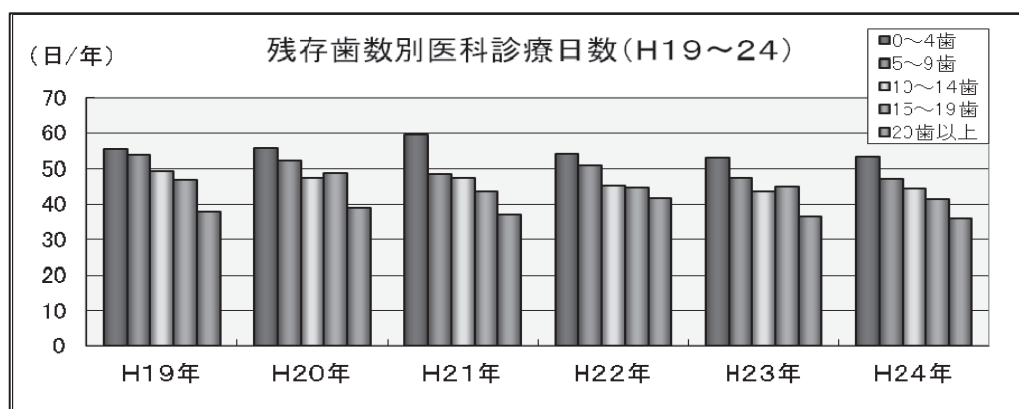
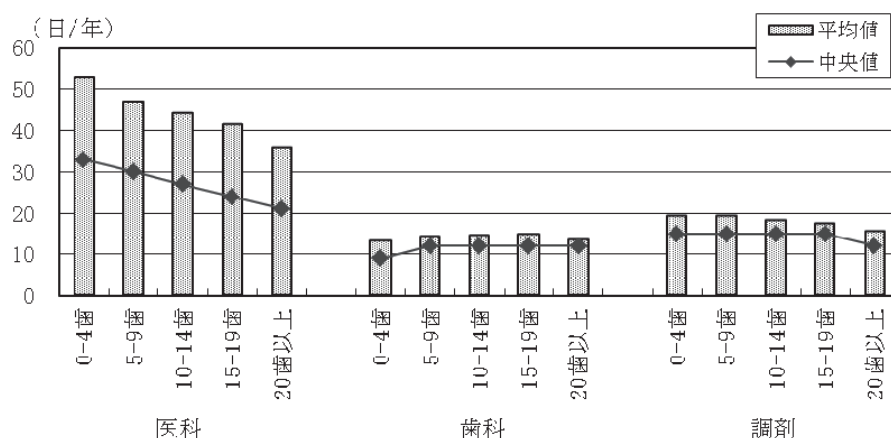
全体の平均日数は医科 40.3 日で、歯科の 13.8 日に比べて約 28 日長くなっていた。また、調剤は 16.9 日で歯科よりも多くなっていた。

医科では 0-4 歯の平均日数が 53.2 日、20 歯以上が 35.8 日と、残存歯数が多いほど日数が少なくなっていた。歯科では 15-19 歯が平均 14.7 日と最も日数が多くなっていた。

調剤では 0-4 歯が平均 19.3 日、20 歯以上が 15.6 日と、残存歯数が多いほど日数が少なくなっていた。

19 歯以下と 20 歯以上では、医科、歯科、調剤ともに 19 歯以下のほうが多くなっていた。これらの傾向は、平成 19～23 年の調査と同じである。

残存歯数分類	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	1,439	53.2	33.0	13.2	9.0	19.3	15.0
5 - 9 歯	1,448	47.1	30.0	14.2	12.0	19.2	15.0
10 - 14 歯	1,757	44.3	27.0	14.5	12.0	18.3	15.0
15 - 19 歯	2,291	41.5	24.0	14.7	12.0	17.3	15.0
19 歯以下 (A)	6,935	45.8	27.0	14.3	12.0	18.4	15.0
20 歯以上 (B)	9,015	35.8	21.0	13.4	12.0	15.6	12.0
全 体	15,950	40.3	24.0	13.8	12.0	16.9	12.0
比 較 (A)/(B)	76.9%	128.1%	128.6%	106.6%	100.0%	117.5%	125.0%



平成 19～24 年調査別 残存歯数別診療日数(医科)

## 歯周病の程度別日数(一人あたり1年間、日)

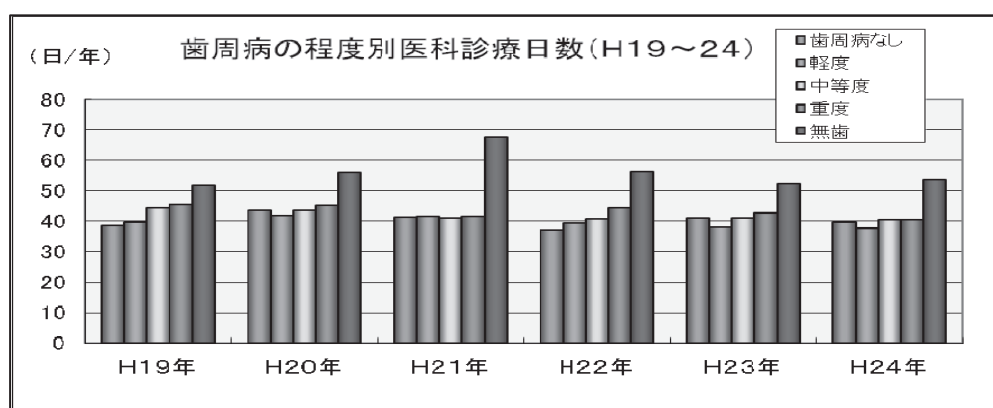
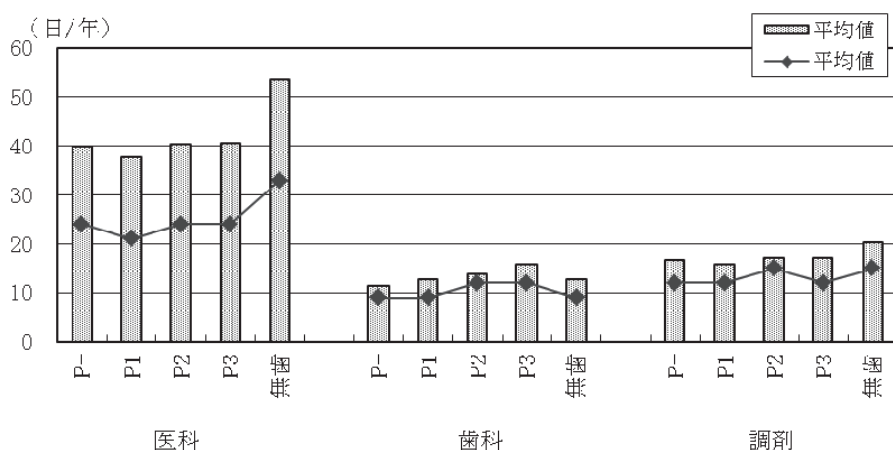
医科ではP-の平均日数が39.8日であったが、P1が37.7日、P3が40.6日と、重度ほど日数が多くなっていた。

歯科ではP-が平均11.2日、P3が15.7日と、重度ほど日数が多くなっていた。

調剤ではP-が平均16.7日、P1が15.8日、P2とP3が17.1日と重度の方が多くなっていた。

歯周病あり・なしでは、医科、調剤では、ほぼ同じ割合であったが、歯科では、歯周病ありのほうが多くなっていた。

歯周病分類	人数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なしP-	289	39.8	24.0	11.2	9.0	16.7	12.0
P1	4,221	37.7	21.0	12.8	9.0	15.8	12.0
P2	8,071	40.4	24.0	13.8	12.0	17.1	15.0
P3	2,787	40.6	24.0	15.7	12.0	17.1	12.0
歯周病有り(A)	15,079	39.7	24.0	13.9	12.0	16.7	12.0
無 歯	582	53.5	33.0	12.7	9.0	20.3	15.0
全 体	15,950	40.3	24.0	13.8	12.0	16.9	12.0
比較(A)/(P-)	5217.6%	99.7%	100.0%	123.4%	133.3%	100.3%	100.0%



平成 19～24 年調査別 歯周病の程度別診療日数(医科)

## 歯科健診受診頻度別日数(一人あたり1年間、日)

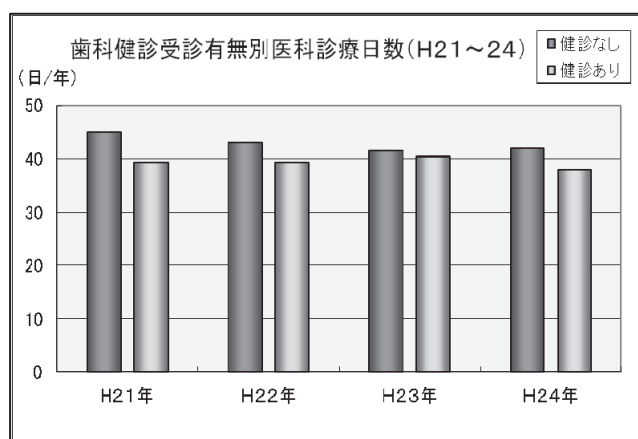
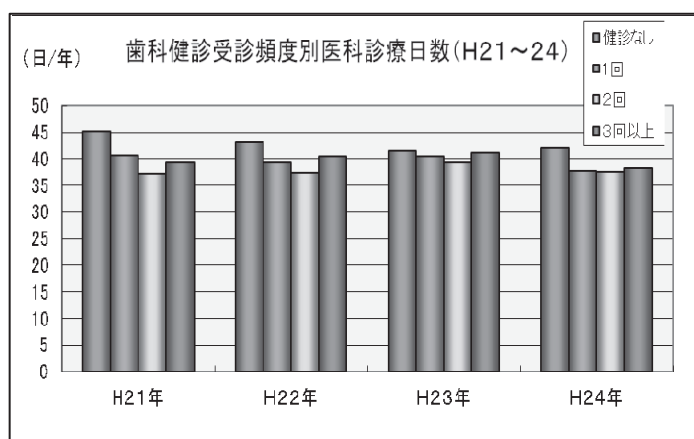
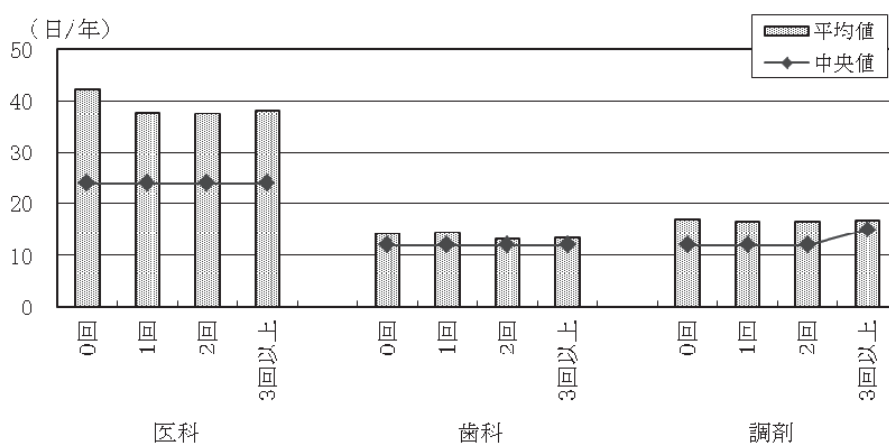
医科では健診なしの平均日数が42.1日、1回が37.7日、2回が37.5日と歯科健診を受診するほど日数が少なくなり、3回以上では38.2日と2回より多くなっていた。

歯科では健診なしが14.1日、1回が14.4日で、2回が13.0日、3回以上が13.3日と1回が最も多くなっていた。

調剤では健診なしが17.0日、1回が16.6日、2回が16.5日と歯科健診を受診するほど日数が少なくなり、3回以上では16.8日と2回より多くなっていた。

健診あり・なしでは、医科、歯科、調剤とも、健診ありの方が少なくなっていた。

健診頻度	人数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	8,892	42.1	24.0	14.1	12.0	17.0	12.0
1回	2,274	37.7	24.0	14.4	12.0	16.6	12.0
2回	1,603	37.5	24.0	13.0	12.0	16.5	12.0
3回以上	3,178	38.2	24.0	13.3	12.0	16.8	15.0
健診有り(B)	7,055	37.9	24.0	13.5	12.0	16.7	12.0
全 体	15,950	40.3	24.0	13.8	12.0	16.9	12.0
比較(A)/(B)	126.0%	111.1%	100.0%	104.0%	100.0%	102.1%	100.0%



平成 21～24 年調査別 歯科健診受診頻度別診療日数(医科)

平成 21～24 年調査別 歯科健診受診有無別診療日数(医科)

## 残存歯数別診療費（一人あたり１年間、円）

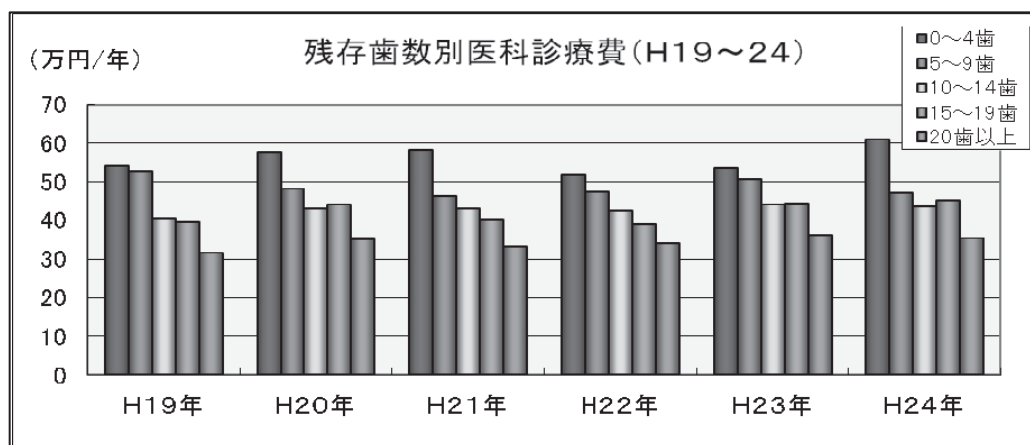
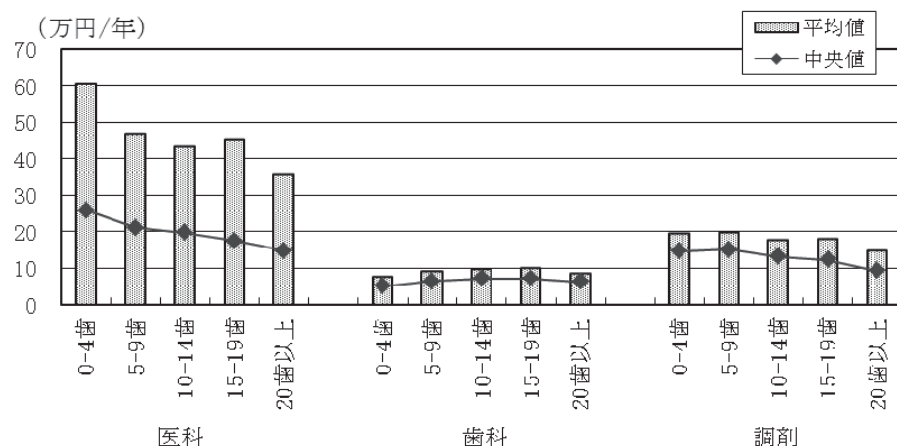
全体の平均診療費は医科約 41.3 万円で、歯科の約 8.8 万円に比べて約 32.5 万円高くなっていた。また、調剤は約 16.5 万円で歯科よりも約 7.7 万円高くなっていた。

医科では 0-4 歯の平均診療費が約 60.9 万円、20 歯以上が約 35.6 万円と、残存歯数が多いほど診療費が低くなっていた。歯科では 0-4 歯は平均約 7.6 万円、15-19 歯は約 9.9 万円であったが、20 歯以上は約 8.4 万円と低くなっていた。調剤では 0-4 歯が平均約 19.6 万円、20 歯以上が約 14.7 万円と、残存歯数が多いほど診療費が低くなっていた。

19 歯以下と 20 歯以上では、医科、歯科、調剤ともに 19 歯以下のほうが高くなっていた。特に医科では 19 歯以下は 20 歯以上の約 1.4 倍高くなっていた。

これらの傾向は、平成 19～23 年の調査と同じである。

残存歯数分類	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	1,439	608,740	258,180	75,636	49,545	196,432	146,295
5 - 9 歯	1,448	470,850	209,445	90,202	63,330	199,615	149,565
10 - 14 歯	1,757	435,353	195,990	97,384	70,635	178,137	130,500
15 - 19 歯	2,291	451,281	174,180	98,719	70,725	179,807	121,950
19 歯以下 (A)	6,935	484,788	203,880	92,723	65,700	187,136	135,795
20 歯以上 (B)	9,015	355,688	146,775	84,387	62,160	146,816	92,250
全 体	15,950	412,909	169,080	87,956	63,180	165,111	109,830
比 較 (A)/(B)	76.9%	136.3%	138.9%	109.9%	105.7%	127.5%	147.2%

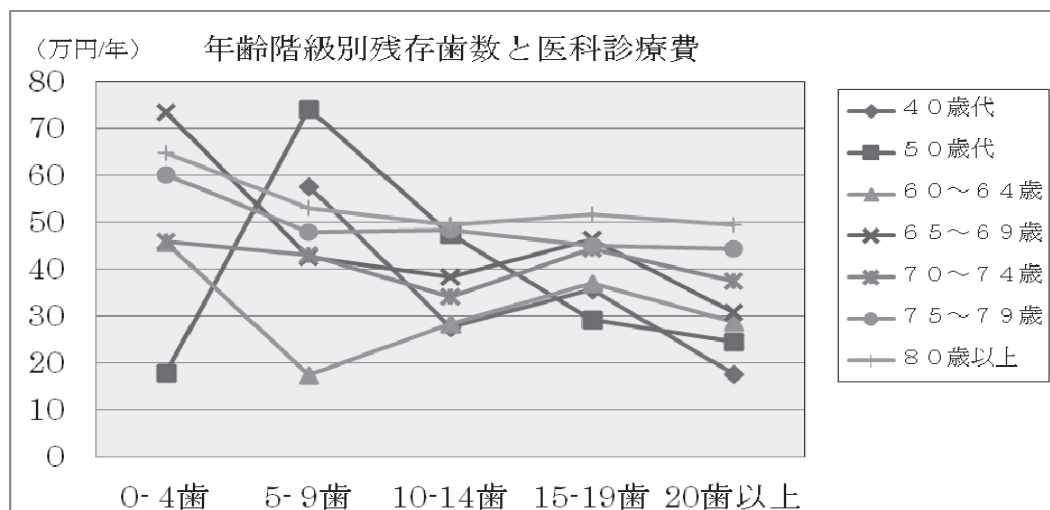


平成 19～24 年調査別 残存歯数別診療費 (医科)

## 年齢階級別残存歯数別診療費（一人あたり一年間、円）

年齢階級別に残存歯数と診療費の関係をみると、医科では、40歳代50歳代では残存歯数が少ない人の母数が少ないため、傾向が不明だが、年齢階級が高くなるほど、残存歯数が多いほど診療費が低くなる傾向が認められた。ただし今回は80歳以上の15-19歯でやや高い値となっていた。

年齢階級	残存歯数分類	人数	平均値			中央値		
			医科	歯科	調剤	医科	歯科	調剤
40歳代	0-4歯	0	0	0	0	0	0	0
	5-9歯	4	576,015	226,530	60,113	259,035	226,530	44,895
	10-14歯	9	275,803	83,235	200,385	124,260	48,300	51,195
	15-19歯	25	355,666	101,926	87,690	79,590	67,830	54,210
	20歯以上	447	175,288	77,101	77,167	70,710	59,100	33,840
50歳代	0-4歯	13	178,987	61,590	101,790	92,400	50,460	25,980
	5-9歯	30	740,534	137,506	157,170	73,290	84,450	60,480
	10-14歯	29	474,511	108,383	153,319	114,720	91,140	111,150
	15-19歯	86	292,772	67,217	144,703	107,970	60,750	77,205
	20歯以上	835	245,536	79,094	100,983	84,000	57,300	43,830
60-64歳	0-4歯	61	457,021	73,275	122,094	138,150	58,230	83,610
	5-9歯	90	174,394	86,237	110,179	114,000	55,440	61,455
	10-14歯	134	283,496	96,418	120,423	112,515	77,160	60,060
	15-19歯	255	368,539	112,262	134,142	103,065	70,860	77,220
	20歯以上	1,477	287,762	77,865	110,734	97,065	59,490	58,440
65-69歳	0-4歯	107	734,844	66,173	114,958	138,180	49,065	80,160
	5-9歯	162	424,256	97,224	174,844	163,800	71,910	108,750
	10-14歯	223	382,577	94,642	131,261	142,200	68,370	82,995
	15-19歯	360	463,968	109,855	127,728	130,860	67,470	89,070
	20歯以上	1,787	308,110	77,433	130,667	121,140	60,630	77,460
70-74歳	0-4歯	175	458,350	72,125	151,348	185,385	51,450	116,130
	5-9歯	239	429,141	92,208	169,019	174,600	61,515	118,440
	10-14歯	308	341,404	106,388	166,171	143,715	82,290	119,340
	15-19歯	497	441,900	88,385	200,482	176,175	63,990	116,145
	20歯以上	1,927	374,366	86,104	148,803	162,060	61,815	101,280
75-79歳	0-4歯	355	600,125	93,939	217,036	259,785	52,290	151,035
	5-9歯	365	479,406	86,865	208,416	218,265	68,685	159,165
	10-14歯	462	482,792	90,564	182,199	219,495	64,305	139,050
	15-19歯	544	448,594	103,415	177,578	202,530	76,470	133,095
	20歯以上	1,488	442,584	87,440	178,309	212,520	66,120	134,430
80歳以上	0-4歯	728	648,304	69,032	211,662	302,505	46,650	177,090
	5-9歯	558	528,551	86,847	224,419	261,900	58,335	187,785
	10-14歯	592	493,862	99,343	204,345	250,710	73,740	157,500
	15-19歯	524	515,568	94,569	217,839	255,810	75,540	187,530
	20歯以上	1,054	494,677	105,120	202,785	257,880	70,500	160,470



## 歯周病の程度別診療費（一人あたり1年間、円）

医科ではP-の平均診療費が約46.5万円と高く、昨年からの傾向と同じであった。

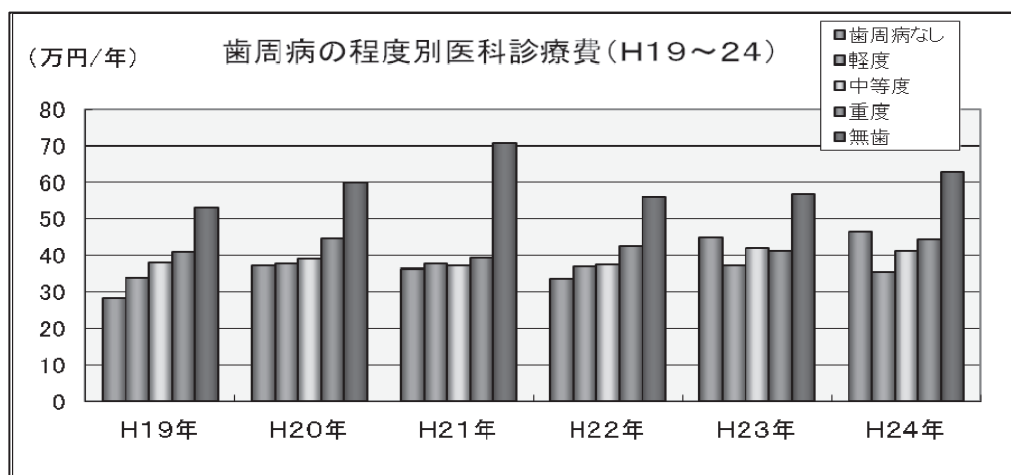
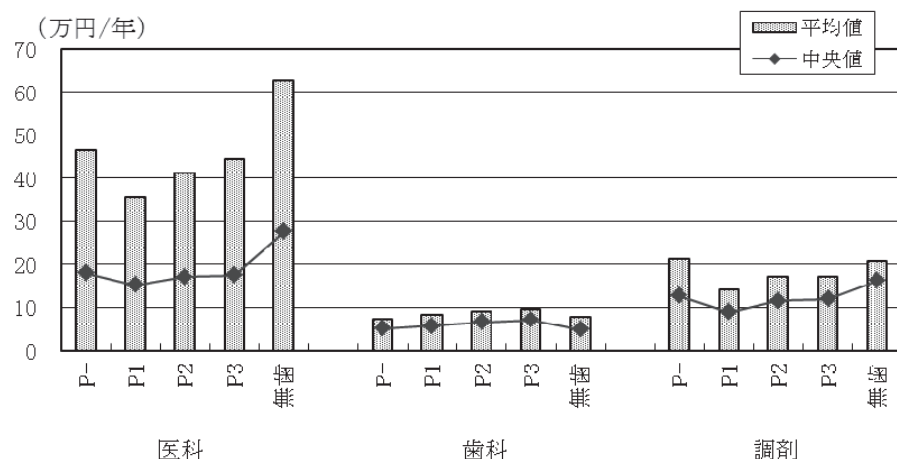
歯周病ありの中では、P1が約35.7万円、P2が約41.3万円、P3が約44.5万円と歯周病の程度が重度なほど診療費が高くなっていた。

歯科ではP-が平均約7.1万円、P3は約9.6万円と、歯周病の程度が重度になるほど診療費が高くなっていた。

調剤では医科と同様にP-が平均約21.3万円と高く、歯周病ありの中では、P1が約13.9万円、P2、P3は約17.1万円と軽度の方が中等、重度より診療費が低くなっていた。

歯周病あり・なしでは、医科と調剤では歯周病なしの方が高かったが、歯科では、歯周病ありのほうが高くなっていた。

歯 周 病 分 類		人 数	医 科		歯 科		調 剤	
			平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-		289	464,784	180,150	71,449	50,610	212,570	125,940
	P1	4,221	356,574	151,470	81,740	57,300	139,414	88,860
	P2	8,071	412,580	171,045	89,189	66,000	171,104	114,570
	P3	2,787	445,472	174,810	96,127	70,275	170,971	118,935
歯周病有り(A)		15,079	403,108	165,660	88,476	63,840	162,461	107,700
無 歯		582	627,563	275,445	78,201	48,420	206,143	161,520
全 体		15,950	412,909	169,080	87,956	63,180	165,111	109,830
比 較 (A)/(P-)		5217.6%	86.7%	92.0%	123.8%	126.1%	76.4%	85.5%



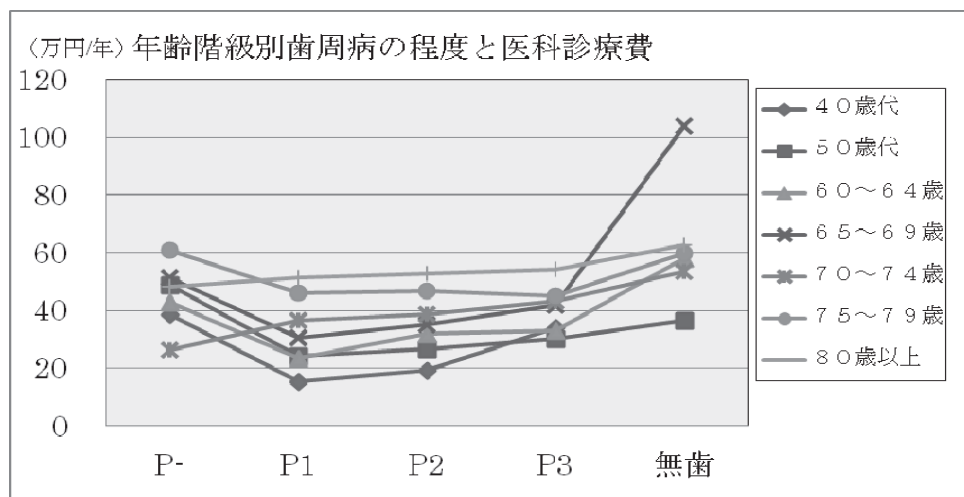
平成19～24年調査別 歯周病の程度別診療費（医科）



# 年齢階級別歯周病の程度別診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別に歯周病の程度と診療費の関係をみると、医科では、70-74歳と80歳以上の他では、P-が高くなっているが、歯周病ありの中では、概ね各年齢階級とも歯周病の程度が重度になるほど診療費が高くなる傾向が認められた。

年齢階級	歯周病分類	人数	平均値			中央値		
			医科	歯科	調剤	医科	歯科	調剤
40歳代	P-	14	386,400	57,810	24,956	43,365	43,935	12,750
	P1	243	154,152	65,616	83,150	60,930	51,510	37,875
	P2	185	191,138	89,512	85,614	80,760	67,770	34,620
	P3	43	341,875	103,175	65,631	84,840	93,420	37,410
	無歯	0	0	0	0	0	0	0
50歳代	P-	28	489,993	48,900	109,737	126,990	42,180	93,870
	P1	357	241,554	70,315	91,989	79,470	49,980	48,240
	P2	480	267,275	88,260	126,152	90,360	64,560	50,760
	P3	125	301,758	83,745	76,700	76,215	62,760	34,470
	無歯	3	365,290	37,755	112,290	191,790	37,755	112,290
60-64歳	P-	39	427,411	82,854	165,914	81,480	59,520	78,660
	P1	647	235,295	74,870	95,822	93,570	57,150	52,080
	P2	983	317,916	85,011	122,197	104,070	62,955	71,490
	P3	330	329,032	99,250	122,226	105,060	60,630	58,845
	無歯	18	581,038	92,370	149,520	138,675	63,165	112,335
65-69歳	P-	45	512,757	49,686	310,471	147,210	33,030	115,035
	P1	755	304,582	78,651	117,905	116,340	57,660	74,310
	P2	1,363	352,582	83,092	130,778	129,525	62,040	85,500
	P3	447	417,515	100,677	143,590	143,280	73,515	80,940
	無歯	29	1,041,258	52,148	146,528	119,490	35,100	84,135
70-74歳	P-	45	262,031	71,903	184,852	125,415	48,480	161,760
	P1	857	365,374	77,392	135,702	167,265	54,645	96,765
	P2	1,649	388,173	92,312	174,660	165,270	66,000	110,280
	P3	535	432,772	94,047	153,320	159,600	71,985	102,255
	無歯	60	536,105	90,049	153,120	187,830	60,870	127,680
75-79歳	P-	53	610,074	72,351	247,556	248,850	55,290	169,020
	P1	704	459,951	88,587	168,690	225,000	60,045	115,950
	P2	1,704	468,101	93,080	189,532	210,615	70,680	142,695
	P3	606	448,886	88,184	189,233	205,140	65,040	143,040
	無歯	147	600,224	107,780	200,186	256,785	53,730	148,830
80歳以上	P-	65	481,940	95,658	235,509	265,710	66,210	146,040
	P1	658	514,658	102,205	198,670	262,170	64,080	157,920
	P2	1,707	526,277	89,532	210,927	261,555	64,335	168,990
	P3	701	540,906	102,624	211,807	263,160	75,690	181,980
	無歯	325	626,076	65,346	225,342	322,440	43,740	189,150



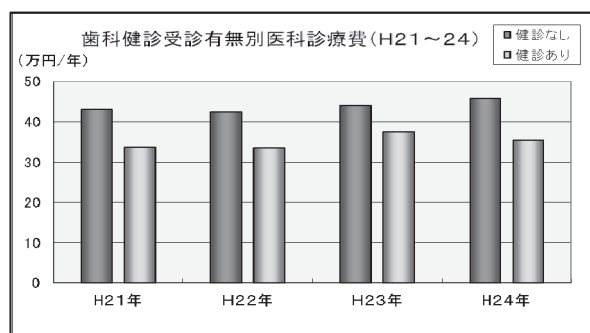
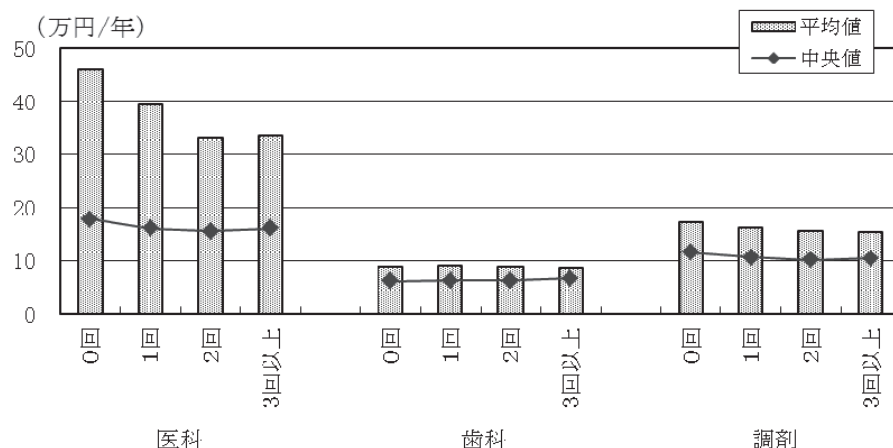


## 歯科健診受診頻度別診療費(一人あたり1年間、円)

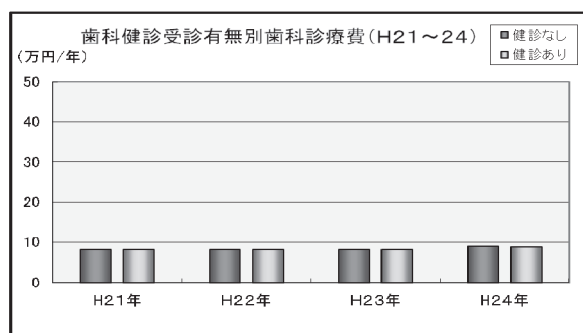
医科では健診なしの平均診療費が約 45.8 万円、1 回が約 39.4 万円、2 回が約 33.2 万円と歯科健診を受診するほど診療費が低くなり、3 回以上では約 33.6 万円と 2 回より高くなっていった。歯科では健診なしが平均約 8.9 万円、1 回が約 9.0 万円、2 回が約 8.8 万円、3 回以上が約 8.6 万円とわずかではあるが、歯科健診回数が多いほど診療費が低くなっていった。調剤では健診なしが平均約 17.2 万円で、1 回が約 16.1 万円、2 回が約 15.5 万円、3 回以上が約 15.3 万円と歯科健診を受診するほど低くなっていった。

健診あり・なしでは、医科、調剤では、健診ありの方が低くなり、歯科ではほぼ同等だった。

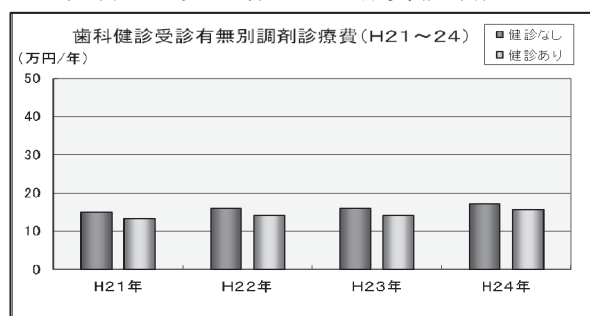
健 診 頻 度	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	8,892	458,283	177,420	88,698	61,650	172,114	115,410
1 回	2,274	393,585	160,350	88,945	62,880	160,734	105,855
2 回	1,603	331,913	154,770	87,749	63,075	154,832	101,070
3 回以上	3,178	336,487	160,275	86,076	66,870	153,294	103,500
健 診 有 り (B)	7,055	354,081	159,465	87,281	64,710	156,054	103,515
全 体	15,950	412,909	169,080	87,956	63,180	165,111	109,830
比 較 (A)/(B)	126.0%	129.4%	111.3%	101.6%	95.3%	110.3%	111.5%



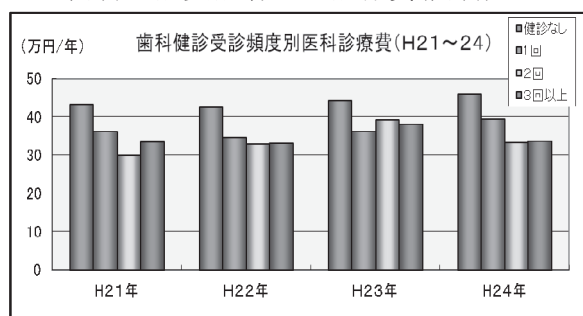
歯科健診受診有無別診療費(医科)



歯科健診受診有無別診療費(歯科)



歯科健診受診有無別診療費(調剤)

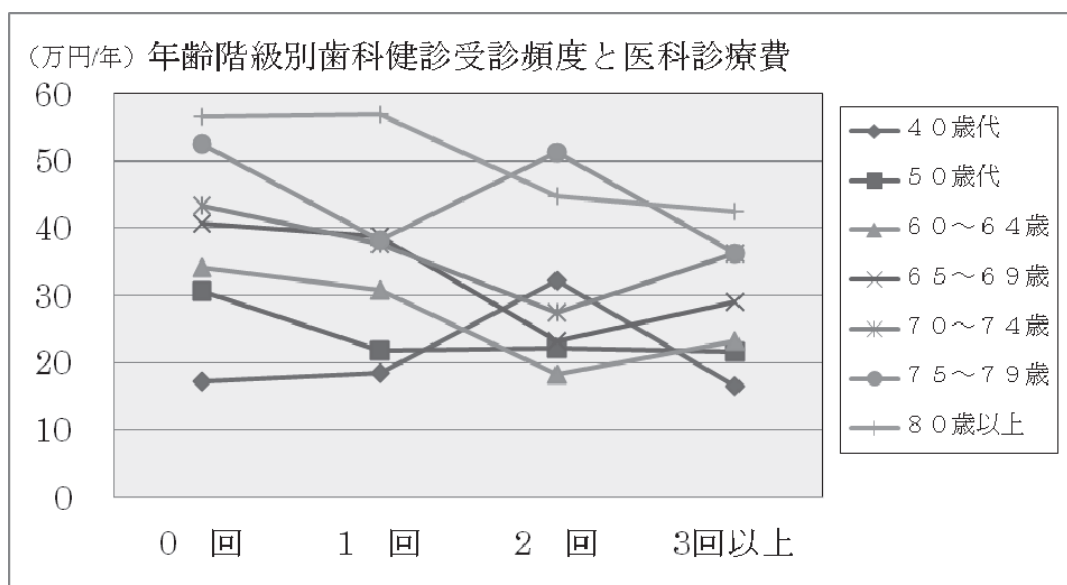


歯科健診受診頻度別診療費(医科)

# 年齢階級別歯科健診受診頻度別診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別に歯科健診受診頻度と診療費の関係をみると、医科では、各年齢階級とも概ね、歯科健診なしが高く、1回、2回が低くなり、3回以上はやや高くなる傾向が認められた。

年齢階級	健診頻度	人数	平均値			中央値		
			医科	歯科	調剤	医科	歯科	調剤
40歳代	0回	309	171,583	82,638	83,319	72,405	59,790	32,850
	1回	66	184,363	63,420	71,018	63,210	58,365	36,990
	2回	50	321,689	67,665	85,909	67,410	47,940	26,280
	3回	60	164,825	87,002	77,002	94,680	68,310	54,930
50歳代	0回	562	305,636	78,282	107,683	90,975	57,195	51,885
	1回	160	217,467	76,867	145,868	74,700	57,300	34,740
	2回	96	221,609	101,312	80,486	90,885	70,770	40,920
	3回	175	215,582	77,260	90,255	88,110	57,300	50,520
60~64歳	0回	1,052	341,347	89,801	118,491	107,355	61,155	62,475
	1回	324	308,858	81,083	119,503	90,690	60,375	65,325
	2回	218	182,888	78,981	112,745	97,725	59,535	59,190
	3回	422	232,098	78,713	100,512	94,665	61,950	55,080
65~69歳	0回	1,373	407,342	84,621	137,942	131,880	60,585	80,340
	1回	401	388,241	81,959	119,018	115,980	57,795	74,310
	2回	298	231,997	88,674	138,268	118,320	64,830	95,865
	3回	567	290,985	82,929	124,701	121,380	68,100	70,800
70~74歳	0回	1,540	433,465	88,121	165,503	165,270	61,380	108,810
	1回	481	377,097	91,340	163,821	172,755	62,280	105,090
	2回	371	275,405	87,424	157,168	155,175	60,900	107,790
	3回	752	363,593	87,488	147,815	164,100	66,345	101,190
75~79歳	0回	1,807	524,756	91,251	191,238	225,390	65,805	142,545
	1回	422	382,195	99,497	170,021	205,350	70,455	133,080
	2回	313	513,329	90,625	176,043	208,200	65,070	126,780
	3回	672	363,307	87,189	187,595	201,915	67,425	132,495
80歳以上	0回	2,249	565,050	92,496	214,834	271,380	61,410	177,810
	1回	420	570,120	95,911	217,562	282,840	72,315	181,725
	2回	257	448,154	89,671	198,729	234,960	65,325	149,040
	3回	530	424,982	94,468	192,252	247,650	71,340	152,700



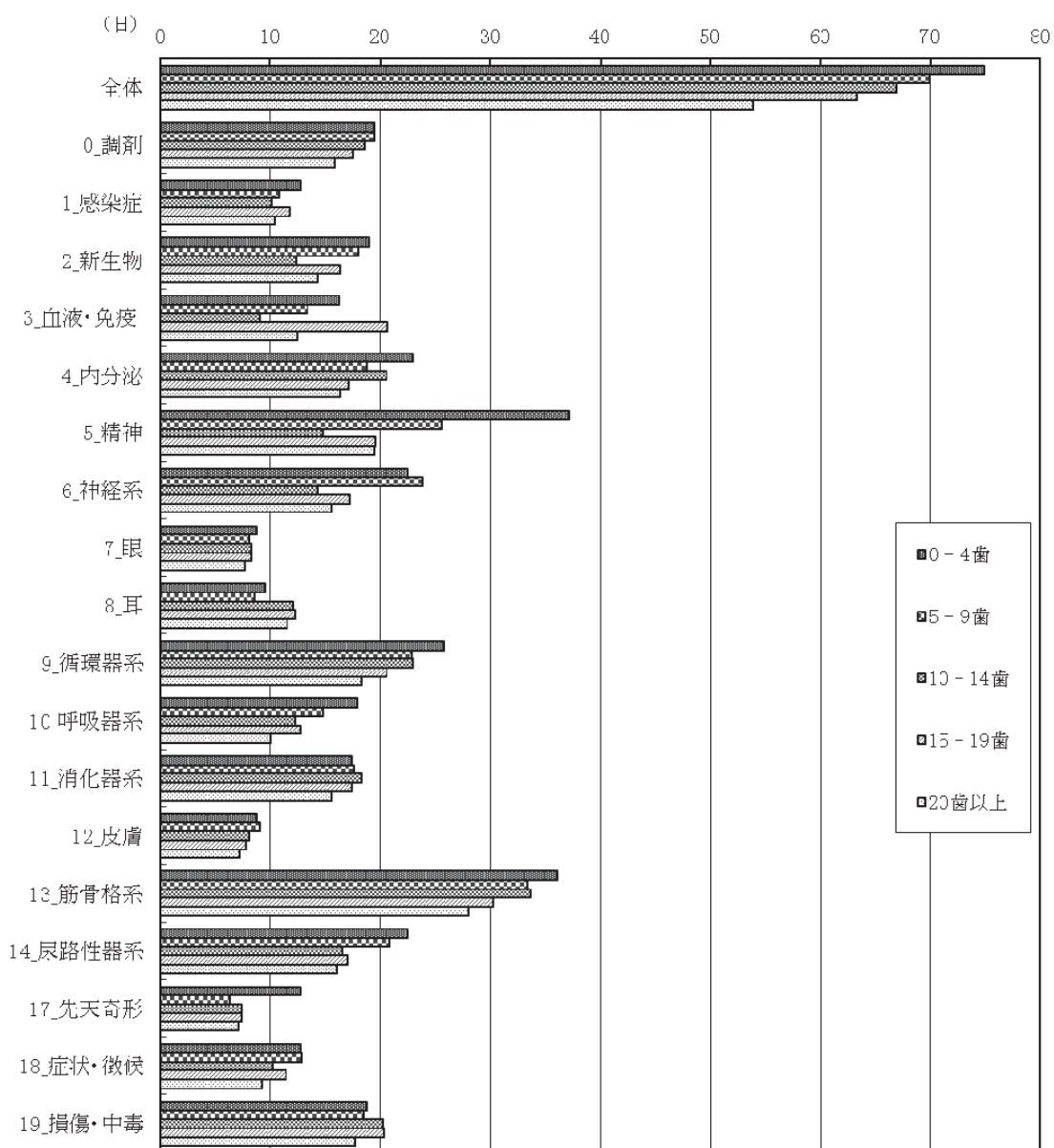
## (2) 19 分類別の分析

### 残存歯数別19分類疾病別日数（一人あたり1年間平均、日）

全体では、残存歯数が多いほど診療日数が少なくなっており、0-4 歯は 74.9 日、20 歯以上は 53.8 日で 21.1 日多くなっていた。疾病分類別では、調剤、内分泌、循環器系、呼吸器系、皮膚、筋骨格系、尿路性器系で概ね残存歯数が多いほど診療日数が少なくなる傾向が認められた。

残存歯数分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0・4歯	74.9	19.4	12.7	19.0	16.3	23.0	37.2	22.5	8.8
5・9歯	69.9	19.5	10.7	18.0	13.3	18.8	25.6	23.8	8.1
10・14歯	66.8	18.6	10.2	12.4	9.0	20.6	14.8	14.3	8.3
15・19歯	63.2	17.5	11.8	16.3	20.6	17.1	19.5	17.3	8.3
20歯以上	53.8	15.9	10.5	14.3	12.4	16.3	19.5	15.6	7.7

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
9.5	25.8	17.9	17.4	8.8	36.1	22.5	12.8	12.7	18.8
8.6	22.8	14.8	17.6	9.0	33.4	20.9	6.3	12.8	18.4
12.1	23.0	12.3	18.3	8.1	33.6	16.5	7.3	10.2	20.2
12.3	20.6	12.7	17.4	7.8	30.3	17.1	7.4	11.4	20.3
11.5	18.3	10.1	15.6	7.2	28.0	16.0	7.1	9.2	17.7

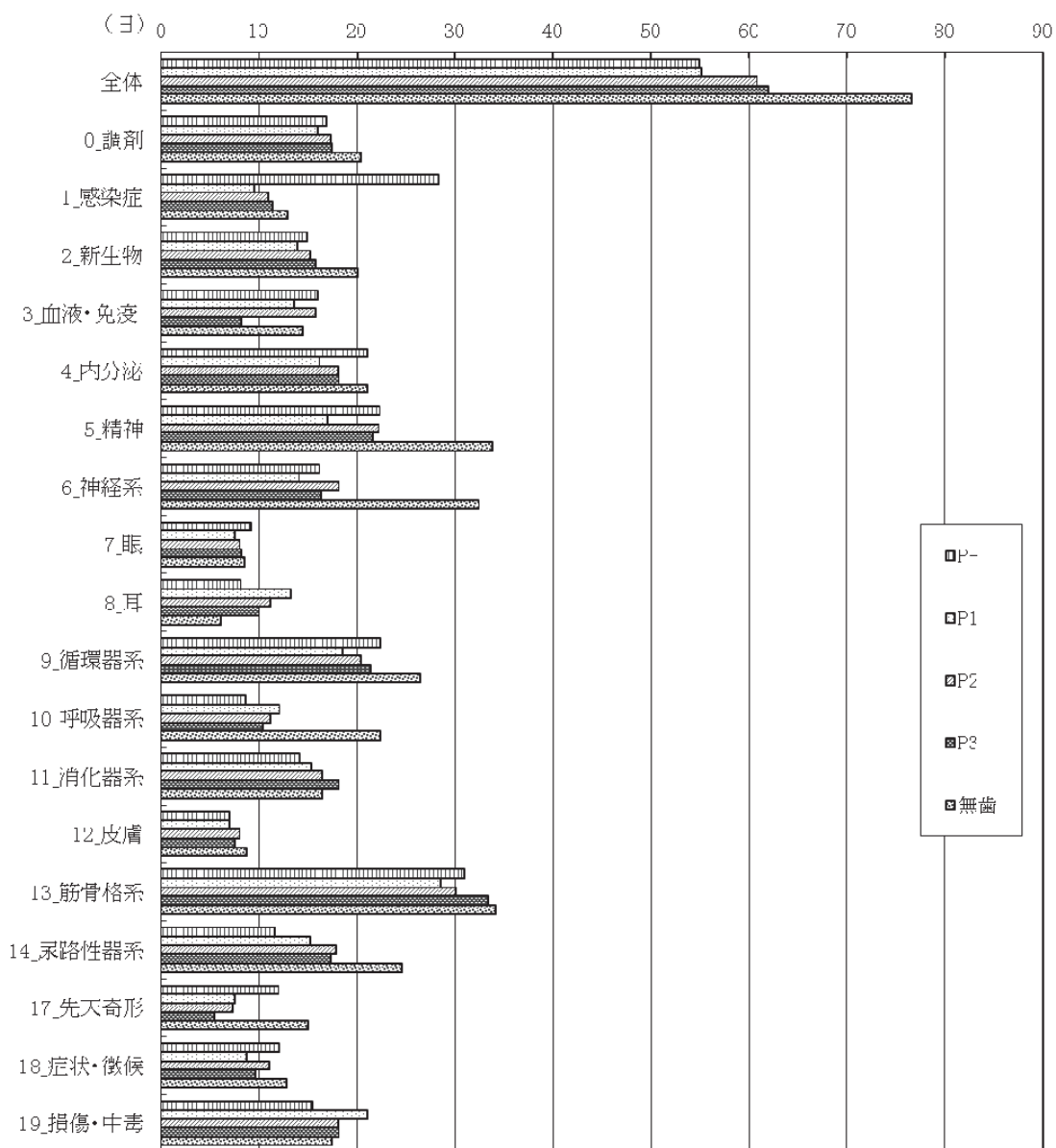


# 歯周病の程度別19分類疾病別日数（一人あたり1年間平均、日）

全体では、歯周病の程度が重いほど診療日数が多くなっており、P3は61.9日、P-は54.9日で7日多くなっていた。疾病分類別では、調剤、消化器系、皮膚、尿路性器系で歯周病の程度が重いほど診療日数が増える傾向が認められた。

歯周炎分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
P-	54.9	16.9	28.4	14.9	16.0	21.1	22.3	16.2	9.2
P1	55.2	16.0	9.5	13.9	13.6	16.2	17.0	14.1	7.5
P2	60.8	17.3	10.9	15.3	15.7	18.1	22.2	18.1	8.1
P3	61.9	17.4	11.3	15.7	8.2	18.1	21.6	16.3	8.2
無歯	76.6	20.4	13.0	20.0	14.5	21.1	33.8	32.4	8.5

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
8.1	22.5	8.7	14.2	7.0	30.9	11.6	12.0	12.1	15.4
13.2	18.6	12.1	15.4	7.0	28.5	15.2	7.5	8.8	21.1
11.2	20.4	11.1	16.5	8.0	30.1	17.9	7.3	11.1	18.0
10.0	21.4	10.4	18.1	7.5	33.4	17.3	5.4	9.6	18.2
6.2	26.5	22.4	16.5	8.8	34.2	24.6	15.0	12.9	17.4

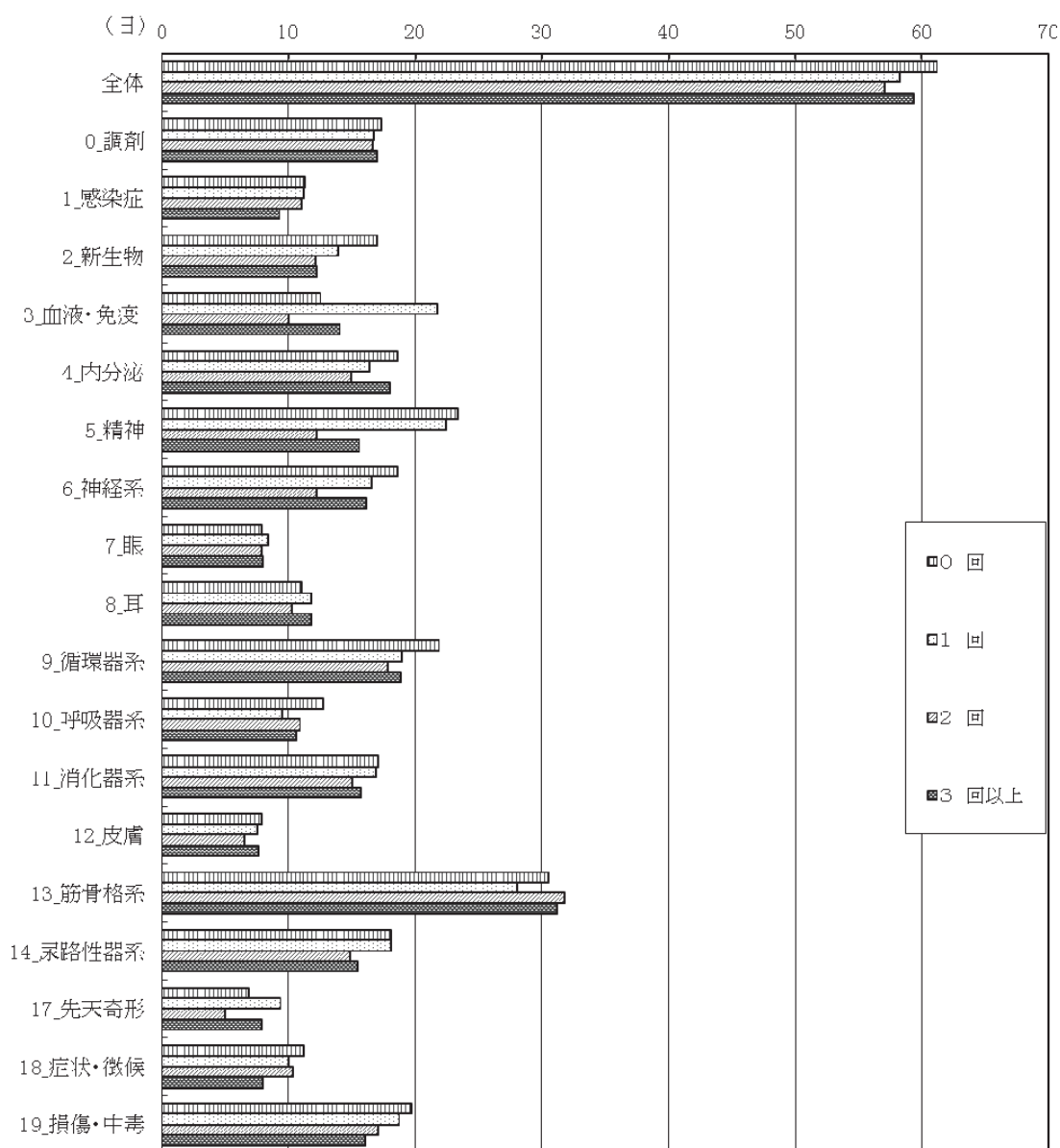


# 歯科健診受診頻度別19分類疾病別日数（一人あたり1年間平均、日）

全体では、歯科健診受診頻度が多くなるほど診療日数が少なくなり、3回以上では多くなっていた。健診なしは61.2日、2回は57.1日で、約4日多くなっていた。疾病分類別でも、調剤、感染症、新生物、内分泌、精神、神経系、循環器系、消化器系、皮膚、尿路性器系、損傷・中毒において歯科健診受診頻度が多くなるほど診療日数が少なくなるか、3回以上でやや多くなる傾向が認められた。

健 診 頻 度	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0 回	61.2	17.3	11.3	17.0	12.5	18.6	23.3	18.6	7.9
1 回	58.3	16.7	11.2	13.9	21.7	16.4	22.4	16.5	8.4
2 回	57.1	16.6	11.1	12.1	10.0	15.0	12.2	12.2	7.9
3 回以上	59.3	17.0	9.3	12.2	14.1	18.0	15.6	16.2	8.0

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
11.1	21.9	12.7	17.0	7.9	30.5	18.1	6.8	11.2	19.7
11.8	19.0	9.5	16.9	7.5	28.0	18.1	9.3	10.0	18.7
10.3	17.9	10.9	15.0	6.5	31.8	14.8	5.0	10.4	17.0
11.8	18.8	10.6	15.7	7.6	31.1	15.4	7.9	8.0	16.1

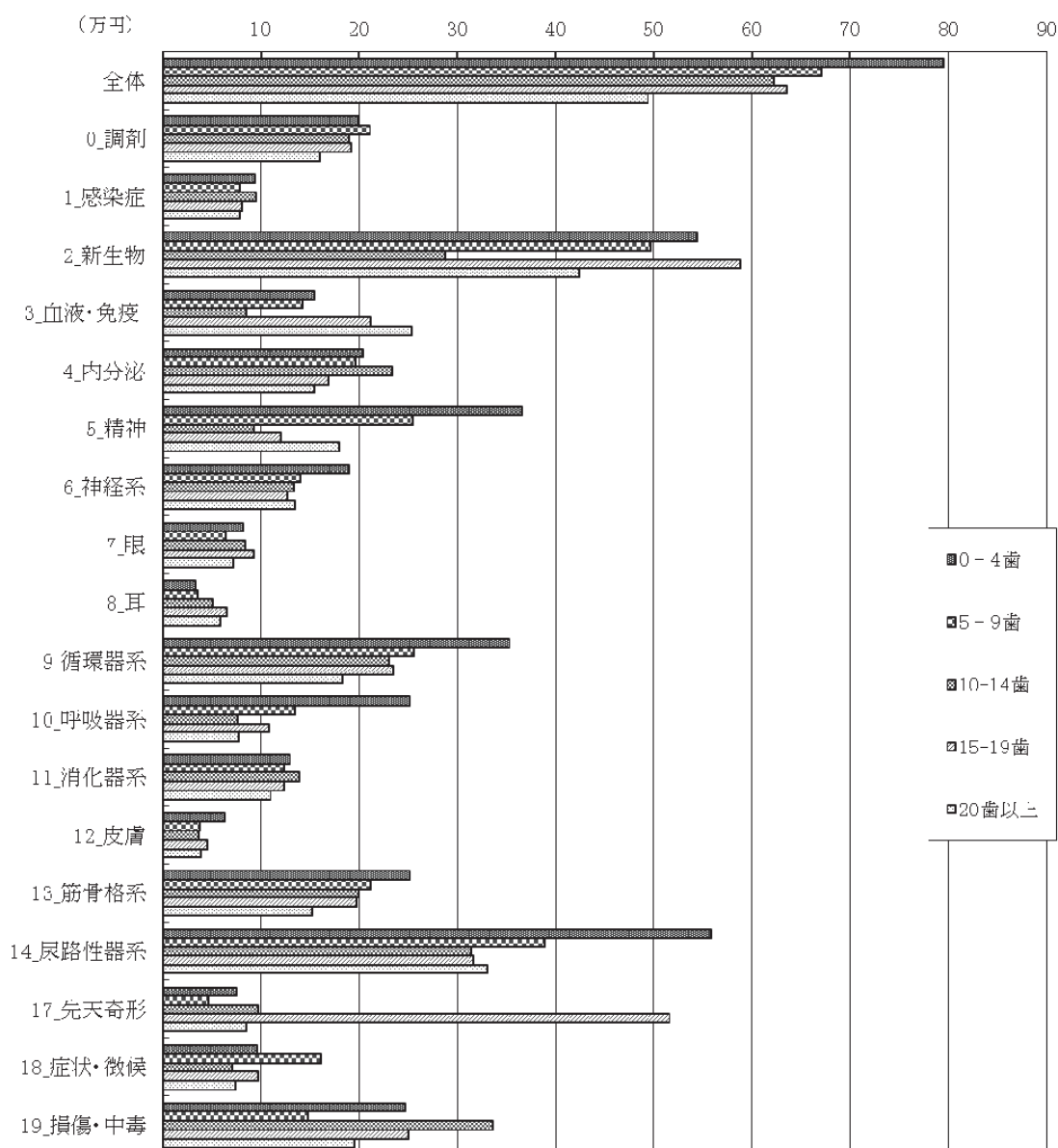


## 残存歯数別19分類疾病別診療費（一人あたり1年間平均、円）

全体では、10-14 歯がやや少ないが、概ね残存歯数が多いほど診療費が低くなっており、0-4 歯は79.5万円、20歯以上は49.4万円で約30万円高くなっていた。疾病分類別では、調剤、内分泌、神経系、循環器系、筋骨格系で概ね残存歯数が多いほど診療費が低くなる傾向が認められた。

残存歯数分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0・4歯	794500	199210	94330	543410	154470	203840	365450	188700	81020
5・9歯	669750	210800	78300	497040	141650	195950	254190	140230	63750
10-14歯	622540	188490	94870	286690	84960	234020	92990	133890	83600
15-19歯	634930	191870	80170	587120	211780	168160	120050	126710	92700
20歯以上	493720	160030	77950	423500	253270	154830	179250	134860	71690

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
33400	352810	251310	129840	62690	251450	558070	75310	95550	246340
35770	256010	134470	123600	37210	211730	388150	46430	160590	146730
51230	229900	75770	138640	36140	199190	314330	97240	70560	335550
64320	234970	107740	123230	45140	197410	315930	516050	97080	249870
58050	182510	77530	109360	38250	151940	330050	85060	73720	195170



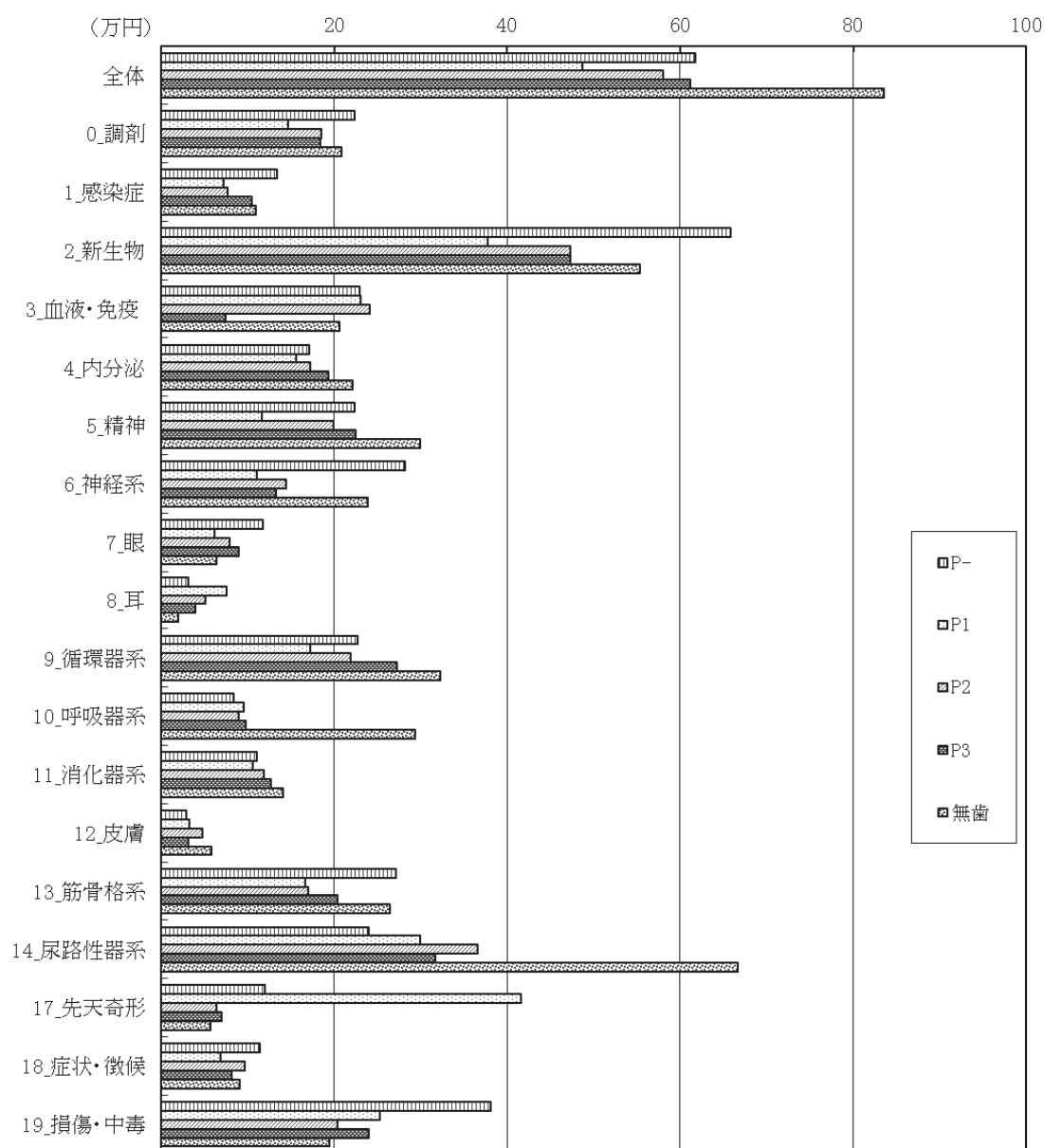


# 歯周病の程度別19分類疾病別診療費（一人あたり1年間、円）

全体では、昨年と同様に、P-の診療費が高くなっていたが、歯周病ありの中では、歯周病の程度が重いほど診療費が多くなっていた。疾病分類別では、調剤、感染症、新生物、内分泌、精神、循環器系、呼吸器系、消化器系、筋骨格系で全体と同様の傾向が認められた。

歯周炎分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
P-	617910	224370	133720	658480	229650	171530	223620	282380	117760
P1	487260	147030	72510	377800	230270	156690	116920	111100	61680
P2	580630	184810	76380	473410	241500	172580	199710	145020	78940
P3	611540	183880	105010	472810	74440	193280	225420	133150	89960
無歯	835720	208480	109960	553380	206570	221050	299180	239560	64010

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
30900	227000	83970	110170	28970	271470	240460	120590	114650	380940
76050	172110	95810	105680	32700	166580	299240	416040	69260	253290
50760	219440	90110	119250	47910	170570	366530	63800	96270	203960
39900	272970	97600	127170	31490	204570	317400	70410	81930	240550
20030	322770	293440	140990	57850	264330	667010	57650	91380	195260

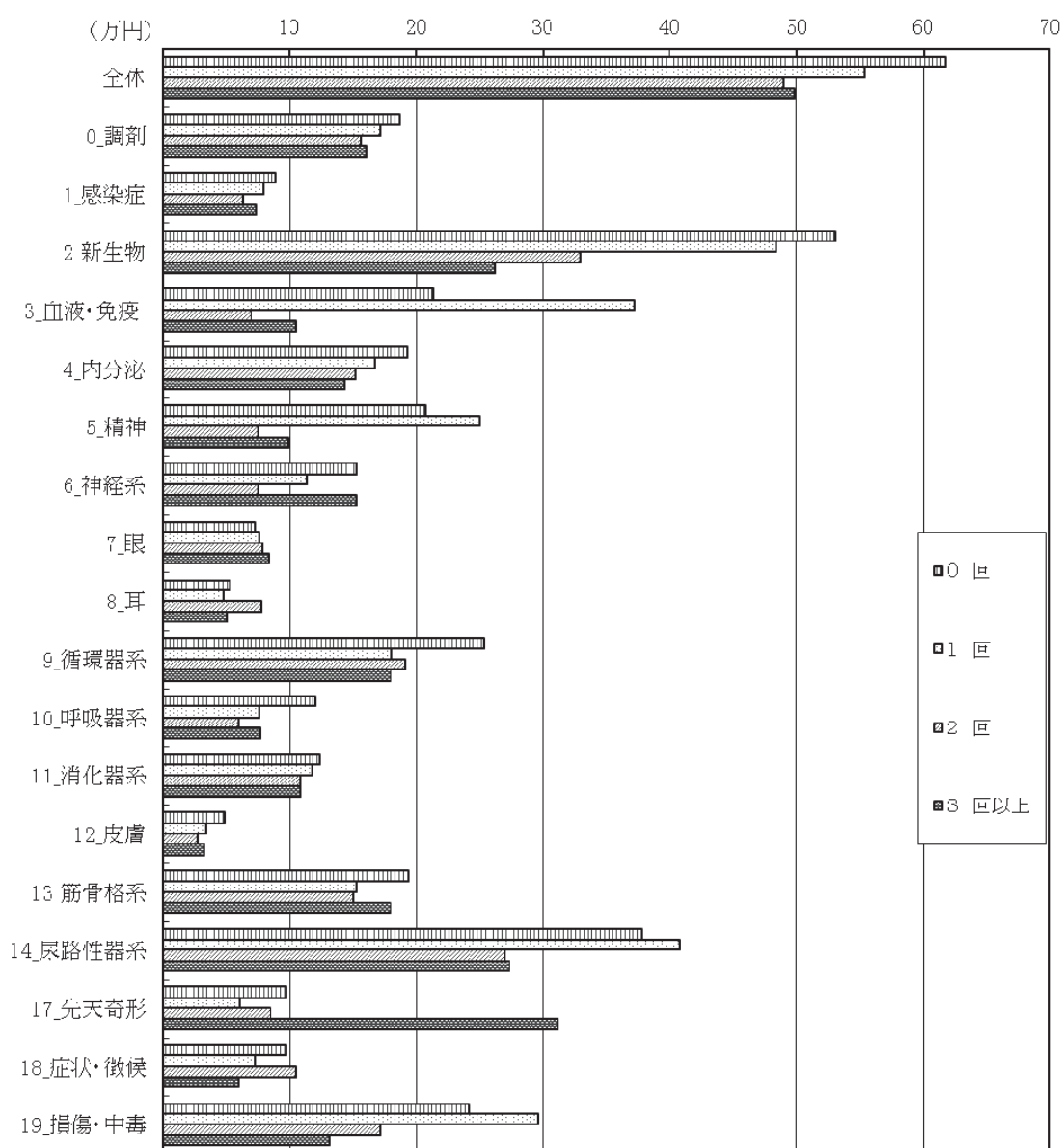


# 歯科健診受診頻度別19分類疾病別診療費（一人あたり1年間、円）

全体では、歯科健診受診頻度が多くなるほど診療費が低くなり、3回以上では高くなっていた。健診なしは約61.7万円、2回は48.9万円で、約13万円高くなっていた。疾病分類別では、調剤、感染症、新生物、内分泌、神経系、呼吸器系、消化器系、皮膚、筋骨格系において歯科健診受診頻度が多くなるほど診療日数が少なくなるか、3回以上でやや多くなる傾向が認められた。

健 診 頻 度	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0 回	616850	187110	89290	530980	213810	192730	207050	152970	72980
1 回	553130	171780	79150	483870	371710	167060	249640	113230	76400
2 回	489100	155740	63260	329160	69690	151970	75450	75250	78640
3 回以上	498160	160370	73820	262420	105130	142770	98500	153220	83410

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
52960	253080	120600	124100	48670	193140	377930	97060	97220	241040
47590	180270	76280	118020	34310	152660	407740	60590	72570	296010
77360	190950	60100	108320	27650	150730	269120	84720	105340	171790
50390	179900	77190	108070	32740	179700	273340	311440	60230	130820





### (3) 主要疾病別分析

#### 悪性新生物 年齢階級別残存歯数別

悪性新生物の年齢階級別残存歯数別受診者数を下表に示す。

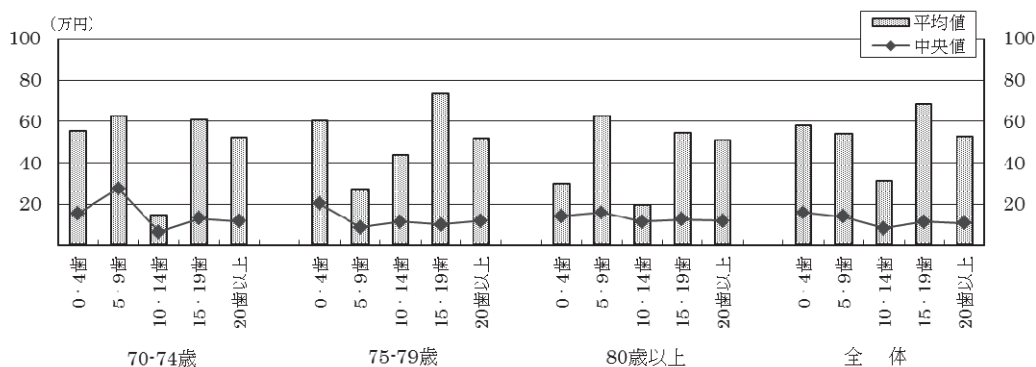
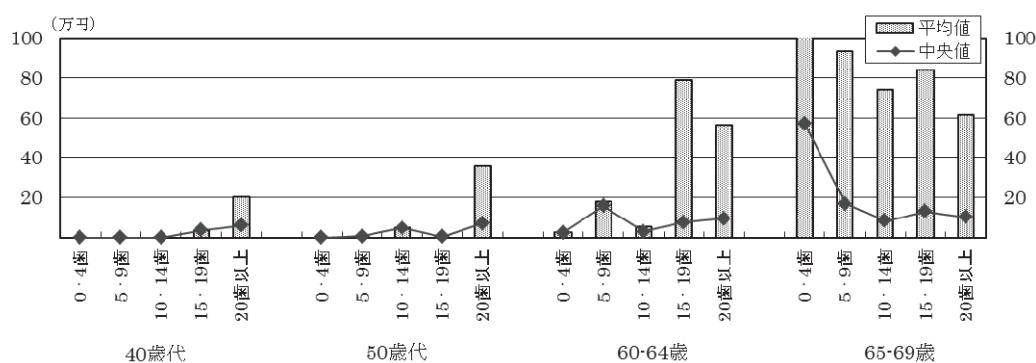
残 存 歯 数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	0	1	9	12	42	56	120
5 - 9 歯	0	1	4	8	19	29	58	119
10 - 14 歯	0	1	7	15	29	51	49	152
15 - 19 歯	1	1	21	40	47	58	45	213
20 歯 以上	15	31	95	106	166	140	92	645
計	16	34	128	178	273	320	300	1,249

#### ・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別でばらつきがあるが、全体では、中央値でみると 10-14 歯が低い、概ね残存歯数が少ないほど診療費が高くなっていた。

残 歯 数 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	0	0	0	0	25140	25140	2357350	570270
5 - 9 歯	0	0	6240	6240	182600	157160	934320	168780
10 - 14 歯	0	0	49080	49080	54290	30210	738900	83160
15 - 19 歯	36780	36780	3630	3630	786120	76620	838990	129120
19 歯 以下 (A)	36780	36780	19650	6240	534670	58830	1018520	140480
20 歯 以上 (B)	202990	60120	360120	71340	562410	95760	615280	102200
全 体	192600	58440	330080	59750	555260	84950	778390	110720
比 較 (A)/(B)	18.1%	61.2%	5.5%	8.7%	95.1%	61.4%	165.5%	137.5%

残 歯 数 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	551080	156020	600360	201450	296910	141720	580800	160080
5 - 9 歯	622220	277080	272430	88290	623730	159000	538740	139260
10 - 14 歯	144400	65100	437080	114900	194880	114900	312770	83150
15 - 19 歯	606070	130200	732510	101060	543860	125580	683350	114000
19 歯 以下 (A)	477650	129510	543840	113130	417430	126660	541220	118530
20 歯 以上 (B)	521670	116690	514830	118620	509020	118680	524590	108870
全 体	504420	118110	531150	116250	445520	125280	532630	113250
比 較 (A)/(B)	91.6%	111.0%	105.6%	95.4%	82.0%	106.7%	103.2%	108.9%



## 悪性新生物 年齢階級別歯周病の程度別

悪性新生物の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

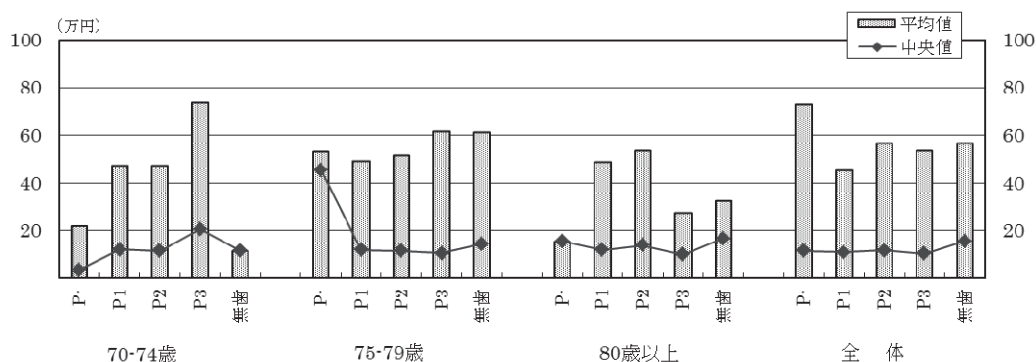
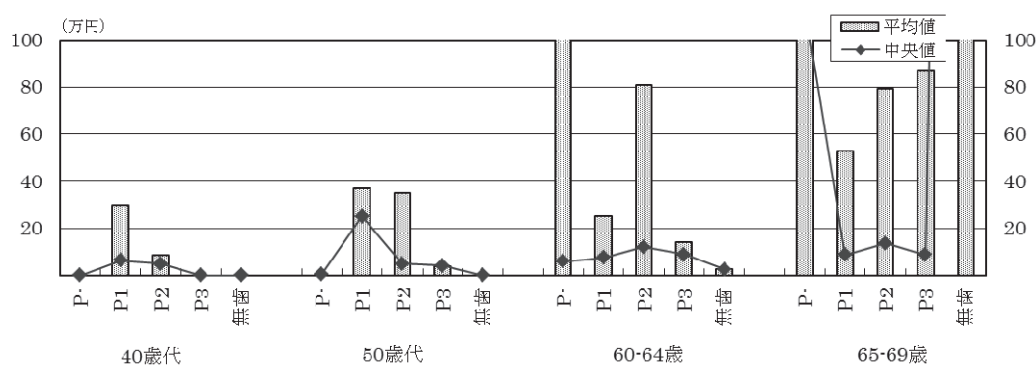
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	1	3	4	4	6	2	20
P1	8	13	41	61	71	79	68	341
P2	8	18	67	80	150	165	137	625
P3	0	2	16	32	43	53	65	211
無 歯	0	0	1	1	5	17	28	52
計	16	34	128	178	273	320	300	1,249

### ・診療費（一人あたり1年間、円）

65-69歳の無歯が927万円と極めて高く、全体でも、平均値では、P-が高いが、歯周病ありの中ではP1が低く、P2、P3が高くなっていた。中央値では、歯周病の程度による差は認められなかった。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	0	0	6240	6240	1505470	58500	1424310	1134360
P1	298510	63360	370350	250320	249690	74700	529440	85440
P2	86690	48920	351210	48920	806610	119940	794420	136670
P3	0	0	40020	40020	140720	88170	866610	86760
歯 周 病 あ り (A)	192600	58440	339890	60690	536550	88640	714340	109590
無 歯	0	0	0	0	25140	25140	9274680	9274680
全 体	192600	60690	330080	88640	555260	109590	778390	118550
比 較 (A)/(P-)	-	-	5447.0%	972.6%	35.6%	151.5%	50.2%	9.7%

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	221150	35280	529070	454380	156290	156290	729570	115160
P1	471650	120630	491140	117600	487000	119210	454950	109050
P2	474310	114990	514180	114900	534310	137670	566080	116610
P3	735110	205110	617830	104880	276470	98790	532640	103020
歯 周 病 あ り (A)	516070	118550	526550	113250	460320	123810	527890	111360
無 歯	115720	115020	612250	143100	323420	167730	564280	156320
全 体	504420	118110	531150	116250	445520	125280	532630	113250
比 較 (A)/(P-)	233.4%	336.0%	99.5%	24.9%	294.5%	79.2%	72.4%	96.7%



## 悪性新生物 年齢階級別歯科健診受診頻度別

悪性新生物の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

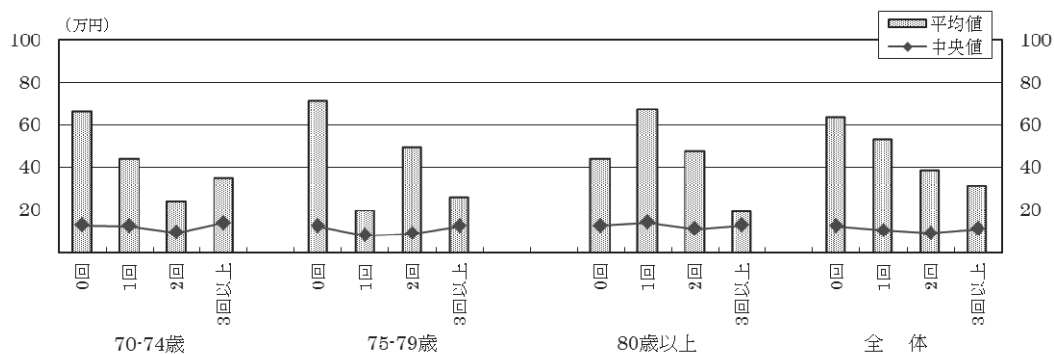
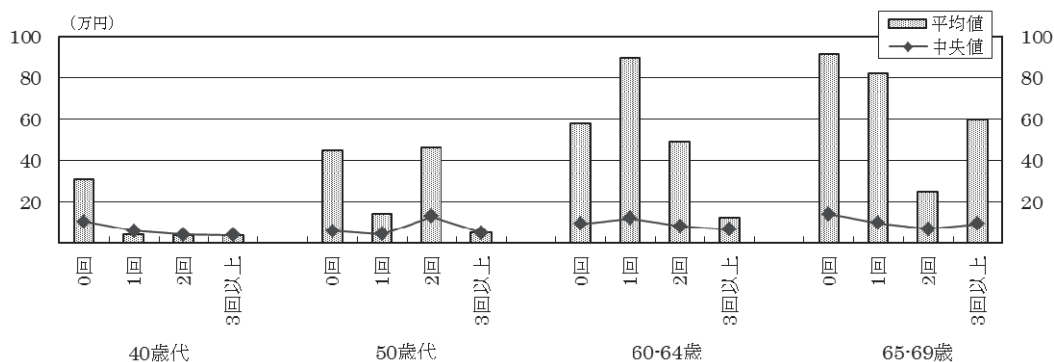
健 診 頻 度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	9	16	74	97	131	185	194	706
1 回	3	7	22	26	44	43	43	188
2 回	2	6	12	15	28	25	22	110
3 回以上	2	5	20	40	70	67	41	245
計	16	34	128	178	273	320	300	1,249

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では歯科健診なしが最も高く、歯科健診受診頻度が多くなるほど診療費は低くなっていた。また、健診なしは健診ありと比較しても約 1.6 倍高かった。

健 診 頻 度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	308940	104520	448790	59750	579200	93260	920700	139260
1 回	46020	60120	144730	44280	899890	120690	826060	98400
2 回	42170	42170	461490	127970	495440	81570	251230	68310
3 回以上	39390	39390	51990	50130	123490	65090	599970	93420
健 診 有 り (B)	43020	41070	224560	61950	522460	78600	607960	93810
全 体	192600	58440	330080	59750	555260	84950	778390	110720
比 較 (A)/(B)	718%	254%	200%	96%	111%	119%	151%	148%

健 診 頻 度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	661340	128640	711820	123300	444310	125280	632640	123390
1 回	444390	123590	200260	79470	672430	140670	529280	104210
2 回	243770	94010	496070	88170	476640	110040	384370	90470
3 回以上	352740	137970	257750	124260	196570	127740	313580	111420
健 診 有 り (B)	359650	116690	283570	100950	447730	124340	402600	105690
全 体	504420	118110	531150	116250	445520	125280	532630	113250
比 較 (A)/(B)	184%	110%	251%	122%	99%	101%	157%	117%



## 虚血性心疾患 年齢階級別残存歯数別

虚血性心疾患の年齢階級別残存歯数別受診者数を下表に示す。

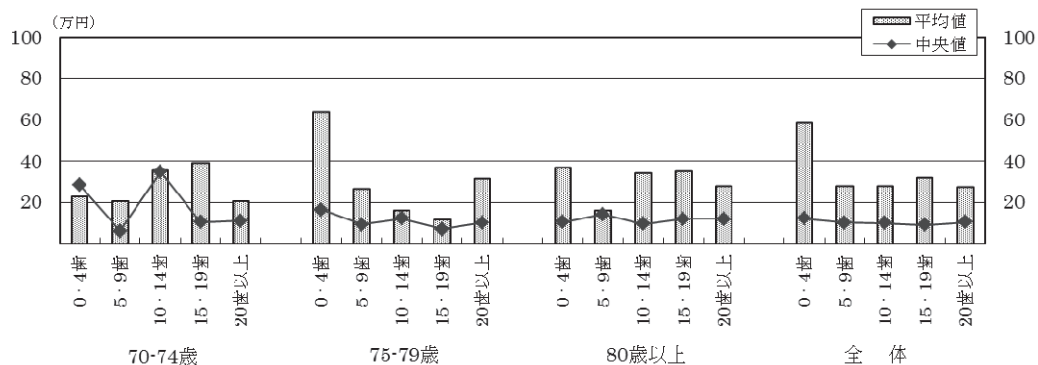
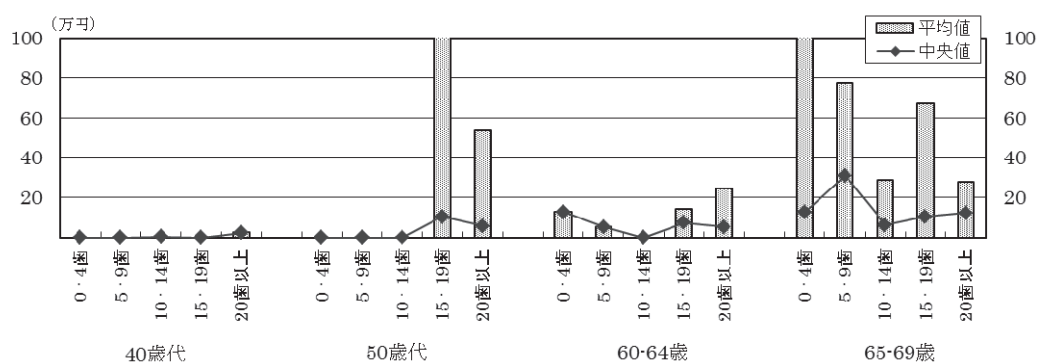
残 存 歯 数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	0	1	11	5	13	38	68
5 - 9 歯	0	0	1	11	9	23	35	79
10 - 14 歯	1	0	0	15	4	25	42	87
15 - 19 歯	0	3	6	7	14	31	35	96
20 歯 以上	2	9	27	49	72	75	66	300
計	3	12	35	93	104	167	216	630

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体でみると、平均値では 0-4 歯が高くなっていた。また中央値では、20 歯以上でやや高くなっていたが、残存歯数が多いほど診療費が低くなっていた。

残 歯 数 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	0	0	0	0	127890	127890	1468040	125550
5 - 9 歯	0	0	0	0	52410	52410	770740	310170
10 - 14 歯	4140	4140	0	0	0	0	287860	62460
15 - 19 歯	0	0	1273130	103800	140670	73530	668800	104310
19 歯 以下 (A)	4140	4140	1273130	103800	128040	73530	764230	103610
20 歯 以上 (B)	23430	23430	534160	58500	242950	53460	275340	123000
全 体	17000	4140	718900	81150	216690	54210	506640	114090
比 較 (A)/(B)	17.7%	17.7%	238.3%	177.4%	52.7%	137.5%	277.6%	84.2%

残 歯 数 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	230650	283350	635800	164880	371020	104820	585200	122780
5 - 9 歯	206860	61050	264000	92640	162170	142410	280250	102270
10 - 14 歯	357680	347460	165220	122250	343740	94140	279550	99660
15 - 19 歯	390820	102930	119870	70890	349070	118560	320310	89580
19 歯 以下 (A)	309910	135530	241130	97010	309530	102180	354560	102590
20 歯 以上 (B)	206350	111290	316140	102390	279960	120020	273170	104220
全 体	238210	114710	274810	100800	300490	112530	315800	102920
比 較 (A)/(B)	150.2%	121.8%	76.3%	94.7%	110.6%	85.1%	129.8%	98.4%



## 虚血性心疾患 年齢階級別歯周病の程度別

虚血性心疾患の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

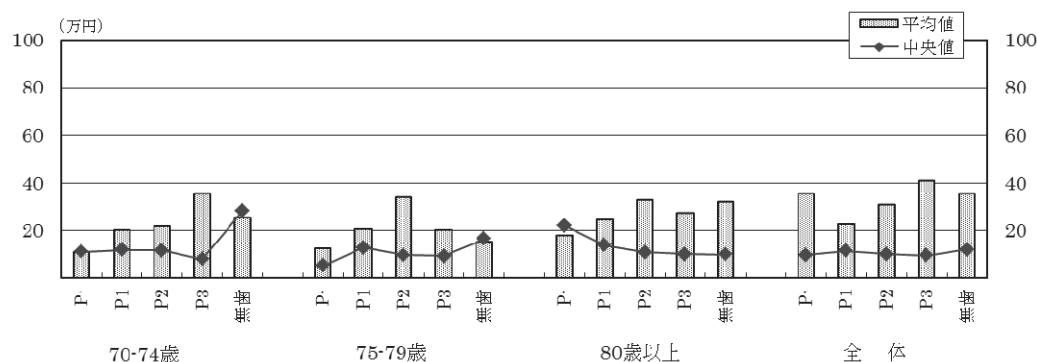
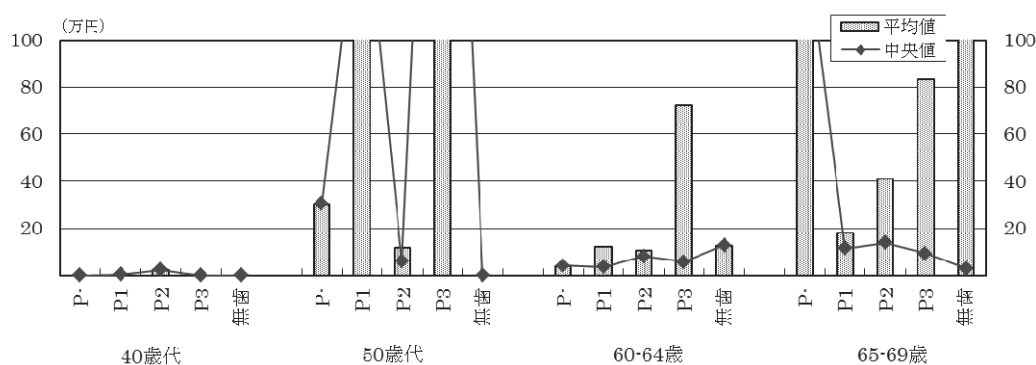
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	2	1	2	1	3	5	14
P1	1	2	12	15	24	44	32	130
P2	2	7	15	53	59	88	113	337
P3	0	1	6	20	17	27	52	123
無 歯	0	0	1	3	3	5	14	26
計	3	12	35	93	104	167	216	630

### ・診療費（一人あたり1年間、円）

50歳代のP1、P3や65-69歳のP-で極めて高い診療費があり、ばらつきが大きい。全体では、P-が高いものの（人数が14人と少ない）、歯周病ありの中では、歯周病の程度が重度なほど診療費が高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	0	0	303510	303510	41400	41400	1462560	1462560
P1	3660	3660	1743140	1743140	123480	34100	179950	114090
P2	23670	23670	117150	58500	106440	81150	409300	137220
P3	0	0	3713490	3713490	722730	56400	835130	93140
歯 周 病 あ り (A)	17000	4140	801980	81150	224690	54210	466980	116810
無 歯	0	0	0	0	127890	127890	1032670	28800
全 体	17000	81150	718900	54210	216690	116810	506640	112650
比 較 (A)/(P-)	-	-	264.2%	26.7%	542.7%	130.9%	31.9%	8.0%

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	111240	111240	127830	52620	180500	222300	355050	97700
P1	206170	118170	207090	128390	246610	137280	227860	115040
P2	218970	116160	341550	96860	330460	108900	310010	101580
P3	354750	80220	206090	93750	274880	100200	411720	96240
歯 周 病 あ り (A)	238980	112650	281340	100800	302170	113880	313110	102330
無 歯	254910	283350	155570	164880	319820	99570	355620	120090
全 体	238210	114710	274810	100800	300490	112530	315800	102920
比 較 (A)/(P-)	214.8%	101.3%	220.1%	191.6%	167.4%	51.2%	88.2%	104.7%



## 虚血性心疾患 年齢階級別歯科健診受診頻度別

虚血性心疾患の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

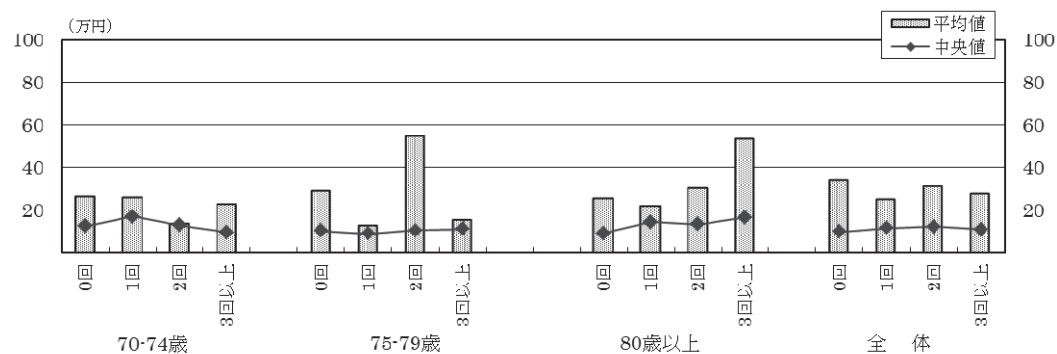
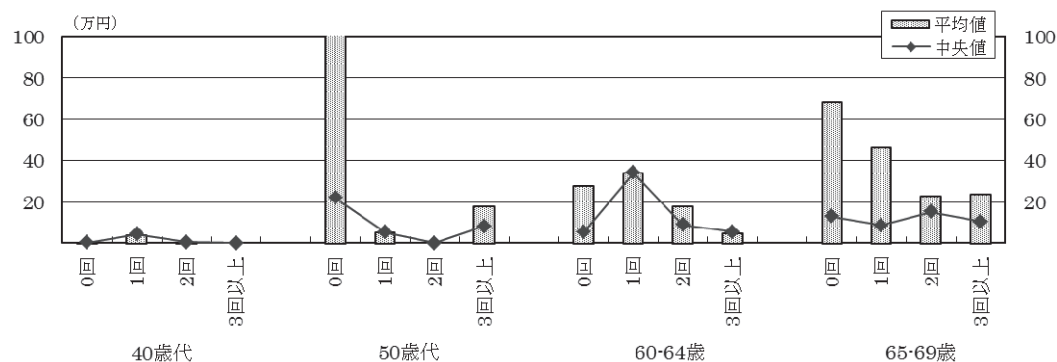
健 診 頻 度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	1	7	21	50	45	101	135	360
1 回	1	1	2	12	16	14	30	76
2 回	1	0	3	10	13	17	15	59
3 回以上	0	4	9	21	30	35	36	135
計	3	12	35	93	104	167	216	630

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者が少ない 40 歳代を除き、若い年齢階級ほど健診ありより健診なしの診療費が高くなっていた。全体では健診なしは健診ありの約 1.2 倍高かった。

健 診 頻 度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	3660	3660	1122810	219690	280200	52410	683830	129810
1 回	43200	43200	52440	52440	341240	341240	463640	87000
2 回	4140	4140	0	0	182390	88470	232150	151650
3 回以上	0	0	178670	81150	52250	54210	240030	104310
健 診 有 り (B)	23670	23670	153420	58500	121420	68990	300600	114090
全 体	17000	4140	718900	81150	216690	54210	506640	114090
比 較 (A)/(B)	15%	15%	732%	376%	231%	76%	227%	114%

健 診 頻 度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	266140	124290	290190	101010	255450	91080	343640	96710
1 回	260730	169700	130020	87950	222230	143490	250010	115320
2 回	138590	127320	547650	103890	303640	132330	314220	121560
3 回以上	227480	95640	155840	111240	533330	164150	279290	108090
健 診 有 り (B)	216910	111330	251290	99150	375570	151920	278680	112290
全 体	238210	114710	274810	100800	300490	112530	315800	102920
比 較 (A)/(B)	123%	112%	115%	102%	68%	60%	123%	86%





## 脳血管疾患 年齢階級別残存歯数別

脳血管疾患の年齢階級別残存歯数別受診者数を下表に示す。

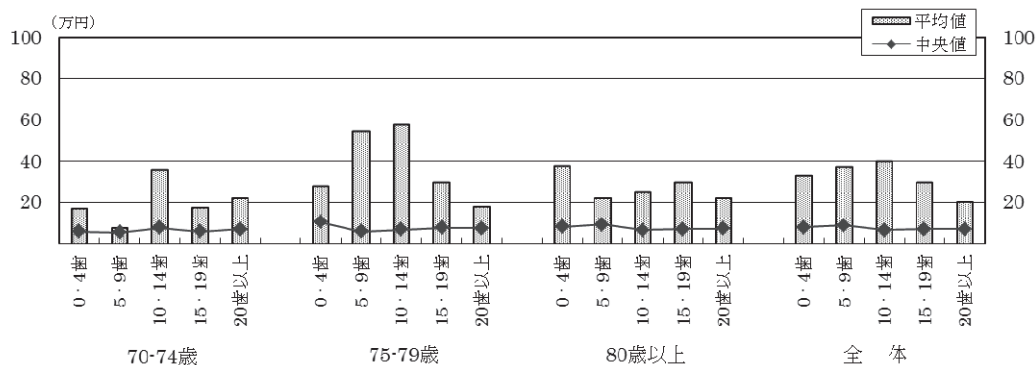
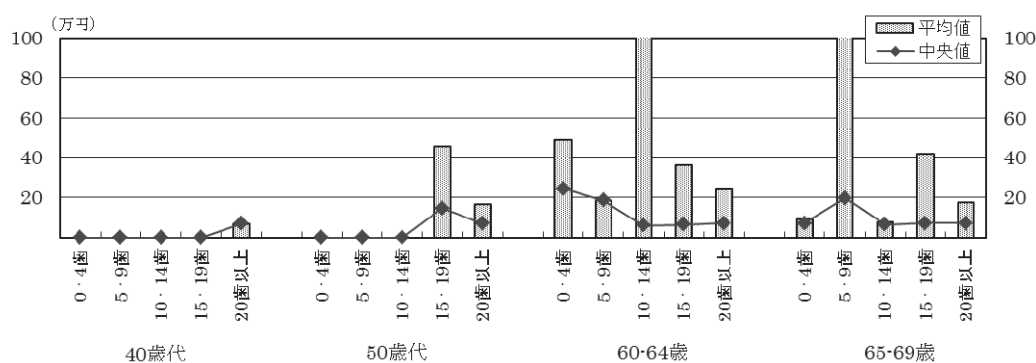
残 存 歯 数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	0	3	7	10	26	83	129
5 - 9 歯	0	0	2	7	10	21	39	79
10 - 14 歯	0	0	5	11	13	34	48	111
15 - 19 歯	0	3	12	18	26	37	32	128
20 歯 以上	2	14	34	62	92	92	82	378
計	2	17	56	105	151	210	284	825

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

60-79歳の年齢階級では、10-14 歯が最も高くなっていたが、19 歯以下と 20 歯以上で比較すると概ね 19 歯以下の方が診療費が高くなっており、全体でもその傾向が認められた。

残 歯 数 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	0	0	0	0	489250	243420	92670	70500
5 - 9 歯	0	0	0	0	185700	185700	1168350	197460
10 - 14 歯	0	0	0	0	1410610	59160	81470	65610
15 - 19 歯	0	0	459930	146310	362060	65040	418400	70500
19 歯 以下 (A)	0	0	459930	146310	601680	75480	401270	70500
20 歯 以上 (B)	68820	68820	169340	69390	244910	70500	179550	70470
全 体	68820	68820	220620	79590	385070	70500	270350	70500
比 較 (A)/(B)	-	-	271.6%	210.9%	245.7%	107.1%	223.5%	100.0%

残 歯 数 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	170830	60120	281420	103080	376860	81930	328850	79200
5 - 9 歯	79080	53640	545070	59100	221300	92010	372380	88470
10 - 14 歯	354720	77850	576420	67260	252830	65030	399050	65550
15 - 19 歯	176120	58470	296840	77340	297520	70470	299520	70500
19 歯 以下 (A)	198130	61440	418180	73080	304780	71610	345570	70500
20 歯 以上 (B)	220410	70500	181540	73770	220730	72600	203830	70500
全 体	211700	69420	314510	73080	280510	72570	280630	70500
比 較 (A)/(B)	89.9%	87.1%	230.3%	99.1%	138.1%	98.6%	169.5%	100.0%



## 脳血管疾患 年齢階級別歯周病の程度別

脳血管疾患の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

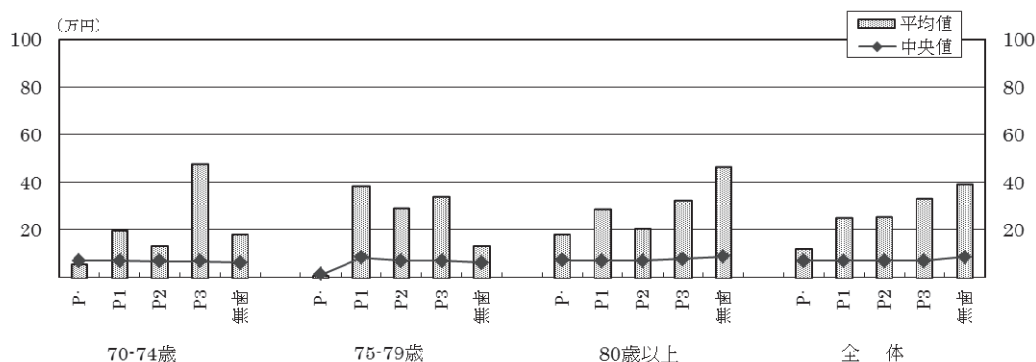
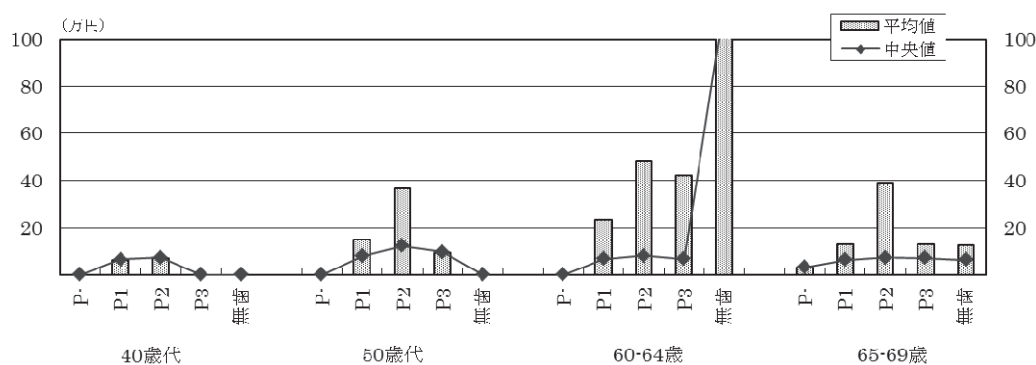
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	0	0	1	3	1	7	12
P1	1	9	22	24	37	42	36	171
P2	1	6	23	57	82	113	145	427
P3	0	2	10	20	26	44	54	156
無 歯	0	0	1	3	3	10	42	59
計	2	17	56	105	151	210	284	825

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級によりばらつきがあるが、全体では、歯周病の程度が重度なほど、診療費が低くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	0	0	0	0	0	0	30690	30690
P1	65100	65100	149860	78000	232770	66240	130270	62100
P2	72540	72540	368470	122360	480520	80580	389700	72600
P3	0	0	95480	95480	423700	67320	131920	70500
歯 周 病 あ り (A)	68820	68820	220620	79590	371090	70500	277010	70500
無 歯	0	0	0	0	1153830	1153830	125990	63510
全 体	68820	79590	220620	70500	385070	70500	270350	69420
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	902.6%	229.7%

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	60910	70500	14460	14460	185750	72600	127340	70790
P1	200860	70500	385920	83370	289480	70440	255690	70500
P2	137490	67400	294510	70500	209230	69270	258640	70500
P3	481820	68630	344440	70470	330580	78000	337180	70500
歯 周 病 あ り (A)	215400	69420	324840	74940	249410	70500	274220	70500
無 歯	183700	62640	138880	63060	470350	88470	393670	85380
全 体	211700	69420	314510	73080	280510	72570	280630	70500
比 較 (A)/(P-)	353.6%	98.5%	2246.5%	518.3%	134.3%	97.1%	215.3%	99.6%





## 脳血管疾患 年齢階級別歯科健診受診頻度別

脳血管疾患の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

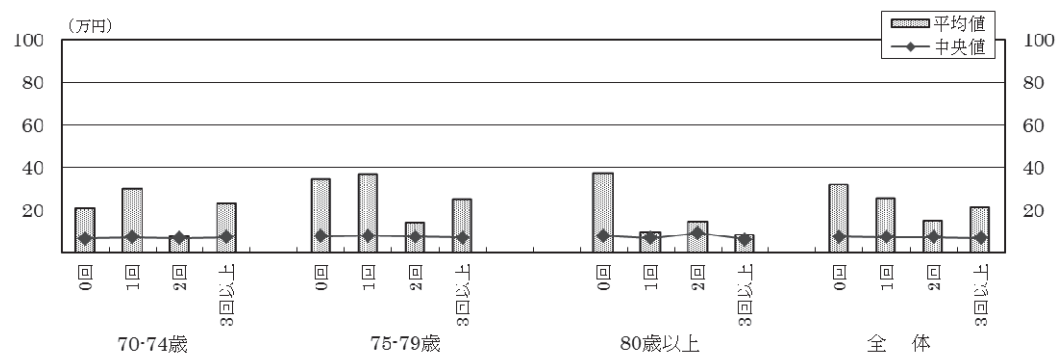
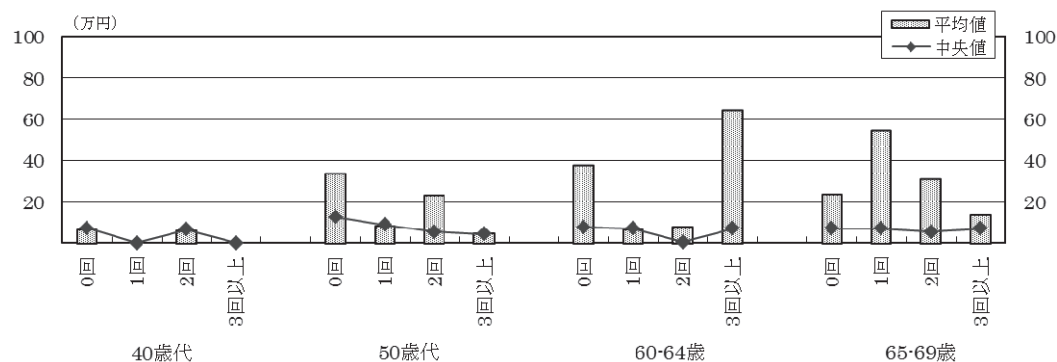
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	1	7	34	60	88	120	189	499
1 回	0	2	7	15	15	29	42	110
2 回	1	4	3	7	15	15	15	60
3 回以上	0	4	12	23	33	46	38	156
計	2	17	56	105	151	210	284	825

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、歯科健診受診頻度が多くなるほど診療費が低くなり、3回以上では高くなっていた。健診なしは健診ありの1.5倍高かった。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	72540	72540	343530	126420	383880	76950	244480	71550
1回	0	0	88070	88070	69910	70500	548120	69540
2回	65100	65100	239870	55700	83770	4140	315770	54240
3回以上	0	0	52540	44120	647600	70440	142870	70440
健診有り(B)	65100	65100	134570	68600	386900	70470	304850	68100
全 体	68820	68820	220620	79590	385070	70500	270350	70500
比較 (A)/(B)	111%	111%	255%	184%	99%	109%	80%	105%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	211680	65910	348020	75540	370920	78000	322030	72810
1回	298420	70500	367540	77340	97040	66630	255440	70500
2回	78680	66750	140690	73560	148020	92010	149950	70500
3回以上	232830	70500	250320	69330	85940	61520	216220	68250
健診有り(B)	211740	70500	269820	71550	100650	66930	217260	70470
全 体	211700	69420	314510	73080	280510	72570	280630	70500
比較 (A)/(B)	100%	93%	129%	106%	369%	117%	148%	103%



## 糖尿病 年齢階級別残存歯数別

糖尿病の年齢階級別残存歯数別受診者数を下表に示す。

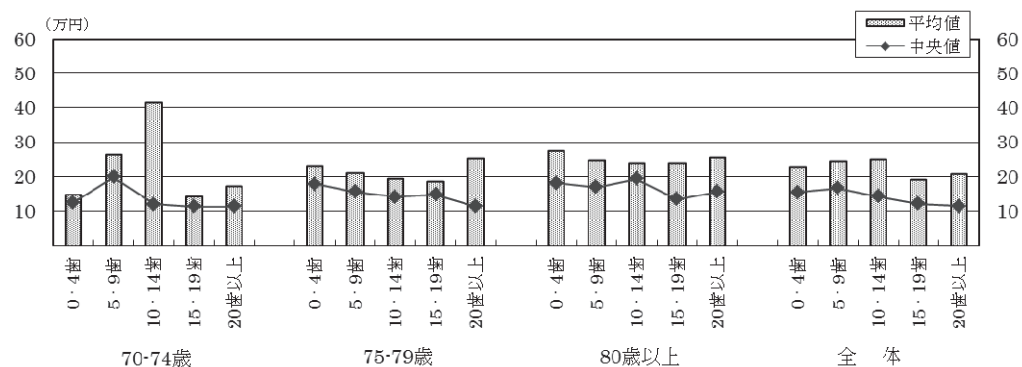
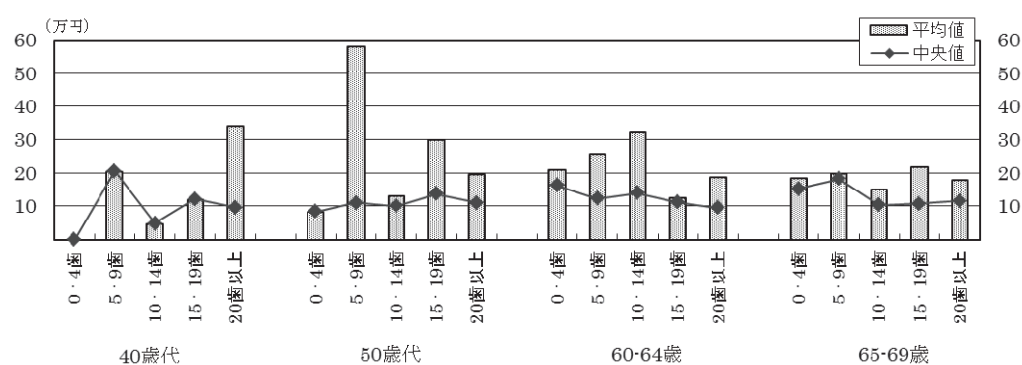
残 存 歯 数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	1	10	19	27	36	68	161
5 - 9 歯	2	5	10	25	30	38	54	164
10 - 14 歯	1	3	15	20	32	52	60	183
15 - 19 歯	2	7	16	37	50	48	43	203
20 歯 以上	14	54	118	149	180	156	86	757
計	19	70	169	250	319	330	311	1,468

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では0-14歯が高く、15 歯以上で低くなっていた。中央値では0-4 歯がやや低いものの、残存歯数が少ないほど診療費が高くなっていた。

残 歯 数 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	0	0	83460	83460	210890	161840	185010	151800
5 - 9 歯	205290	205290	579280	110430	256810	123390	200400	181140
10 - 14 歯	47940	47940	132240	100770	322850	138930	152410	102920
15 - 19 歯	120740	120740	300750	136200	126690	111450	218050	106980
19 歯 以下 (A)	140000	117300	342620	106050	226410	123030	194470	116160
20 歯 以上 (B)	341430	95780	196930	110130	187390	94110	179220	115470
全 体	288420	108570	230230	109830	199160	115200	185380	115700
比 較 (A)/(B)	41.0%	122.5%	174.0%	96.3%	120.8%	130.7%	108.5%	100.6%

残 歯 数 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	148010	124800	231280	179240	275120	182430	228190	154620
5 - 9 歯	265110	198870	209380	155870	247200	169970	244780	167300
10 - 14 歯	414230	120590	193650	142100	240900	193700	251990	142290
15 - 19 歯	142250	113780	185750	148680	241210	134310	191340	120990
19 歯 以下 (A)	232500	121980	202690	146870	252810	169380	227620	140400
20 歯 以上 (B)	174320	113750	252320	113870	256290	156480	207410	114720
全 体	199670	120990	226150	137480	253770	165360	217200	127140
比 較 (A)/(B)	133.4%	107.2%	80.3%	129.0%	98.6%	108.2%	109.7%	122.4%



## 糖尿病 年齢階級別歯周病の程度別

糖尿病の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

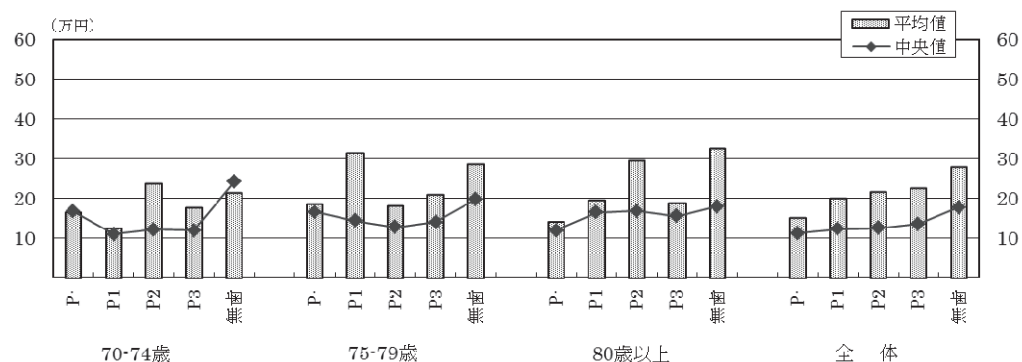
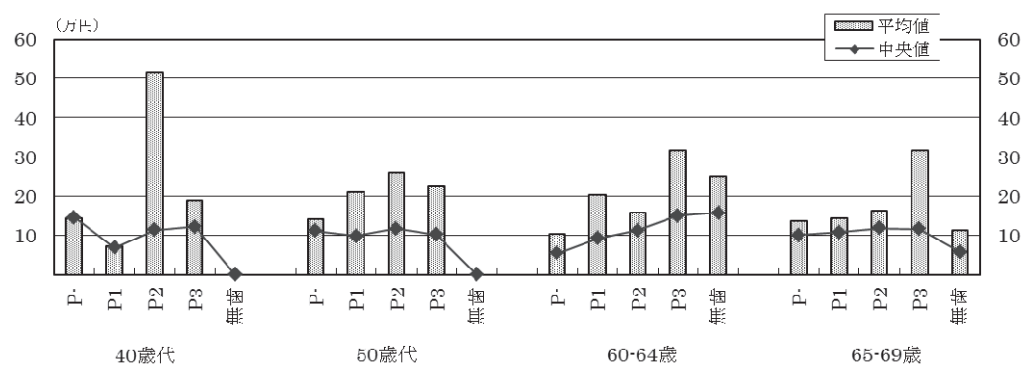
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	1	3	3	5	2	8	5	27
P1	6	29	39	52	77	80	55	338
P2	8	27	94	145	172	159	149	754
P3	4	11	30	43	61	68	75	292
無 歯	0	0	3	5	7	15	27	57
計	19	70	169	250	319	330	311	1,468

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、平均値でも中央値でも、歯周病の程度が重度なほど診療費が高くなっていた。歯周病ありは歯周病なしの1.5倍高かった。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	144930	144930	143610	111030	105640	54780	138590	99900
P1	72860	68460	212330	97560	204170	92400	145680	107940
P2	516730	112940	260980	116970	160140	112380	164370	118140
P3	191030	121310	225570	101670	319110	150740	318000	115470
歯 周 病 あ り (A)	296390	104850	234110	101670	199930	115200	187840	116040
無 歯	0	0	0	0	251040	157560	113810	58050
全 体	288420	101670	230230	115200	199160	116040	185380	120050
比 較 (A)/(P-)	204.5%	72.3%	163.0%	91.6%	189.3%	210.3%	135.5%	116.2%

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	167100	167100	187880	164880	144430	119400	153520	112230
P1	128530	110040	315550	143820	196420	163680	201410	122690
P2	238620	121130	183520	127320	296770	168210	218180	124430
P3	178850	119370	211360	140000	191510	154620	226500	135590
歯 周 病 あ り (A)	199520	120050	224090	132870	248690	164430	215840	125000
無 歯	216000	242520	288760	197700	326560	179160	280400	177420
全 体	199670	120990	226150	137480	253770	165360	217200	127140
比 較 (A)/(P-)	119.4%	71.8%	119.3%	80.6%	172.2%	137.7%	140.6%	111.4%



## 糖尿病 年齢階級別歯科健診受診頻度別

糖尿病の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

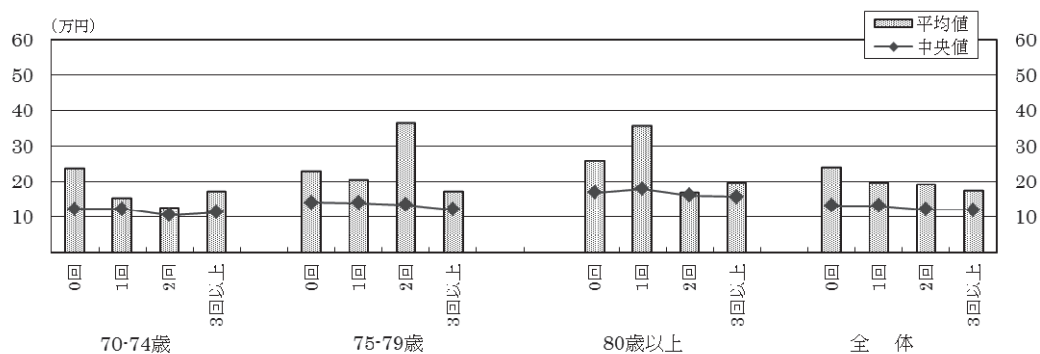
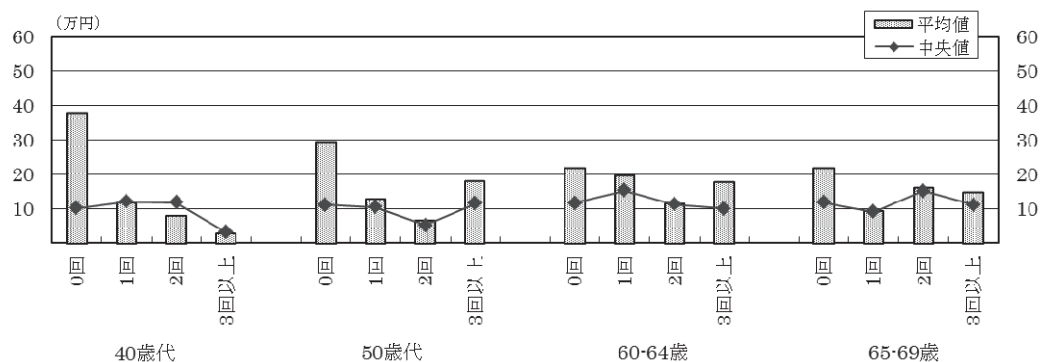
健 診 頻 度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	13	40	96	141	170	176	205	841
1 回	2	12	21	32	50	51	37	205
2 回	3	6	20	25	27	32	23	136
3 回以上	1	12	32	52	72	71	46	286
計	19	70	169	250	319	330	311	1,468

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、平均値でも中央値でも、歯科健診受診頻度が多くなるほど診療費が低くなっていた。健診なしは健診ありの1.3倍高かった。

健 診 頻 度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	381470	101130	297620	110730	222100	116490	221940	118230
1 回	120480	120480	132730	104510	198900	153420	96770	91590
2 回	82760	117300	70520	51300	118860	112380	165830	152310
3 回以上	31680	31680	182960	115820	180710	100640	150170	111780
健 診 有 り (B)	86820	112940	140380	105110	169000	110520	138090	111120
全 体	288420	108570	230230	109830	199160	115200	185380	115700
比 較 (A)/(B)	439%	90%	212%	105%	131%	105%	161%	106%

健 診 頻 度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	236460	121980	228520	141060	256650	168210	240800	131130
1 回	154570	123120	206700	139200	358070	178920	198180	132390
2 回	127730	106260	363950	134040	169910	160170	192630	121200
3 回以上	171110	113970	172150	121770	199020	156990	173140	119360
健 診 有 り (B)	157700	115800	223450	128910	248220	163620	185550	122700
全 体	199670	120990	226150	137480	253770	165360	217200	127140
比 較 (A)/(B)	150%	105%	102%	109%	103%	103%	130%	107%



高血圧性疾患
 年齢階級別残存歯数別

高血圧性疾患の年齢階級別残存歯数別受診者数を下表に示す。

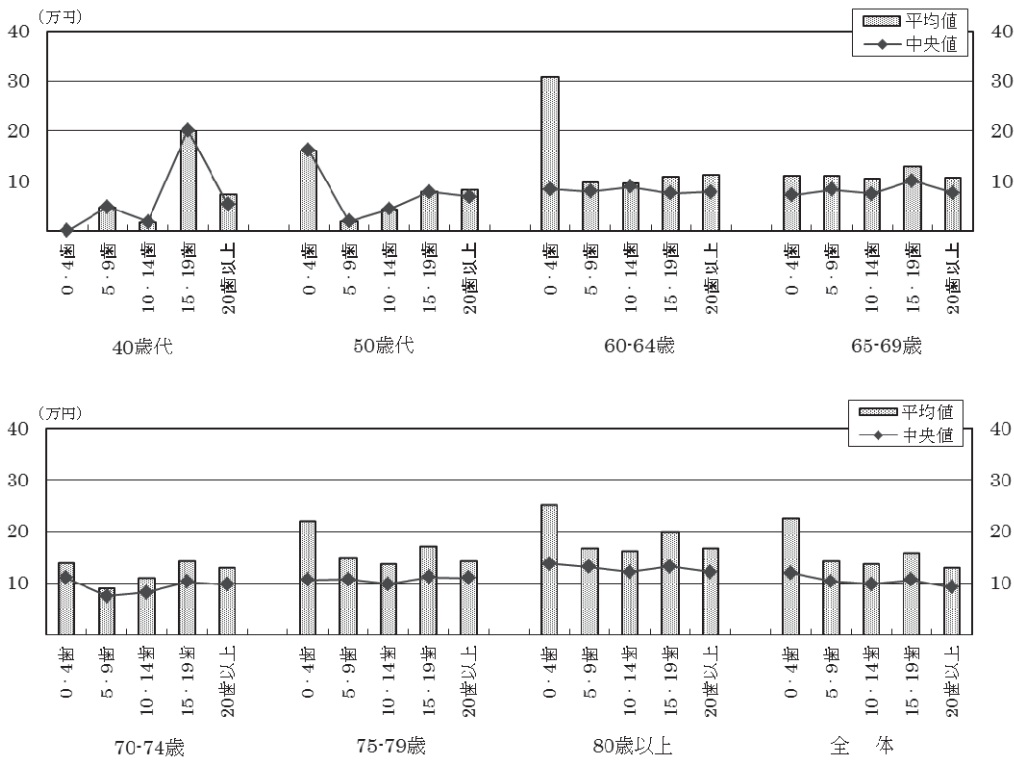
残 存 歯 数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	1	10	27	48	110	247	443
5 - 9 歯	1	2	20	38	60	119	197	437
10 - 14 歯	1	1	29	56	78	143	195	503
15 - 19 歯	1	17	54	84	144	165	159	624
20 歯 以上	15	91	301	456	550	452	368	2,233
計	18	112	414	661	880	989	1,166	4,240

・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者が少ない40歳代を除き、各年齢階級で概ね0-4歯が最も高く、次に15-19歯が高くなっていた。全体でも、0-4歯が高く、15-19歯がやや高いものの、概ね残存歯数が少ないほど診療費が高くなっていた。

残 歯 数 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	0	0	160110	160110	308110	82410	110290	70680
5 - 9 歯	47460	47460	18500	18500	97630	77820	110130	81720
10 - 14 歯	17340	17340	42750	42750	96330	87300	105610	73800
15 - 19 歯	200220	200220	78600	77280	109340	74600	128750	99380
19 歯 以下 (A)	88340	47460	75050	70980	121520	78960	116550	82380
20 歯 以上 (B)	72780	52200	81790	67800	112810	77520	107140	75450
全 体	75380	49830	80530	69090	115190	77660	110060	78990
比 較 (A)/(B)	121.4%	90.9%	91.8%	104.7%	107.7%	101.9%	108.8%	109.2%

残 歯 数 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	138380	109130	218700	106290	252210	137220	223960	119220
5 - 9 歯	90490	74450	149870	107250	166950	131280	142730	103680
10 - 14 歯	110070	81900	137140	97680	162520	120810	136490	97680
15 - 19 歯	141820	102380	170810	111270	199050	131970	157870	105680
19 歯 以下 (A)	124480	93270	167010	106290	198650	131420	163800	106560
20 歯 以上 (B)	129090	96720	142810	109350	168090	121080	129310	91980
全 体	127370	95630	155950	107250	189010	129870	145640	98810
比 較 (A)/(B)	96.4%	96.4%	116.9%	97.2%	118.2%	108.5%	126.7%	115.9%



高血圧性疾患
 年齢階級別歯周病の程度別

高血圧性疾患の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

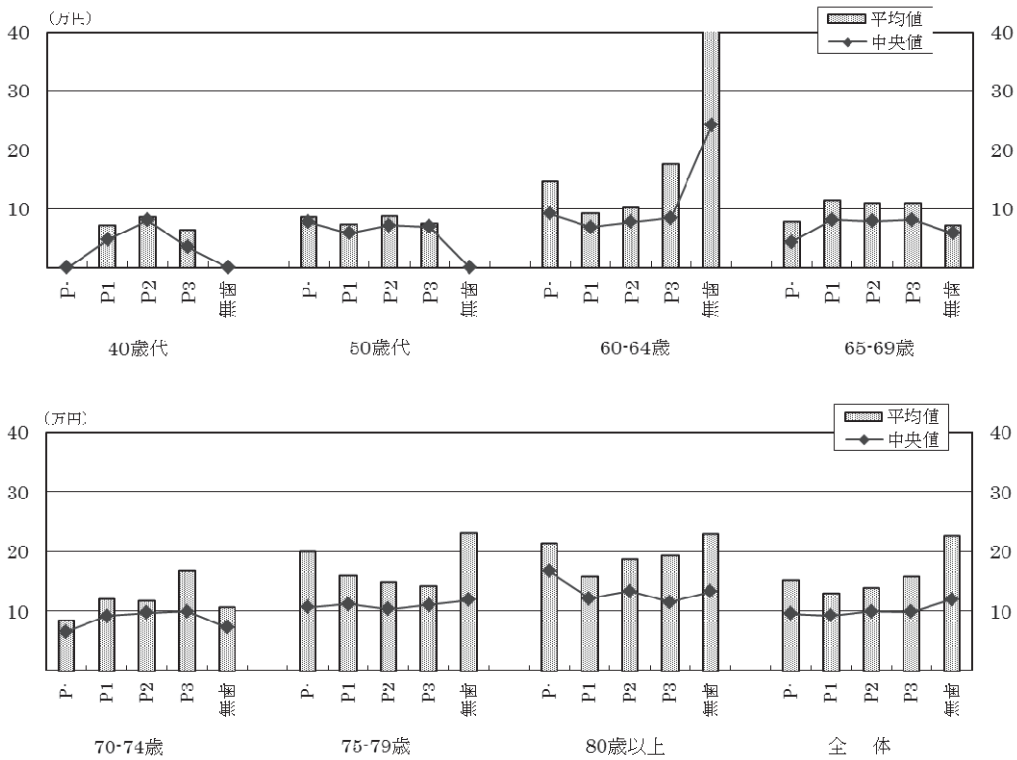
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	3	7	10	15	15	21	71
P1	7	38	133	186	236	204	235	1,039
P2	7	54	210	339	475	544	578	2,207
P3	4	17	61	120	143	180	229	754
無 歯	0	0	3	6	11	46	103	169
計	18	112	414	661	880	989	1,166	4,240

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、P-がやや高くなっていたが、歯周病ありでは、歯周病の程度が重度なほど診療費が高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	0	0	85430	77430	145510	91170	77600	43460
P1	72130	47100	72560	58260	91950	68790	114640	81200
P2	85100	80160	87860	71540	101250	77400	109550	78870
P3	64040	34770	74200	68940	175050	84000	109030	80840
歯 周 病 あ り (A)	75380	49830	80390	68940	109330	77210	110920	80130
無 歯	0	0	0	0	833150	241620	71090	58070
全 体	75380	68940	80530	77210	115190	80130	110060	96570
比 較 (A)/(P-)	-	-	94.1%	89.0%	75.1%	84.7%	142.9%	184.4%

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	86460	64980	201060	106290	214730	166950	153140	95640
P1	121780	91440	161660	111750	160170	121170	131060	92250
P2	119070	97200	149870	103380	189740	133740	141140	99030
P3	169860	99240	144520	110180	195690	114540	159680	98810
歯 周 病 あ り (A)	128320	96570	151420	106610	184380	128990	142020	98000
無 歯	108640	71880	232640	118770	230530	132870	228210	119790
全 体	127370	95630	155950	107250	189010	129870	145640	98810
比 較 (A)/(P-)	148.4%	148.6%	75.3%	100.3%	85.9%	77.3%	92.7%	102.5%





## 高血圧性疾患 年齢階級別歯科健診受診頻度別

高血圧性疾患の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

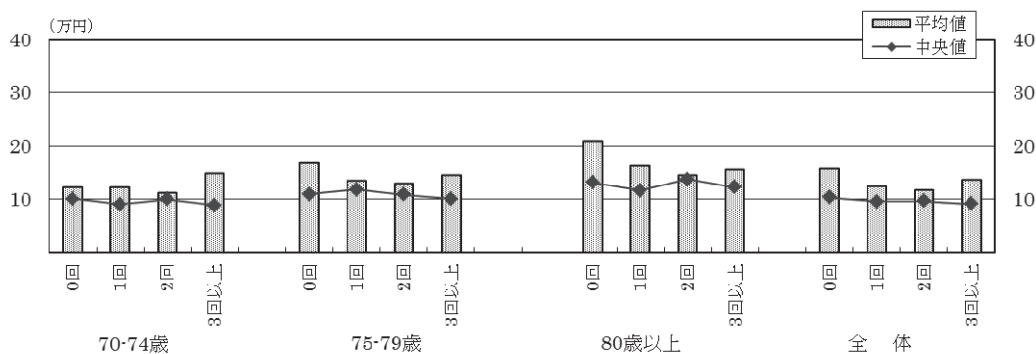
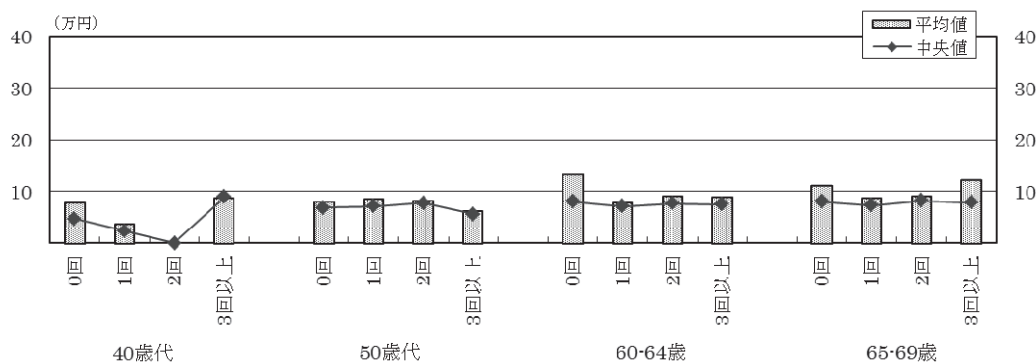
健 診 頻 度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	13	65	236	340	427	560	726	2,367
1 回	3	13	63	100	142	128	156	605
2 回	0	15	37	76	123	89	97	437
3 回 以上	2	19	78	145	188	212	187	831
計	18	112	414	661	880	989	1,166	4,240

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、歯科健診頻度が多くなるほど診療費が低くなり3回以上では高くなる傾向が見られた。健診なしは健診ありの約 1.1 倍高かった。

健 診 頻 度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	81450	47460	82520	68940	135720	80810	113620	80390
1 回	39540	24060	88630	71880	80060	71880	89900	73140
2 回	0	0	84490	77430	93580	77100	93470	82200
3 回以上	89660	89660	65030	56010	91700	75060	124270	78780
健 診 有 り (B)	59590	80160	77770	69240	87970	72690	106270	78870
全 体	75380	49830	80530	69090	115190	77660	110060	78990
比 較 (A)/(B)	137%	59%	106%	100%	154%	111%	107%	102%

健 診 頻 度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	123180	101220	168820	109590	208570	131100	158700	103800
1 回	123770	90380	135800	118190	163860	116550	125330	95610
2 回	113120	100170	129910	108780	145980	137220	117780	96750
3 回以上	148900	88560	145050	100580	156350	122490	137870	91080
健 診 有 り (B)	131310	91080	139150	105810	156730	123000	129130	93210
全 体	127370	95630	155950	107250	189010	129870	145640	98810
比 較 (A)/(B)	94%	111%	121%	104%	133%	107%	123%	111%





動脈硬化症 年齢階級別残存歯数別

動脈硬化症の年齢階級別残存歯数別受診者数を下表に示す。

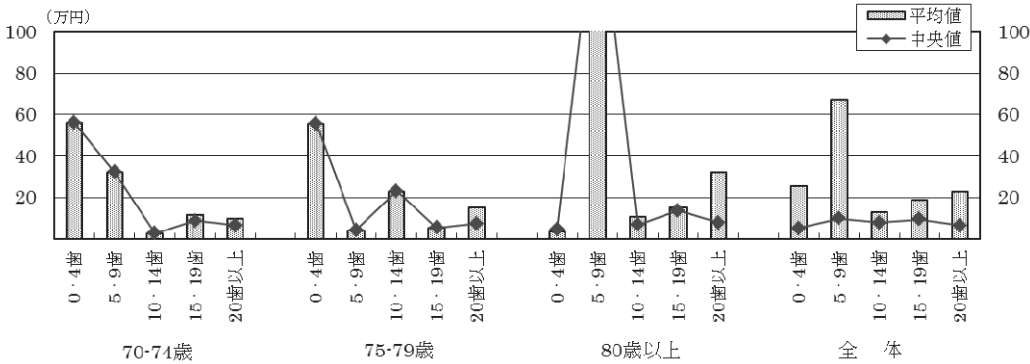
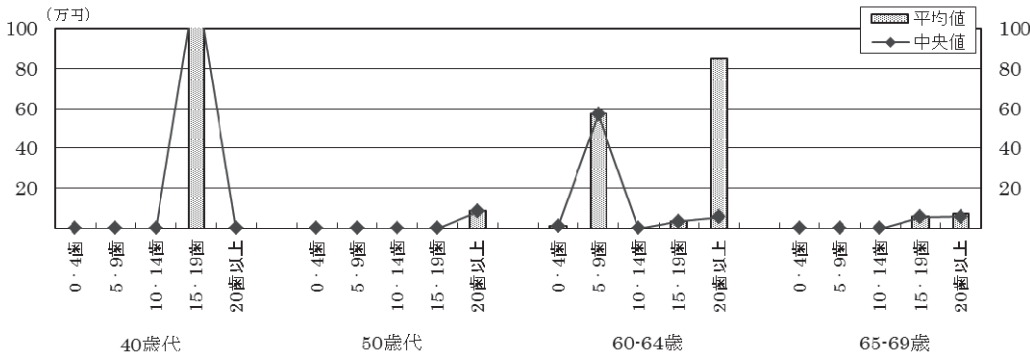
残 存 歯 数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	0	1	0	2	1	3	7
5 - 9 歯	0	0	1	0	2	2	2	7
10 - 14 歯	0	0	0	0	1	2	4	7
15 - 19 歯	1	0	1	1	5	2	4	14
20 歯 以上	0	1	4	7	8	11	8	39
計	1	1	7	8	18	18	21	74

・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者が少なく、残存歯数との関連は不明だった。

残 歯 数 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	0	0	0	0	11340	11340	0	0
5 - 9 歯	0	0	0	0	569820	569820	0	0
10 - 14 歯	0	0	0	0	0	0	0	0
15 - 19 歯	1247670	1247670	0	0	34380	34380	54420	54420
19 歯 以下 (A)	1247670	1247670	0	0	205180	34380	54420	54420
20 歯 以上 (B)	0	0	83670	83670	844970	55820	68360	58020
全 体	1247670	1247670	83670	83670	570770	49410	66620	57810
比 較 (A)/(B)	-	-	-	-	24.3%	61.6%	79.6%	93.8%

残 歯 数 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	559980	559980	558510	558510	36490	46230	257040	51540
5 - 9 歯	322040	322040	44400	44400	1711560	1711560	675120	100110
10 - 14 歯	27630	27630	232040	232040	107150	68960	131470	79770
15 - 19 歯	119810	88770	53880	53880	153260	138360	189740	95060
19 歯 以下 (A)	239070	115800	174160	72090	351870	93150	288620	88770
20 歯 以上 (B)	100830	65430	155390	74070	325240	79710	232310	66210
全 体	177630	87620	162690	73080	341720	79980	258940	73080
比 較 (A)/(B)	237.1%	177.0%	112.1%	97.3%	108.2%	116.9%	124.2%	134.1%



動脈硬化症 年齢階級別歯周病の程度別

動脈硬化症の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

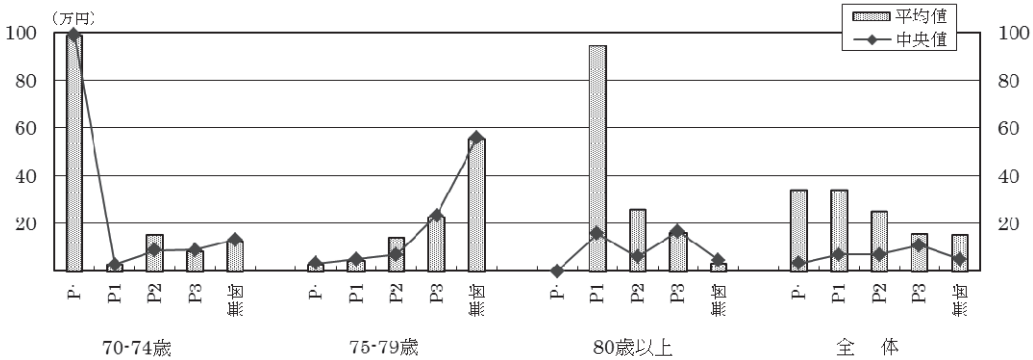
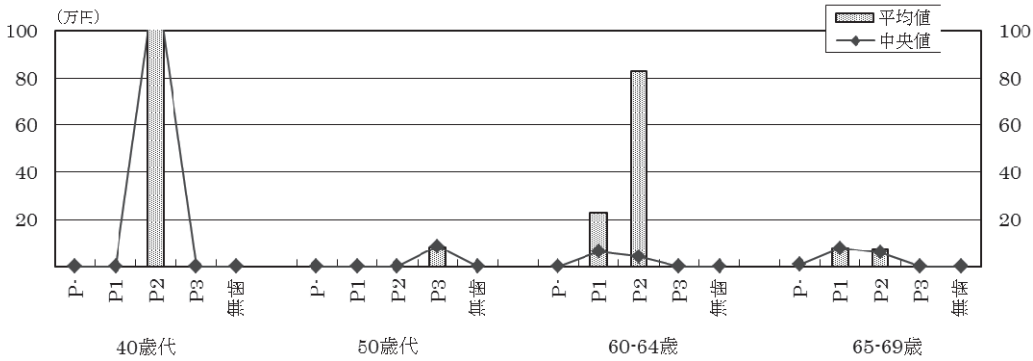
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	0	0	1	1	1	0	3
P1	0	0	3	2	3	2	4	14
P2	1	0	4	5	12	12	10	44
P3	0	1	0	0	1	2	4	8
無 歯	0	0	0	0	1	1	3	5
計	1	1	7	8	18	18	21	74

・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者が少なく、歯周病の程度との関連は不明だった。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	0	0	0	0	0	0	7650	7650
P1	0	0	0	0	227150	62220	77450	77450
P2	1247670	1247670	0	0	828490	40820	74080	58020
P3	0	0	83670	83670	0	0	0	0
歯 周 病 あ り (A)	1247670	1247670	83670	83670	570770	49410	75040	58020
無 歯	0	0	0	0	0	0	0	0
全 体	1247670	83670	83670	49410	570770	58020	66620	78810
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	981.0%	758.4%

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	988470	988470	32820	32820	0	0	342980	32820
P1	33130	27630	50010	50010	946050	157490	344280	70830
P2	157440	87620	147750	69560	262010	60480	254870	69480
P3	88770	88770	232040	232040	165590	166310	162360	108810
歯 周 病 あ り (A)	129840	78810	146070	73080	392600	90390	262630	76760
無 歯	131490	131490	558510	558510	36490	46230	159890	51540
全 体	177630	87620	162690	73080	341720	79980	258940	73080
比 較 (A)/(P-)	13.1%	8.0%	445.1%	222.7%	-	-	76.6%	233.9%



動脈硬化症 年齢階級別歯科健診受診頻度別

動脈硬化症の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

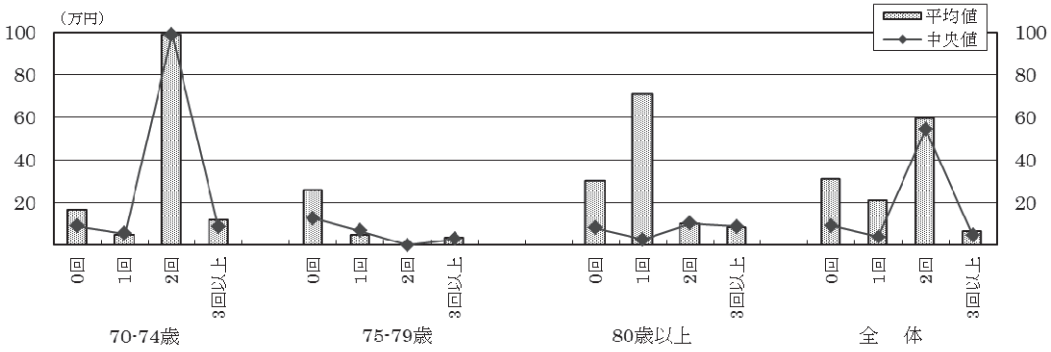
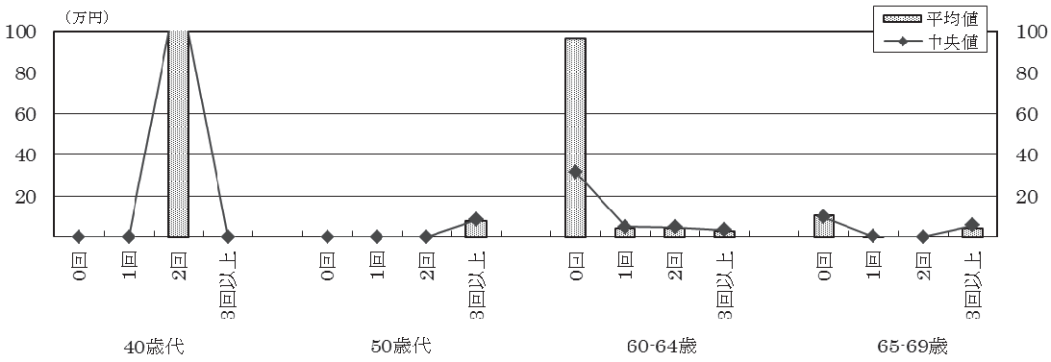
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	0	0	4	3	9	10	16	42
1 回	0	0	1	1	4	3	3	12
2 回	1	0	1	0	1	0	1	4
3 回以上	0	1	1	4	4	5	1	16
計	1	1	7	8	18	18	21	74

・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者が少なく、歯科健診受診頻度との関連は不明だった。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	0	0	0	0	966090	316020	113790	97290
1 回	0	0	0	0	49410	49410	2100	2100
2 回	1247670	1247670	0	0	47250	47250	0	0
3 回以上	0	0	83670	83670	34380	34380	47370	57810
健診有り(B)	1247670	1247670	83670	83670	43680	47250	38320	57600
全 体	1247670	1247670	83670	83670	570770	49410	66620	57810
比較 (A)/(B)	-	-	-	-	2212%	669%	297%	169%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	168290	88710	258600	125610	303560	79710	313410	90930
1 回	52450	54510	51960	67020	710100	26880	212290	38150
2 回	988470	988470	0	0	101340	101340	596180	544910
3 回以上	121130	85040	37300	28680	87630	87630	66630	45990
健診有り(B)	186970	86520	42800	30750	463850	87630	187450	53510
全 体	177630	87620	162690	73080	341720	79980	258940	73080
比較 (A)/(B)	90%	103%	604%	408%	65%	91%	167%	170%



肺炎 年齢階級別残存歯数別

肺炎の年齢階級別残存歯数別受診者数を下表に示す。

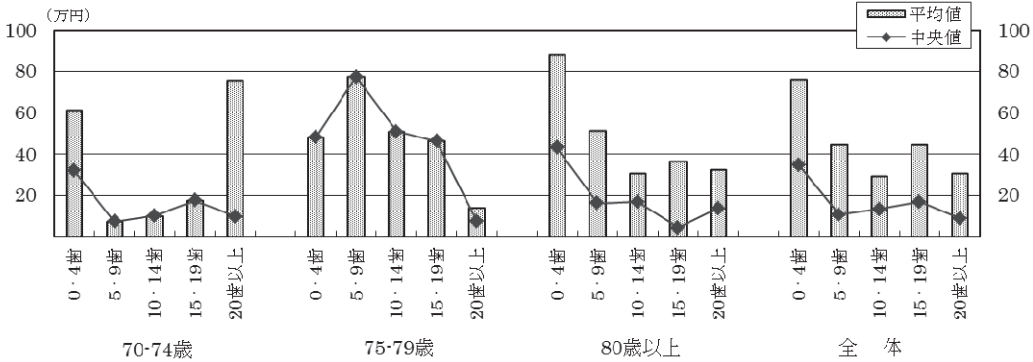
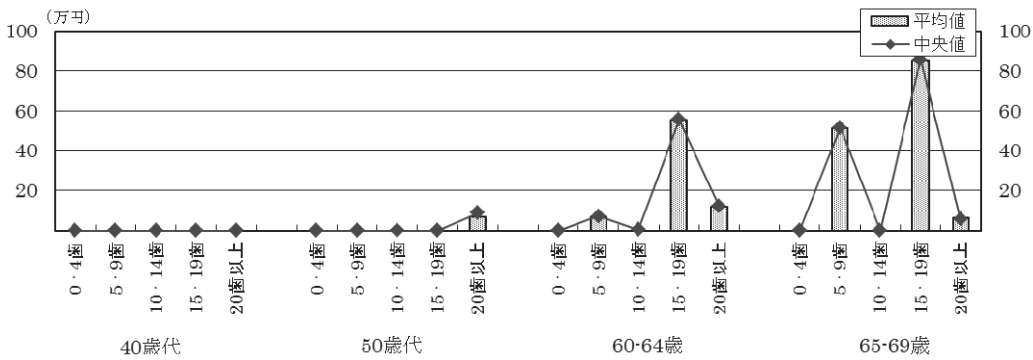
残存歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0・4 歯	0	0	0	0	3	2	8	13
5・9 歯	0	0	1	2	2	2	5	12
10-14 歯	0	0	1	0	1	2	4	8
15-19 歯	0	0	1	2	2	2	5	12
20 歯以上	0	3	2	9	10	8	13	45
計	0	3	5	13	18	16	35	90

・診療費（一人あたり1年間、円）

今年から、肺炎についても分析を行ったが、該当者が少なく、年齢階級別ではばらつきがあったものの、全体では 10-14 歯を除いて、残存歯数が多くなるほど、診療費は低くなっていた。また、19 歯以下は 20 歯以上の約 1.7 倍高かった。

残 歯 数 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	0	0	0	0	0	0	0	0
5 - 9 歯	0	0	0	0	70980	70980	515280	515280
10 - 14 歯	0	0	0	0	4140	4140	0	0
15 - 19 歯	0	0	0	0	555000	555000	856620	856620
19 歯以下 (A)	0	0	0	0	210040	70980	685950	515280
20 歯以上 (B)	0	0	71780	87960	119430	119430	63520	55410
全 体	0	0	71780	87960	173800	81750	255040	57600
比 較 (A)/(B)	-	-	-	-	175.9%	59.4%	1079.8%	929.9%

残 歯 数 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	611430	318600	482240	482240	879590	430650	756570	347820
5 - 9 歯	73250	73250	773090	773090	512990	162540	446600	106460
10 - 14 歯	101340	101340	509390	509390	304550	168110	292800	133190
15 - 19 歯	175970	175970	462680	462680	362690	42600	446580	169770
19 歯以下 (A)	304260	136100	556850	482240	574240	149990	508800	165030
20 歯以上 (B)	752170	97460	141100	73010	322740	136380	308270	87090
全 体	553100	128750	348970	121590	480830	137430	408530	114120
比 較 (A)/(B)	40.5%	139.6%	394.6%	660.6%	177.9%	110.0%	165.1%	189.5%



## 肺炎 年齢階級別歯周病の程度別

肺炎の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

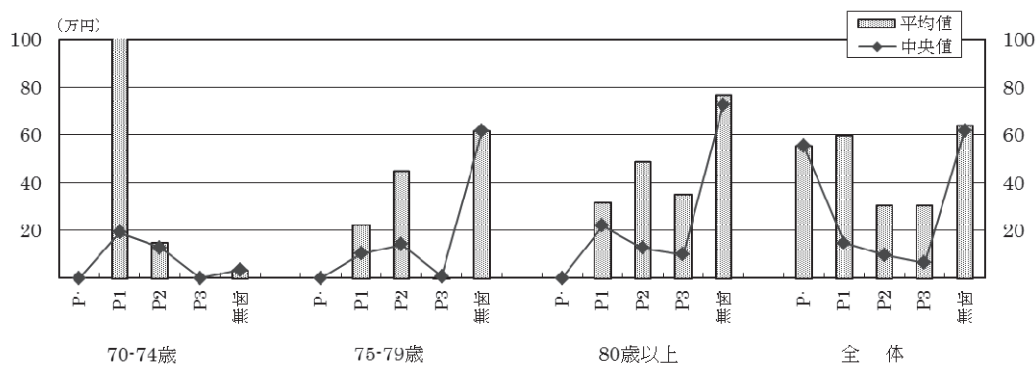
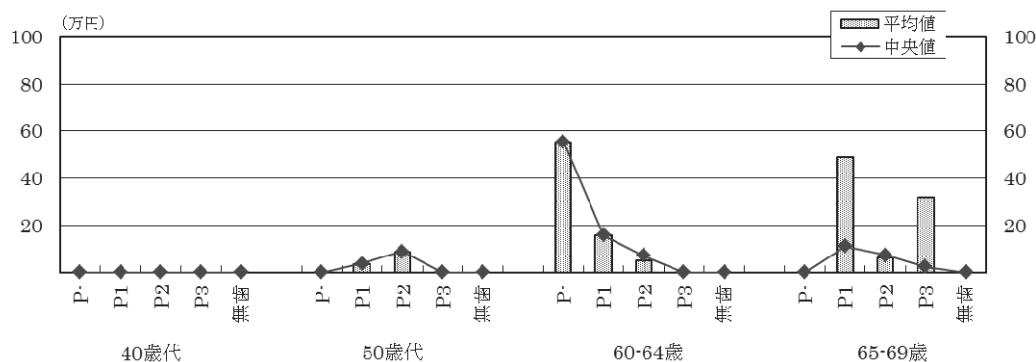
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	0	1	0	0	0	0	1
P1	0	1	1	4	5	6	5	22
P2	0	2	3	6	12	8	19	50
P3	0	0	0	3	0	1	6	10
無 歯	0	0	0	0	1	1	5	7
計	0	3	5	13	18	16	35	90

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

P-の該当者が全体でも1名であり、該当者が少なく、歯周病の程度との関連は不明だった。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	0	0	0	0	555000	555000	0	0
P1	0	0	37320	37320	157110	157110	489920	111030
P2	0	0	89010	89010	52290	70980	65210	72350
P3	0	0	0	0	0	0	321510	22650
歯 周 病 あり (A)	0	0	71780	87960	78500	76370	255040	57600
無 歯	0	0	0	0	0	0	0	0
全 体	0	87960	71780	76370	173800	57600	255040	156150
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	14.1%	13.8%	-	-

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	0	0	0	0	0	0	555000	555000
P1	1622090	191310	224150	102990	317080	219960	599760	146750
P2	150790	128750	451710	142470	488870	125730	308760	96840
P3	0	0	8400	8400	352820	99630	308990	63470
歯 周 病 あり (A)	583530	156150	331130	116250	433030	131060	386860	101880
無 歯	35820	35820	616650	616650	767620	723870	641510	616650
全 体	553100	128750	348970	121590	480830	137430	408530	114120
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	69.7%	18.4%



肺炎 年齢階級別歯科健診受診頻度別

肺炎の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

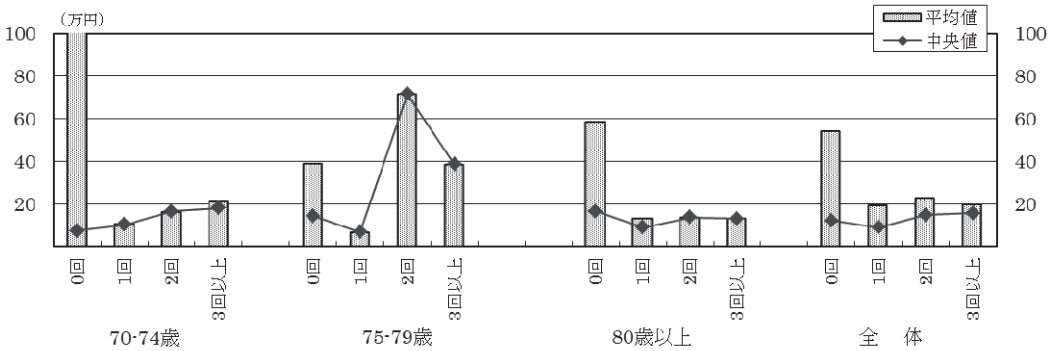
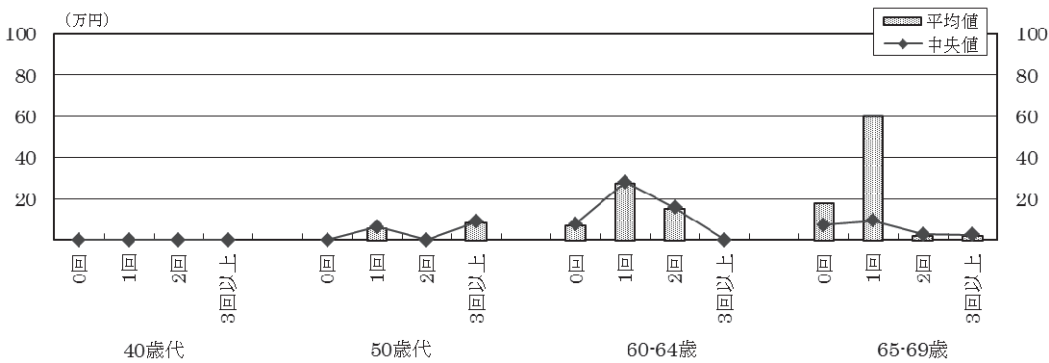
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	0	0	2	8	8	10	27	55
1 回	0	2	2	3	5	3	5	20
2 回	0	0	1	1	2	1	1	6
3 回以上	0	1	0	1	3	2	2	9
計	0	3	5	13	18	16	35	90

・診療費（一人あたり1年間、円）

全体では、健診なしが最も高く、健診ありは低く、健診回数による差はあまり認められなかった。  
健診なしは健診ありの約 2.7 倍高かった。

健 診 頻 度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	0	0	0	0	76370	76370	182010	72350
1 回	0	0	63690	63690	279570	279570	601860	92340
2 回	0	0	0	0	157110	157110	28050	28050
3 回以上	0	0	87960	87960	0	0	25800	25800
健 診 有 り (B)	0	0	71780	87960	238750	157110	371890	28050
全 体	0	0	71780	87960	173800	81750	255040	57600
比 較 (A)/(B)	-	-	-	-	32%	49%	49%	258%

健 診 頻 度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	1059010	73250	389750	142470	584390	165030	541030	122190
1 回	104270	101340	67430	66960	131000	88560	193540	89310
2 回	164270	164270	715680	715680	136380	136380	227630	146750
3 回以上	211270	181080	384030	384030	129530	129530	197190	156150
健 診 有 り (B)	148370	163500	281000	96950	131310	95490	200320	92340
全 体	553100	128750	348970	121590	480830	137430	408530	114120
比 較 (A)/(B)	714%	45%	139%	147%	445%	173%	270%	132%



## 歯の疾患 年齢階級別残存歯数別

歯の疾患の年齢階級別残存歯数別受診者数を下表に示す。

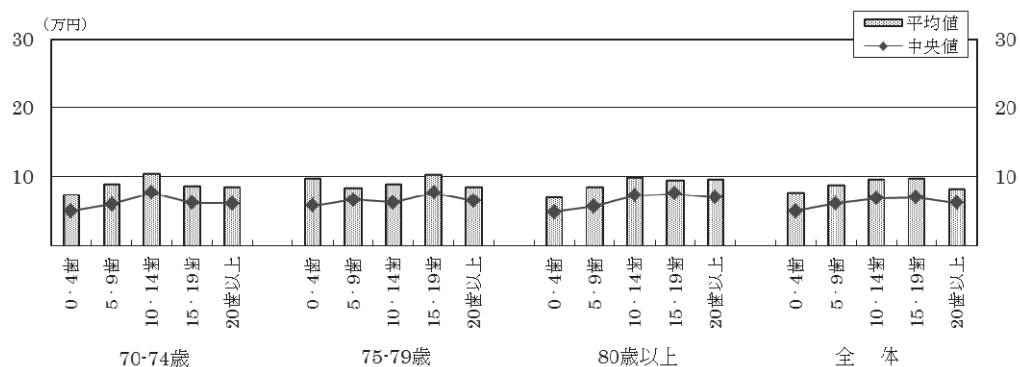
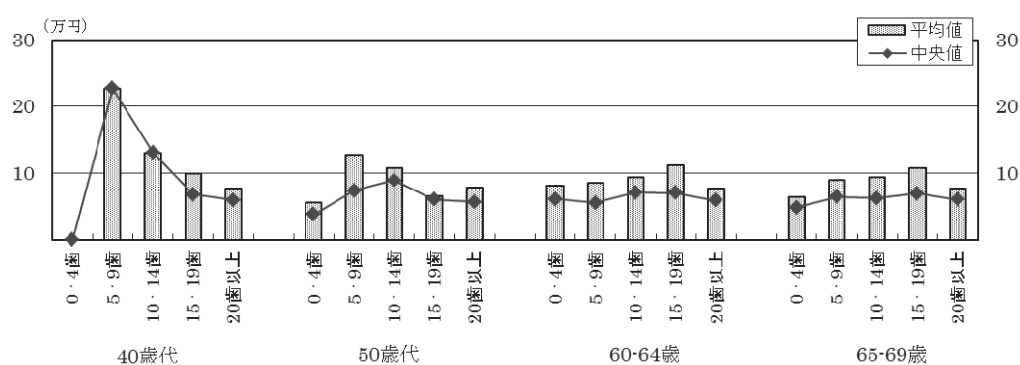
残 存 歯 数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	8	28	55	93	184	362	730
5 - 9 歯	1	23	58	111	165	254	353	965
10 - 14 歯	2	17	96	161	217	345	404	1,242
15 - 19 歯	17	63	195	247	384	418	362	1,686
20 歯以上	295	582	1,045	1,259	1,398	1,070	727	6,376
計	315	693	1,422	1,833	2,257	2,271	2,208	10,999

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

各年齢階級とも、概ね5-19歯の診療費が高く、0-4歯と20歯以上は低くなっていた。全体でも、同様に5-19歯が高く、0-4歯と20歯以上は低くなっていた。

残 歯 数 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	0	0	55590	37790	81370	60710	64620	48420
5 - 9 歯	226530	226530	127800	73020	85150	55410	90370	64020
10 - 14 歯	131040	131040	107400	88650	94190	70340	94370	62100
15 - 19 歯	99830	67830	66340	60210	111790	69480	107600	68910
19 歯以下 (A)	109290	71030	84590	62760	100950	67110	96440	64260
20 歯以上 (B)	77230	59100	77940	56780	77280	58920	77020	60270
全 体	79260	59820	79000	57720	83560	60500	83100	61620
比 較 (A)/(B)	141.5%	120.2%	108.5%	110.5%	130.6%	113.9%	125.2%	106.6%

残 歯 数 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	74270	50640	97360	57660	70210	49140	77420	50820
5 - 9 歯	89870	60150	83560	66860	85830	57270	87550	61320
10 - 14 歯	104350	76650	89380	62850	98020	72710	96140	68700
15 - 19 歯	86940	61980	102740	76680	94570	75390	97760	69750
19 歯以下 (A)	90530	63330	94020	66870	87470	62490	91980	64860
20 歯以上 (B)	85540	61310	85590	64880	96510	70380	82680	61820
全 体	87440	62010	90050	66120	90450	65960	86590	62760
比 較 (A)/(B)	105.8%	103.3%	109.8%	103.1%	90.6%	88.8%	111.2%	104.9%





## 歯の疾患 年齢階級別歯周病の程度別

歯の疾患の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

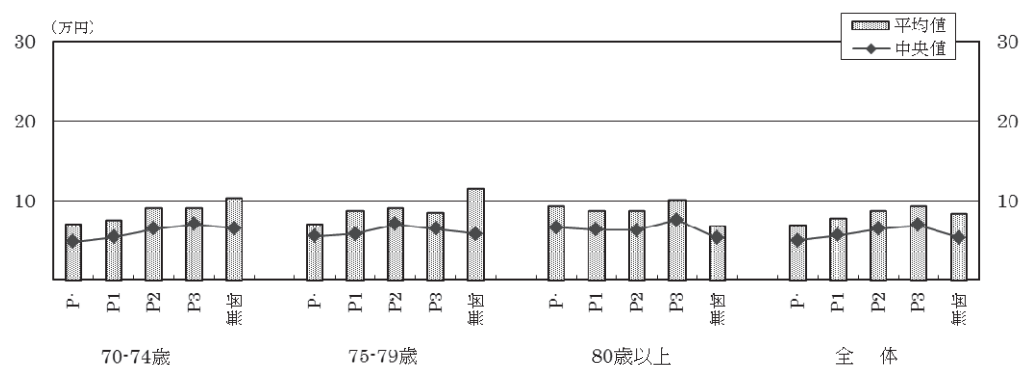
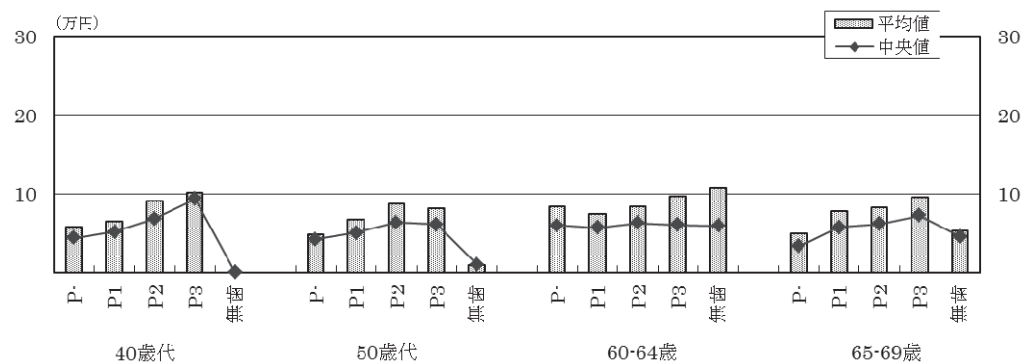
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	8	15	25	31	29	29	32	169
P1	149	238	451	517	608	496	439	2,898
P2	125	347	707	943	1,207	1,231	1,122	5,682
P3	33	92	233	331	390	455	475	2,009
無 歯	0	1	6	11	23	60	140	241
計	315	693	1,422	1,833	2,257	2,271	2,208	10,999

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

80 歳以上を除き、概ね歯周病が重度なほど診療費が高くなっていた。全体でも、同様の傾向が認められ、歯周病ありは歯周病なしの約 1.2 倍高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	57810	43940	48900	42180	84830	59520	49690	33030
P1	65620	51510	68000	49980	74550	56910	77930	57540
P2	90880	67830	87260	63150	84470	62790	82610	61620
P3	102100	93420	81970	60890	97450	60420	96660	72330
歯 周 病 あ り (A)	79820	60270	79770	58590	83430	60540	83860	61860
無 歯	0	0	9840	9840	108100	59130	53720	45270
全 体	79260	58590	79000	60540	83560	61860	83100	62130
比 較 (A)/(P-)	138.1%	137.2%	163.1%	138.9%	98.4%	101.7%	168.8%	187.3%

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	71900	48480	71630	55290	93690	66210	71110	50190
P1	76530	54330	87720	58550	88250	63240	78900	56630
P2	91510	64650	91590	70560	88750	62930	88360	64800
P3	91980	70310	86190	64380	102530	75900	94280	69120
歯 周 病 あ り (A)	87470	62130	89580	66510	91860	66810	86890	63000
無 歯	104330	65280	115820	58190	69230	52800	84190	53760
全 体	87440	62010	90050	66120	90450	65960	86590	62760
比 較 (A)/(P-)	121.6%	128.2%	125.1%	120.3%	98.0%	100.9%	122.2%	125.5%



## 歯の疾患 年齢階級別歯科健診受診頻度別

歯の疾患の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

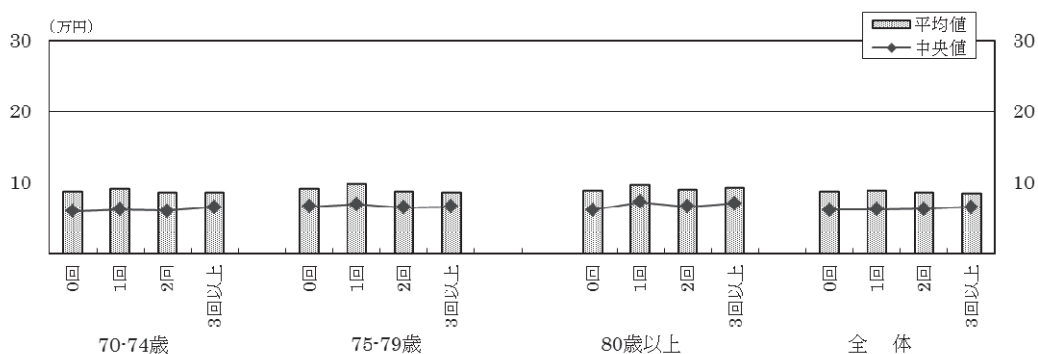
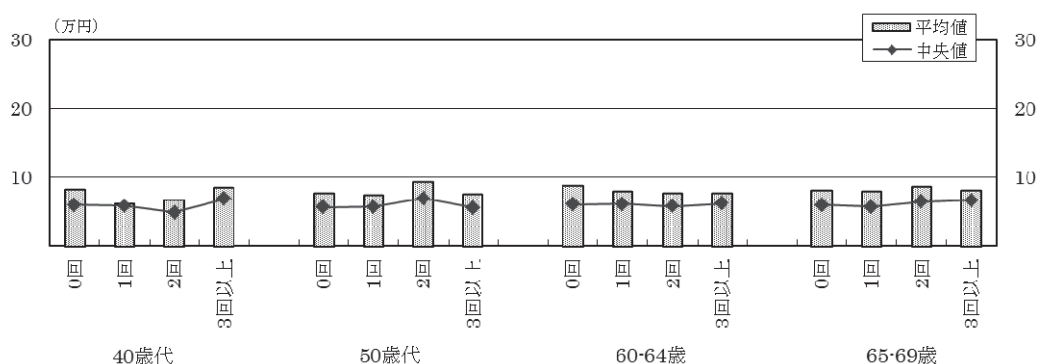
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	180	333	625	811	931	1,086	1,242	5,208
1 回	42	121	242	296	354	330	293	1,678
2 回	39	78	175	237	303	259	189	1,280
3 回以上	54	161	379	489	668	596	484	2,831
計	315	693	1,421	1,833	2,256	2,271	2,208	10,997

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

歯科健診受診頻度による診療費の大きな差は認められなかった。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	82990	59810	77640	56550	89170	60450	82810	59970
1 回	63420	58370	75560	57000	81620	61220	81320	57170
2 回	68410	49050	95060	69200	77870	57570	88200	64110
3 回以上	87000	68310	76640	55920	78030	61470	82180	66240
健診有り(B)	74290	60270	80270	58860	79090	60530	83330	62930
全 体	79260	59820	79000	57720	83560	60500	83100	61620
比較 (A)/(B)	112%	99%	97%	96%	113%	100%	99%	95%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	87280	59460	90890	65930	88220	61590	87020	61380
1 回	91170	62190	97600	68850	96350	72270	88400	62270
2 回	86370	60150	87520	64740	90100	66030	86310	62670
3 回以上	86240	65130	85430	66120	92740	70260	84850	65520
健診有り(B)	87580	62880	89270	66540	93320	70130	86200	63870
全 体	87440	62010	90050	66120	90450	65960	86590	62760
比較 (A)/(B)	100%	95%	102%	99%	95%	88%	101%	96%



#### (4) 生活習慣病に関する分析

##### 生活習慣病 年齢階級別残存歯数別

生活習慣病の年齢階級別残存歯数別受診者数を下表に示す。

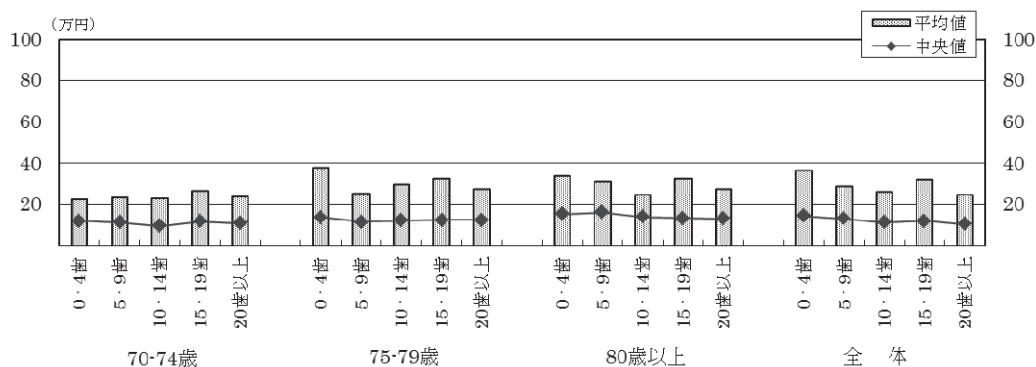
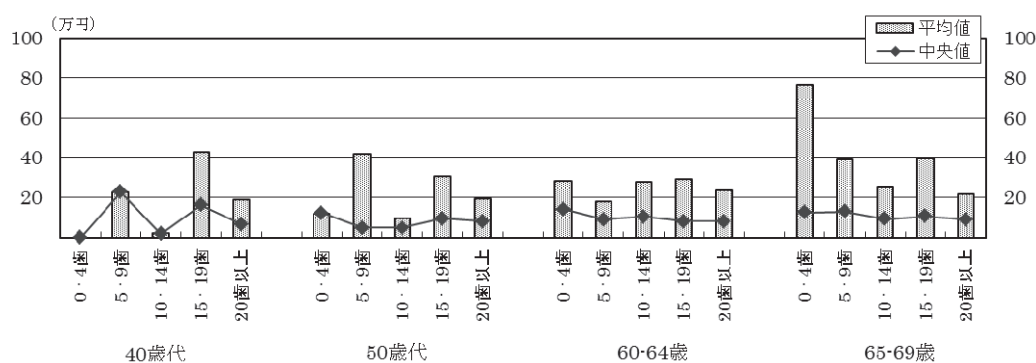
残 存 歯 数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	2	24	58	95	194	424	797
5 - 9 歯	2	7	34	85	122	203	324	777
10 - 14 歯	3	5	54	98	139	258	336	893
15 - 19 歯	4	28	100	162	252	291	275	1,112
20 歯 以上	47	184	536	747	944	797	614	3,869
計	56	226	748	1,150	1,552	1,743	1,973	7,448

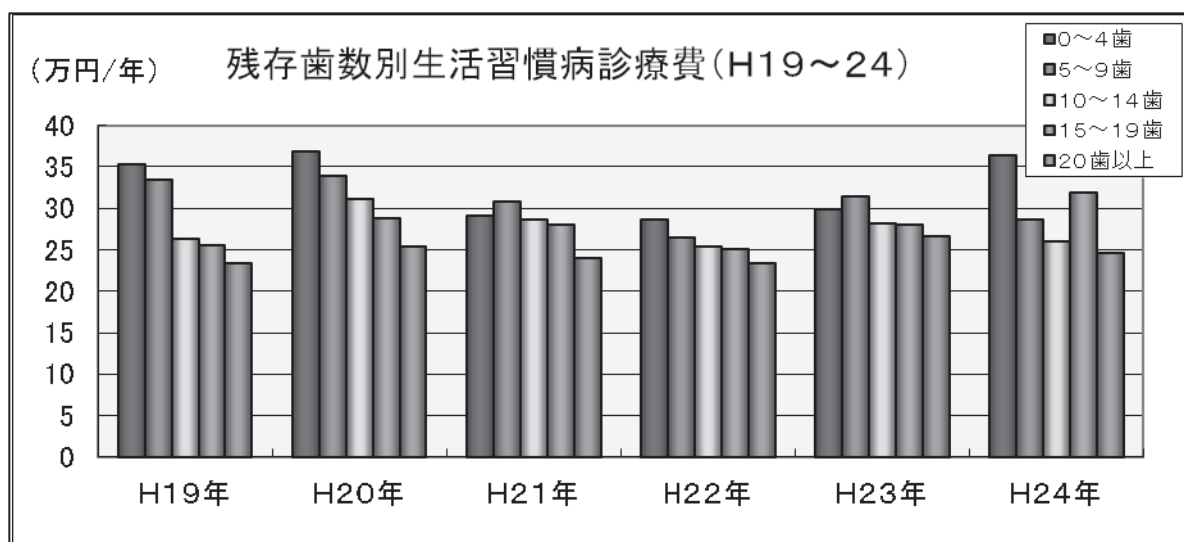
##### ・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では 15-19 歯の平均値が高いが、概ね残存歯数が少ないほど診療費が高くなっていた。0-4 歯は 20 歯以上の 1.5 倍高かった。

残 存 歯 数 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	0	0	121790	121790	284250	142730	767350	125330
5 - 9 歯	229020	229020	419950	48990	183670	89780	392070	129630
10 - 14 歯	23140	17340	97710	49080	279060	103410	257750	93600
15 - 19 歯	431540	162200	308720	95910	296630	81420	399440	106410
19 歯 以下 (A)	250400	101130	293240	86520	272640	91350	416380	107640
20 歯 以上 (B)	193640	66600	198380	79880	238370	81240	222060	90900
全 体	202760	69570	216010	82580	248080	83780	290160	96780
比 較 (A)/(B)	129.3%	151.8%	147.8%	108.3%	114.4%	112.4%	187.5%	118.4%

残 存 歯 数 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	223500	119370	380100	137720	337540	152180	363440	144180
5 - 9 歯	233620	111870	252700	115410	309080	162900	286890	130590
10 - 14 歯	230920	93900	295210	120810	246120	138560	259620	113670
15 - 19 歯	264560	117330	324370	123510	323070	133950	318930	118370
19 歯 以下 (A)	244250	113370	312470	122450	305230	147180	307090	125520
20 歯 以上 (B)	238260	107150	273670	124200	276720	131730	246110	104400
全 体	240610	109530	294720	123420	296360	140460	275410	113730
比 較 (A)/(B)	102.5%	105.8%	114.2%	98.6%	110.3%	111.7%	124.8%	120.2%





## 生活習慣病 年齢階級別歯周病の程度別

生活習慣病の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

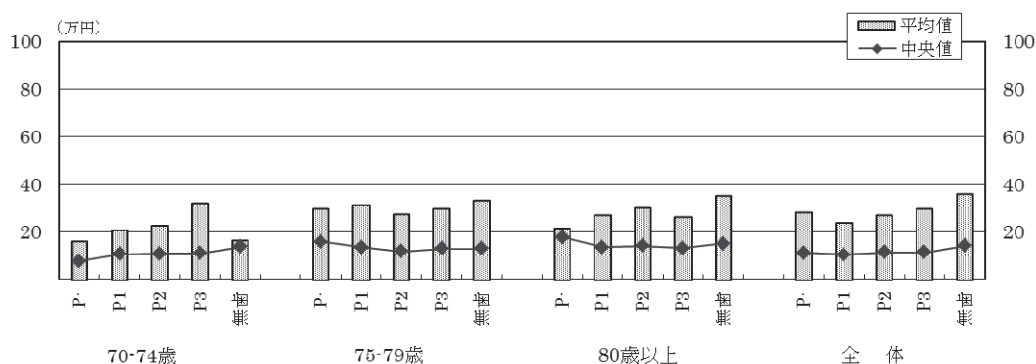
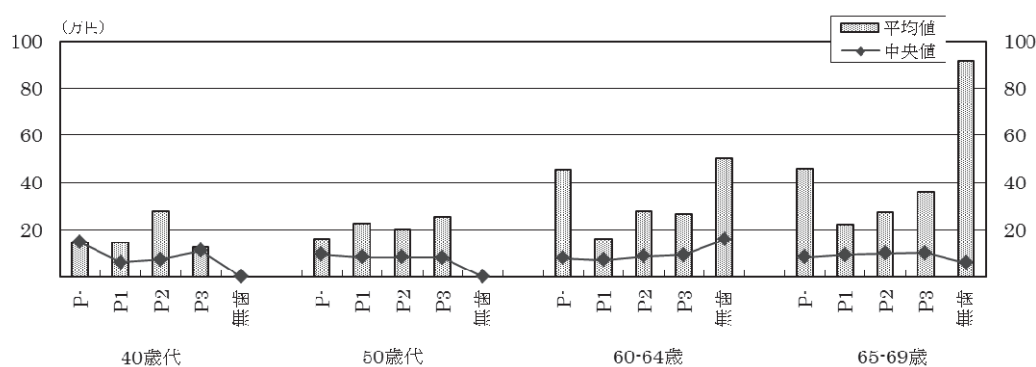
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	1	8	13	22	23	27	35	129
P1	23	82	230	301	399	387	376	1,798
P2	24	105	380	607	840	932	968	3,856
P3	8	31	116	205	262	313	409	1,344
無 歯	0	0	9	15	28	84	185	321
計	56	226	748	1,150	1,552	1,743	1,973	7,448

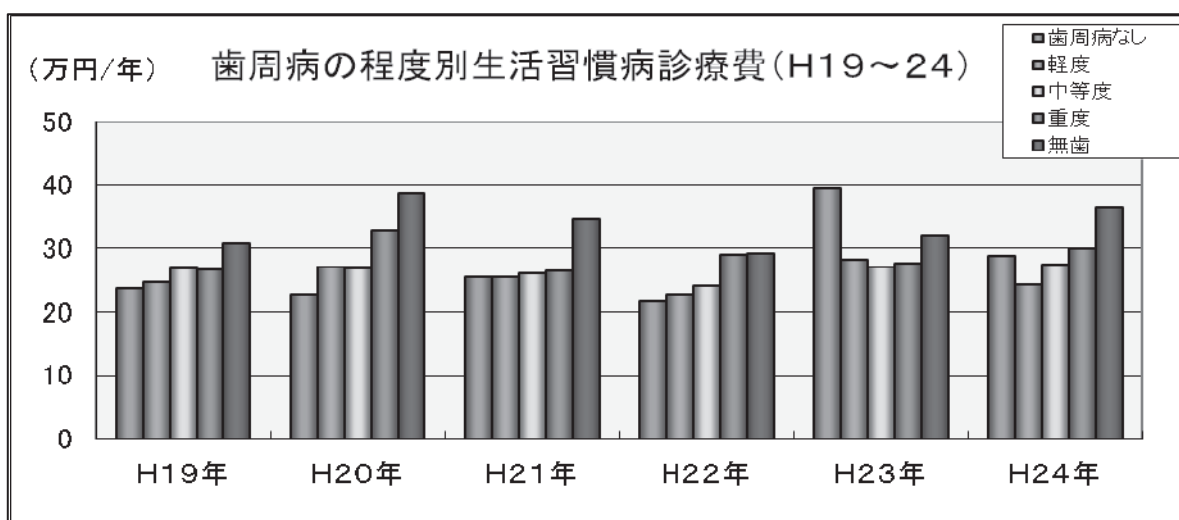
## ・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、P-がやや高くなっているが、歯周病ありの中では、歯周病が重度なほど診療費が高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	144930	144930	162550	94230	453330	77940	460440	82740
P1	147780	60120	226390	83340	163970	70280	223170	91980
P2	282940	73100	201370	82110	279790	87050	278090	98640
P3	127530	109790	251960	80160	267900	92130	360150	99450
歯 周 病 あ り (A)	203810	66600	217970	82580	241200	83570	278350	97530
無 歯	0	0	0	0	506600	157560	916420	58530
全 体	202760	82580	216010	83570	248080	97530	290160	109140
比 較 (A)/(P-)	140.6%	46.0%	134.1%	87.6%	53.2%	107.2%	60.5%	117.9%

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	165140	78540	300890	159240	221340	179550	287890	113460
P1	212040	106680	316390	136050	275680	135150	243360	105680
P2	231940	109310	279670	117810	307220	141890	273840	114510
P3	326170	111530	301320	130350	268840	131730	300200	113880
歯 周 病 あ り (A)	243100	109140	292530	123230	291500	138660	271070	112590
無 歯	169030	138450	335310	130790	356530	151080	365000	142530
全 体	240610	109530	294720	123420	296360	140460	275410	113730
比 較 (A)/(P-)	147.2%	139.0%	97.2%	77.4%	131.7%	77.2%	94.2%	99.2%





## 生活習慣病 年齢階級別歯科健診受診頻度別

生活習慣病の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

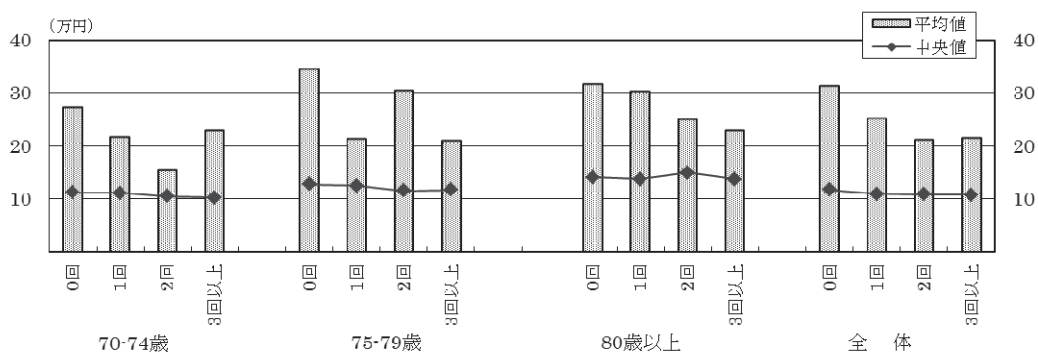
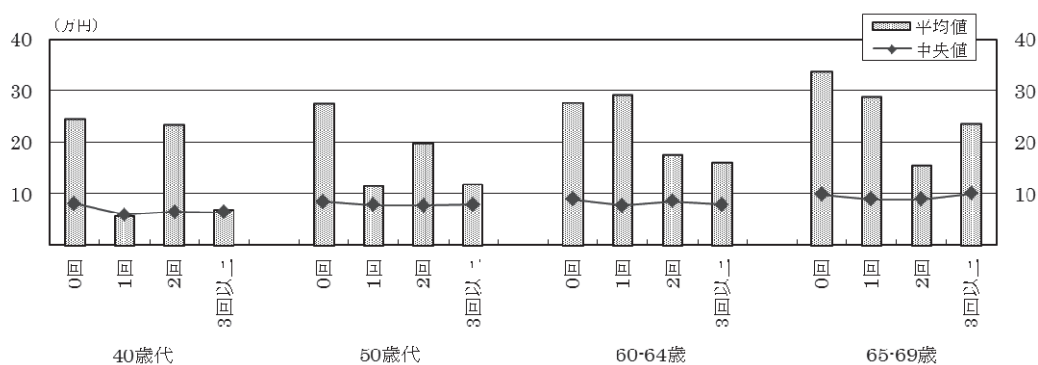
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	36	126	428	616	774	990	1,262	4,232
1 回	9	34	103	163	248	230	267	1,054
2 回	7	27	71	125	182	155	142	709
3 回以上	4	39	146	246	348	368	302	1,453
計	56	226	748	1,150	1,552	1,743	1,973	7,448

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

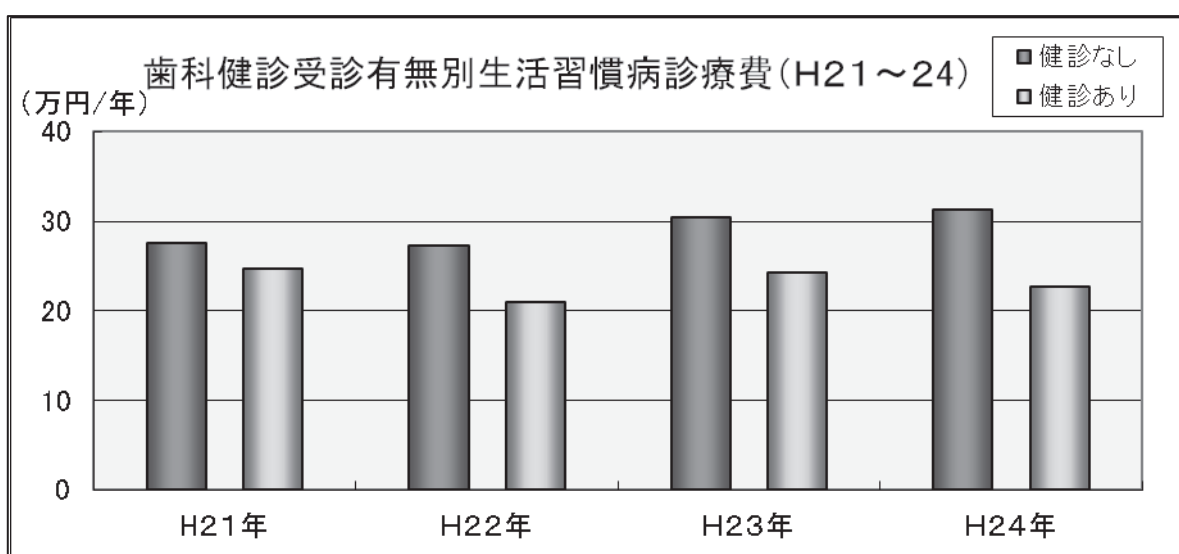
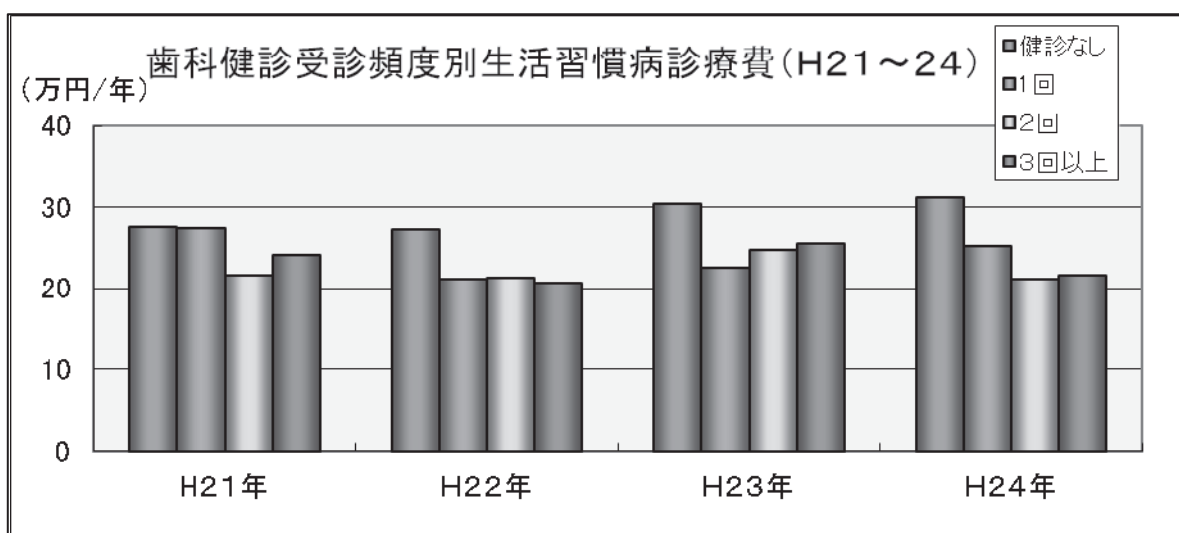
各年齢階級とも、健診なしが健診ありより高くなり、全体では、健診なしが最も高く、歯科健診受診頻度が多くなるほど低くなり3回以上ではやや高くなっていた。健診なしは健診ありの約1.4倍高かった。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	246520	81260	275510	85220	278060	89280	338370	98720
1回	60090	60120	117260	78720	293590	77970	290510	89280
2回	235650	65100	200700	77430	177900	86190	156400	89580
3回以上	72440	64280	120500	79260	162200	79340	237170	100340
健診有り(B)	124010	62610	141050	78350	207970	79340	234540	94580
全 体	202760	69570	216010	82580	248080	83780	290160	96780
比較(A)/(B)	199%	130%	195%	109%	134%	113%	144%	104%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	273320	112200	343540	127730	316700	141030	312470	117860
1回	216590	111740	213780	125390	301860	137820	251990	109620
2回	154710	105620	303420	115740	249510	150030	211380	108780
3回以上	229880	102750	210320	117380	228500	137480	215700	107640
健診有り(B)	208060	105620	230540	119700	260240	140070	226640	108450
全 体	240610	109530	294720	123420	296360	140460	275410	113730
比較(A)/(B)	131%	106%	149%	107%	122%	101%	138%	109%







## まとめ・考察（Ⅰ）

### A 平成 24 年 5 月歯科受診者の状況

#### 残存歯数の状況

- ・平成 24 年 5 月に香川県下の歯科医院を受診した調査対象者の残存歯数の状況をみると、80 歳以上の平均残存歯数は 13.4 本で、20 歯以上の歯を有する 8020 達成者の割合は 30.3%であった。これは、過去最高だった昨年の調査より、残存歯数では 1.0 本少なく、8020 達成者の割合で 0.8%低くなった。しかし 50 歳以上から 74 歳までの各年齢階級において平均残存歯数は、昨年より増加し、また 50 歳以上から 79 歳までの各年齢階級において 20 歯以上の割合も、昨年より増加して最高となっており、全体的には、残存歯数の増加傾向に変わりはない。

#### 歯周病の状況

- ・有歯者のうち歯周病がある者（P1～P3）は、40 歳代で 97.2%、50 歳代では 96.8%、80 歳以上では 97.9%、その他の年齢階級では 98%以上といずれも高率になっていた。

#### 歯科健診受診頻度の状況

- ・歯科健診を受診する人の割合は、60-74 歳の年齢階級が約 46～50%と高く、ここから高齢層、若年層になるにつれて減少していた。今回は、70-74 歳で 50.2%と初めて 50%を超え、40 歳代以外の年齢階級でも歯科健診受診者は着実に増加している。また、2 回、3 回以上の割合も昨年より増加しており、定期的歯科健診の重要性が周知されてきたことによるものと考えられる。しかし、40 歳代の歯科健診受診者の伸びは見られず、この年代が、現役世代で時間的余裕がないことや、残存歯数も多く食事など日常生活に不便を感じる事が少なく、歯の健康の大切さの認識があまりないためと思われる。

### B 平成 24 年 5 月に歯科を受診し、平成 23 年 5, 8, 11, 平成 24 年 2 月に受診した者の状況

#### 残存歯数と診療日数・診療費の関係

- ・残存歯数と診療日数・診療費との関係では、医科・調剤では、15-19 歯の診療費の平均値がやや高くなっていたが、概ね残存歯数が少ないほど、診療日数・診療費は増加していた。この傾向はこれまでの調査と同じである。
- ・歯科の診療日数・診療費は、10-19 歯で多く、0-4 歯と 20 歯以上では少なくなっていた。これは、中程度の欠損歯数が治療において多くの補綴装置を必要とするためと考えられる。

#### 歯周病の程度と診療日数・診療費の関係

- ・歯周病の程度と診療日数・診療費との関係では、医科・調剤では、P-が平均値、中央値とも高くなっていたが、歯周病ありの中では、概ね歯周病の程度が重度なほど、診療日数・診療費は増加していた。
- ・歯科では、平均値、中央値とも P-が最も低く、歯周病の程度が重度なほど、診療日数・診療費は増加していた。

#### 歯科健診受診頻度と診療日数・診療費の関係

- ・歯科健診受診頻度と診療日数・診療費との関係では、医科では、健診なしが最も高く、健診回数が 1 回、2 回と増えるほど低くなり、3 回以上で、逆に高くなっていた。このことは、歯の健康に関する意識が高く健診を受診する人ほど、医療費も少なくなることを示唆している。3 回以上のグループでは、歯周治療後の SPT で受診回数が多かったことも考えられ、これらの人は、もともとある程度重度の歯周病があった人が多く、基礎疾患を持っている人も多いと考えられるので、医療費が高くなったのではないかと思われる。
- ・歯科では、健診なしが最も高く、健診回数が増えるほど低くなり、3 回以上が最も低くなっていた。定期健診を受けている方が、歯科の医療費が低く抑えられることが示唆された。

## 19 分類疾病別の状況

- ・19 分類疾病別の残存歯数と診療日数・診療費の関係では、内分泌、循環器系、筋骨格系において残存歯数が少ないほど、診療日数・診療費は増加していた。

### 主要疾病別の状況

- ・主要疾病別分析では、糖尿病、高血圧性疾患において、残存歯数が少なくなるほど診療費が高くなる傾向が見られた。また、脳血管疾患、糖尿病において、歯周病の程度が重度になるほど、診療費が高くなる傾向が見られた。また、悪性新生物、糖尿病において、歯科健診受診頻度が多くなるほど、診療費が低くなっていた。今回、糖尿病においては、残存歯数が少なくなるほど、歯周病の程度が重度になるほど、歯科健診頻度が少なくなるほど、診療費が多くなっていた。
- ・今回初めて肺炎についても分析を行ったが、対象者が 90 名と少なく、はっきりとした傾向はつかめなかった。

### 生活習慣病の状況

- ・生活習慣病の診療費は、15-19 歳の平均値がやや高くなっていたが、中央値で見ると残存歯数が少なくなるほど高くなっていた。歯周病の程度については、P-が高くなっていたが歯周病ありの中では、歯周病の程度が重度になるほど、平均診療費が高くなっていた。また歯科健診受診頻度が多くなるほど、診療費が低くなっていた。

## Ⅱ 平成23年度特定健診受診者の特定健診結果

### 一 調査の概要

#### 1 分析対象者および分析方法

平成20年度から特定健診・特定保健指導が始まったが、歯科に関する質問項目は含まれていない。当初より香川県では市町国保の特定健診および後期高齢者健診（以下特定健診という）の質問票に香川県独自の歯科に関する7項目の質問（下表）を追加している。この質問項目から下図の方法で歯科階層化判定を行い、歯科保健指導モデル事業を行っている。

香川県国民健康保険団体連合会および香川県後期高齢者医療広域連合の協力を得て、平成23年度特定健診受診者の特定健診の質問票回答および健診結果を入手できた者を対象者とし、その属性および歯科階層化判定別と歯科質問項目1「何でもかんで食べられる」、項目5「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」（セルフケア）と項目7「定期的に（年に1回以上）に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している」（プロフェッショナルケア）のクロス回答別（以下、項目5×7）に特定健診結果の分析を行った。なお、以下、項目5も7も「はい」を「5-Y 7-Y」、5が「はい」で7は「いいえ」を「5-Y 7-N」、5が「いいえ」で7が「はい」を「5-N 7-Y」、5も7も「いいえ」を「5-N 7-N」と表す。

表 特定健診における歯科質問票

歯について	1	何でもかんで食べられる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	2	歯みがきの時に歯ぐきから血が出ることもある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	3	歯ぐきが腫れることもある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	4	歯がぐらぐらする	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	5	デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	6	フッ素入り歯みがき剤を使っている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	7	定期的（年に1回以上）に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

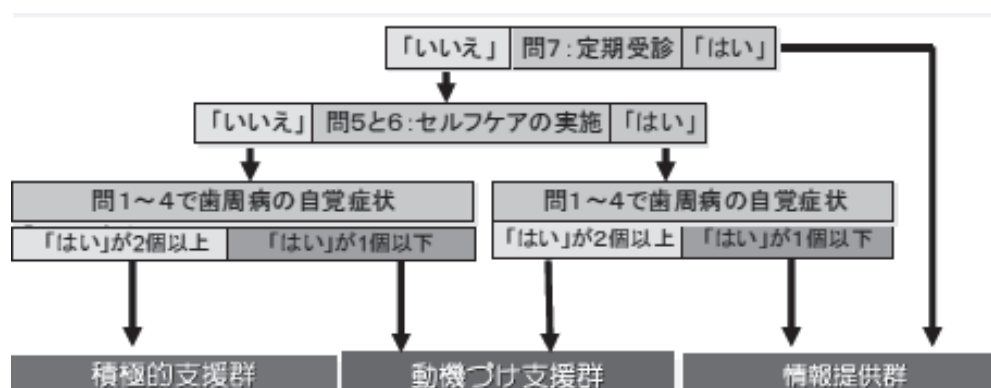


図 歯科保健指導モデル事業における歯科階層化判定方法

※問5と6では、2個とも「はい」の場合「はい」に判定、1個でも「いいえ」があれば「いいえ」に判定

※問1～4で「はい」の個数は、問1は「いいえ」を「はい」と読み替え、問2～4は「はい」を用いて判定

## 二 調査・分析結果

### A 平成 23 年度特定健診受診者の属性

#### (1) 性別・年齢階級別の構成

対象となった特定健診受診者 90,091 人の性別・年齢階級別の構成は次のとおりである。

表 A-1 性別・年齢階級別人数・割合

年齢階級	男 性		女 性	
	人数	割合	人数	割合
40-64歳	6,703	19.4%	11,089	19.9%
65-74歳	12,860	37.3%	19,446	35.0%
75歳以上	14,925	43.3%	25,068	45.1%
合計	34,488	100.0%	55,603	100.0%

#### (2) 対象者の歯科階層化判定の状況

##### 2-1 年齢階級別歯科階層化判定別人数

年齢階級別歯科階層化判定について人数並びに割合を表 A-2 および図 A-2 に示す。

積極的支援の割合は、40-64 歳が 12.6%、65-74 歳が 8.9%、75 歳以上は 7.6%と年齢が高くなるにつれて減少していた。各年齢階級における各階層化判定別の割合は、昨年とほぼ同じであった。

表 A-2

年齢階級	情報提供	動機づけ支援	積極的支援	総数
40 - 64歳	8,680	6,878	2,234	17,792
65 - 74歳	18,837	10,603	2,866	32,306
75歳以上	20,257	16,693	3,043	39,993
合計	47,774	34,174	8,143	90,091
40 - 64歳	48.8%	38.7%	12.6%	100.0%
65 - 74歳	58.3%	32.8%	8.9%	100.0%
75歳以上	50.7%	41.7%	7.6%	100.0%
合計	53.0%	37.9%	9.0%	100.0%

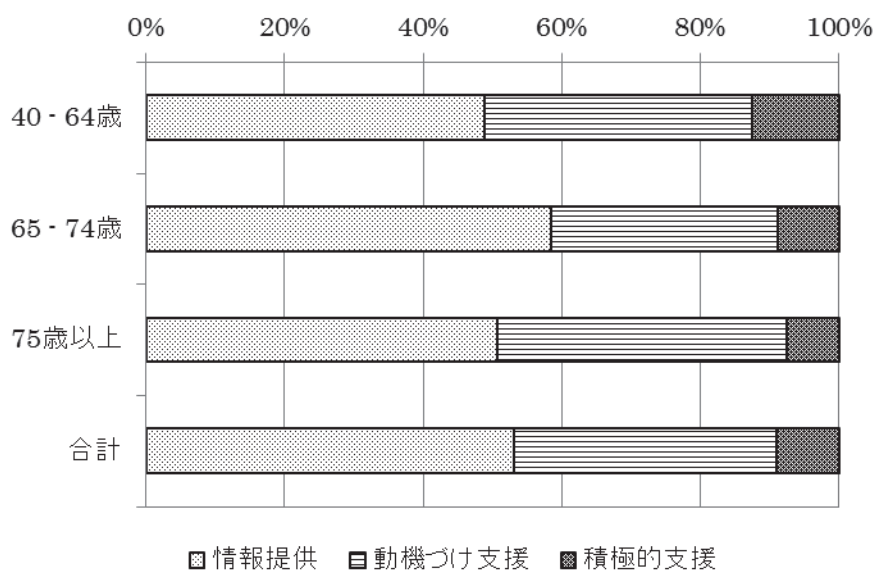


図 A-2

### (3) 対象者の歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)の回答の状況

#### 3-1 年齢階級別歯科質問項目1回答別人数

年齢階級別歯科質問項目1回答について人数ならびに割合を表 A-3 および図 A-3 に示す。  
 歯科質問項目1に「はい」(何でもかんで食べられる)と回答したのは、40-64歳が88.5%、65-74歳が86.0%、75歳以上が77.8%で、年齢が高くなるにつれて減少していた。各年齢階級における各回答別の割合は、昨年とほぼ同じであった。

表 A-3

年齢階級	はい	いいえ	無回答	総数
40・64歳	15,743	1,993	56	17,792
65・74歳	27,777	4,290	239	32,306
75歳以上	31,101	7,680	1,212	39,993
合計	74,621	13,963	1,507	90,091
40・64歳	88.5%	11.2%	0.3%	100.0%
65・74歳	86.0%	13.3%	0.7%	100.0%
75歳以上	77.8%	19.2%	3.0%	100.0%
合計	82.8%	15.5%	1.7%	100.0%

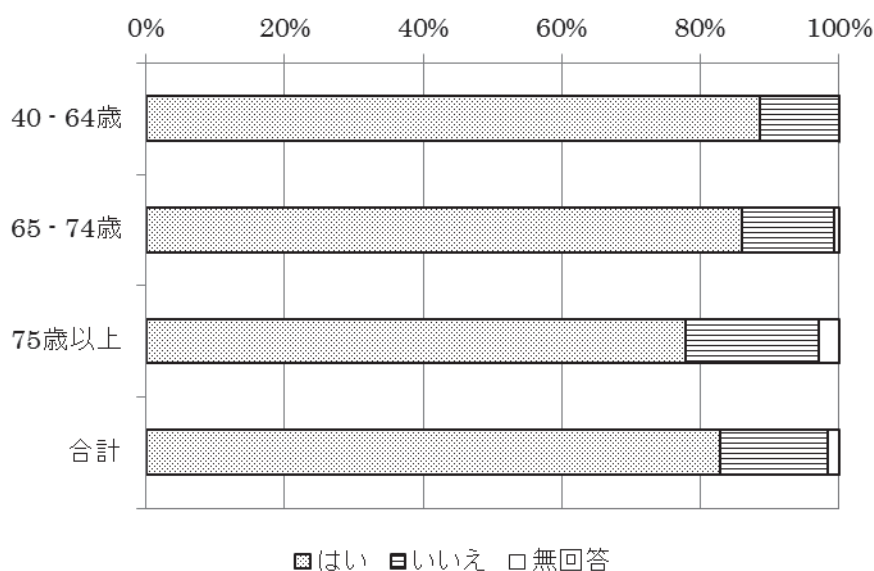


図 A-3-2 年齢階級別歯科質問項目1回答別割合

#### (4) 対象者の歯科質問項目5×7回答の状況

##### 4-1 年齢階級別項目5×7回答別人数

年齢階級別項目5×7回答について人数ならびに割合を表 A-4 および図 A-4 に示す。

質問項目5は補助清掃器具を使ったセルフケアの実施、質問項目7は定期健診の受診を表している。両方とも行っているほうが口腔の健康への関心が高いと考えられ、逆に行っていないほうは関心が低いと考えられる。「5-Y 7-Y」の割合は、65-74 歳、40-64 歳、75 歳以上の順に多く、「5-N 7-N」の割合は逆に、75 歳以上、40-64 歳、65-74 歳の順に多かった。全体としては、「5-N 7-N」の割合が最も多く 36.9%、その次が「5-Y 7-Y」の 28.5%、そして「5-Y 7-N」の 17.3%、「5-N 7-Y」の 15.4%と続いた。各年齢階級で「5-Y 7-Y」の割合が「5-N 7-N」の割合を上回ったのは 65-74 歳のみであった。

表 A-4

年齢階級	5-Y 7-Y	5-Y 7-N	5-N 7-Y	5-N 7-N	分類不能	総数
40 - 64歳	4,439	2,889	2,240	5,910	51	15,529
65 - 74歳	10,563	5,514	4,687	9,660	255	30,679
75歳以上	9,357	6,405	6,241	15,913	1,260	39,176
合計	24,359	14,808	13,168	31,483	1,566	85,384
40 - 64歳	28.6%	18.6%	14.4%	38.1%	0.3%	100.0%
65 - 74歳	34.4%	18.0%	15.3%	31.5%	0.8%	100.0%
75歳以上	23.9%	16.3%	15.9%	40.6%	3.2%	100.0%
合計	28.5%	17.3%	15.4%	36.9%	1.8%	100.0%

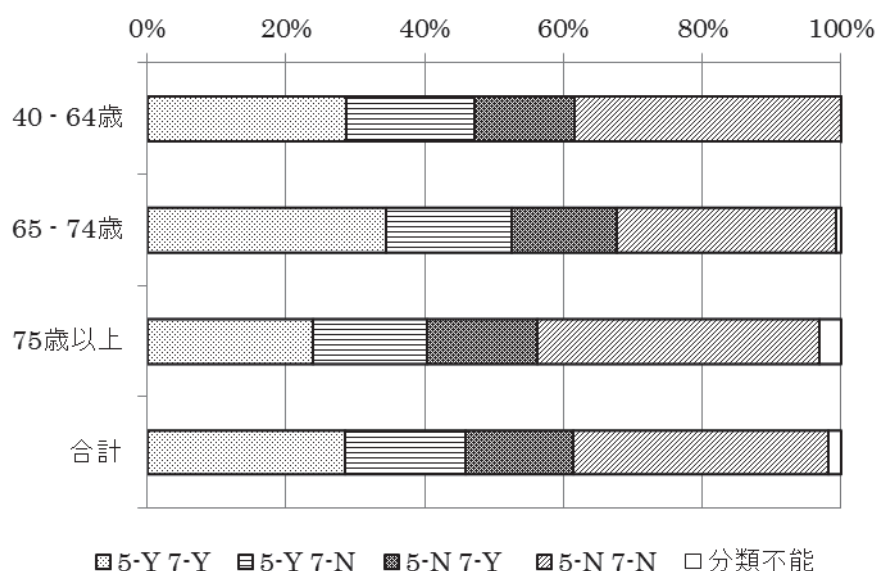


図 A-4-2 年齢階級別歯科質問項目 5 回答別割合



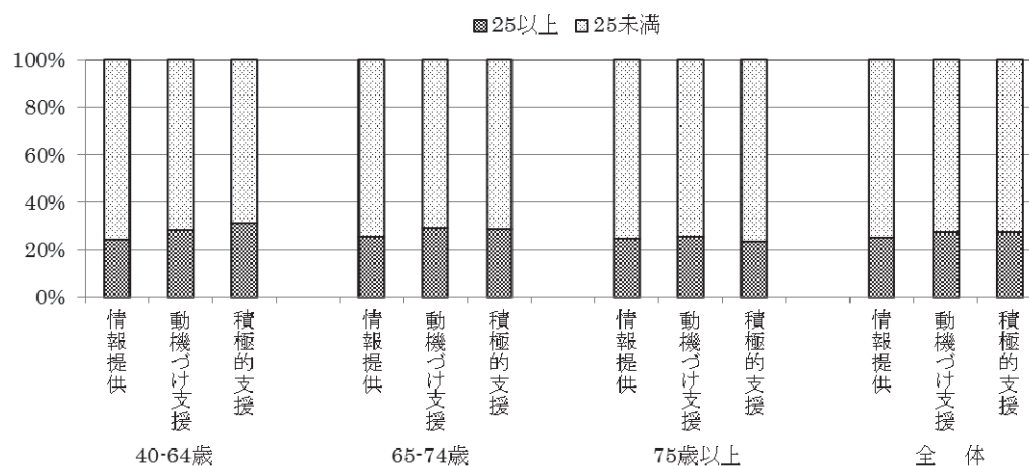
## B 平成 23 年度特定健診受診者の特定健診結果の状況

### (1) 特定健診の歯科階層化判定及び歯科質問項目 1 回答別、特定健診結果の状況

#### 1-1 歯科階層化判定別 BMI

BMIは、肥満度の判定基準のひとつで、25 以上であると特定保健指導の対象となる。  
 BMI25 以上の割合は、40-64 歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。  
 65-74 歳では、情報提供が最も低く、動機づけ支援が最も高かった。  
 75 歳以上では、積極的支援が情報提供、動機づけ支援より低くなっていた。  
 全体では、情報提供が、動機づけ支援、積極的支援より低くなっていた。  
 これらの傾向は昨年との調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	25未満	25以上	25未満	25以上
40-64歳	情報提供	8,680	6,566	2,114	75.6%	24.4%
	動機づけ支援	6,878	4,940	1,938	71.8%	28.2%
	積極的支援	2,234	1,540	694	68.9%	31.1%
65-74歳	情報提供	18,837	14,020	4,817	74.4%	25.6%
	動機づけ支援	10,603	7,521	3,082	70.9%	29.1%
	積極的支援	2,866	2,050	816	71.5%	28.5%
75歳以上	情報提供	20,257	15,306	4,951	75.6%	24.4%
	動機づけ支援	16,693	12,406	4,287	74.3%	25.7%
	積極的支援	3,043	2,339	704	76.9%	23.1%
全 体	情報提供	47,774	35,892	11,882	75.1%	24.9%
	動機づけ支援	34,174	24,867	9,307	72.8%	27.2%
	積極的支援	8,143	5,929	2,214	72.8%	27.2%



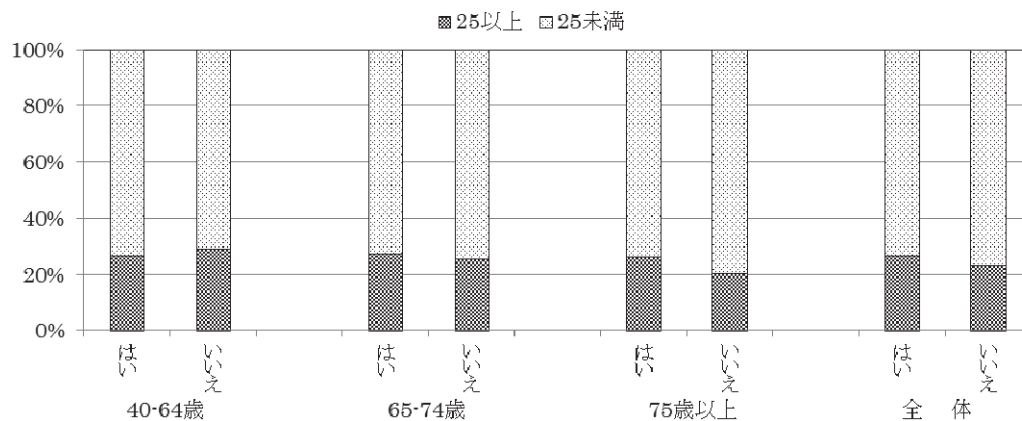
## 1-2 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 BMI

BMI25以上の割合は、40-64歳では、「はい」が「いいえ」より低くなっていた。しかし、65-74歳、75歳以上では、「はい」が「いいえ」より高くなっていた。

全体でも、何でもかんで食べられる人はそうでない人よりBMI25以上の割合が高くなっていた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

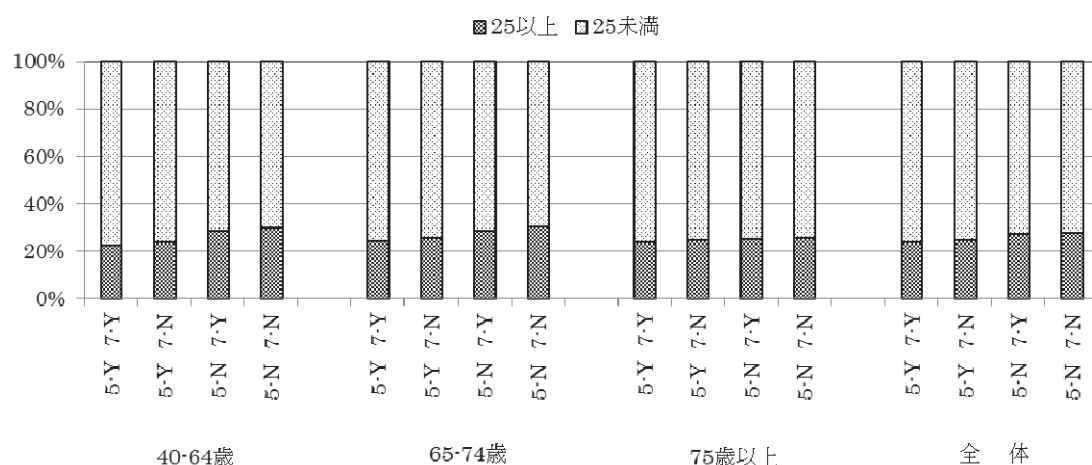
年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	25未満	25以上	25未満	25以上
40-64歳	はい	15,743	11,591	4,152	73.6%	26.4%
	いいえ	1,993	1,416	577	71.0%	29.0%
	無回答	56	39	17	69.6%	30.4%
65-74歳	はい	27,777	20,224	7,553	72.8%	27.2%
	いいえ	4,290	3,199	1,091	74.6%	25.4%
	無回答	239	168	71	70.3%	29.7%
75歳以上	はい	31,101	23,004	8,097	74.0%	26.0%
	いいえ	7,680	6,138	1,542	79.9%	20.1%
	無回答	1,212	909	303	75.0%	25.0%
全 体	はい	74,621	54,819	19,802	73.5%	26.5%
	いいえ	13,963	10,753	3,210	77.0%	23.0%
	無回答	1,507	1,116	391	74.1%	25.9%



### 1-3 歯科質問項目 5×7回答別 BMI

全ての年齢階級で、BMI25以上の者の割合が「5-N 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-Y 7-Y」の順に高かった。BMI25以上の占める割合は、全体では「5-N 7-N」の方が「5-Y 7-Y」よりも4.1%高かった。この傾向がもっとも強く表れていたのは40-64歳で、「5-N 7-N」と「5-Y 7-Y」の差が7.3%あった。5-Yと5-N、すなわち、セルフケア群と非セルフケア群とを比較すると、BMI25以上の者の割合に2.3%～4.1%の違いがみられ、BMIに関してはプロフェッショナルケアよりセルフケアのほうが影響が強く表れていた。

年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	25未満	25以上	25未満	25以上
40-64歳	5-Y 7-Y	4,705	3,639	1,066	77.3%	22.7%
	5-Y 7-N	3,454	2,629	825	76.1%	23.9%
	5-N 7-Y	2,424	1,730	694	71.4%	28.6%
	5-N 7-N	7,152	5,008	2,144	70.0%	30.0%
65-74歳	5-Y 7-Y	10,823	8,221	2,602	76.0%	24.0%
	5-Y 7-N	5,894	4,404	1,490	74.7%	25.3%
	5-N 7-Y	4,861	3,472	1,389	71.4%	28.6%
	5-N 7-N	10,462	7,310	3,152	69.9%	30.1%
75歳以上	5-Y 7-Y	9,453	7,204	2,249	76.2%	23.8%
	5-Y 7-N	6,543	4,933	1,610	75.4%	24.6%
	5-N 7-Y	6,333	4,735	1,598	74.8%	25.2%
	5-N 7-N	16,386	12,218	4,168	74.6%	25.4%
全 体	5-Y 7-Y	24,981	19,064	5,917	76.3%	23.7%
	5-Y 7-N	15,891	11,966	3,925	75.3%	24.7%
	5-N 7-Y	13,618	9,937	3,681	73.0%	27.0%
	5-N 7-N	34,000	24,536	9,464	72.2%	27.8%



#### 1-4 歯科階層化判定別 腹囲

腹囲は、男性85cm以上、女性90cm以上で、特定保健指導の対象となる。

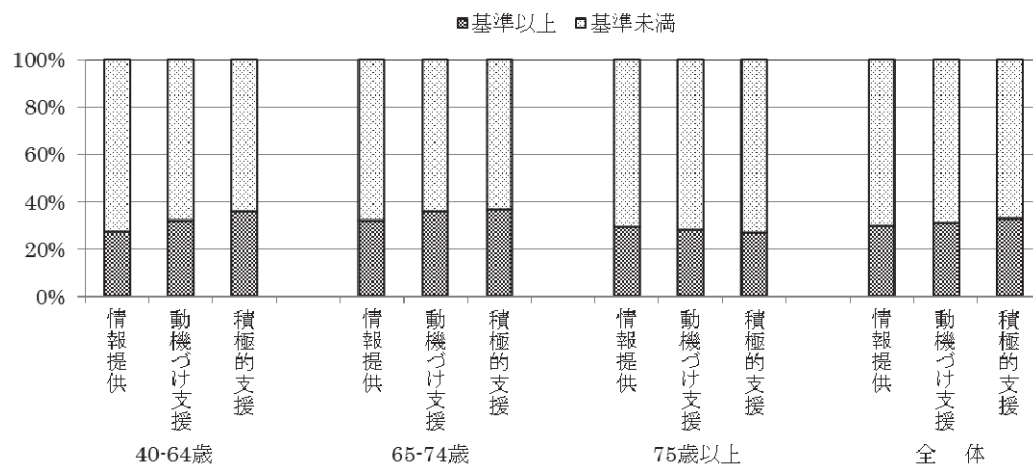
この基準以上の割合は、40-64 歳、65-74 歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていった。しかし、75 歳以上では、歯科階層化判定が重くなるほど低くなっていた。

全体では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	基準未満	基準以上	基準未満	基準以上
40-64歳	情報提供	8,680	6,326	2,354	72.9%	27.1%
	動機づけ支援	6,878	4,666	2,212	67.8%	32.2%
	積極的支援	2,234	1,437	797	64.3%	35.7%
65-74歳	情報提供	18,837	12,825	6,012	68.1%	31.9%
	動機づけ支援	10,603	6,818	3,785	64.3%	35.7%
	積極的支援	2,866	1,808	1,058	63.1%	36.9%
75歳以上	情報提供	20,257	14,286	5,971	70.5%	29.5%
	動機づけ支援	16,693	12,035	4,658	72.1%	27.9%
	積極的支援	3,043	2,225	818	73.1%	26.9%
全 体	情報提供	47,774	33,437	14,337	70.0%	30.0%
	動機づけ支援	34,174	23,519	10,655	68.8%	31.2%
	積極的支援	8,143	5,470	2,673	67.2%	32.8%

基準:男性 85cm、女性 90cm



### 1-5 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 腹囲

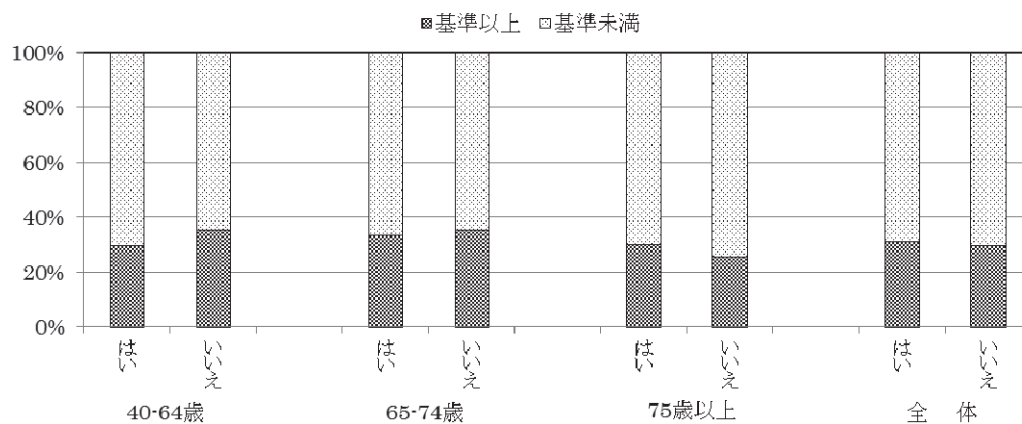
基準以上の割合は、40-64 歳、65-74 歳では、「はい」が「いいえ」より低くなっていた。しかし、75 歳以上では、「はい」が「いいえ」より高くなっていた。

全体でも、何でもかんで食べられる人はそうでない人より腹囲が基準以上の割合が高くなっていた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	基準未満	基準以上	基準未満	基準以上
40-64歳	はい	15,743	11,100	4,643	70.5%	29.5%
	いいえ	1,993	1,294	699	64.9%	35.1%
	無回答	56	35	21	62.5%	37.5%
65-74歳	はい	27,777	18,531	9,246	66.7%	33.3%
	いいえ	4,290	2,789	1,501	65.0%	35.0%
	無回答	239	131	108	54.8%	45.2%
75歳以上	はい	31,101	21,809	9,292	70.1%	29.9%
	いいえ	7,680	5,736	1,944	74.7%	25.3%
	無回答	1,212	1,001	211	82.6%	17.4%
全 体	はい	74,621	51,440	23,181	68.9%	31.1%
	いいえ	13,963	9,819	4,144	70.3%	29.7%
	無回答	1,507	1,167	340	77.4%	22.6%

基準:男性 85cm、女性 90cm

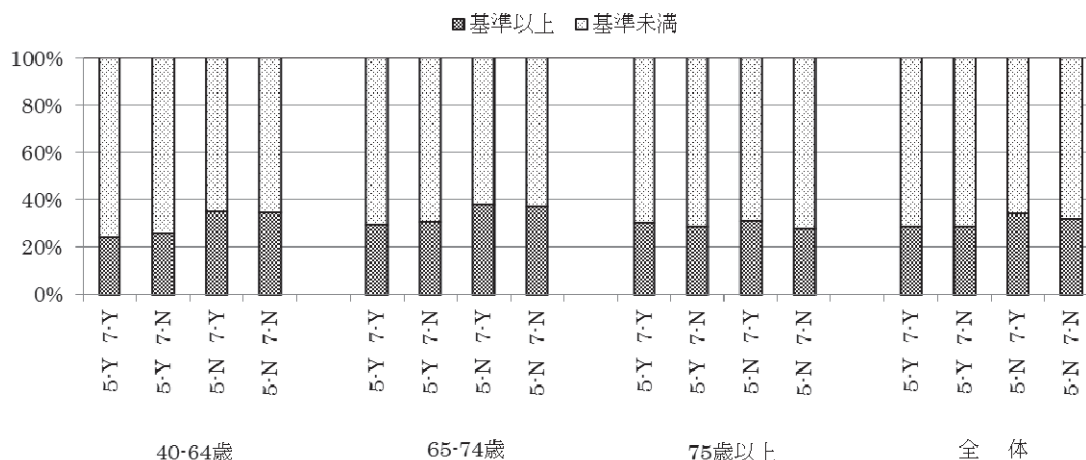


# 1-6 歯科質問項目5×7回答別 腹囲

基準以上の割合は、全体としては「5-N 7-Y」が最も高く、次いで、「5-N 7-N」、「5-Y 7-N」、「5-Y 7-Y」の順に低くなっていた。また、基準以上の割合は、「5-Y 7-Y」よりも「5-N 7-N」の方が高かった。40-64 歳、65-74 歳もこの傾向がみられたが、75 歳以上のみ「5-N 7-N」で基準以上の割合が最も低くなっていた。5-Y と 5-N、すなわち、セルフケア群と非セルフケア群とを比較すると、基準以上の割合に 3.4%～5.8%の違いがみられ、腹囲に関してはプロフェッショナルケアよりセルフケアのほうが影響が強く表れていた。

年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	基準未満	基準以上	基準未満	基準以上
40-64歳	5-Y 7-Y	4,705	3,569	1,136	75.9%	24.1%
	5-Y 7-N	3,454	2,565	889	74.3%	25.7%
	5-N 7-Y	2,424	1,579	845	65.1%	34.9%
	5-N 7-N	7,152	4,681	2,471	65.5%	34.5%
65-74歳	5-Y 7-Y	10,823	7,663	3,160	70.8%	29.2%
	5-Y 7-N	5,894	4,084	1,810	69.3%	30.7%
	5-N 7-Y	4,861	3,005	1,856	61.8%	38.2%
	5-N 7-N	10,462	6,551	3,911	62.6%	37.4%
75歳以上	5-Y 7-Y	9,453	6,612	2,841	69.9%	30.1%
	5-Y 7-N	6,543	4,681	1,862	71.5%	28.5%
	5-N 7-Y	6,333	4,356	1,977	68.8%	31.2%
	5-N 7-N	16,386	11,839	4,547	72.3%	27.7%
全 体	5-Y 7-Y	24,981	17,844	7,137	71.4%	28.6%
	5-Y 7-N	15,891	11,330	4,561	71.3%	28.7%
	5-N 7-Y	13,618	8,940	4,678	65.6%	34.4%
	5-N 7-N	34,000	23,071	10,929	67.9%	32.1%

基準:男性 85cm、女性 90cm



### 1-7 歯科階層化判定別 HbA1c(JDS値)

HbA1cは、血糖状態の指標のひとつで、5.2%以上で特定保健指導の選定基準となり、6.1%以上で糖尿病の診断基準となる。

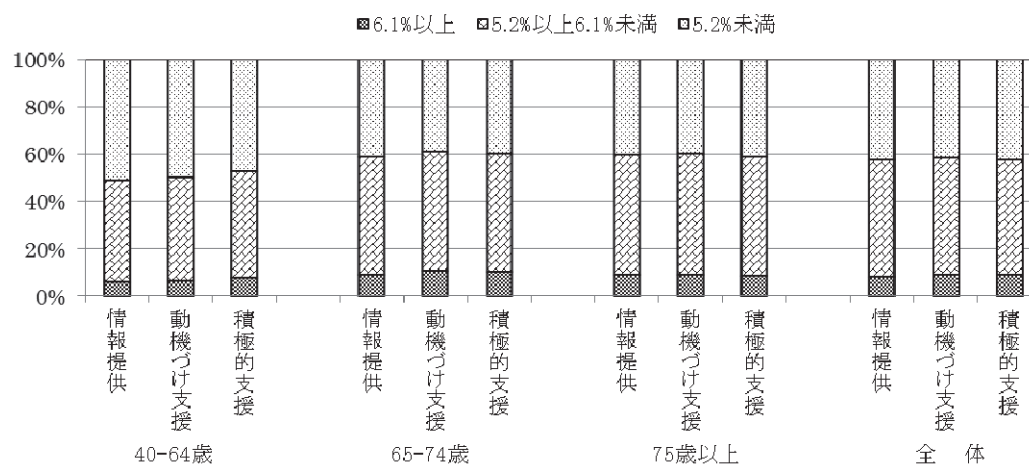
HbA1cが 6.1%以上の割合は、40-64 歳で歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていった。65-74 歳でも、情報提供が低く、動機づけ支援、積極的支援が高くなっていった。75 歳以上では、積極的支援が最も低くなっていった。

全体では、情報提供が最も低く、動機づけ支援が最も高くなっていった。

昨年はHbA1cが 6.1%以上の割合は全体で、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていったが、今年はこの傾向がやや変わっていた。

HbA1cが 5.2%以上でみても、同様の傾向であった。

年齢階級	区 分	人 数				割 合		
		総数	5.2%未満	5.2%以上 6.1%未満	6.1%以上	5.2%未満	5.2%以上 6.1%未満	6.1%以上
40-64歳	情報提供	8,680	4,446	3,709	525	51.2%	42.7%	6.0%
	動機づけ支援	6,878	3,417	3,008	453	49.7%	43.7%	6.6%
	積極的支援	2,234	1,052	1,013	169	47.1%	45.3%	7.6%
65-74歳	情報提供	18,837	7,737	9,431	1,669	41.1%	50.1%	8.9%
	動機づけ支援	10,603	4,148	5,323	1,132	39.1%	50.2%	10.7%
	積極的支援	2,866	1,144	1,423	299	39.9%	49.7%	10.4%
75歳以上	情報提供	20,257	8,153	10,319	1,785	40.2%	50.9%	8.8%
	動機づけ支援	16,693	6,648	8,504	1,541	39.8%	50.9%	9.2%
	積極的支援	3,043	1,258	1,528	257	41.3%	50.2%	8.4%
全 体	情報提供	47,774	20,336	23,459	3,979	42.6%	49.1%	8.3%
	動機づけ支援	34,174	14,213	16,835	3,126	41.6%	49.3%	9.1%
	積極的支援	8,143	3,454	3,964	725	42.4%	48.7%	8.9%





# 1-8 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 HbA1c(JDS値)

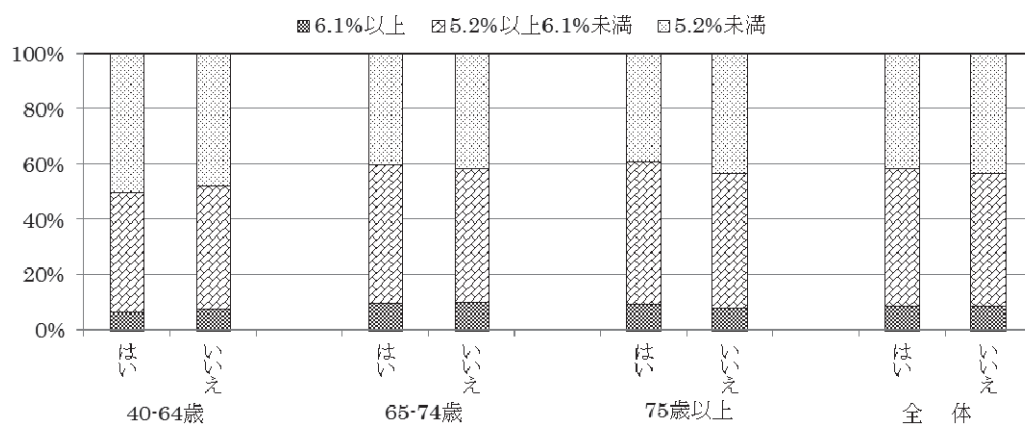
HbA1cが6.1%以上の割合は、40-64歳では「はい」が「いいえ」より低くなっていた。しかし65-74歳では同等、75歳以上では「はい」が「いいえ」より高くなっていた。

全体でも、「はい」は「いいえ」よりHbA1cが6.1%以上の割合が高くなっていた。

HbA1cが5.2%以上で見てもほぼ同様の傾向であった。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

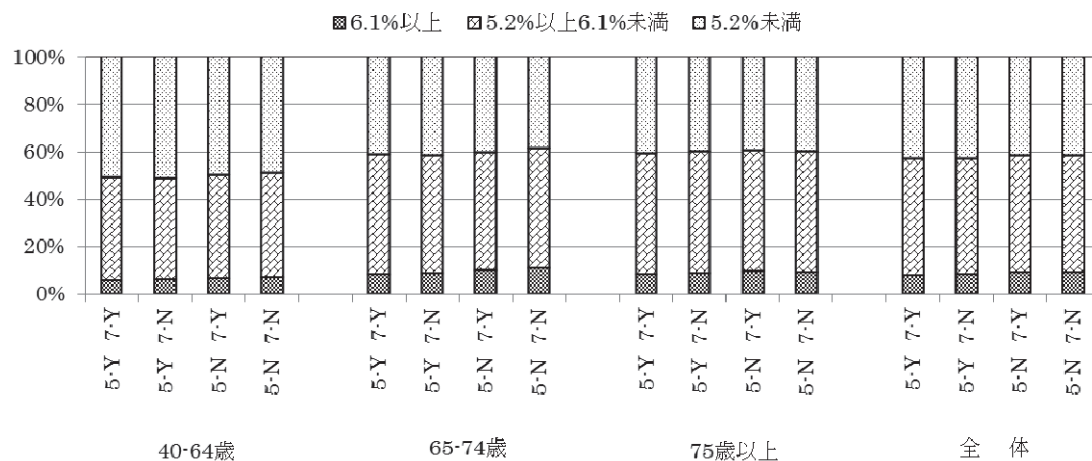
年齢階級	区 分	人 数				割 合		
		総数	5.2%未満	5.2%以上 6.1%未満	6.1%以上	5.2%未満	5.2%以上 6.1%未満	6.1%以上
40-64歳	はい	15,743	7,920	6,833	990	50.3%	43.4%	6.3%
	いいえ	1,993	960	883	150	48.2%	44.3%	7.5%
	無回答	56	35	14	7	62.5%	25.0%	12.5%
65-74歳	はい	27,777	11,131	13,997	2,649	40.1%	50.4%	9.5%
	いいえ	4,290	1,785	2,080	425	41.6%	48.5%	9.9%
	無回答	239	113	100	26	47.3%	41.8%	10.9%
75歳以上	はい	31,101	12,205	16,022	2,874	39.2%	51.5%	9.2%
	いいえ	7,680	3,348	3,729	603	43.6%	48.6%	7.9%
	無回答	1,212	506	600	106	41.7%	49.5%	8.7%
全 体	はい	74,621	31,256	36,852	6,513	41.9%	49.4%	8.7%
	いいえ	13,963	6,093	6,692	1,178	43.6%	47.9%	8.4%
	無回答	1,507	654	714	139	43.4%	47.4%	9.2%



# 1-9 歯科質問項目5×7回答別 HbA1c(JDS値)

HbA1cが6.1%以上の割合は、どの年齢階級でも「5-Y 7-Y」よりも「5-N 7-N」の方が高かった。5.2%以上6.1%未満の割合は、どの年齢階級でも「5-Y 7-Y」と「5-N 7-N」の間に差がほとんど無かった。

年齢階級	区 分	人 数				割 合		
		総数	5.2%未満	5.2%以上 6.1%未満	6.1%以上	5.2%未満	5.2%以上 6.1%未満	6.1%以上
40-64歳	5-Y 7-Y	4,705	2,397	2,045	263	50.9%	43.5%	5.6%
	5-Y 7-N	3,454	1,764	1,480	210	51.1%	42.8%	6.1%
	5-N 7-Y	2,424	1,209	1,051	164	49.9%	43.4%	6.8%
	5-N 7-N	7,152	3,508	3,141	503	49.0%	43.9%	7.0%
65-74歳	5-Y 7-Y	10,823	4,459	5,463	901	41.2%	50.5%	8.3%
	5-Y 7-N	5,894	2,454	2,922	518	41.6%	49.6%	8.8%
	5-N 7-Y	4,861	1,955	2,410	496	40.2%	49.6%	10.2%
	5-N 7-N	10,462	4,039	5,269	1,154	38.6%	50.4%	11.0%
75歳以上	5-Y 7-Y	9,453	3,851	4,825	777	40.7%	51.0%	8.2%
	5-Y 7-N	6,543	2,618	3,345	580	40.0%	51.1%	8.9%
	5-N 7-Y	6,333	2,497	3,236	600	39.4%	51.1%	9.5%
	5-N 7-N	16,386	6,563	8,309	1,514	40.1%	50.7%	9.2%
全 体	5-Y 7-Y	24,981	10,707	12,333	1,941	42.9%	49.4%	7.8%
	5-Y 7-N	15,891	6,836	7,747	1,308	43.0%	48.8%	8.2%
	5-N 7-Y	13,618	5,661	6,697	1,260	41.6%	49.2%	9.3%
	5-N 7-N	34,000	14,110	16,719	3,171	41.5%	49.2%	9.3%



## 1-10 歯科階層化判定別 尿糖

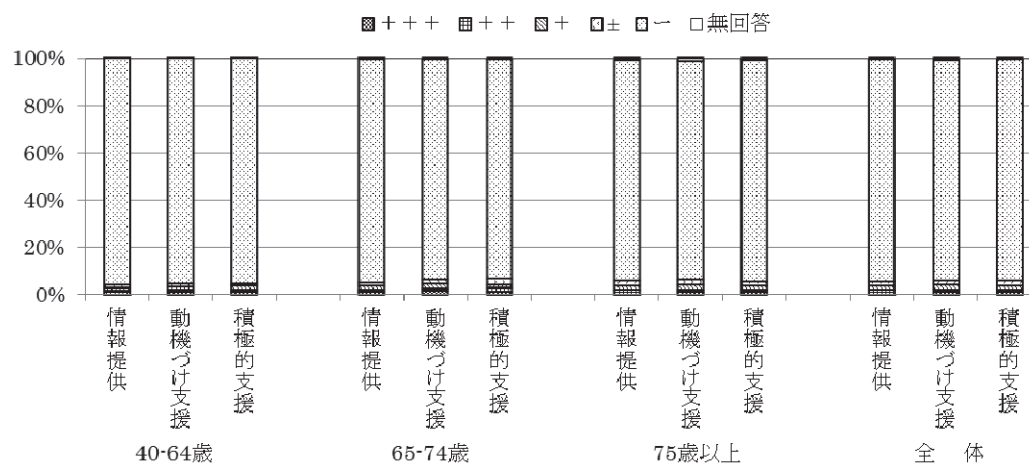
尿糖は特定健診の必須項目であるが、特定保健指導の選定基準にはなっていない。

尿糖が±～+++の割合は、40-64歳、65-74歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。75歳以上では、動機づけ支援が最も高くなっていた。

全体では、歯科階層化判定が重くなるほど尿糖が±～+++の割合が高くなっていた。

年齢階級	区 分	人 数						
		総数	一	±	+	++	+++	無回答
40-64歳	情報提供	8,680	8,297	114	97	73	82	17
	動機づけ支援	6,878	6,547	88	95	48	87	13
	積極的支援	2,234	2,124	25	40	19	25	1
65-74歳	情報提供	18,837	17,793	299	320	184	200	41
	動機づけ支援	10,603	9,888	168	225	126	163	33
	積極的支援	2,866	2,665	65	47	41	38	10
75歳以上	情報提供	20,257	18,933	416	370	226	178	134
	動機づけ支援	16,693	15,425	368	324	184	179	213
	積極的支援	3,043	2,843	60	50	31	33	26
全 体	情報提供	47,774	45,023	829	787	483	460	192
	動機づけ支援	34,174	31,860	624	644	358	429	259
	積極的支援	8,143	7,632	150	137	91	96	37

年齢階級	区 分	割 合						
		総数	一	±	+	++	+++	無回答
40-64歳	情報提供	100%	95.6%	1.3%	1.1%	0.8%	0.9%	0.2%
	動機づけ支援	100%	95.2%	1.3%	1.4%	0.7%	1.3%	0.2%
	積極的支援	100%	95.1%	1.1%	1.8%	0.9%	1.1%	0.0%
65-74歳	情報提供	100%	94.5%	1.6%	1.7%	1.0%	1.1%	0.2%
	動機づけ支援	100%	93.3%	1.6%	2.1%	1.2%	1.5%	0.3%
	積極的支援	100%	93.0%	2.3%	1.6%	1.4%	1.3%	0.3%
75歳以上	情報提供	100%	93.5%	2.1%	1.8%	1.1%	0.9%	0.7%
	動機づけ支援	100%	92.4%	2.2%	1.9%	1.1%	1.1%	1.3%
	積極的支援	100%	93.4%	2.0%	1.6%	1.0%	1.1%	0.9%
全 体	情報提供	100%	94.2%	1.7%	1.6%	1.0%	1.0%	0.4%
	動機づけ支援	100%	93.2%	1.8%	1.9%	1.0%	1.3%	0.8%
	積極的支援	100%	93.7%	1.8%	1.7%	1.1%	1.2%	0.5%



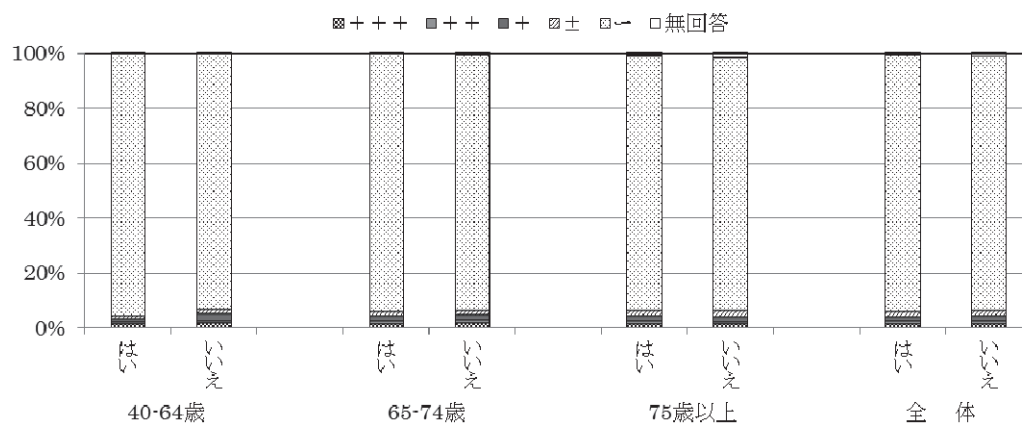
# 1-11 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 尿糖

尿糖が±～+++の割合は、各年齢階級で「はい」が「いいえ」より低くなっていた。

全体でも、何でもかんで食べられる人はそうでない人より尿糖が±～+++の割合が低くなっていた。これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数						
		総数	一	±	+	++	+++	無回答
40-64歳	はい	15,743	15,054	192	185	117	168	27
	いいえ	1,993	1,863	33	45	22	26	4
	無回答	56	51	2	2	1	0	0
65-74歳	はい	27,777	26,118	457	502	299	336	65
	いいえ	4,290	4,013	68	81	48	62	18
	無回答	239	215	7	9	4	3	1
75歳以上	はい	31,101	28,977	652	583	352	302	235
	いいえ	7,680	7,105	160	137	82	75	121
	無回答	1,212	1,119	32	24	7	13	17
全 体	はい	74,621	70,149	1,301	1,270	768	806	327
	いいえ	13,963	12,981	261	263	152	163	143
	無回答	1,507	1,385	41	35	12	16	18

年齢階級	区 分	割 合						
		総数	一	±	+	++	+++	無回答
40-64歳	はい	100%	95.6%	1.2%	1.2%	0.7%	1.1%	0.2%
	いいえ	100%	93.5%	1.7%	2.3%	1.1%	1.3%	0.2%
	無回答	100%	91.1%	3.6%	3.6%	1.8%	0.0%	0.0%
65-74歳	はい	100%	94.0%	1.6%	1.8%	1.1%	1.2%	0.2%
	いいえ	100%	93.5%	1.6%	1.9%	1.1%	1.4%	0.4%
	無回答	100%	90.0%	2.9%	3.8%	1.7%	1.3%	0.4%
75歳以上	はい	100%	93.2%	2.1%	1.9%	1.1%	1.0%	0.8%
	いいえ	100%	92.5%	2.1%	1.8%	1.1%	1.0%	1.6%
	無回答	100%	92.3%	2.6%	2.0%	0.6%	1.1%	1.4%
全 体	はい	100%	94.0%	1.7%	1.7%	1.0%	1.1%	0.4%
	いいえ	100%	93.0%	1.9%	1.9%	1.1%	1.2%	1.0%
	無回答	100%	91.9%	2.7%	2.3%	0.8%	1.1%	1.2%

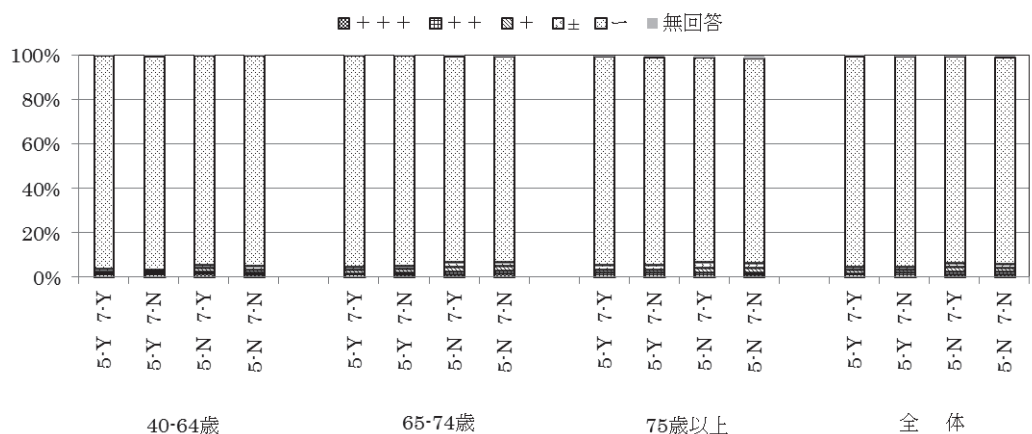


# 1-12 歯科質問項目5×7 尿糖

尿糖が±～+++の割合は、各年齢階級で「5-Y 7-Y」が「5-N 7-N」より低くなっていた。  
全体でも、「5-Y 7-Y」は「5-N 7-N」より尿糖が±～+++の割合が低くなっていた。

年齢階級	区 分	人 数						
		総数	－	±	＋	＋＋	＋＋＋	無回答
40-64歳	5-Y 7-Y	4,705	4,525	57	46	35	34	8
	5-Y 7-N	3,454	3,325	32	35	21	33	8
	5-N 7-Y	2,424	2,281	37	39	26	38	3
	5-N 7-N	7,152	6,785	99	110	57	89	12
65-74歳	5-Y 7-Y	10,823	10,283	161	157	98	105	19
	5-Y 7-N	5,894	5,584	85	95	57	63	10
	5-N 7-Y	4,861	4,520	92	108	58	67	16
	5-N 7-N	10,462	9,718	187	223	134	162	38
75歳以上	5-Y 7-Y	9,453	8,898	186	153	99	82	35
	5-Y 7-N	6,543	6,139	128	101	67	60	48
	5-N 7-Y	6,333	5,854	141	140	82	58	58
	5-N 7-N	16,386	15,131	356	325	186	177	211
全 体	5-Y 7-Y	24,981	23,706	404	356	232	221	62
	5-Y 7-N	15,891	15,048	245	231	145	156	66
	5-N 7-Y	13,618	12,655	270	287	166	163	77
	5-N 7-N	34,000	31,634	642	658	377	428	261

年齢階級	区 分	割 合						
		総数	－	±	＋	＋＋	＋＋＋	無回答
40-64歳	5-Y 7-Y	100%	96.2%	1.2%	1.0%	0.7%	0.7%	0.2%
	5-Y 7-N	100%	96.3%	0.9%	1.0%	0.6%	1.0%	0.2%
	5-N 7-Y	100%	94.1%	1.5%	1.6%	1.1%	1.6%	0.1%
	5-N 7-N	100%	94.9%	1.4%	1.5%	0.8%	1.2%	0.2%
65-74歳	5-Y 7-Y	100%	95.0%	1.5%	1.5%	0.9%	1.0%	0.2%
	5-Y 7-N	100%	94.7%	1.4%	1.6%	1.0%	1.1%	0.2%
	5-N 7-Y	100%	93.0%	1.9%	2.2%	1.2%	1.4%	0.3%
	5-N 7-N	100%	92.9%	1.8%	2.1%	1.3%	1.5%	0.4%
75歳以上	5-Y 7-Y	100%	94.1%	2.0%	1.6%	1.0%	0.9%	0.4%
	5-Y 7-N	100%	93.8%	2.0%	1.5%	1.0%	0.9%	0.7%
	5-N 7-Y	100%	92.4%	2.2%	2.2%	1.3%	0.9%	0.9%
	5-N 7-N	100%	92.3%	2.2%	2.0%	1.1%	1.1%	1.3%
全 体	5-Y 7-Y	100%	94.9%	1.6%	1.4%	0.9%	0.9%	0.2%
	5-Y 7-N	100%	94.7%	1.5%	1.5%	0.9%	1.0%	0.4%
	5-N 7-Y	100%	92.9%	2.0%	2.1%	1.2%	1.2%	0.6%
	5-N 7-N	100%	93.0%	1.9%	1.9%	1.1%	1.3%	0.8%



### 1-13 歯科階層化判定別 喫煙

喫煙は特定保健指導の選定基準のひとつになっている。

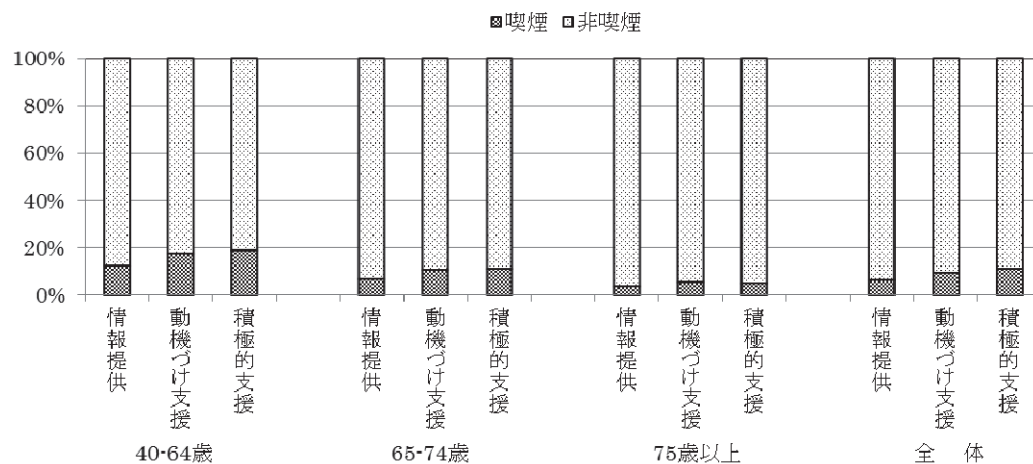
喫煙者の割合は、40-64歳、64-74歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。

75歳以上では、情報提供が最も少なく、動機づけ支援が最も高くなっていた。

全体では、歯科階層化判定が重くなるほど喫煙者の割合が高くなっていた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数				
		総数	喫煙	非喫煙	喫煙	非喫煙
40-64歳	情報提供	8,680	1,084	7,596	12.5%	87.5%
	動機づけ支援	6,878	1,211	5,667	17.6%	82.4%
	積極的支援	2,234	426	1,808	19.1%	80.9%
65-74歳	情報提供	18,837	1,280	17,557	6.8%	93.2%
	動機づけ支援	10,603	1,147	9,456	10.8%	89.2%
	積極的支援	2,866	324	2,542	11.3%	88.7%
75歳以上	情報提供	20,257	804	19,453	4.0%	96.0%
	動機づけ支援	16,693	946	15,747	5.7%	94.3%
	積極的支援	3,043	155	2,888	5.1%	94.9%
全 体	情報提供	47,774	3,168	44,606	6.6%	93.4%
	動機づけ支援	34,174	3,304	30,870	9.7%	90.3%
	積極的支援	8,143	905	7,238	11.1%	88.9%



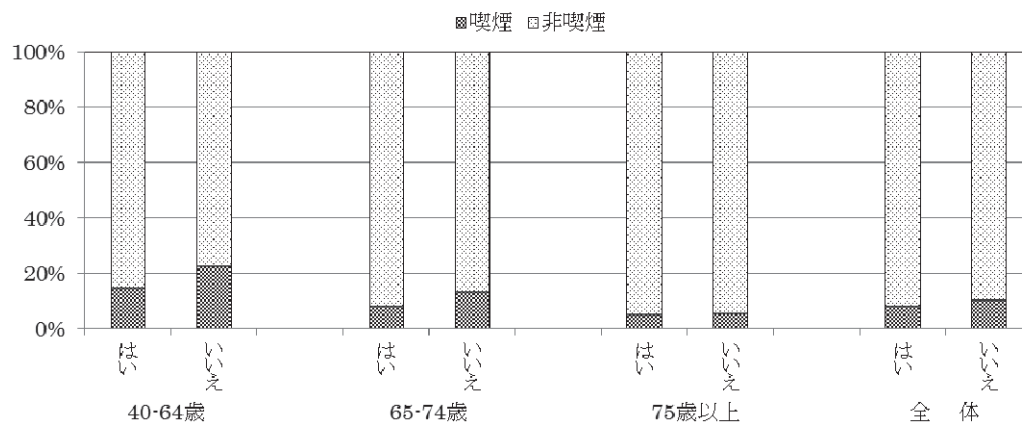
# 1-14 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 喫煙

喫煙者の割合は、各年齢階級とも「はい」が「いいえ」より低くなっていた。

全体でも、何でもかんで食べられる人はそうでない人より喫煙者の割合が低くなっていた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数				
		総数	喫煙	非喫煙	喫煙	非喫煙
40-64歳	はい	15,743	2,263	13,480	14.4%	85.6%
	いいえ	1,993	447	1,546	22.4%	77.6%
	無回答	56	11	45	19.6%	80.4%
65-74歳	はい	27,777	2,162	25,615	7.8%	92.2%
	いいえ	4,290	562	3,728	13.1%	86.9%
	無回答	239	27	212	11.3%	88.7%
75歳以上	はい	31,101	1,454	29,647	4.7%	95.3%
	いいえ	7,680	389	7,291	5.1%	94.9%
	無回答	1,212	62	1,150	5.1%	94.9%
全 体	はい	74,621	5,879	68,742	7.9%	92.1%
	いいえ	13,963	1,398	12,565	10.0%	90.0%
	無回答	1,507	100	1,407	6.6%	93.4%

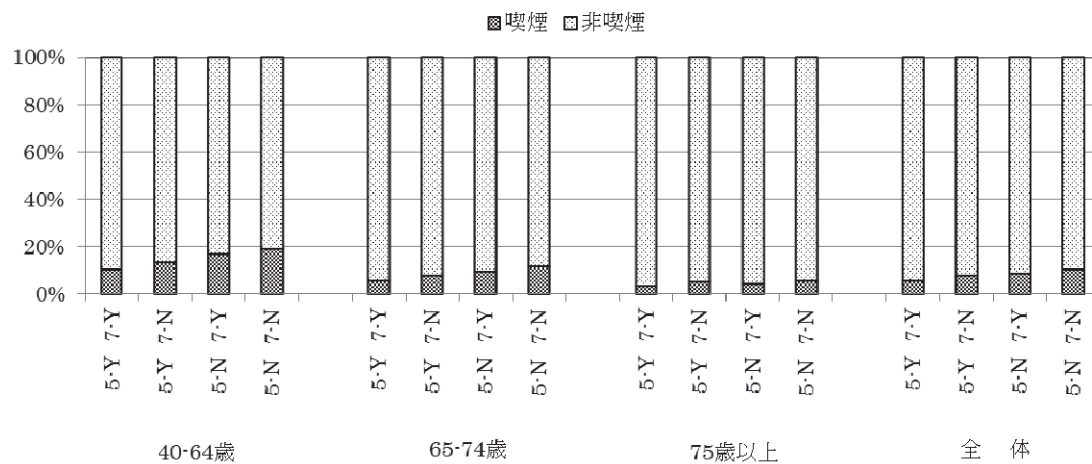




# 1-15 歯科質問項目5×7回答別 喫煙

喫煙者の割合は、全ての年齢階級で「5-Y 7-Y」より「5-N 7-N」の方が高くなっていた。  
全体では、「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に喫煙者の割合が高くなっていた。この傾向は、75歳以上、64-74歳、40-64歳の順に、若いほど強く表れていた。

年齢階級	区 分	人 数				
		総数	喫煙	非喫煙	喫煙	非喫煙
40-64歳	5-Y 7-Y	4,705	481	4,224	10.2%	89.8%
	5-Y 7-N	3,454	458	2,996	13.3%	86.7%
	5-N 7-Y	2,424	404	2,020	16.7%	83.3%
	5-N 7-N	7,152	1,367	5,785	19.1%	80.9%
65-74歳	5-Y 7-Y	10,823	588	10,235	5.4%	94.6%
	5-Y 7-N	5,894	450	5,444	7.6%	92.4%
	5-N 7-Y	4,861	468	4,393	9.6%	90.4%
	5-N 7-N	10,462	1,215	9,247	11.6%	88.4%
75歳以上	5-Y 7-Y	9,453	304	9,149	3.2%	96.8%
	5-Y 7-N	6,543	346	6,197	5.3%	94.7%
	5-N 7-Y	6,333	273	6,060	4.3%	95.7%
	5-N 7-N	16,386	918	15,468	5.6%	94.4%
全 体	5-Y 7-Y	24,981	1,373	23,608	5.5%	94.5%
	5-Y 7-N	15,891	1,254	14,637	7.9%	92.1%
	5-N 7-Y	13,618	1,145	12,473	8.4%	91.6%
	5-N 7-N	34,000	3,500	30,500	10.3%	89.7%



## 1-16 歯科階層化判定別 メタボ判定区分

特定健診結果よりメタボリックシンドローム該当、予備群、非該当が判定され、特定保健指導における積極的支援、動機づけ支援、情報提供に分類される。

メタボ該当の割合は、40-64歳、65-74歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。

75歳以上では、逆に歯科階層化判定が重くなるほど低くなっていた。

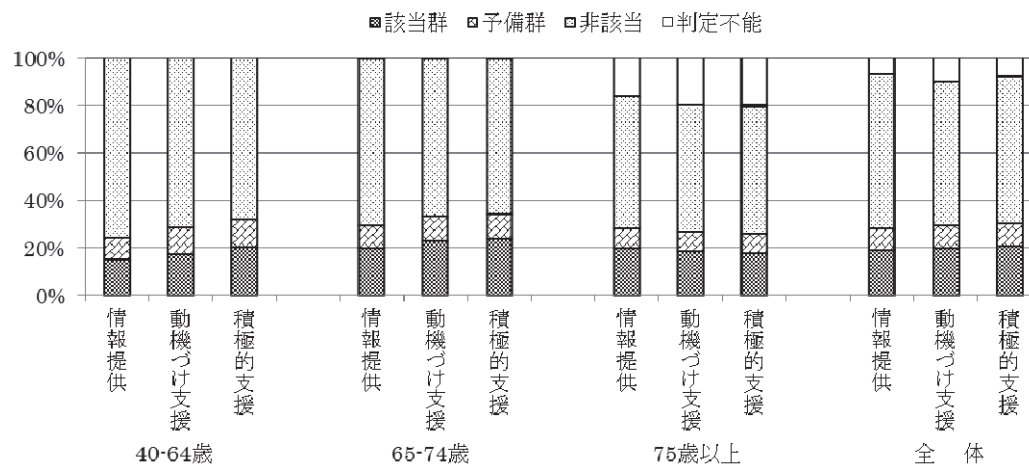
メタボ予備群を含めても、各年齢階級で同様の傾向が認められた。

全体では、歯科階層化判定が重くなるほど、メタボ該当の割合が高くなっていた。

メタボ予備群を含めても同様の傾向が認められた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数					割 合			
		総数	該当群	予備群	非該当	判定不能	該当群	予備群	非該当	判定不能
40-64歳	情報提供	8,680	1,323	763	6,594	0	15.2%	8.8%	76.0%	0.0%
	動機づけ支援	6,878	1,197	761	4,920	0	17.4%	11.1%	71.5%	0.0%
	積極的支援	2,234	455	255	1,524	0	20.4%	11.4%	68.2%	0.0%
65-74歳	情報提供	18,837	3,774	1,799	13,220	44	20.0%	9.6%	70.2%	0.2%
	動機づけ支援	10,603	2,448	1,104	7,010	41	23.1%	10.4%	66.1%	0.4%
	積極的支援	2,866	685	299	1,874	8	23.9%	10.4%	65.4%	0.3%
75歳以上	情報提供	20,257	3,990	1,672	11,389	3,206	19.7%	8.3%	56.2%	15.8%
	動機づけ支援	16,693	3,113	1,353	8,914	3,313	18.6%	8.1%	53.4%	19.8%
	積極的支援	3,043	532	252	1,648	611	17.5%	8.3%	54.2%	20.1%
全 体	情報提供	47,774	9,087	4,234	31,203	3,250	19.0%	8.9%	65.3%	6.8%
	動機づけ支援	34,174	6,758	3,218	20,844	3,354	19.8%	9.4%	61.0%	9.8%
	積極的支援	8,143	1,672	806	5,046	619	20.5%	9.9%	62.0%	7.6%



# 1-17 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 メタボ判定区分

メタボ該当の割合は、40-64 歳では「はい」が「いいえ」より低くなっていた。しかし 65-74 歳、75 歳以上では、「はい」が「いいえ」より高くなっていた。

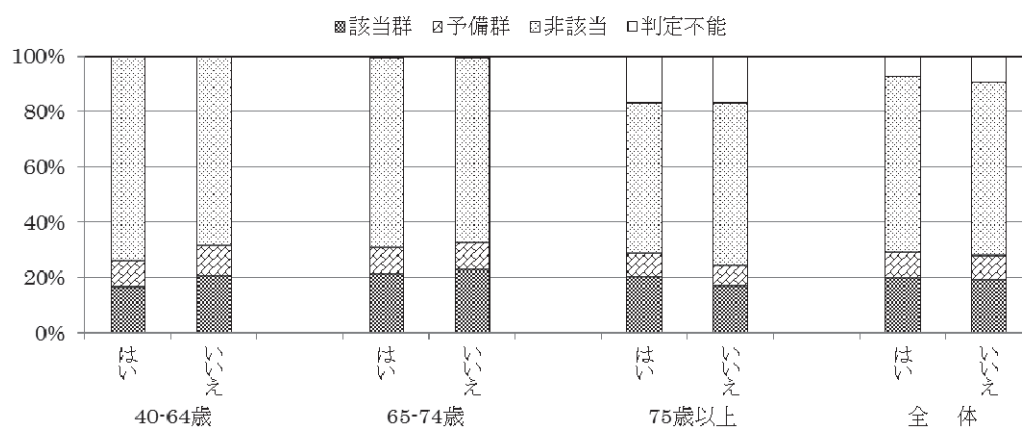
メタボ予備群を含めても、各年齢階級で同様の傾向が認められた。

全体では、何でもかんで食べられる人はそうでない人より、メタボ該当の割合が低くなっていた。

メタボ予備群を含めても同様の傾向が認められた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数					割 合			
		総数	該当群	予備群	非該当	判定不能	該当群	予備群	非該当	判定不能
40-64歳	はい	15,743	2,556	1,551	11,636	0	16.2%	9.9%	73.9%	0.0%
	いいえ	1,993	406	223	1,364	0	20.4%	11.2%	68.4%	0.0%
	無回答	56	13	5	38	0	23.2%	8.9%	67.9%	0.0%
65-74歳	はい	27,777	5,864	2,735	19,105	73	21.1%	9.8%	68.8%	0.3%
	いいえ	4,290	972	436	2,866	16	22.7%	10.2%	66.8%	0.4%
	無回答	239	71	31	133	4	29.7%	13.0%	55.6%	1.7%
75歳以上	はい	31,101	6,216	2,643	17,004	5,238	20.0%	8.5%	54.7%	16.8%
	いいえ	7,680	1,275	576	4,541	1,288	16.6%	7.5%	59.1%	16.8%
	無回答	1,212	144	58	406	604	11.9%	4.8%	33.5%	49.8%
全 体	はい	74,621	14,636	6,929	47,745	5,311	19.6%	9.3%	64.0%	7.1%
	いいえ	13,963	2,653	1,235	8,771	1,304	19.0%	8.8%	62.8%	9.3%
	無回答	1,507	228	94	577	608	15.1%	6.2%	38.3%	40.3%

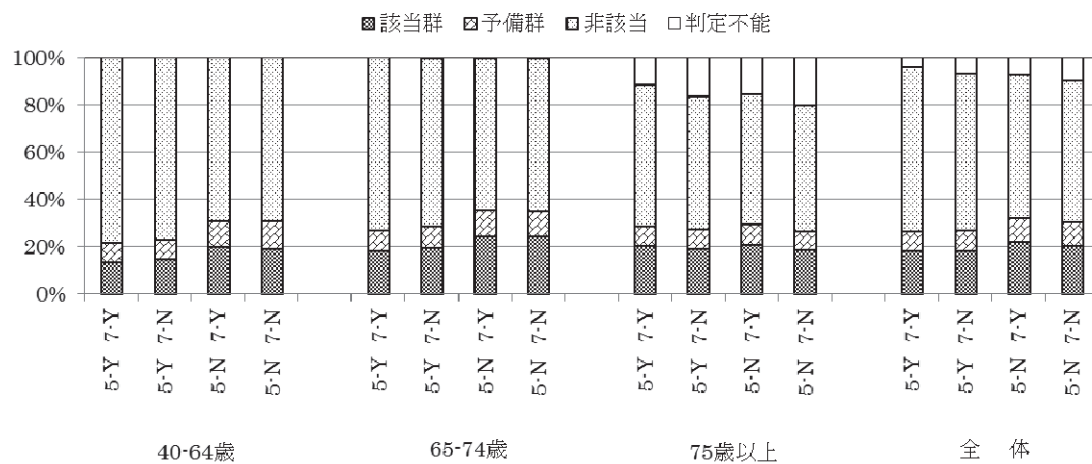


# 1-18 歯科質問項目5×7回答別 メタボ判定区分

メタボ該当群・予備群の割合は、40-64歳と65-74歳では「5-Y 7-Y」より「5-N 7-N」の方が高くなっていた。しかし、75歳以上ではこれと逆の結果になっていた。

全体では、メタボ該当群・予備群の割合は、「5-Y 7-Y」より「5-N 7-N」の方が高くなっていた。5-Yと5-N、すなわち、セルフケア群と非セルフケア群とを比較すると、メタボ該当群・予備群の割合に3.4%～5.8%の違いがみられ、メタボ判定に関してはプロフェッショナルケアよりセルフケアのほうの影響が強く表れていた。

年齢階級	区 分	人 数					割 合			
		総数	該当群	予備群	非該当	判定不能	該当群	予備群	非該当	判定不能
40-64歳	5-Y 7-Y	4,705	627	379	3,699	0	13.3%	8.1%	78.6%	0.0%
	5-Y 7-N	3,454	503	281	2,670	0	14.6%	8.1%	77.3%	0.0%
	5-N 7-Y	2,424	482	266	1,676	0	19.9%	11.0%	69.1%	0.0%
	5-N 7-N	7,152	1,349	848	4,955	0	18.9%	11.9%	69.3%	0.0%
65-74歳	5-Y 7-Y	10,823	1,974	943	7,891	15	18.2%	8.7%	72.9%	0.1%
	5-Y 7-N	5,894	1,138	538	4,202	16	19.3%	9.1%	71.3%	0.3%
	5-N 7-Y	4,861	1,184	548	3,113	16	24.4%	11.3%	64.0%	0.3%
	5-N 7-N	10,462	2,534	1,139	6,747	42	24.2%	10.9%	64.5%	0.4%
75歳以上	5-Y 7-Y	9,453	1,903	789	5,661	1,100	20.1%	8.3%	59.9%	11.6%
	5-Y 7-N	6,543	1,230	560	3,653	1,100	18.8%	8.6%	55.8%	16.8%
	5-N 7-Y	6,333	1,322	546	3,476	989	20.9%	8.6%	54.9%	15.6%
	5-N 7-N	16,386	3,029	1,323	8,707	3,327	18.5%	8.1%	53.1%	20.3%
全 体	5-Y 7-Y	24,981	4,504	2,111	17,251	1,115	18.0%	8.5%	69.1%	4.5%
	5-Y 7-N	15,891	2,871	1,379	10,525	1,116	18.1%	8.7%	66.2%	7.0%
	5-N 7-Y	13,618	2,988	1,360	8,265	1,005	21.9%	10.0%	60.7%	7.4%
	5-N 7-N	34,000	6,912	3,310	20,409	3,369	20.3%	9.7%	60.0%	9.9%



## まとめ・考察（Ⅱ）

### A 平成 23 年度特定健診受診者の状況

#### 性別・年齢階級別の状況

- ・平成 23 年度特定健診受診者は、約 9 万人で、平成 22 年度より約 3 千人減少していた。その属性については、男女比ではおよそ 1:1.6 で女性が多く、年齢階級別では 40-64 歳がおよそ 20%、65-74 歳がおよそ 36%、75 歳以上がおよそ 44%と、75 歳以上が一番多かった。

#### 歯科階層化判定の状況

- ・対象者の歯科階層化判定の状況は、各年齢階級とも情報提供群が最も多かった。積極的支援群の割合は年齢階級が高くなるにつれ 12.6%、8.9%、7.6%と少なくなっていた。

#### 歯科質問項目 1 の回答の状況

- ・歯科質問項目 1「何でもかんで食べられる」について「はい」と答えた者の割合は 40-64 歳で 88.5%、65-74 歳で 86.0%、75 歳以上で 77.8%と、高齢になるほど何でもかんで食べられる者の割合が少なくなっていた。

#### 対象者の歯科質問項目 5×7 回答の状況

- ・全体として、「5-Y 7-Y」が 28.5%、「5-Y 7-N」が 17.3%、「5-N 7-Y」が 15.4%、「5-N 7-N」が 36.9%と、「5-N 7-N」の割合が最も多かった。「5-Y 7-Y」が多く「5-N 7-N」が少ないのは、65-74 歳、40-64 歳、75 歳以上の順であった。特筆すべき点は 65-74 歳でのみ「5-Y 7-Y」の割合が「5-N 7-N」の割合を上回っていた。働き盛りの年齢より、退職して後期高齢期に入るまでが、最も口腔ケアへの意識が高い時期と考えられた。

### B 平成 23 年度特定健診受診者の特定健診結果の状況

#### 歯科階層化判定と特定健診結果の状況

- ・歯科階層化判定と BMI、腹囲、HbA1c、尿糖、喫煙、メタボ判定区分との関係を分析した。40-64 歳と 65-74 歳では全ての項目において、概ね歯科階層化判定が重くなるほど肥満、糖尿病、喫煙傾向、メタボの割合が高くなっていた。ところが、75 歳以上では喫煙以外の項目でこの傾向とは逆の傾向を示していた。

#### 歯科質問項目 1 の回答と特定健診結果の状況

- ・歯科質問項目 1「何でもかんで食べられる」回答と BMI、腹囲、HbA1c、尿糖、喫煙、メタボ判定区分との関係を分析した。
- ・肥満(BMI、腹囲)の割合は 40-64 歳では「何でもかんで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が高く、75 歳上では逆に「何でもかんで食べられる」に「はい」と答えた群の方が高かった。65-74 歳では BMI と腹囲で逆の結果が出ていた。
- ・糖尿病(HbA1c、尿糖)に関して、HbA1c 基準値以上や尿糖±以上の割合は 40-64 歳では「何でもかんで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が高かったが、75 歳上では逆に「何でもかんで食べられる」に「はい」と答えた群の方が高かった。65-74 歳では HbA1c と尿糖で逆の結果が出ていた。尿糖が±～+++の割合はすべての年齢階級で「何でもかんで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が高かった。
- ・喫煙する人の割合は、すべての年齢階級で「何でもかんで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が概ね高かった。
- ・メタボの割合は 40-64 歳、65-74 歳では「何でもかんで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が高かったが、75 歳以上では「何でもかんで食べられる」に「はい」と答えた群の方が高くなっていた。

## 歯科質問項目5×7の回答と特定健診結果の状況

- ・歯科質問項目5「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」(セルフケア)と歯科質問項目7「定期的(年1回以上)に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している」(プロフェッショナルケア)のクロス回答とBMI、腹囲、HbA1c、尿糖、喫煙、メタボ判定区分との関係を分析した。
- ・肥満との関係でBMIについては、「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に、どの年齢階級でも基準値以上の者の割合が高くなっていた。
- ・また、腹囲に関しては、40-64歳と65-74歳で同じように「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に基準以上の者の割合が高くなっていたが、75歳以上ではこのようにはなかった。全体としては、「5-Y 7-Y」よりも「5-N 7-N」の方が基準以上の者の割合が高かった。
- ・肥満に関しては、セルフケアの影響がプロフェッショナルケアの影響を上回っていた。
- ・糖尿病(HbA1c、尿糖)に関して、HbA1c 基準値以上や尿糖±以上の割合は40-64歳と65-74歳で「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に高くなっていたが、75歳以上ではこの傾向に無く、全体としては「5-Y 7-Y」よりも「5-N 7-N」のほうがHbA1c、尿糖ともにわずかに高かった。
- ・喫煙する人の割合は、すべての年齢階級で「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に高くなっていた。
- ・メタボの割合は40-64歳、65-74歳では「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に高かったが、75歳以上ではこの傾向に無く、全体としては「5-Y 7-Y」よりも「5-N 7-N」のほうがメタボの割合は高かった。
- ・肥満、糖尿病、喫煙、メタボ全てにおいて、セルフケア、プロフェッショナルケア両方とも行っていると答えた群が、特定健診結果が優れている者の割合が一番高いという結果が得られた。そして、特定健診結果に与える影響はセルフケア群のほうがプロフェッショナルケア群よりも大きかった。

## まとめ

- ・昨年に引き続き、特定健診受診者について、香川県独自の歯科質問項目から歯科階層化判定と何でもかんで食べられるかどうかで、特定健診結果との関係を分析した。40-64歳では、歯科階層化判定が重度なほど、また「何でも咬んで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が、各種健診結果が悪くなっていたが、75歳以上では逆の結果が出た。これは昨年分析したように、75歳以上に残存歯数が極端に少ないものが多く含まれることにより、歯周病リスクと関係なく階層化されていたり、抜歯後義歯装着等により再び良く噛めるようになった、などの影響が考えられる。
- ・今年はこれに加え、セルフケアとプロフェッショナルケアについて特定健診結果との関係を分析したところ、全ての検査項目についてセルフケア、プロフェッショナルケア両方とも行っていると答えた群がどちらも行っていないと答えた群よりも健診結果が優れている者の割合が高かった。よって、肥満、糖尿病、喫煙、メタボに対する口腔ケアの重要性が示唆された。そして、健診結果に与える影響は、セルフケア群の方が大きかった。
- ・喫煙に関しては、歯科階層化判定別、歯科質問項目1回答別、歯科質問項目5×7回答別全てにおいて、年齢区分に関係なく同じ傾向が認められた。今回、セルフケア、プロフェッショナルケアを行っていると答えた群に喫煙者の割合が少なく、そうでない群に喫煙者の割合が多かった。そして、この傾向は若い年齢区分ほど強くなっていることがわかった。



### Ⅲ 平成 23 年度特定健診受診者のうち平成 23 年 5,8,11,平成 24 年 2 月に受診した者の状況

#### 一 調査の概要

##### 1 分析対象者および分析方法

香川県国民健康保険団体連合会および香川県後期高齢者医療広域連合の協力を得て、平成 23 年度特定健診受診者の特定健診の質問票回答および健診結果を入手できた者を対象者とし、歯科階層化判定別と歯科質問項目 1「何でもかんで食べられる」、項目 5「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」(セルフケア)と項目 7「定期的に(年に 1 回以上)に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している」(プロフェッショナルケア)のクロス回答別(以下、項目 5×7)に平成 23 年度の医療費について分析を行った。なお、以下、項目 5 も 7 も「はい」を「5-Y 7-Y」、5 が「はい」で 7 は「いいえ」を「5-Y 7-N」、5 が「いいえ」で 7 が「はい」を「5-N 7-Y」、5 も 7 も「いいえ」を「5-N 7-N」と表す。

香川県国保連合会および香川県後期高齢者医療広域連合では毎年度 5, 8, 11, 2 月診療分のレセプトについて疾病分類を行っているので、平成 23 年度の 4 か月分のレセプトを用いて、特定健診受診者と突合を行い、以下の項目について分析を行った。分析に当たって、レセプトの個人コードを基に名寄せを行い、分析に使用した。名寄せ人数は 85,384 人で、特定健診受診者の 94.8%であった。

レセプトは 4 か月分なので求めた諸数値を 3 倍して、受診者 1 人あたり 1 年間の諸数値を求めた。

診療日数や診療費の分布はほとんどの場合、正規分布しない。そのような分布において、平均値は飛び外れた高い値に影響を受けるので、集団の代表値として適さないこともある。そのような場合、中央値は代表値として有用である。そこで、今回の分析では、それぞれの平均値とともに中央値を求めた。グラフでは、平均値を棒グラフに、中央値を折れ線グラフで示した。

##### 2 分析項目

###### (1) 医科(入院・外来含む)、歯科、調剤別

###### (2) 主要疾病別

以下の疾病を主要疾病として分析した。なお、今年度から肺炎を分析項目に加えた。

主要疾病名	対象者(人)	主要疾病名	対象者(人)
悪性新生物	6,207	高血圧性疾患	27,417
虚血性心疾患	2,990	動脈硬化症	380
脳血管疾患	4,394	肺炎	435
糖尿病	6,334	歯の疾患	38,496

###### (3) 生活習慣病

以下の疾病を生活習慣病として分析した。

悪性新生物	虚血性心疾患	脳血管疾患
糖尿病	高血圧性疾患	動脈硬化症

生活習慣病で受診した者は 42,410 人(49.7%)であった。



## 二 調査・分析結果

### (1) 特定健診の歯科質問項目からの歯科階層化判定別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況

#### 1-1 歯科階層化判定別日数(一人あたり1年間、日)

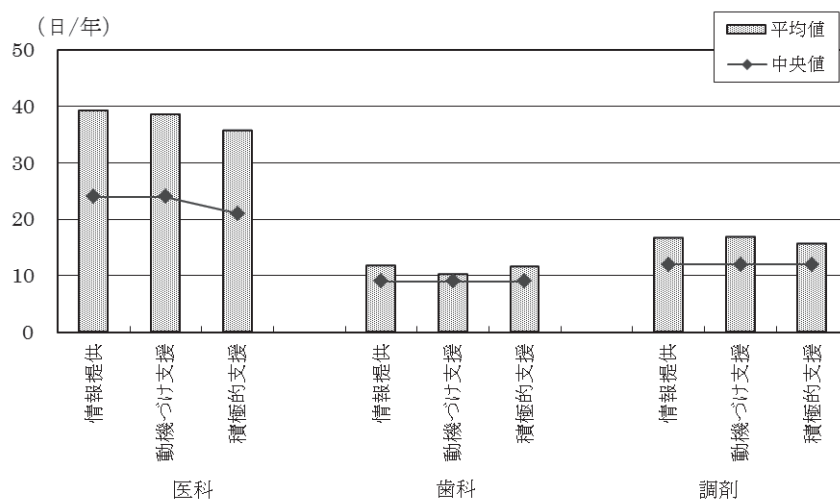
全体の平均日数は医科 38.7 日で、歯科の 11.3 日に比べて約 27 日多くなっていた。また、調剤は 16.6 日で歯科よりも約 5 日多くなっていた。

医科では情報提供群の平均日数が 39.3 日、積極的支援群が 35.6 日と、判定区分が重くなるほど日数が少なくなっていた。

歯科では動機づけ支援群が平均 10.1 日と最も日数が少なくなっていた。

調剤では逆に動機づけ支援群が 16.8 日で最も日数が多くなっていた。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	46,148	39.3	24.0	11.7	9.0	16.6	12.0
動 機 づ け 支 援	31,763	38.6	24.0	10.1	9.0	16.8	12.0
積 極 的 支 援	7,473	35.6	21.0	11.5	9.0	15.7	12.0
全 体	85,384	38.7	24.0	11.3	9.0	16.6	12.0



## 1-2 歯科階層化判定別診療費（一人あたり1年間、円）

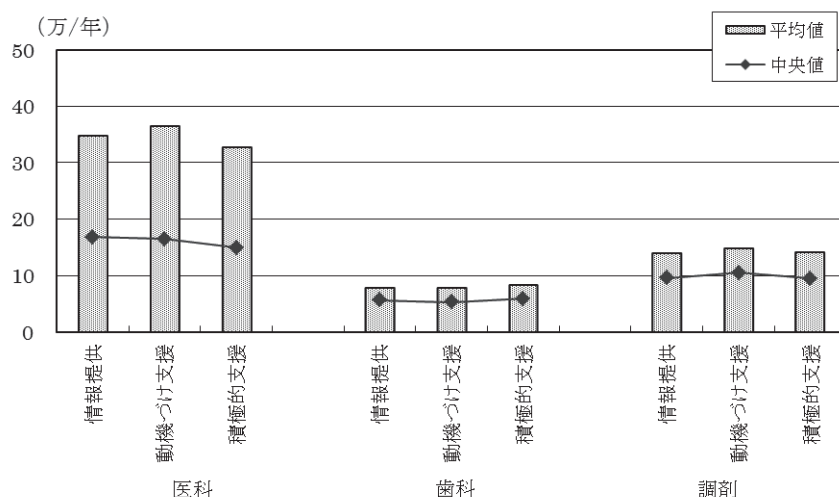
全体の平均診療費は医科約 35.3 万円で、歯科の約 7.9 万円に比べて約 27 万円高くなっていた。また、調剤は約 14.3 万円で歯科よりも約 6 万円高くなっていた。

医科では積極的支援群の平均診療費が約 32.7 万円で最も低く、次いで情報提供群が約 34.9 万円で、動機づけ支援群が 36.5 万円で最も高かった。

歯科では情報提供群が平均約 7.9 万円、動機づけ支援は約 7.8 万円であったが、積極的支援群は約 8.4 万円と高くなっていた。

調剤では医科と同様に情報提供群が平均約 14.0 万円で最も低く、動機づけ支援群が約 14.8 万円で最も高かった。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	46,148	348,880	168,150	78,639	56,385	139,828	95,490
動 機 づ け 支 援	31,763	364,709	164,340	77,972	53,190	148,311	104,850
積 極 的 支 援	7,473	327,243	149,580	84,139	59,220	140,934	94,665
全 体	85,384	352,943	164,940	78,907	55,860	143,046	98,880



(2) 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況

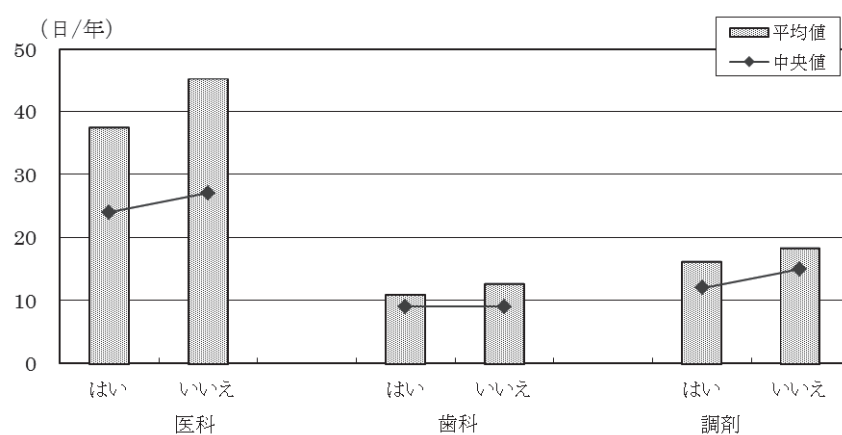
2-1 歯科質問項目1別日数(一人あたり1年間、日)(無回答は非表示)

医科では「はい」の平均日数が37.5日、「いいえ」が45.2日と、「はい」の方が約7日少なくなっていた。

歯科では「はい」の平均日数が11.1日、「いいえ」が12.7日と、「はい」の方が約2日少なくなっていた。

調剤でも、「はい」の平均日数が16.3日、「いいえ」が18.4日と、「はい」の方が約2日少なくなっていた。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	70,588	37.5	24.0	11.1	9.0	16.3	12.0
いいえ	13,321	45.2	27.0	12.7	9.0	18.4	15.0
全 体	85,384	38.7	24.0	11.3	9.0	16.6	12.0



## 2-2 歯科質問項目1別診療費(一人あたり1年間、円)(無回答は非表示)

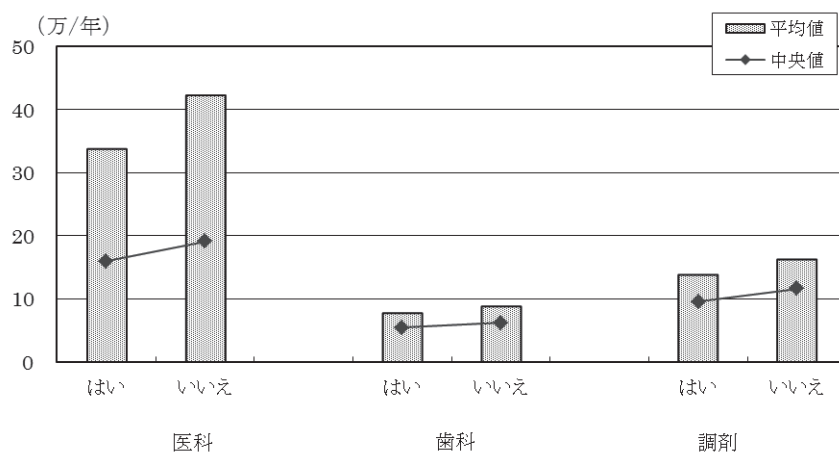
医科では「はい」の平均診療費が約 33.8 万円、「いいえ」が約 42.3 万円で、「はい」の方が約 8.5 万円低かった。

歯科では「はい」が約 7.7 万円、「いいえ」が約 8.8 万円で、「はい」の方が約 1.1 万円低かった。

調剤では「はい」が約 13.9 万円、「いいえ」が約 16.3 万円で、「はい」の方が約 2.4 万円低かった。

中央値で見てもすべての診療科において「はい」のほうが低い値を示していた。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	70,588	338,297	159,570	77,040	54,780	139,227	95,910
いいえ	13,321	423,223	191,160	88,421	61,950	163,234	116,220
全 体	85,384	352,943	164,940	78,907	55,860	143,046	98,880



### (3) 歯科質問項目 5×7 回答別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況

#### 3-1 歯科質問項目 5×7 回答別 日数(一人あたり1年間、日)(無回答は非表示)

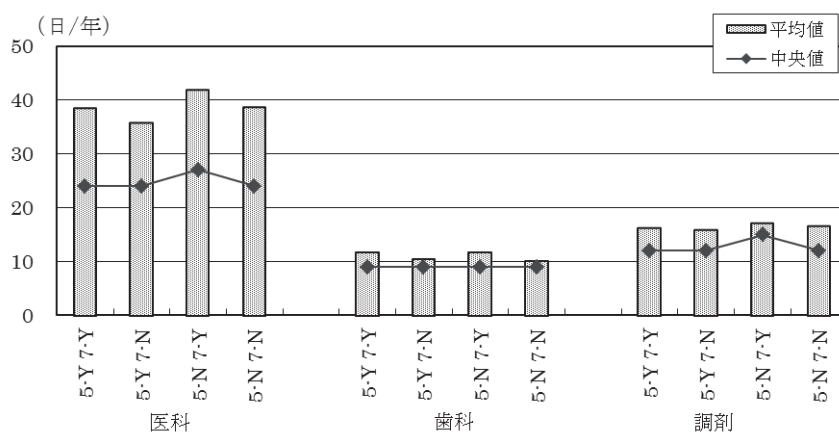
医科の診療日数については「5-Y 7-N」の平均値が 35.8 日と最も少なく、「5-N 7-Y」が 42.0 日と最も多かった。

「7-Y」(プロフェッショナルケア群)が高くなっていたが、質問項目 7 の回答が同じなら「5-N」(非セルフケア群)の方が平均値が多くなっていた。

歯科の平均値においては「7-Y」(プロフェッショナルケア群)が高く、「5-N 7-N」が最も低かった。

調剤においては「5-Y」(セルフケア群)より「5-N」(非セルフケア群)で平均値が高くなる傾向にあった。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	24,359	38.5	24.0	11.8	9.0	16.4	12.0
5-Y 7-N	14,808	35.8	24.0	10.7	9.0	16.0	12.0
5-N 7-Y	13,168	42.0	27.0	11.8	9.0	17.3	15.0
5-N 7-N	31,483	38.8	24.0	10.3	9.0	16.8	12.0
全 体	85,384	38.7	24.0	11.3	9.0	16.6	12.0



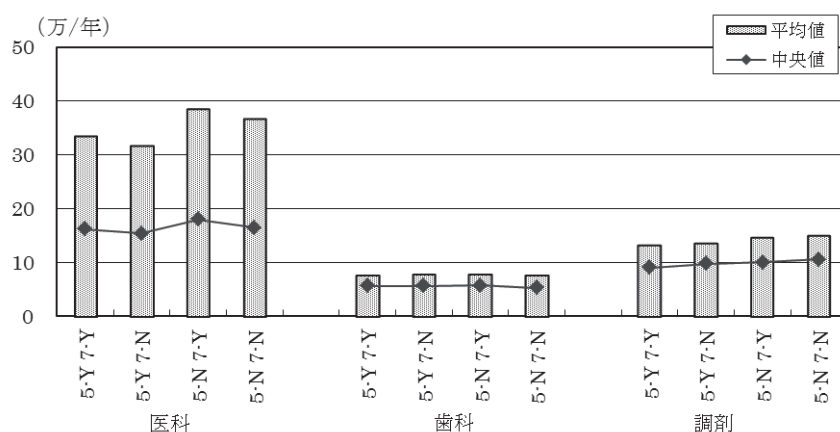
### 3-2 歯科質問項目5×7別 診療費(一人あたり1年間、円)(無回答は非表示)

医科の平均値、中央値とも「5-N」(非セルフケア群)が高い傾向にあり、「5-Y」(セルフケア群)同士、「5-N」(非セルフケア群)同士で質問項目7の回答別を比較すると「7-Y」(プロフェッショナルケア群)の方が平均値、中央値が高かった。

歯科の平均値においては「5-Y 7-Y」が7.8万円と最も低く、「5-N 7-Y」が8.1万円と最も高かったがその差は小さかった。

調剤については「5-Y 7-Y」が平均値13.4万円、中央値9.1万円と最も低く「5-N 7-N」が平均値15.1万円、中央値10.6万円と最も高かった。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	24,359	335,241	161,865	78,074	56,370	134,253	90,990
5-Y 7-N	14,808	316,797	153,840	79,348	56,460	137,538	97,740
5-N 7-Y	13,168	384,687	180,330	80,565	57,390	148,133	100,740
5-N 7-N	31,483	367,232	164,790	78,832	53,400	150,560	105,540
全 体	85,384	352,943	164,940	78,907	55,860	143,046	98,880



#### (4) 主要疾病別分析

##### 悪性新生物 年齢階級別歯科階層化判定別

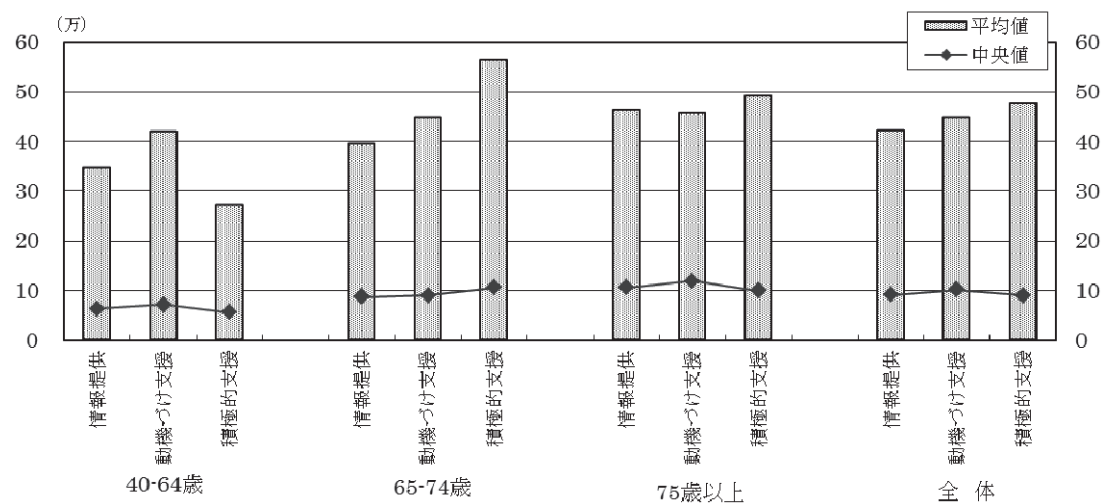
悪性新生物の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	479	1,339	1,679	3,497
動機づけ支援	293	698	1,222	2,213
積極的支援	92	181	224	497
計	864	2,218	3,125	6,207

##### ・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別ではばらつきがあるが、全体では、歯科階層化判定が重くなるほど診療費の平均値が高くなっており、積極的支援群は情報提供群より約 5.5 万円高かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	347770	62550	395730	86550	464160	105990	422020	90630
動機づけ支援	420790	71490	448590	90110	457140	119300	449630	101580
積極的支援	270500	55290	564700	105300	492040	99200	477490	90270
全 体	364300	64320	426150	89010	463420	109650	436300	94500





## 悪性新生物 年齢階級別歯科質問項目1回答別

悪性新生物の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

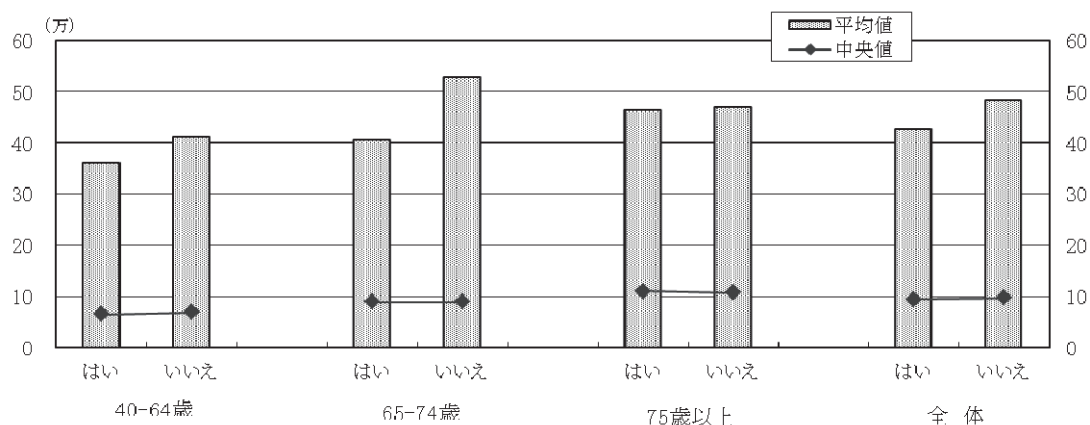
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	771	1,888	2,477	5,136
い い え	89	320	568	977
無 回 答	4	10	80	94
計	864	2,218	3,125	6,207

### ・診療費（一人あたり1年間、円）

全ての年齢階級で、「はい」の方が診療費の平均値が低くなっていた。中央値においても同様の傾向が見られる。

全体でも「はい」の方が診療費の平均値が約 5.5 万円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	360310	64320	406160	88700	463700	110340	427030	93410
い い え	412180	69000	526910	88700	469470	106880	483060	97110
全 体	364300	64320	426150	89010	463420	109650	436300	94500



## 悪性新生物 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

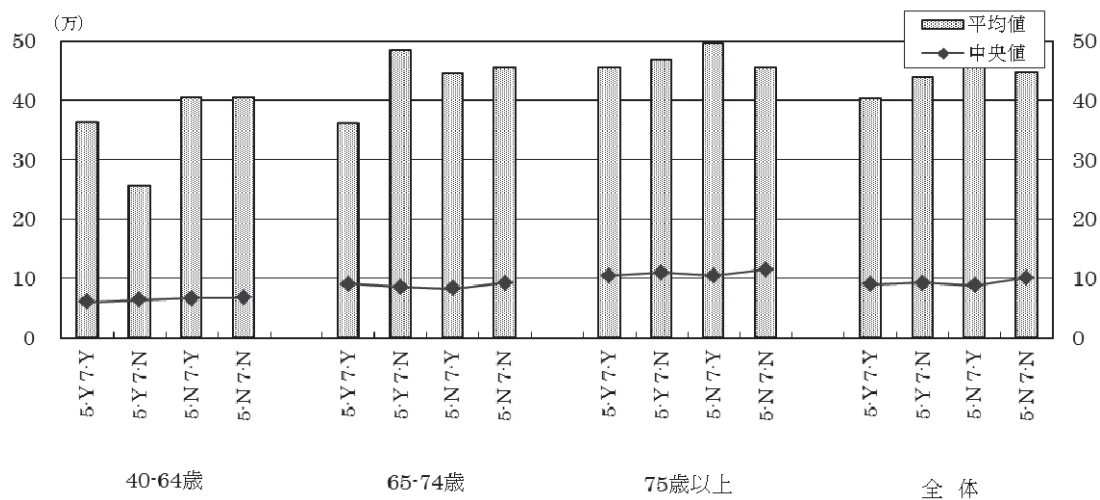
悪性新生物の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	258	766	791	1,815
5-Y 7-N	170	361	499	1,030
5-N 7-Y	137	387	570	1,094
5-N 7-N	295	691	1,179	3,939
全 体	860	2,205	3,039	7,878

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

40-64 歳の年齢階級では「5-Y」（セルフケア群）が平均値、中央値とも低く、「5-N 7-Y」が平均値、中央値とも最も高くなっていた。他の年齢層では一定の傾向は認められなかった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	364030	60240	360630	90440	455710	104400	402550	90240
5-Y 7-N	254990	63720	484590	85230	469140	109560	439210	92490
5-N 7-Y	403920	66690	447050	82620	496880	104390	467610	87720
5-N 7-N	405200	67080	455470	92640	454610	115140	448150	101430
全 体	364300	64320	426150	89010	463420	109650	436300	94500



## 虚血性心疾患 年齢階級別歯科階層化判定別

虚血性心疾患の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

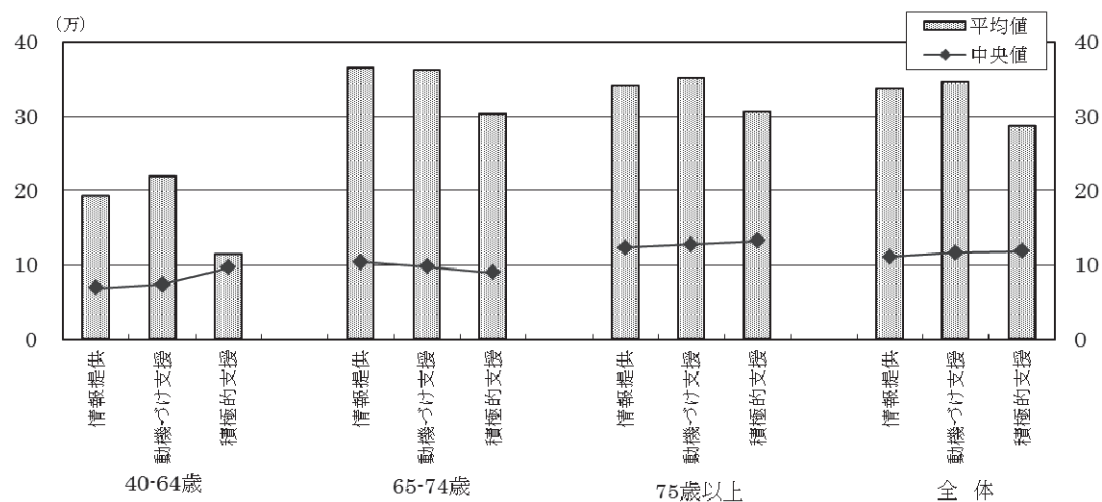
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	124	522	964	1,610
動機づけ支援	75	268	799	1,142
積極的支援	22	80	136	238
計	221	870	1,899	2,990

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

平均値は各年齢階級とも積極的支援群が最も低くなっていた。

全体でも、積極的支援群が最も低く、動機づけ支援群が最も高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	192330	69260	365530	104480	341450	123420	337770	111300
動機づけ支援	219320	73800	362210	98240	351720	127830	345490	116310
積極的支援	114540	96750	302680	89340	306150	132170	287270	118520
全 体	193740	72720	358730	99690	343240	126360	336700	113480



## 虚血性心疾患 年齢階級別歯科質問項目1回答別

虚血性心疾患の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

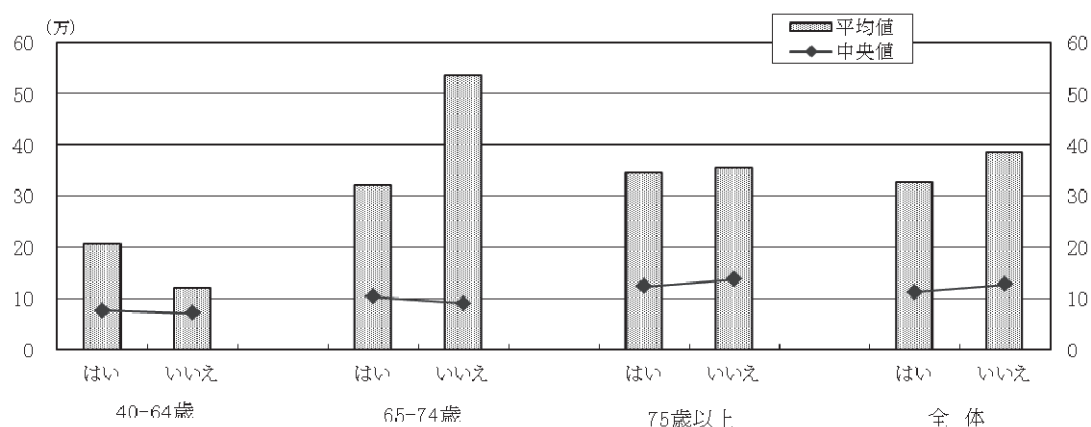
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	189	731	1,479	2,399
い い え	27	122	361	510
無 回 答	5	17	59	81
計	221	870	1,899	2,990

### ・診療費（一人あたり1年間、円）

40-64歳の年齢層では「はい」の方が平均値、中央値とも高いが他の年齢階級では「はい」の方が平均値が低くなっていた。

全体では、「はい」の平均値の方が約6万円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	207790	75360	320240	102660	344550	122490	326370	111840
い い え	120140	70950	535050	90290	355090	136890	385700	126540
全 体	193740	72720	358730	99690	343240	126360	336700	113480



## 虚血性心疾患 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

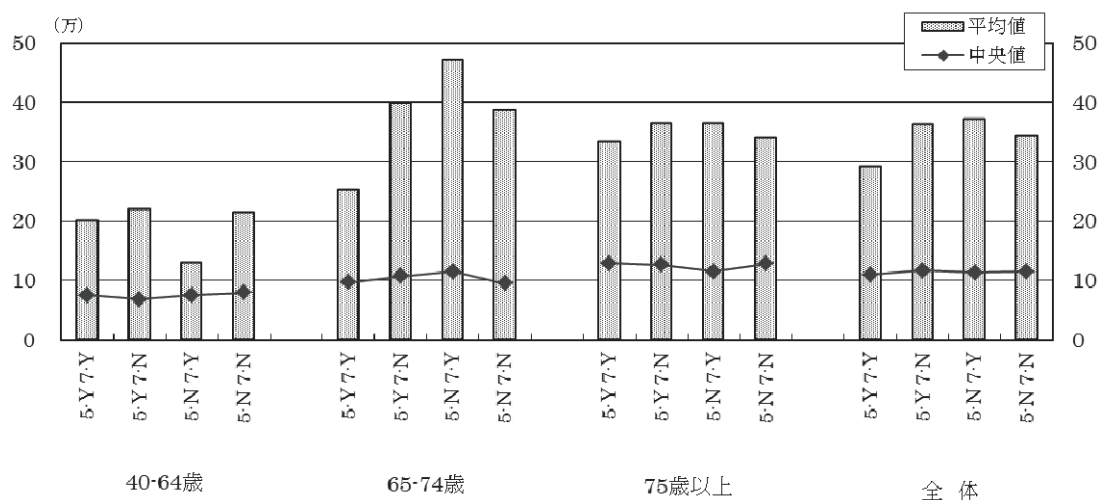
虚血性心疾患の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	65	317	455	837
5-Y 7-N	40	156	304	500
5-N 7-Y	36	113	303	452
5-N 7-N	75	267	774	1,789
全 体	216	853	1,836	3,578

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

歯科質問項目、年齢階級における虚血性心疾患患者については平均値、中央値のいずれにおいても一定の傾向を認めることができなかった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	199900	75360	252850	96450	333420	128730	292540	109350
5-Y 7-N	219690	67820	400090	107040	364080	126390	363760	116400
5-N 7-Y	128660	75410	471850	114780	364720	115050	372700	113550
5-N 7-N	214700	79680	387590	95280	341530	128220	344030	115070
全 体	193740	72720	358730	99690	343240	126360	336700	113480



## 脳血管疾患 年齢階級別歯科階層化判定別

脳血管疾患の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

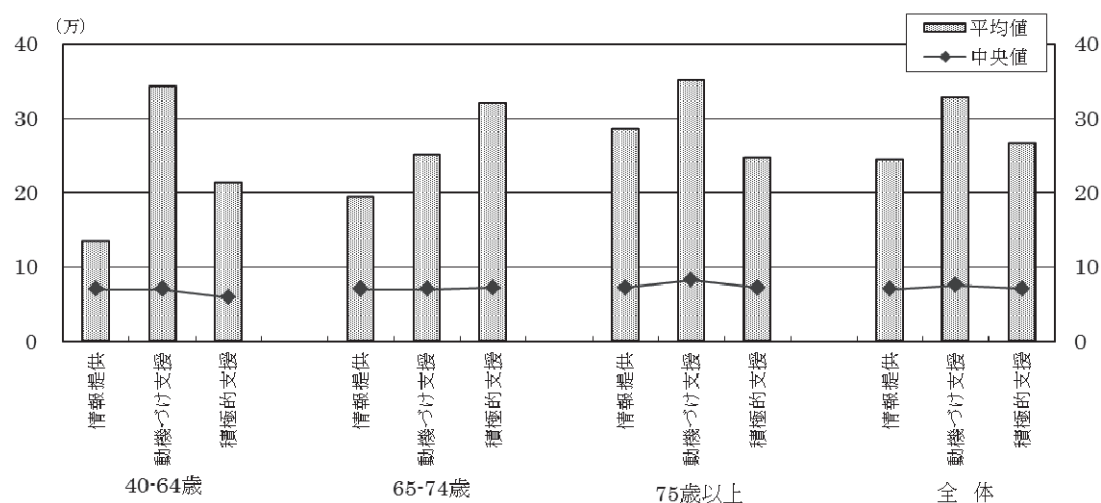
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	174	758	1,337	2,269
動機づけ支援	122	400	1,202	1,724
積極的支援	35	124	242	401
計	331	1,282	2,781	4,394

### ・診療費（一人あたり1年間、円）

平均値において 74 歳以下では、情報提供群が最も低くなっていたが、75 歳以上では積極的支援群が最も低くなっていた。

全体では、平均値においても中央値においても情報提供群が最も低く、動機づけ支援群が最も高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	134700	70500	194340	70500	286020	72540	243790	70500
動機づけ支援	343040	70500	250590	70410	351570	82850	327540	75660
積極的支援	214260	59580	321590	72540	246060	72660	266640	71160
全 体	219900	70500	224200	70500	310870	77730	278730	72140



## 脳血管疾患 年齢階級別歯科質問項目1回答別

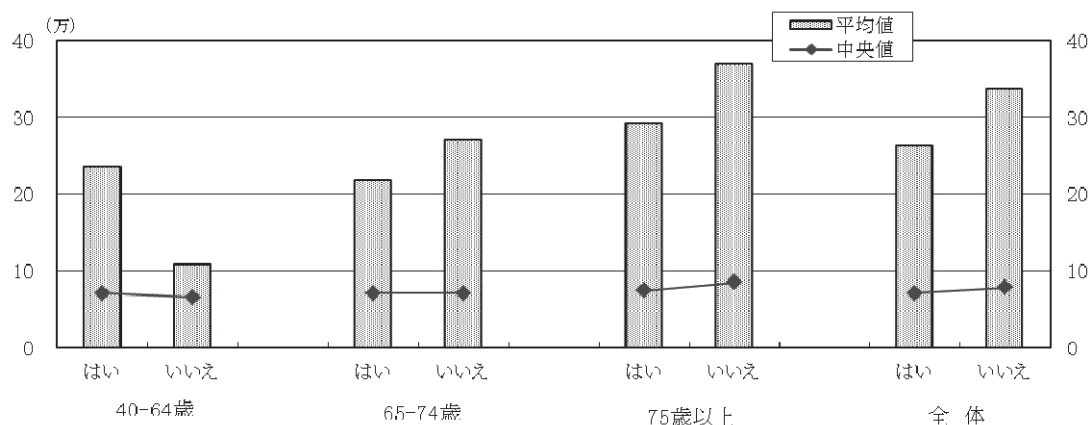
脳血管疾患の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	292	1,065	2,058	3,415
い い え	35	198	652	885
無 回 答	4	19	71	94
計	331	1,282	2,781	4,394

### ・診療費(一人あたり1年間、円)

40-64歳の年齢階級では「いいえ」の方が平均値、中央値とも低くなっていたが、その他の年齢階級では「はい」の方が平均値が低くなっていた。全体でも、「はい」の方が平均値が約7万円低く、中央値においても約7千円低かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	235450	70500	217980	70500	291910	74120	264030	70680
い い え	107850	65280	270370	70500	369750	84870	337160	78000
全 体	219900	70500	224200	70500	310870	77730	278730	72140





## 脳血管疾患 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

脳血管疾患の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

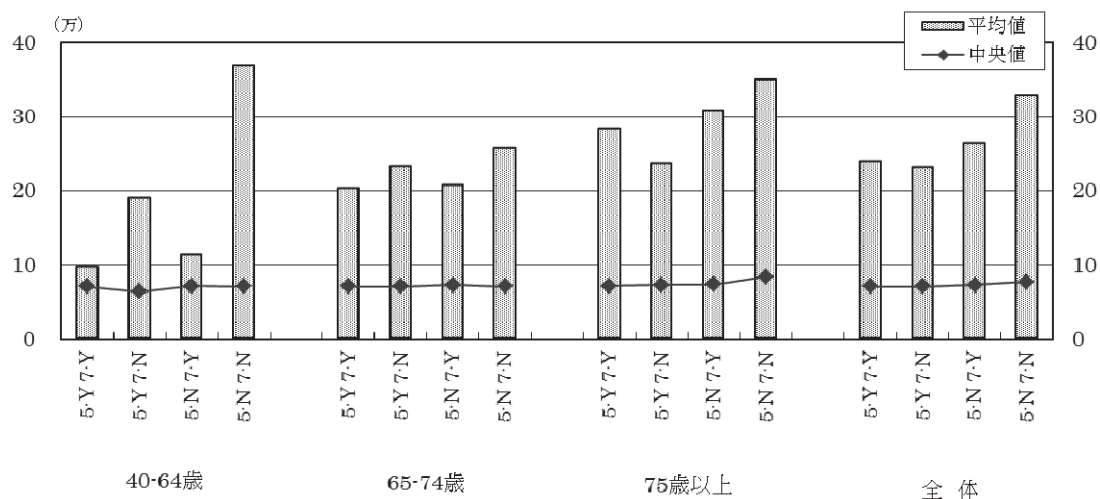
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	84	447	619	1,150
5-Y 7-N	53	201	394	648
5-N 7-Y	62	204	456	722
5-N 7-N	128	410	1,230	2,520
全 体	327	1,262	2,699	5,040

### ・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢層において「5-N 7-N」の平均値が最も高かった。また、「5-Y」（セルフケア群）はすべての年齢層において「5-N」（非セルフケア群）より平均値が低くなっていた。

40-64 歳、65-74 歳では、「7-Y」（プロフェッショナルケア群）は「7-N」（非プロフェッショナルケア群）より平均値が低く、セルフケアよりプロフェッショナルケアの影響が強く、その差が大きくなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	96030	70500	203080	70500	283930	71100	238780	70500
5-Y 7-N	189250	63240	232910	70500	236260	72500	231370	70500
5-N 7-Y	113740	71210	207800	72570	309220	73370	263780	72600
5-N 7-N	370130	70500	257680	70500	349820	83660	329920	76620
全 体	219900	70500	224200	70500	310870	77730	278730	72140



## 糖尿病 年齢階級別歯科階層化判定別

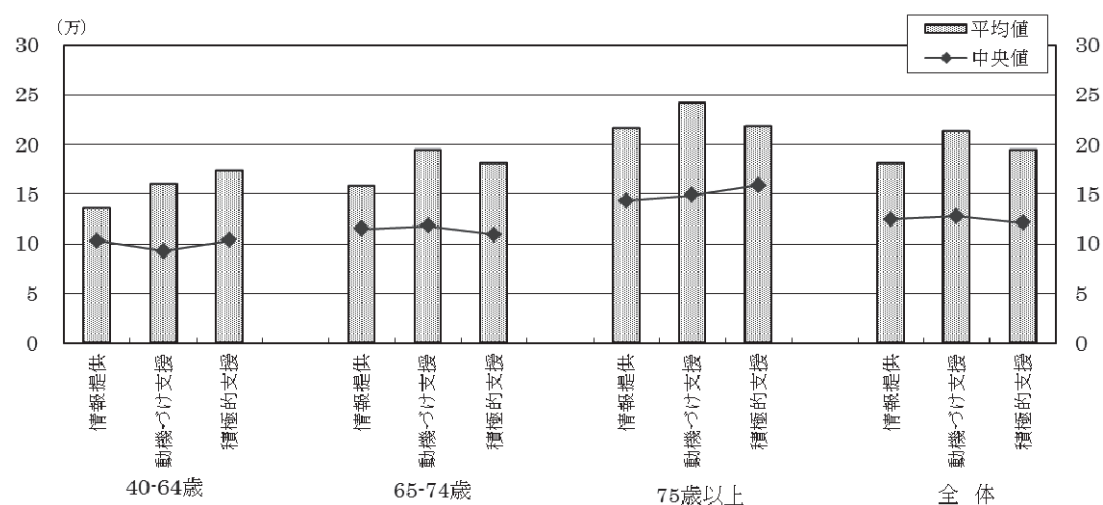
糖尿病の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	420	1,433	1,476	3,329
動機づけ支援	338	879	1,241	2,458
積極的支援	112	221	214	547
計	870	2,533	2,931	6,334

### ・診療費（一人あたり1年間、円）

40-64 歳では積極的支援群の平均値、中央値が最も高く、65-74 歳、75 歳以上では動機づけ支援群の平均値が最も高くなっていた。また、75 歳以上では積極的支援群の中央値が最も高かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	135280	103050	158620	114930	215730	143250	181000	124740
動機づけ支援	159790	92850	194100	117990	241540	149160	213340	127760
積極的支援	173350	103730	180970	109200	218650	159110	194150	121110
全 体	149710	98640	172880	115710	226870	147360	194680	124980



## 糖尿病 年齢階級別歯科質問項目1回答別

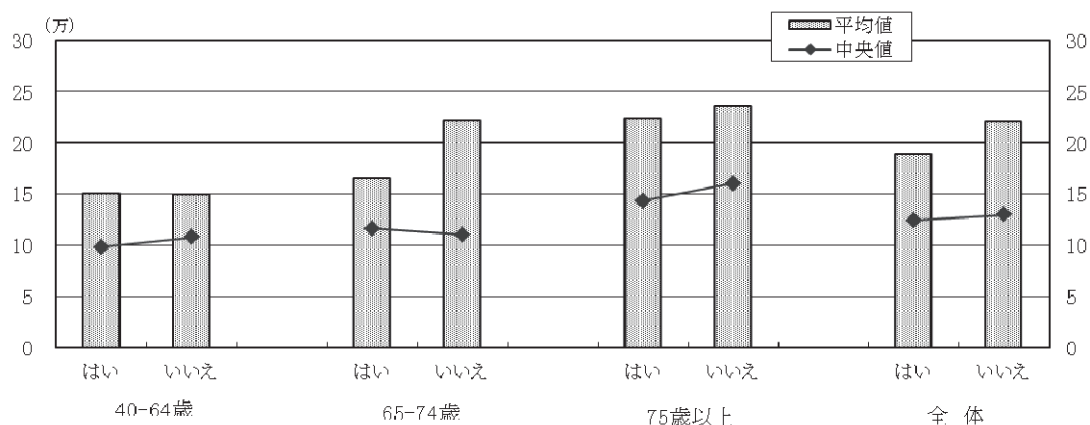
糖尿病の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	757	2,176	2,341	5,274
い い え	107	329	503	939
無 回 答	6	28	87	121
計	870	2,533	2,931	6,334

### ・診療費（一人あたり1年間、円）

65 歳以上の年齢層の平均値では「はい」の方が低くなっていた。64 歳以下では「はい」の平均値のほうが高くなっていたが、中央値においては「はい」の方が低くなっていた。全体では、「はい」の方が平均値で約3万円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	150080	98130	165770	116210	223520	143280	189150	124020
い い え	149320	107490	221990	110340	235720	160170	221070	129900
全 体	149710	98640	172880	115710	226870	147360	194680	124980



## 糖尿病 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

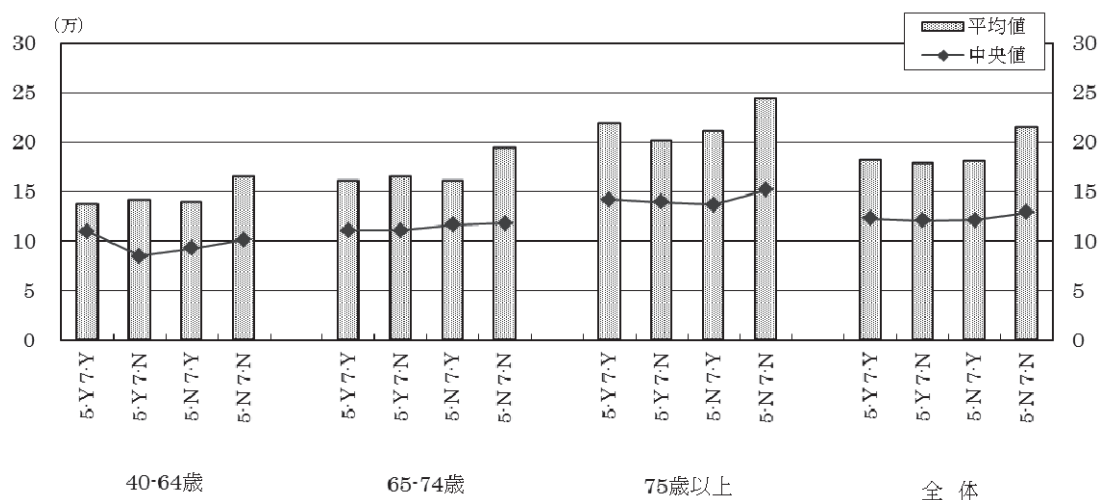
糖尿病の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	213	797	682	1,692
5-Y 7-N	142	386	455	983
5-N 7-Y	140	429	475	1,044
5-N 7-N	369	888	1,230	3,719
全 体	864	2,500	2,842	7,438

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢層において「5-N 7-N」の平均値が最も高かった。全体においても「5-N 7-N」は平均値が最も高く、中央値も最も高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	136380	109620	160790	110700	219330	141480	181310	122490
5-Y 7-N	141200	84600	164620	110480	201360	139200	178240	120600
5-N 7-Y	139220	92150	160650	116460	210600	136560	180510	120800
5-N 7-N	165310	101160	193540	118020	244120	151340	214360	128490
全 体	149710	98640	172880	115710	226870	147360	194680	124980



## 高血圧性疾患 年齢階級別歯科階層化判定別

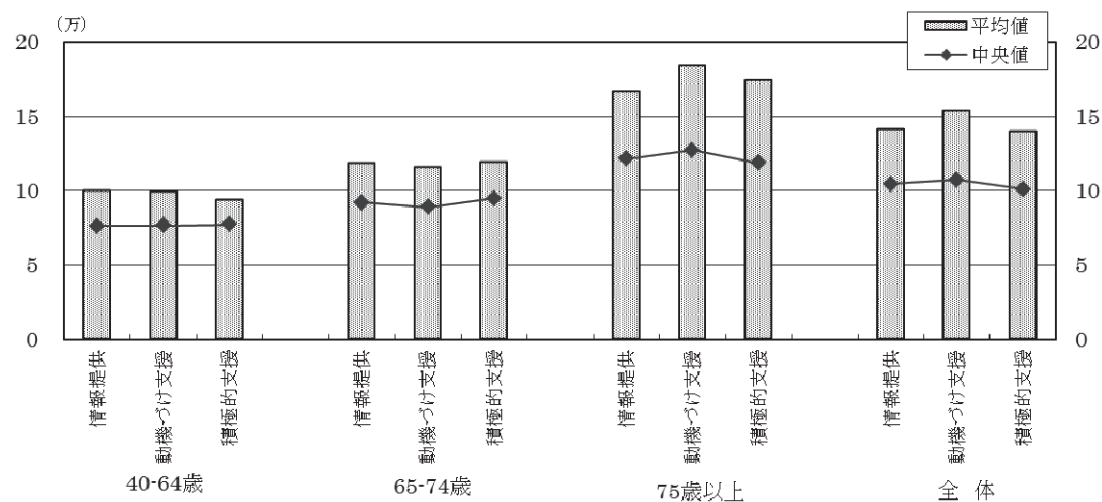
高血圧性疾患の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	1,518	5,453	7,309	14,280
動機づけ支援	1,222	3,297	6,262	10,781
積極的支援	442	840	1,074	2,356
計	3,182	9,590	14,645	27,417

### ・診療費（一人あたり1年間、円）

全体では、平均値、中央値とも動機づけ支援群が最も高く、積極的支援群が最も低くなっていた。年齢階級別では傾向がばらばらで一定の傾向が認められなかった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	99720	76230	118800	92280	167030	121560	141460	104400
動機づけ支援	99070	76500	115990	88890	184000	127400	153570	107430
積極的支援	93770	77450	119310	94850	174410	118860	139640	101150
全 体	98650	76670	117880	91440	174830	124170	146070	105090



## 高血圧性疾患 年齢階級別歯科質問項目1回答別

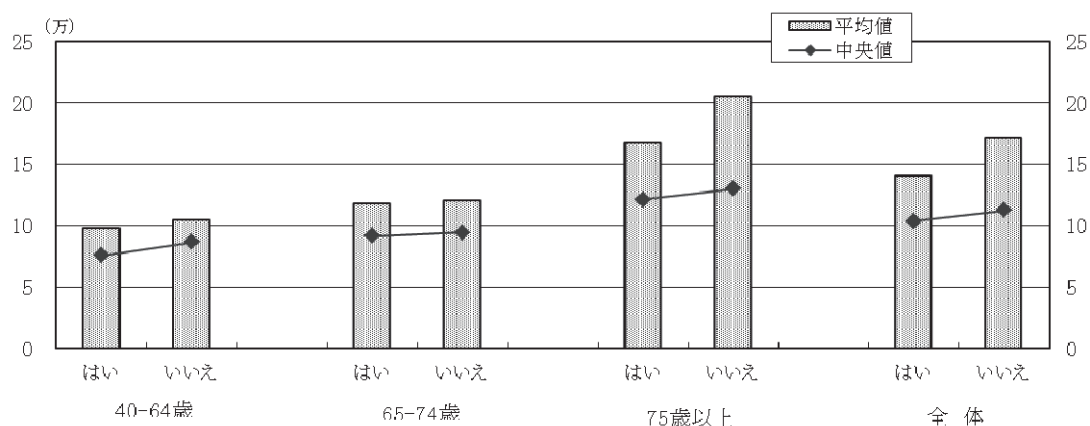
高血圧性疾患の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	2,815	8,323	11,562	22,700
い い え	361	1,200	2,564	4,125
無 回 答	6	67	519	592
計	3,182	9,590	14,645	27,417

### ・診療費（一人あたり1年間、円）

各年齢階級の平均値、中央値とも「はい」の方が低くなっていた。全体でも、「はい」の方が平均値で約3万円、中央値で約1万円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	97790	75330	117780	91260	167300	120960	140520	103340
い い え	104520	86250	120190	94260	204930	129770	171490	112080
全 体	98650	76670	117880	91440	174830	124170	146070	105090



## 高血圧性疾患 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

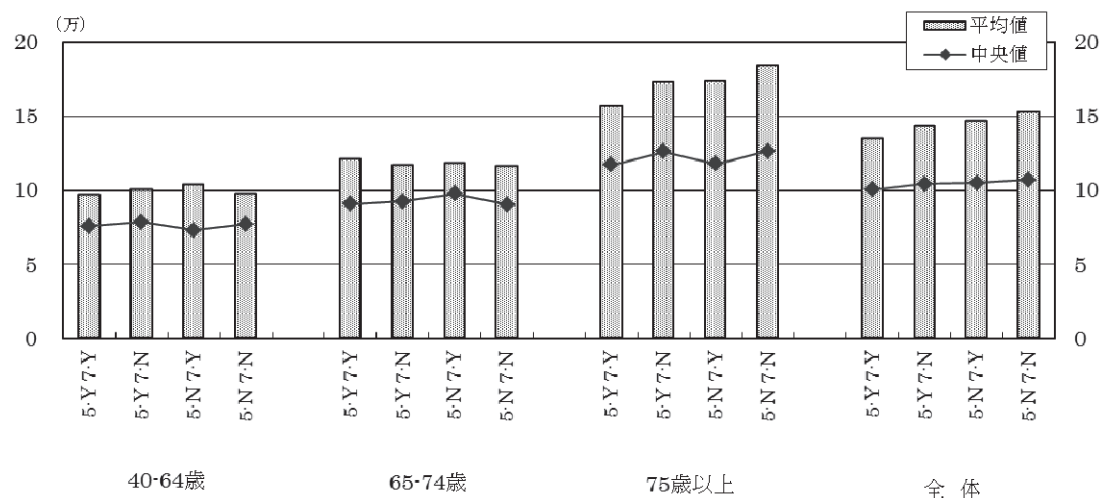
高血圧性疾患の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	805	3,070	3,311	7,186
5-Y 7-N	596	1,772	2,446	4,814
5-N 7-Y	434	1,430	2,214	4,078
5-N 7-N	1,341	3,243	6,134	16,078
全 体	3,176	9,515	14,105	32,156

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

75歳以上では「5-Y 7-Y」が平均値、中央値とも最も低く、「5-N 7-N」が平均値、中央値とも最も高かったが、その差は大きくない。全体でも「5-Y 7-Y」が平均値、中央値とも最も低く、「5-N 7-N」が平均値、中央値とも最も高かったがその差は大きくなかった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	96600	75690	120940	90650	156920	116820	134790	100430
5-Y 7-N	100100	78620	116690	92360	172940	126080	143220	104270
5-N 7-Y	104040	72900	118180	97470	173350	117650	146630	104730
5-N 7-N	97270	77040	116230	90270	184150	126320	152730	106770
全 体	98650	76670	117880	91440	174830	124170	146070	105090





## 動脈硬化症 年齢階級別歯科階層化判定別

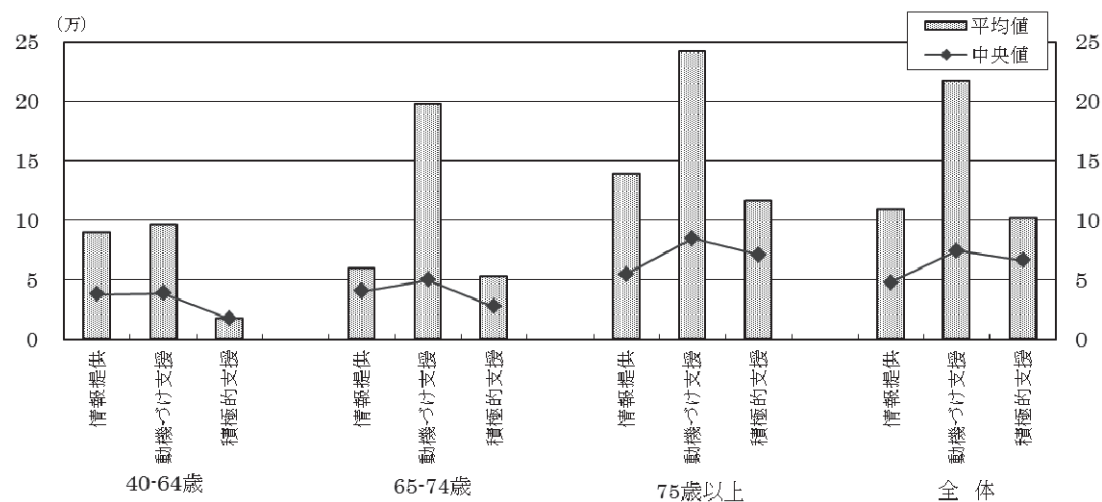
動脈硬化症の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	12	63	115	190
動機づけ支援	14	41	98	153
積極的支援	1	7	29	37
計	27	111	242	380

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢層で積極的支援群の平均値が最も低く、動機づけ支援群の平均値が最も高かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	89600	37880	59490	40440	138370	54780	109140	47720
動機づけ支援	96350	38790	198150	50160	242330	85170	217130	74490
積極的支援	17100	17100	52030	27630	116040	71340	101260	66240
全 体	90410	34380	110240	40470	177800	69060	151850	56990



## 動脈硬化症 年齢階級別歯科質問項目1回答別

動脈硬化症の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

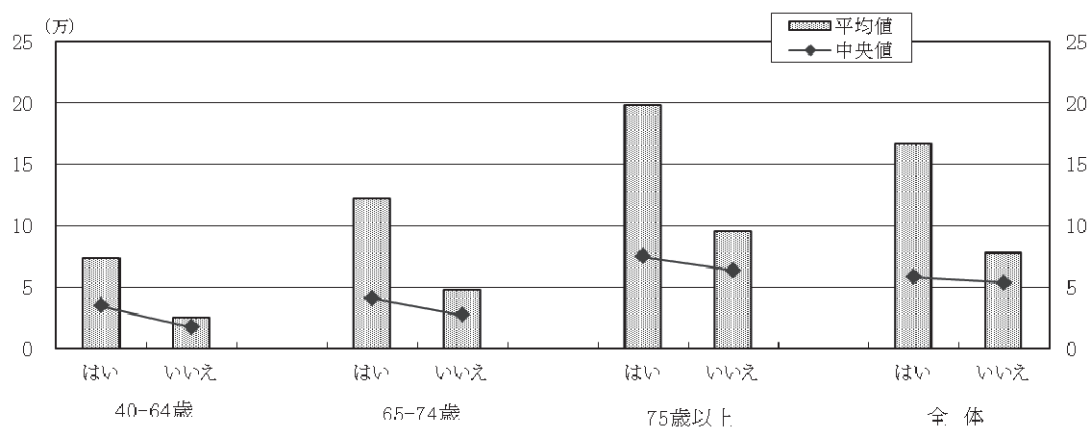
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	23	93	197	313
い い え	3	17	38	58
無 回 答	1	1	7	9
計	27	111	242	380

### ・診療費（一人あたり1年間、円）

各年齢階級の平均値、中央値とも「はい」の方が高くなっていた。

全体でも、「はい」の方が平均値で約9万円高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	74010	34380	122260	40620	197850	74490	166290	57960
い い え	24980	17100	48040	26880	95500	63440	77940	53480
全 体	90410	34380	110240	40470	177800	69060	151850	56990



## 動脈硬化症 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

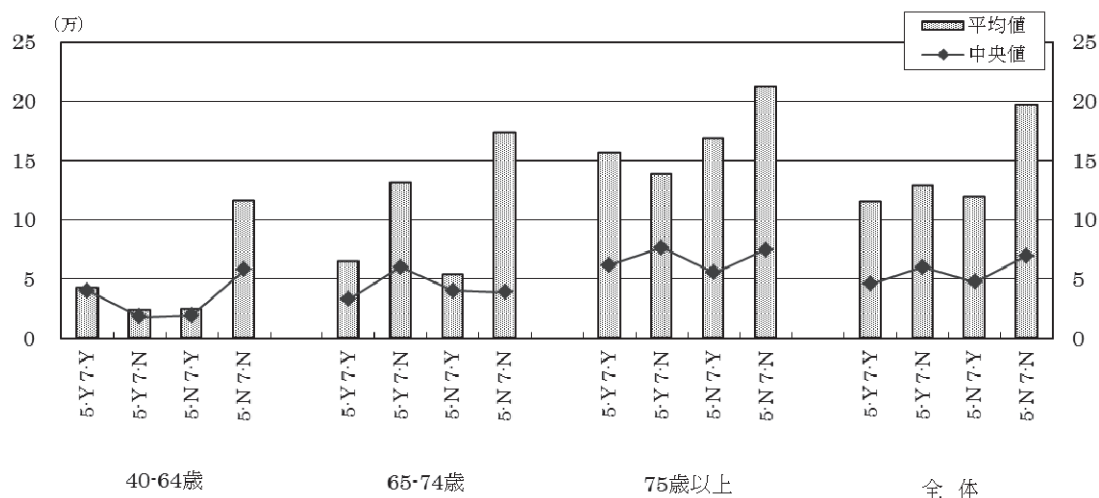
動脈硬化症の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	8	35	56	99
5-Y 7-N	4	22	37	63
5-N 7-Y	3	18	30	51
5-N 7-N	11	35	111	213
全 体	26	110	234	426

### ・ 診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級において「5-N 7-N」の平均値が最も高かったが、中央値においては一定の傾向は認められなかった。全体では「5-Y 7-Y」が平均値、中央値とも最も低く、「5-N 7-N」の平均値、中央値が最も高かった。その差は平均値で約8万円、中央値で約2.5万円だった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	42310	40110	64510	32820	156580	61740	114800	45840
5-Y 7-N	22990	17900	131760	60110	138270	76440	128680	60240
5-N 7-Y	24290	19500	53260	40160	168410	55440	119290	47370
5-N 7-N	115820	57900	173490	38700	212860	74700	197280	69750
全 体	90410	34380	110240	40470	177800	69060	151850	56990



## 肺炎 年齢階級別歯科階層化判定別

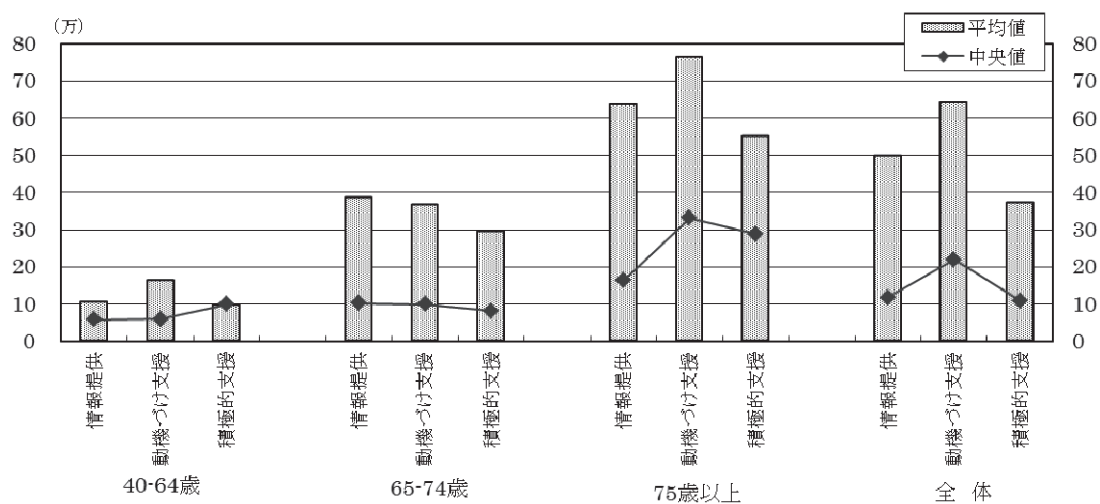
肺炎の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	27	69	134	230
動機づけ支援	20	22	127	169
積極的支援	8	11	17	36
計	55	102	278	435

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

歯科階層化判定と医療費の間に一定の関係はみられなかった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	104900	57600	386370	101340	635970	162390	498750	116610
動機づけ支援	161390	59810	365200	99450	764940	330840	641470	219600
積極的支援	94500	99450	294390	81450	550380	288960	370850	109530
全 体	123930	60480	371890	95790	689650	276800	543610	132810



## 肺炎 年齢階級別歯科質問項目1回答別

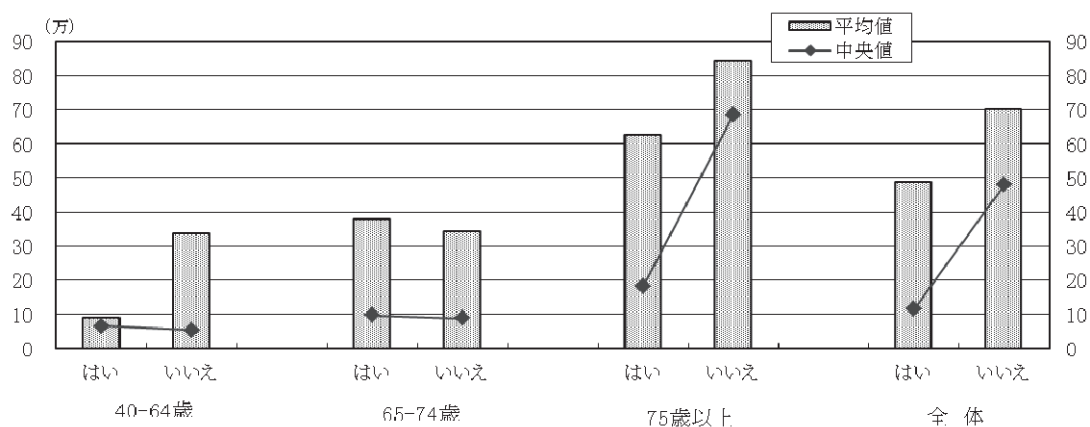
肺炎の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	46	81	195	322
い い え	8	21	74	103
無 回 答	1	0	9	10
計	55	102	278	435

### ・診療費（一人あたり1年間、円）

40－64 歳と 75 歳以上の年齢階級で「はい」の方が平均値が低かった。中央値では 74 歳以下の年齢階級で「はい」の方が高くなっていた。全体としては「はい」の方が平均値、中央値とも高く、平均値で約 20 万円、中央値では 36 万円の差があった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	89170	65750	379050	96960	625960	181560	487160	116280
い い え	337220	53430	344240	88800	843160	683730	702140	480750
全 体	123930	60480	371890	95790	689650	276800	543610	132810



## 肺炎 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

肺炎の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

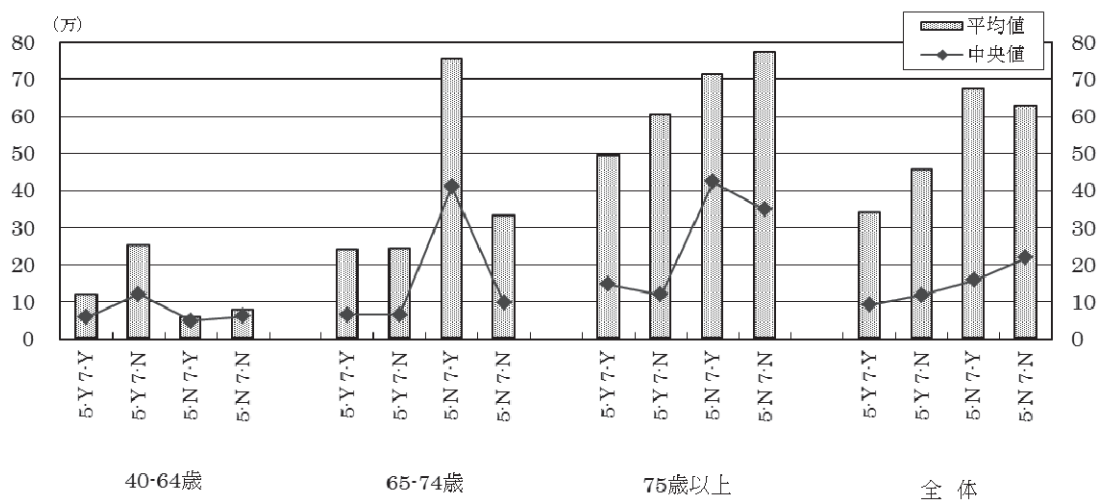
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	19	38	52	109
5-Y 7-N	11	15	37	63
5-N 7-Y	6	21	54	81
5-N 7-N	19	27	126	253
全 体	55	101	269	506

### ・診療費（一人あたり1年間、円）

全体で見ると「5-Y 7-Y」が平均値、中央値とも最も低く、平均値では「5-N 7-N」より約29万円、中央値でも約13万円低かった。

年齢階級別で見た場合、75歳以上でその傾向が顕著で、「5-Y 7-Y」は「5-N 7-N」より平均値において約28万円、中央値においては約20万円低かった。74歳以下の年齢階級では、ばらつきがみられた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	118750	57600	241130	65450	495370	146210	341090	90630
5-Y 7-N	250780	119940	242200	65100	606000	118980	457360	116970
5-N 7-Y	56600	48140	754440	410100	713930	423590	675740	157770
5-N 7-N	76930	60480	332390	96960	775570	349440	628830	218420
全 体	123930	60480	371890	95790	689650	276800	543610	132810



## 歯の疾患 年齢階級別歯科階層化判定別

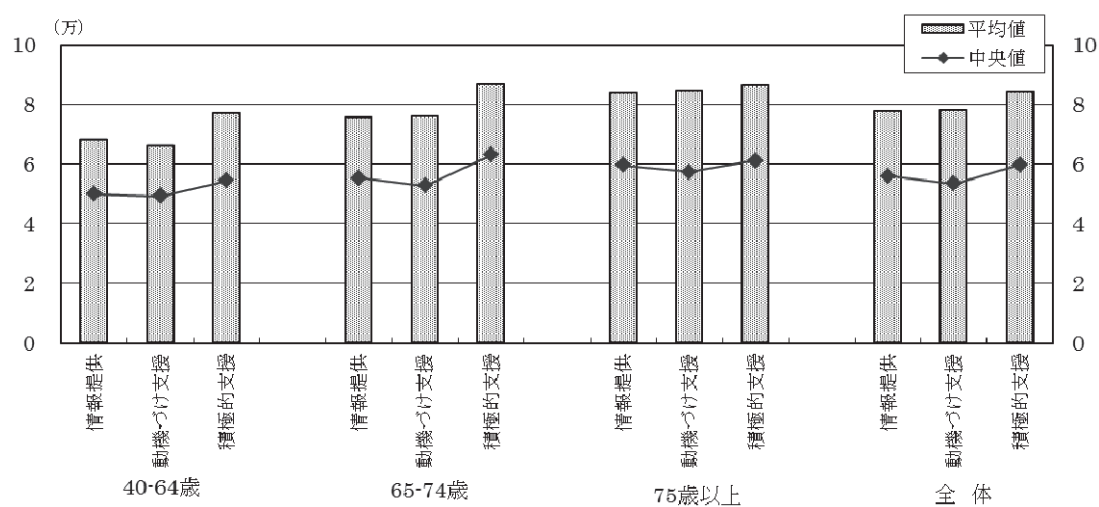
歯の疾患の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	4,793	11,068	11,208	27,069
動機づけ支援	1,683	2,947	3,893	8,523
積極的支援	701	1,088	1,115	2,904
計	7,177	15,103	16,216	38,496

### ・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級で積極的支援群の平均値、中央値が最も高くなっていた。動機付け支援群と情報提供群ではばらつきがあるが、その差が小さかった。全体では、情報提供群は積極的支援群より平均値で約 6 千円、中央値で約 4 千円低かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	68180	49950	75850	55440	84240	59700	77960	56070
動機づけ支援	66100	49260	76110	52800	84950	57390	78170	53490
積極的支援	77100	54600	87010	63210	86410	61170	84390	59960
全 体	68560	50220	76700	55260	84560	59220	78490	55800





## 歯の疾患 年齢階級別歯科質問項目1回答別

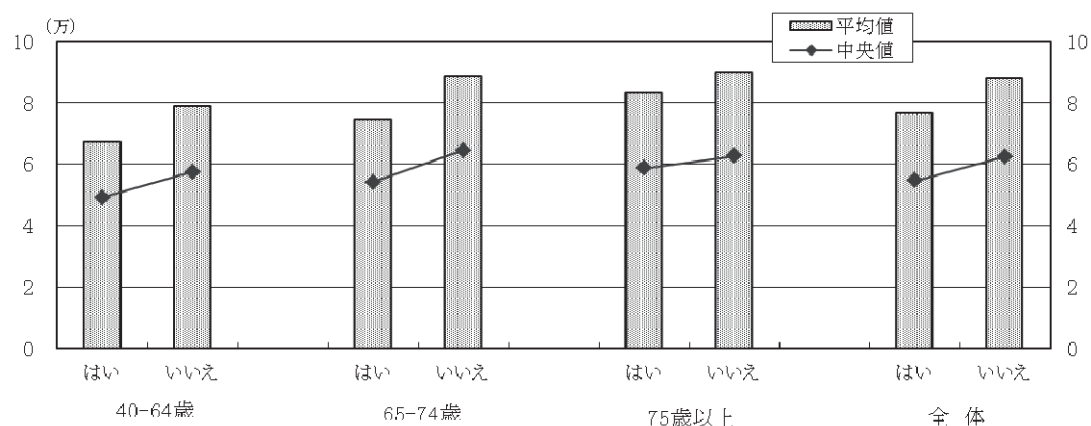
歯の疾患の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	6,285	12,868	12,699	31,852
い い え	870	2,142	3,152	6,164
無 回 答	22	93	365	480
計	7,177	15,103	16,216	38,496

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級で平均値、中央値とも「はい」の方が低くなっていた。全体で見ると、「はい」の方が平均値で約1万円、中央値で約7千円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	67120	49110	74740	54030	83320	58530	76660	54660
い い え	79080	57450	88780	64490	89820	62610	87940	62370
全 体	68560	50220	76700	55260	84560	59220	78490	55800



## 歯の疾患 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

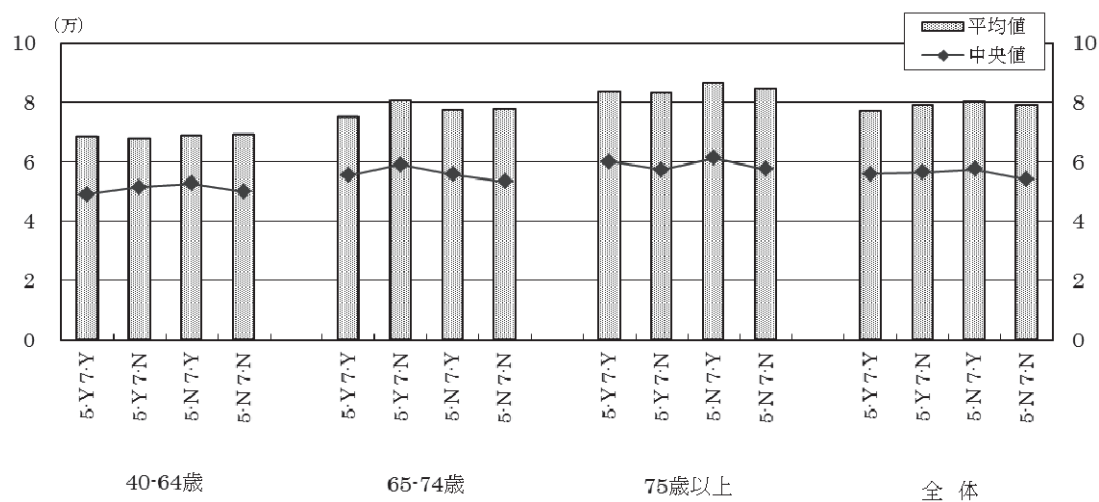
歯の疾患の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	3,028	7,273	6,272	16,573
5-Y 7-N	990	1,882	1,965	4,837
5-N 7-Y	1,362	2,871	3,664	7,897
5-N 7-N	1,777	2,980	3,935	29,307
全 体	7,157	15,006	15,836	58,614

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

どの年齢階級においても、歯科質問項目5×7回答別による平均値、中央値とも大きな差は認められなかった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	68370	49020	75120	55320	83830	60090	77180	55920
5-Y 7-N	67690	51360	80650	59040	83310	57210	79080	56430
5-N 7-Y	68860	52520	77430	55770	86500	61190	80160	57510
5-N 7-N	69160	49830	77760	53240	84830	57390	79200	54000
全 体	68560	50220	76700	55260	84560	59220	78490	55800



## (5) 生活習慣病に関する分析

### 生活習慣病 年齢階級別歯科階層化判定別

生活習慣病の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

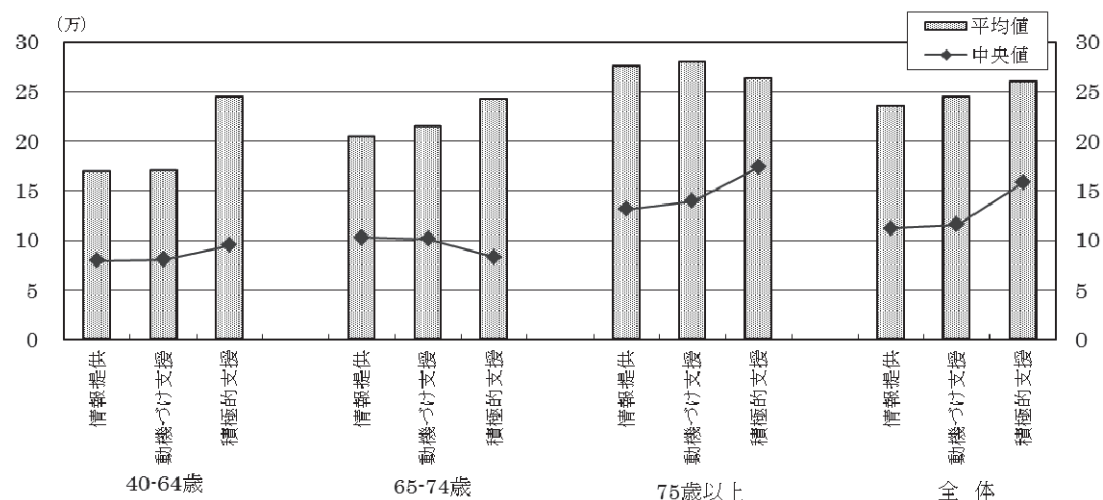
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	2,525	8,531	11,214	22,270
動機づけ支援	1,943	5,039	9,509	16,491
積極的支援	670	1,296	1,683	3,649
計	5,138	14,866	22,406	42,410

### ・診療費（一人あたり1年間、円）

74 歳以下では、歯科階層化判定が重くなるほど平均値が高くなっていたが、75 歳以上では、歯科階層化判定が重くなるほど中央値が高くなっていた。

全体でも、歯科階層化判定が重くなるほど平均値、中央値とも高くなり、積極的支援群は情報提供群より平均値で約 2.5 万円、中央値で 4.5 万円高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	169970	79910	204760	103200	276620	131280	235510	112340
動機づけ支援	170630	80960	214790	101190	280000	139500	244990	115830
積極的支援	244920	95030	243240	83160	264240	173850	260740	158370
全 体	170680	80640	210230	102060	278180	137570	241340	115080



## 生活習慣病 年齢階級別歯科質問項目1回答別

生活習慣病の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

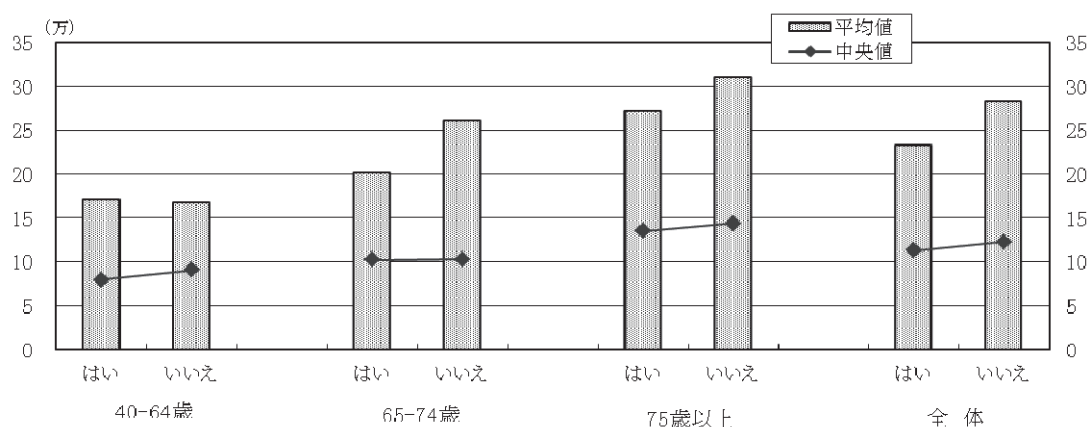
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	4,532	12,802	17,546	34,880
い い え	584	1,939	4,131	6,654
無 回 答	22	125	729	876
計	5,138	14,866	22,406	42,410

### ・診療費（一人あたり1年間、円）

65 歳以上の年齢階級では「はい」の方が平均値、中央値が低くなっていた。40-64 歳でも中央値においては「はい」のほうが低くなっていた。

全体でも、「はい」の方が平均値で約5万円、中央値で約1万円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	171320	79280	201960	102030	271030	134760	232720	112800
い い え	166930	90530	260700	102750	310710	143850	283520	122780
全 体	170680	80640	210230	102060	278180	137570	241340	115080



## 生活習慣病 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

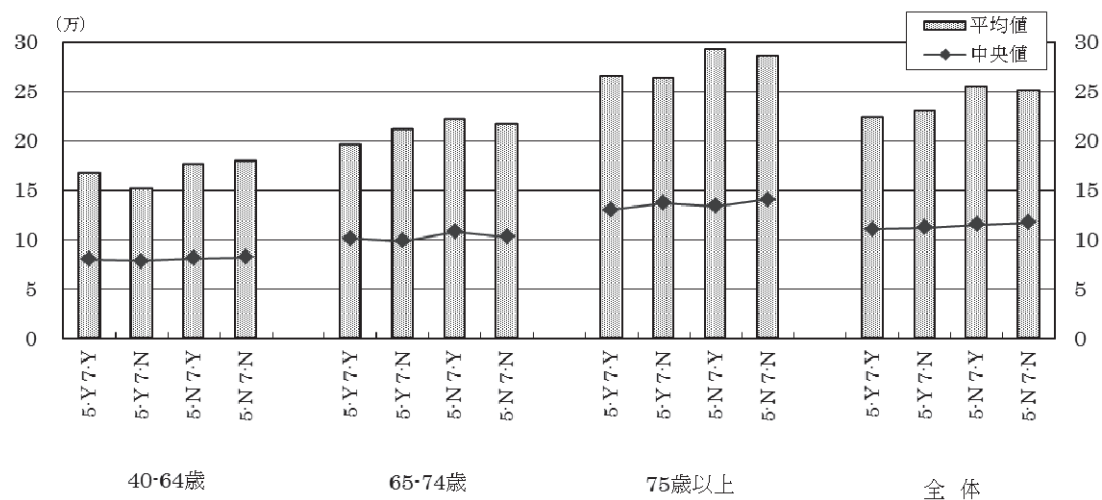
生活習慣病の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	1,334	4,830	5,141	11,305
5-Y 7-N	937	2,637	3,631	7,205
5-N 7-Y	748	2,282	3,494	6,524
5-N 7-N	2,097	4,978	9,370	25,034
全 体	5,116	14,727	21,636	50,068

## ・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級において「5-Y」（セルフケア群）は「5-N」（非セルフケア群）より平均値、中央値とも低い傾向が認められたが、「7-Y」（プロフェッショナルケア群）と「7-N」（非プロフェッショナルケア群）については大きな差は認めらず、セルフケアの影響が強くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	166510	79650	196450	101150	265680	130320	224400	110490
5-Y 7-N	151510	78540	211370	98760	263730	136770	229970	111900
5-N 7-Y	176120	81170	222440	107960	292970	133890	254900	115440
5-N 7-N	179170	81810	216700	102570	286450	140630	251660	117300
全 体	170680	80640	210230	102060	278180	137570	241340	115080



## まとめ・考察（Ⅲ）

### 歯科階層化判定と診療日数・医療費の関係

- ・歯科階層化判定区分の重さと診療日数、診療費との関連性は医科、調剤においては特に認められなかった。歯科においては積極的支援群において診療費が最も高く、情報提供群、動機づけ支援群の間にはあまり差がなかった。

### 歯科質問項目 1 回答と診療日数・医療費の関係

- ・歯科質問項目 1「なんでも噛んで食べられる」にはいと答えた人の方が医科、歯科、調剤とも診療日数、診療費とも少なかった。

### 歯科質問項目 5×7 回答と診療日数・医療費の関係

- ・歯科質問項目 5「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」（セルフケア）と歯科質問項目 7「定期的（年 1 回以上）に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している」（プロフェッショナルケア）について、診療日数において医科では一定の傾向は認められなかった。歯科では「5-Y」（セルフケア群）で多く、調剤においては「7-N」（非プロフェッショナルケア群）で多くなっていた。また歯科質問項目 7 の回答別と診療日数との関連性はどの診療科においてもみられず、歯科質問項目 5 の回答別との組み合わせにおいても一定の傾向は見られなかった。
- ・診療費においては医科では「5-Y」（セルフケア群）で平均値が低かった。歯科の平均値においては「5-Y 7-Y」が最も低かったが、他との差は小さかった。調剤については「5-Y 7-Y」の平均値、中央値が最も低く、「5-N 7-N」が最も高かった。

### 主要疾患別歯科階層化判定と診療費の関係

- ・悪性新生物、歯の疾患、生活習慣病においては歯科階層化判定が重くなるほど診療費が高くなる傾向が見られた。
- ・他の疾患においては歯科階層化判定の重さと診療費の関係に一定の傾向を見出すことは難しかった。

### 主要疾患別歯科質問項目 1 回答別と診療費の関係

- ・悪性新生物、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病、高血圧性疾患、肺炎、歯の疾患、生活習慣病では「はい」の方が医療費が低かった。動脈硬化症においては「はい」の方が医療費が高かった。

### 主要疾患別歯科質問項目 5×7 回答別と診療費の関係

- ・脳血管疾患、糖尿病、高血圧性疾患、動脈硬化症、肺炎においては「5-Y 7-Y」の診療費が低く、「5-N 7-N」の診療費が高くなる傾向が見られた。特に肺炎においては「5-Y 7-Y」と「5-N 7-N」の差が平均で 28.8 万円（診療費の約 43%）であり、脳血管疾患の 9.1 万円（診療費の約 27%）、高血圧疾患の 1.8 万円（診療費の約 12%）などと比べて非常に大きかった。肺炎は診療費の平均値が約 54 万円と主要疾患別の中で最も高く、セルフケア、プロフェッショナルケアを行うことによって診療費の大きな減少につながる可能性が示唆された。





## IV 平成 23 年度特定健診受診者のうち平成 24 年 5 月に歯科を受診した者の状況

### 一 調査の概要

#### 1 分析対象者および分析方法

香川県国民健康保険団体連合会および香川県後期高齢者医療広域連合の協力を得て、平成 23 年度特定健診受診者の特定健診の質問票回答を入手できた者のうち、平成 24 年 5 月に歯科を受診し、歯科レセプトに残存歯数、歯周病の程度、歯科健診受診頻度が記載された者 6,223 人を対象者とした。

特定健診受診者の歯科質問票から分類された歯科階層化判定別と歯科質問項目 1「何でもかんで食べられる」、項目 5「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」（セルフケア）と項目 7「定期的に（年に 1 回以上）に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している」（プロフェッショナルケア）のクロス回答別（以下、項目 5×7）に残存歯数、歯周病の程度、歯科健診受診頻度について 40-64 歳、65-75 歳、75 歳以上に分類して分析を行った。なお、以下、項目 5 も 7 も「はい」を「5-Y 7-Y」、5 が「はい」で 7 は「いいえ」を「5-Y 7-N」、5 が「いいえ」で 7 が「はい」を「5-N 7-Y」、5 も 7 も「いいえ」を「5-N 7-N」と表す。

また、残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度と特定健診の検査結果(HbA1c)の状況について分析を行った。

## 二 調査・分析結果

### A 特定健診の歯科質問項目と残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況

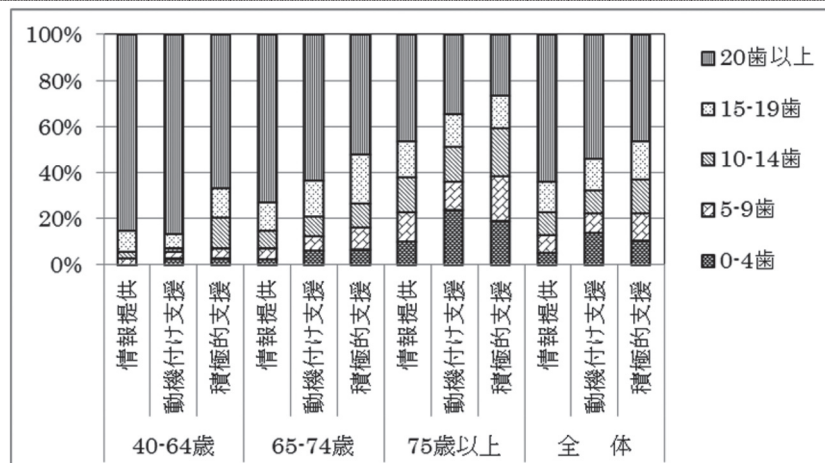
#### (1) 特定健診の歯科質問項目からの歯科階層化判定別、残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況

##### 1-1 歯科階層化判定別残存歯数

歯科階層化判定と残存歯数との関係は、全体では、情報提供群、動機づけ支援群、積極的支援群と支援の程度が重くなる程、20 歯以上の割合が少ない傾向にあった。しかし、0-4 歯と極端に残存歯数の少ない者の割合は、積極的支援群より動機づけ支援群の方が多かった。年齢階級別では、65-74 歳と 75 歳以上では支援の程度が重くなる程、20 歯以上の歯を保っている者の割合が少ない傾向にあったものの、40-64 歳では、動機づけ支援群よりも情報提供群の方が 20 歯以上の歯を保っている者の割合が少なかった。

これらの傾向は昨年と同じであった。

年齢階級	階層化判定	人 数					
		総数	0-4歯	5-9歯	10-14歯	15-19歯	20歯以上
40-64歳	情報提供	750	5	15	24	65	641
	動機付け支援	219	6	7	3	13	190
	積極的支援	109	3	5	14	14	73
65-74歳	情報提供	1,891	45	86	148	232	1,380
	動機付け支援	439	27	28	36	70	278
	積極的支援	195	13	18	21	41	102
75歳以上	情報提供	1,879	190	242	279	294	874
	動機付け支援	567	134	71	84	83	195
	積極的支援	174	33	34	36	25	46
全 体	情報提供	4,520	240	343	451	591	2,895
	動機付け支援	1,225	167	106	123	166	663
	積極的支援	478	49	57	71	80	221
		割 合					
40-64歳	情報提供	100.0%	0.7%	2.0%	3.2%	8.7%	85.5%
	動機付け支援	100.0%	2.7%	3.2%	1.4%	5.9%	86.8%
	積極的支援	100.0%	2.8%	4.6%	12.8%	12.8%	67.0%
65-74歳	情報提供	100.0%	2.4%	4.5%	7.8%	12.3%	73.0%
	動機付け支援	100.0%	6.2%	6.4%	8.2%	15.9%	63.3%
	積極的支援	100.0%	6.7%	9.2%	10.8%	21.0%	52.3%
75歳以上	情報提供	100.0%	10.1%	12.9%	14.8%	15.6%	46.5%
	動機付け支援	100.0%	23.6%	12.5%	14.8%	14.6%	34.4%
	積極的支援	100.0%	19.0%	19.5%	20.7%	14.4%	26.4%
全 体	情報提供	100.0%	5.3%	7.6%	10.0%	13.1%	64.0%
	動機付け支援	100.0%	13.6%	8.7%	10.0%	13.6%	54.1%
	積極的支援	100.0%	10.3%	11.9%	14.9%	16.7%	46.2%



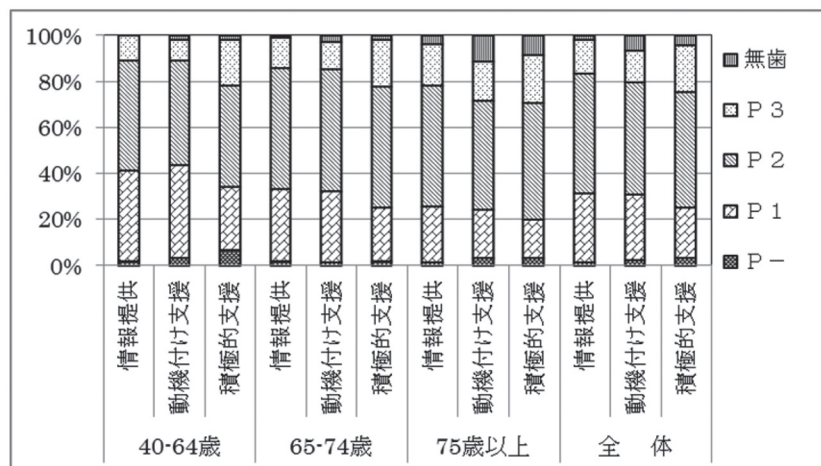
## 1-2 歯科階層化判定別歯周病の程度

歯科階層化判定と歯周病の程度との関係は、全体では、情報提供群、動機づけ支援群、積極的支援群と支援の程度が重くなる程、P-およびP1の者の割合が少なく、P3および無菌の割合が多くなる傾向にあった。P2の割合は各階層でほぼ同じであった。しかし、無菌の割合は、積極的支援群より動機づけ支援群の方が多かった。

年齢階級別では、65-74歳と75歳以上では支援の程度が重くなる程、P-およびP1の者の割合が少なく、P3および無菌の割合が多くなる傾向にあったものの、無菌の割合に限ってみると、動機づけ支援群が一番多かった。40-64歳では、動機づけ支援群よりも情報提供群の方がP3の割合が多かった。

これらの傾向は昨年と同じであった。

年齢階級	階層化判定	人数					
		総数	P-	P1	P2	P3	無菌
40-64歳	情報提供	750	14	297	358	81	0
	動機付け支援	219	7	88	100	20	4
	積極的支援	109	7	30	48	22	2
65-74歳	情報提供	1,891	34	598	991	254	14
	動機付け支援	439	6	136	232	53	12
	積極的支援	195	4	45	103	39	4
75歳以上	情報提供	1,879	26	454	993	333	73
	動機付け支援	566	18	120	268	95	65
	積極的支援	174	6	29	88	36	15
全体	情報提供	4,520	74	1,349	2,342	668	87
	動機付け支援	1,224	31	344	600	168	81
	積極的支援	478	17	104	239	97	21
		割合					
40-64歳	情報提供	100.0%	1.9%	39.6%	47.7%	10.8%	0.0%
	動機付け支援	100.0%	3.2%	40.2%	45.7%	9.1%	1.8%
	積極的支援	100.0%	6.4%	27.5%	44.0%	20.2%	1.8%
65-74歳	情報提供	100.0%	1.8%	31.6%	52.4%	13.4%	0.7%
	動機付け支援	100.0%	1.4%	31.0%	52.8%	12.1%	2.7%
	積極的支援	100.0%	2.1%	23.1%	52.8%	20.0%	2.1%
75歳以上	情報提供	100.0%	1.4%	24.2%	52.8%	17.7%	3.9%
	動機付け支援	100.0%	3.2%	21.2%	47.3%	16.8%	11.5%
	積極的支援	100.0%	3.4%	16.7%	50.6%	20.7%	8.6%
全体	情報提供	100.0%	1.6%	29.8%	51.8%	14.8%	1.9%
	動機付け支援	100.0%	2.5%	28.1%	49.0%	13.7%	6.6%
	積極的支援	100.0%	3.6%	21.8%	50.0%	20.3%	4.4%

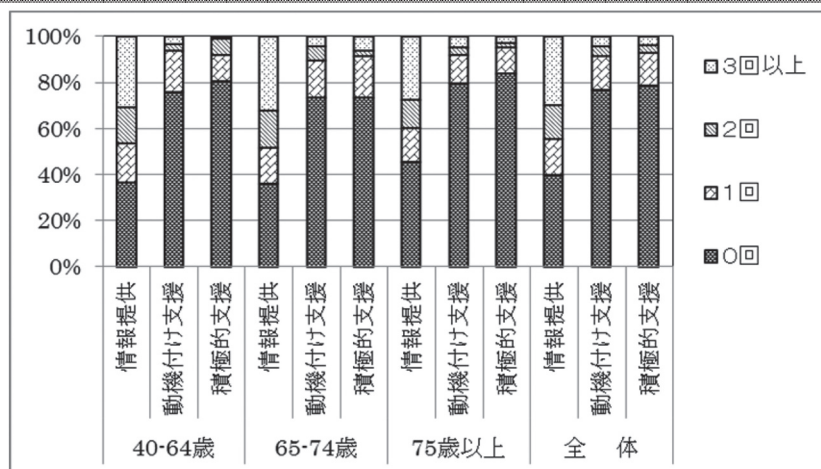


### 1-3 歯科階層化判定別歯科健診受診頻度

歯科階層化判定と歯科健診受診頻度との関係は、全体では、情報提供群と支援群の間に大きく傾向が分かれた。情報提供群では0回がおよそ4割、そして、動機づけ支援群と積極的支援群では0回がどちらも8割近くという結果だった。動機づけ支援群と積極的支援群の歯科健診受診頻度割合はほぼ同じだったが、積極的支援群の方が、0回の割合が若干高く、1回以上の割合は若干少なくなっていた。

年齢階級別では、各年齢階級で全体の傾向と大きな違いは無いが、0回の割合はどの群でも65-74歳が少なく、75歳以上が多くなっていた。

年齢階級	階層化判定	人 数				
		総数	0回	1回	2回	3回以上
40-64歳	情報提供	750	273	128	117	232
	動機付け支援	219	166	40	6	7
	積極的支援	109	88	12	8	1
65-74歳	情報提供	1,890	679	299	306	606
	動機付け支援	439	323	70	27	19
	積極的支援	195	143	35	5	12
75歳以上	情報提供	1,879	856	275	229	519
	動機付け支援	567	451	70	18	28
	積極的支援	174	146	20	3	5
全 体	情報提供	4,519	1,808	702	652	1,357
	動機付け支援	1,225	940	180	51	54
	積極的支援	478	377	67	16	18
		割 合				
40-64歳	情報提供	100.0%	36.4%	17.1%	15.6%	30.9%
	動機付け支援	100.0%	75.8%	18.3%	2.7%	3.2%
	積極的支援	100.0%	80.7%	11.0%	7.3%	0.9%
65-74歳	情報提供	100.0%	35.9%	15.8%	16.2%	32.1%
	動機付け支援	100.0%	73.6%	15.9%	6.2%	4.3%
	積極的支援	100.0%	73.3%	17.9%	2.6%	6.2%
75歳以上	情報提供	100.0%	45.6%	14.6%	12.2%	27.6%
	動機付け支援	100.0%	79.5%	12.3%	3.2%	4.9%
	積極的支援	100.0%	83.9%	11.5%	1.7%	2.9%
全 体	情報提供	100.0%	40.0%	15.5%	14.4%	30.0%
	動機付け支援	100.0%	76.7%	14.7%	4.2%	4.4%
	積極的支援	100.0%	78.9%	14.0%	3.3%	3.8%



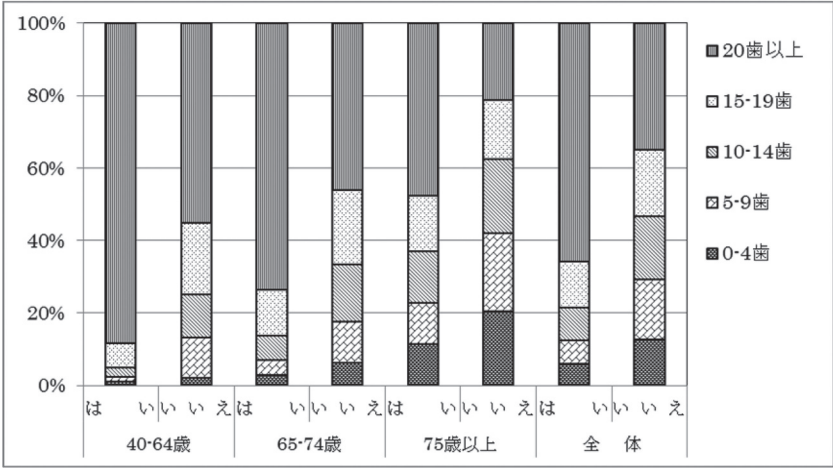
(2) 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別、残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況

2-1 歯科質問項目1別残存歯数

歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別と残存歯数との関係は、全体では、「はい」と「いいえ」との間で、20 歯以上ある者の割合が「はい」でおよそ 66%、「いいえ」でおよそ 35%と大きな差があった。

年齢階級別では、40-64 歳、65-74 歳、75 歳以上のいずれにおいても 20 歯以上ある者の割合は「はい」が「いいえ」より約 3 割多かったが、残存歯数は年齢階級が進むにつれ減少していた。何でもかんで食べられるかで一番大きな差があるのは全ての年齢階級で 20 歯以上だが、2 番目に差があるのは各年齢階級で異なり、75 歳以上で 5-9 歯、65-74 歳で 10-14 歯、40-64 歳で 15-19 歯であった。

年齢階級	問診1回答	人数					
		総数	0-4歯	5-9歯	10-14歯	15-19歯	20歯以上
40-64歳	はい	934	11	11	24	64	824
	いいえ	143	3	16	17	28	79
	無回答	1	0	0	0	0	1
65-74歳	はい	2,166	60	92	148	272	1,594
	いいえ	345	22	39	54	71	159
	無回答	14	3	1	3	0	7
75歳以上	はい	2,079	240	235	295	319	990
	いいえ	490	100	106	100	80	104
	無回答	51	17	6	4	3	21
全体	はい	5,179	311	338	467	655	3,408
	いいえ	978	125	161	171	179	342
	無回答	66	20	7	7	3	29
		割合					
40-64歳	はい	100.0%	1.2%	1.2%	2.6%	6.9%	88.2%
	いいえ	100.0%	2.1%	11.2%	11.9%	19.6%	55.2%
	無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
65-74歳	はい	100.0%	2.8%	4.2%	6.8%	12.6%	73.6%
	いいえ	100.0%	6.4%	11.3%	15.7%	20.6%	46.1%
	無回答	100.0%	21.4%	7.1%	21.4%	0.0%	50.0%
75歳以上	はい	100.0%	11.5%	11.3%	14.2%	15.3%	47.6%
	いいえ	100.0%	20.4%	21.6%	20.4%	16.3%	21.2%
	無回答	100.0%	33.3%	11.8%	7.8%	5.9%	41.2%
全体	はい	100.0%	6.0%	6.5%	9.0%	12.6%	65.8%
	いいえ	100.0%	12.8%	16.5%	17.5%	18.3%	35.0%
	無回答	100.0%	30.3%	10.6%	10.6%	4.5%	43.9%





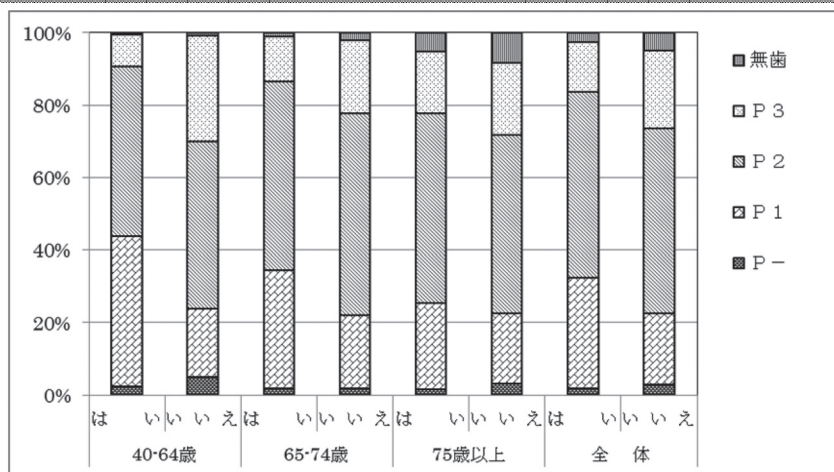
## 2-2 歯科質問項目1別歯周病の程度

歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別と歯周病の程度との関係は、全体では、P-およびP1が「はい」で32.5%「いいえ」でおよそ22.5%と「はい」の方が10%多く、また、P3および無歯が「はい」で16.3%「いいえ」で26.4%と「はい」が約10%少なくなっており、「いいえ」の方が歯周病の程度が重度になっていた。

年齢階級別では、40-64歳、65-74歳、75歳以上のいずれにおいても「はい」と答えた者より「いいえ」と答えた者の方が歯周病の程度が重度である傾向が見られたが、「はい」と「いいえ」で歯周病の程度の差の一番大きかったのが40-64歳であった。

これらの傾向は昨年と同じであった。

年齢階級	問診1回答	人数					
		総数	P-	P1	P2	P3	無歯
40-64歳	はい	934	21	387	440	81	5
	いいえ	143	7	27	66	42	1
	無回答	1	0	1	0	0	0
65-74歳	はい	2,166	38	707	1,128	272	21
	いいえ	345	6	70	192	70	7
	無回答	14	0	2	6	4	2
75歳以上	はい	2,078	32	495	1,086	358	107
	いいえ	490	16	94	242	97	41
	無回答	51	2	14	21	9	5
全体	はい	5,178	91	1,589	2,654	711	133
	いいえ	978	29	191	500	209	49
	無回答	66	2	17	27	13	7
		割合					
40-64歳	はい	100.0%	2.2%	41.4%	47.1%	8.7%	0.5%
	いいえ	100.0%	4.9%	18.9%	46.2%	29.4%	0.7%
	無回答	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
65-74歳	はい	100.0%	1.8%	32.6%	52.1%	12.6%	1.0%
	いいえ	100.0%	1.7%	20.3%	55.7%	20.3%	2.0%
	無回答	100.0%	0.0%	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%
75歳以上	はい	100.0%	1.5%	23.8%	52.3%	17.2%	5.1%
	いいえ	100.0%	3.3%	19.2%	49.4%	19.8%	8.4%
	無回答	100.0%	3.9%	27.5%	41.2%	17.6%	9.8%
全体	はい	100.0%	1.8%	30.7%	51.3%	13.7%	2.6%
	いいえ	100.0%	3.0%	19.5%	51.1%	21.4%	5.0%
	無回答	100.0%	3.0%	25.8%	40.9%	19.7%	10.6%



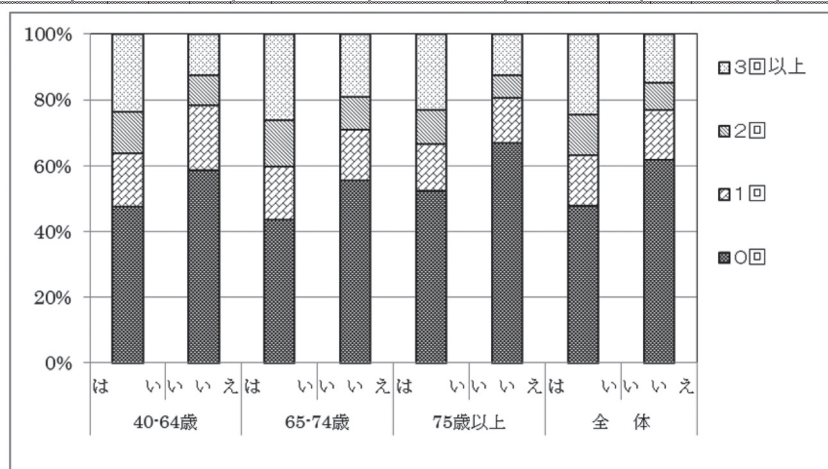
### 2-3 歯科質問項目1別歯科健診受診頻度

歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別と歯科健診受診頻度との関係は、全体では、「はい」より「いいえ」と答えた者の方が歯科健診受診頻度が少ない傾向にあった。歯科健診受診頻度0回の者の割合は「はい」が「いいえ」より約14%少なく、歯科受診頻度3回以上の者の割合は「はい」が「いいえ」より約10%多かった。

年齢階級別では、40-64歳、65-74歳、75歳以上のいずれにおいても「はい」と答えた者より「いいえ」と答えた者の方が受診頻度が少なくなる傾向が見られたが、その差の一番大きかったのが75歳以上であった。

これらの傾向は昨年と同じであった。

年齢階級	問診1回答	人 数				
		総数	0回	1回	2回	3回以上
40-64歳	はい	934	443	152	117	222
	いいえ	143	84	28	13	18
	無回答	1	0	0	1	0
65-74歳	はい	2,165	946	349	303	567
	いいえ	345	192	53	34	66
	無回答	14	7	2	1	4
75歳以上	はい	2,079	1,092	296	212	479
	いいえ	490	328	67	33	62
	無回答	51	33	2	5	11
全 体	はい	5,178	2,481	797	632	1,268
	いいえ	978	604	148	80	146
	無回答	66	40	4	7	15
		割 合				
40-64歳	はい	100.0%	47.4%	16.3%	12.5%	23.8%
	いいえ	100.0%	58.7%	19.6%	9.1%	12.6%
	無回答	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
65-74歳	はい	100.0%	43.7%	16.1%	14.0%	26.2%
	いいえ	100.0%	55.7%	15.4%	9.9%	19.1%
	無回答	100.0%	50.0%	14.3%	7.1%	28.6%
75歳以上	はい	100.0%	52.5%	14.2%	10.2%	23.0%
	いいえ	100.0%	66.9%	13.7%	6.7%	12.7%
	無回答	100.0%	64.7%	3.9%	9.8%	21.6%
全 体	はい	100.0%	47.9%	15.4%	12.2%	24.5%
	いいえ	100.0%	61.8%	15.1%	8.2%	14.9%
	無回答	100.0%	60.6%	6.1%	10.6%	22.7%



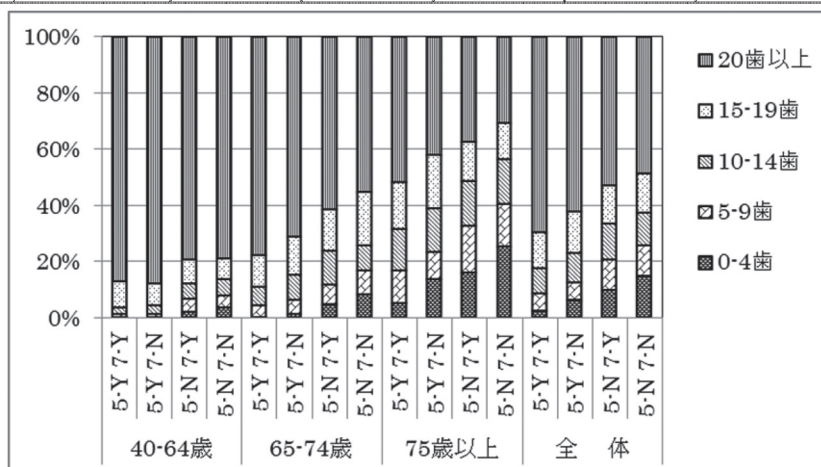


### (3) 歯科質問項目5×7別、残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況

#### 3-1 歯科質問項目5×7別残存歯数

歯科質問項目5と7のクロス回答と残存歯数との関係は、全体では、20 歯以上の割合は、「5-Y 7-Y」が最も多く、次に「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」の順で、「5-N 7-N」が最も少なかった。年齢階級別では、65-74 歳と75 歳以上では全体と同じ傾向であったが、40-64 歳では、「5-Y 7-Y」と「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」と「5-N 7-N」がそれぞれ同じような割合となり、前者「5-Y」(セルフケア群)の方が残存歯数が多くなっていた。

年齢階級	問 診 5 回 答	人 数					
		総数	0-4歯	5-9歯	10-14歯	15-19歯	20歯以上
40-64歳	5-Y 7-Y	507	1	6	12	47	441
	5-Y 7-N	137	0	2	4	11	120
	5-N 7-Y	189	4	9	10	16	150
	5-N 7-N	244	9	10	15	18	192
65-74歳	5-Y 7-Y	1,288	14	44	82	145	1,003
	5-Y 7-N	306	4	16	27	41	218
	5-N 7-Y	451	22	32	53	68	276
	5-N 7-N	464	39	39	42	88	256
75歳以上	5-Y 7-Y	1,118	59	128	168	184	579
	5-Y 7-N	314	43	31	48	60	132
	5-N 7-Y	560	91	93	88	80	208
	5-N 7-N	577	146	89	91	75	176
全 体	5-Y 7-Y	2,913	74	178	262	376	2,023
	5-Y 7-N	757	47	49	79	112	470
	5-N 7-Y	1,200	117	134	151	164	634
	5-N 7-N	1,285	194	138	148	181	624
		割 合					
40-64歳	5-Y 7-Y	100.0%	0.2%	1.2%	2.4%	9.3%	87.0%
	5-Y 7-N	100.0%	0.0%	1.5%	2.9%	8.0%	87.6%
	5-N 7-Y	100.0%	2.1%	4.8%	5.3%	8.5%	79.4%
	5-N 7-N	100.0%	3.7%	4.1%	6.1%	7.4%	78.7%
65-74歳	5-Y 7-Y	100.0%	1.1%	3.4%	6.4%	11.3%	77.9%
	5-Y 7-N	100.0%	1.3%	5.2%	8.8%	13.4%	71.2%
	5-N 7-Y	100.0%	4.9%	7.1%	11.8%	15.1%	61.2%
	5-N 7-N	100.0%	8.4%	8.4%	9.1%	19.0%	55.2%
75歳以上	5-Y 7-Y	100.0%	5.3%	11.4%	15.0%	16.5%	51.8%
	5-Y 7-N	100.0%	13.7%	9.9%	15.3%	19.1%	42.0%
	5-N 7-Y	100.0%	16.3%	16.6%	15.7%	14.3%	37.1%
	5-N 7-N	100.0%	25.3%	15.4%	15.8%	13.0%	30.5%
全 体	5-Y 7-Y	100.0%	2.5%	6.1%	9.0%	12.9%	69.4%
	5-Y 7-N	100.0%	6.2%	6.5%	10.4%	14.8%	62.1%
	5-N 7-Y	100.0%	9.8%	11.2%	12.6%	13.7%	52.8%
	5-N 7-N	100.0%	15.1%	10.7%	11.5%	14.1%	48.6%

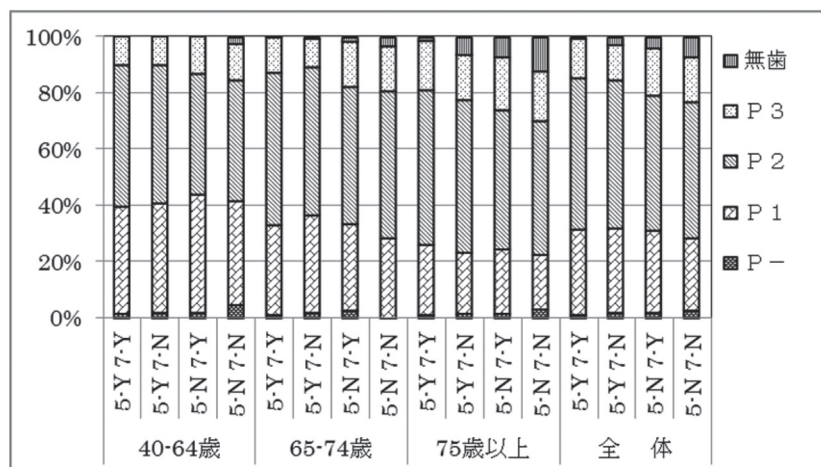


### 3-2 歯科質問項目5×7別歯周病の程度

歯科質問項目5と7のクロス回答と歯周病の程度との関係は、全体では、「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順にP-およびP1の者の割合が少なく、P3および無歯の割合が多くなる傾向にあった。

年齢階級別では、75歳以上では全体と概ね同じ傾向であったが、40-64歳、65-74歳では、P-およびP1の者の割合は「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」が多くなっていた。

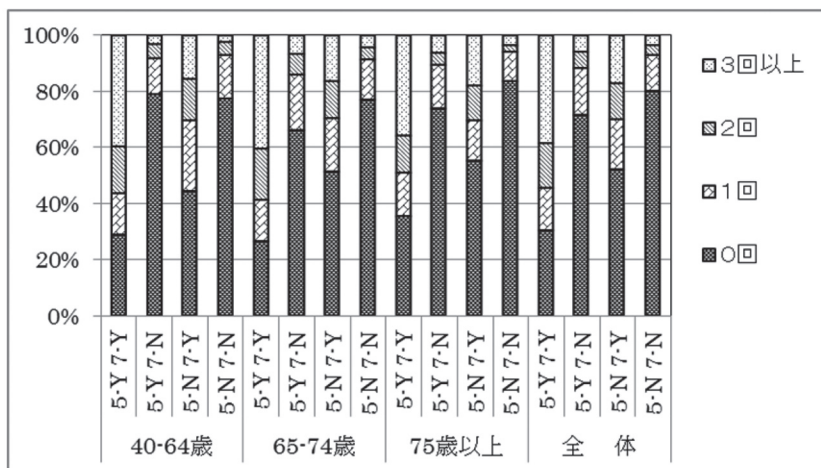
年齢階級	問診5回答	人 数					
		総数	P-	P1	P2	P3	無歯
40-64歳	5-Y 7-Y	507	9	192	254	52	0
	5-Y 7-N	137	3	53	67	14	0
	5-N 7-Y	189	4	79	81	25	0
	5-N 7-N	244	12	90	104	32	6
65-74歳	5-Y 7-Y	1,288	19	407	696	164	2
	5-Y 7-N	306	7	105	161	31	2
	5-N 7-Y	451	13	138	219	74	7
	5-N 7-N	464	5	127	242	74	16
75歳以上	5-Y 7-Y	1,118	13	280	612	197	16
	5-Y 7-N	314	6	68	169	51	20
	5-N 7-Y	560	9	130	275	105	41
	5-N 7-N	576	20	111	272	102	71
全 体	5-Y 7-Y	2,913	41	879	1,562	413	18
	5-Y 7-N	757	16	226	397	96	22
	5-N 7-Y	1,200	26	347	575	204	48
	5-N 7-N	1,284	37	328	618	208	93
		割 合					
40-64歳	5-Y 7-Y	100.0%	1.8%	37.9%	50.1%	10.3%	0.0%
	5-Y 7-N	100.0%	2.2%	38.7%	48.9%	10.2%	0.0%
	5-N 7-Y	100.0%	2.1%	41.8%	42.9%	13.2%	0.0%
	5-N 7-N	100.0%	4.9%	36.9%	42.6%	13.1%	2.5%
65-74歳	5-Y 7-Y	100.0%	1.5%	31.6%	54.0%	12.7%	0.2%
	5-Y 7-N	100.0%	2.3%	34.3%	52.6%	10.1%	0.7%
	5-N 7-Y	100.0%	2.9%	30.6%	48.6%	16.4%	1.6%
	5-N 7-N	100.0%	1.1%	27.4%	52.2%	15.9%	3.4%
75歳以上	5-Y 7-Y	100.0%	1.2%	25.0%	54.7%	17.6%	1.4%
	5-Y 7-N	100.0%	1.9%	21.7%	53.8%	16.2%	6.4%
	5-N 7-Y	100.0%	1.6%	23.2%	49.1%	18.8%	7.3%
	5-N 7-N	100.0%	3.5%	19.3%	47.2%	17.7%	12.3%
全 体	5-Y 7-Y	100.0%	1.4%	30.2%	53.6%	14.2%	0.6%
	5-Y 7-N	100.0%	2.1%	29.9%	52.4%	12.7%	2.9%
	5-N 7-Y	100.0%	2.2%	28.9%	47.9%	17.0%	4.0%
	5-N 7-N	100.0%	2.9%	25.5%	48.1%	16.2%	7.2%



### 3-3 歯科質問項目5×7別歯科健診受診頻度

歯科質問項目5と7のクロス回答と歯科健診受診頻度との関係は、全体では、0回の割合は「5-N 7-N」が最も多く、「5-Y 7-Y」が最も少なかった。「7-N」(非プロフェッショナルケア群)が多く、質問項目7の回答が同じなら、「5-N」(非セルフケア群)の方が多かった。  
年齢階級別で見ても、各年齢階級で割合の差はあるものの、全体と概ね同じ傾向であった。

年齢階級	問 診 5 回 答	人 数				
		総数	0回	1回	2回	3回以上
40-64歳	5-Y 7-Y	507	146	76	84	201
	5-Y 7-N	137	108	18	7	4
	5-N 7-Y	189	84	48	28	29
	5-N 7-N	244	189	38	11	6
65-74歳	5-Y 7-Y	1,287	343	191	232	521
	5-Y 7-N	306	203	60	23	20
	5-N 7-Y	451	232	85	61	73
	5-N 7-N	464	357	67	20	20
75歳以上	5-Y 7-Y	1,118	397	172	149	400
	5-Y 7-N	314	232	49	14	19
	5-N 7-Y	560	309	81	69	101
	5-N 7-N	577	483	61	12	21
全 体	5-Y 7-Y	2,912	886	439	465	1,122
	5-Y 7-N	757	543	127	44	43
	5-N 7-Y	1,200	625	214	158	203
	5-N 7-N	1,285	1,029	166	43	47
		割 合				
40-64歳	5-Y 7-Y	100.0%	28.8%	15.0%	16.6%	39.6%
	5-Y 7-N	100.0%	78.8%	13.1%	5.1%	2.9%
	5-N 7-Y	100.0%	44.4%	25.4%	14.8%	15.3%
	5-N 7-N	100.0%	77.5%	15.6%	4.5%	2.5%
65-74歳	5-Y 7-Y	100.0%	26.7%	14.8%	18.0%	40.5%
	5-Y 7-N	100.0%	66.3%	19.6%	7.5%	6.5%
	5-N 7-Y	100.0%	51.4%	18.8%	13.5%	16.2%
	5-N 7-N	100.0%	76.9%	14.4%	4.3%	4.3%
75歳以上	5-Y 7-Y	100.0%	35.5%	15.4%	13.3%	35.8%
	5-Y 7-N	100.0%	73.9%	15.6%	4.5%	6.1%
	5-N 7-Y	100.0%	55.2%	14.5%	12.3%	18.0%
	5-N 7-N	100.0%	83.7%	10.6%	2.1%	3.6%
全 体	5-Y 7-Y	100.0%	30.4%	15.1%	16.0%	38.5%
	5-Y 7-N	100.0%	71.7%	16.8%	5.8%	5.7%
	5-N 7-Y	100.0%	52.1%	17.8%	13.2%	16.9%
	5-N 7-N	100.0%	80.1%	12.9%	3.3%	3.7%



## B 残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度と特定健診の検査結果の状況

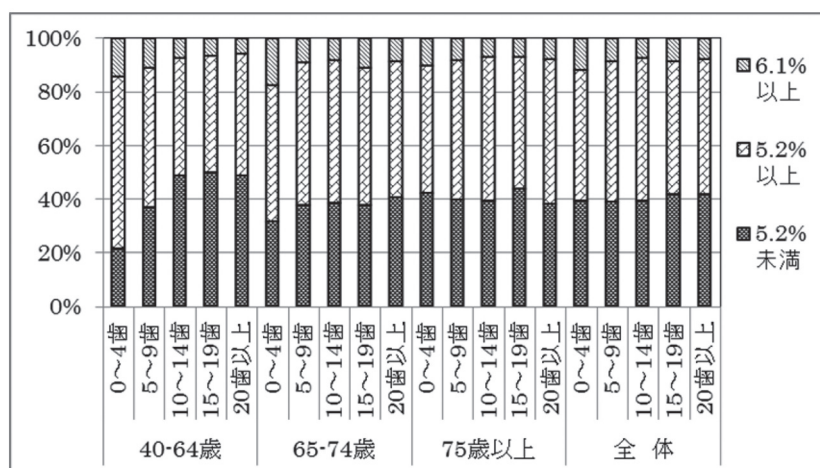
### (1) 残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度とHbA1c(JDS 値)

#### 1-1 残存歯数とHbA1c(JDS 値)

残存歯数とHbA1cの関係は、全体では、5.2%未満の割合は、0～14 歯ではあまり差はないが 15 歯以上ではやや多くなっていた。6.1%以上の割合は0-4 歯が最も多く残存歯数が多くなると少なくなっていた。

年齢階級別では、40-64 歳では、残存歯数が多いほど HbA1cが低くなる傾向が強く、年齢階級が高齢になるほど、残存歯数による差が小さくなり、その傾向が弱くなっていた。

		人 数				割 合			
		総数	5.2%未満	5.2%以上	6.1%以上	総数	5.2%未満	5.2%以上	6.1%以上
40-64歳	0～4歯	14	3	9	2	100.0%	21.4%	64.3%	14.3%
	5～9歯	27	10	14	3	100.0%	37.0%	51.9%	11.1%
	10～14歯	41	20	18	3	100.0%	48.8%	43.9%	7.3%
	15～19歯	92	46	40	6	100.0%	50.0%	43.5%	6.5%
	20歯以上	904	443	409	52	100.0%	49.0%	45.2%	5.8%
65-74歳	0～4歯	85	27	43	15	100.0%	31.8%	50.6%	17.6%
	5～9歯	132	50	70	12	100.0%	37.9%	53.0%	9.1%
	10～14歯	205	79	109	17	100.0%	38.5%	53.2%	8.3%
	15～19歯	343	130	176	37	100.0%	37.9%	51.3%	10.8%
	20歯以上	1,760	719	893	148	100.0%	40.9%	50.7%	8.4%
75歳以上	0～4歯	357	151	170	36	100.0%	42.3%	47.6%	10.1%
	5～9歯	347	138	181	28	100.0%	39.8%	52.2%	8.1%
	10～14歯	399	157	214	28	100.0%	39.3%	53.6%	7.0%
	15～19歯	402	176	199	27	100.0%	43.8%	49.5%	6.7%
	20歯以上	1,115	428	601	86	100.0%	38.4%	53.9%	7.7%
全 体	0～4歯	456	181	222	53	100.0%	39.7%	48.7%	11.6%
	5～9歯	506	198	265	43	100.0%	39.1%	52.4%	8.5%
	10～14歯	645	256	341	48	100.0%	39.7%	52.9%	7.4%
	15～19歯	837	352	415	70	100.0%	42.1%	49.6%	8.4%
	20歯以上	3,779	1,590	1,903	286	100.0%	42.1%	50.4%	7.6%

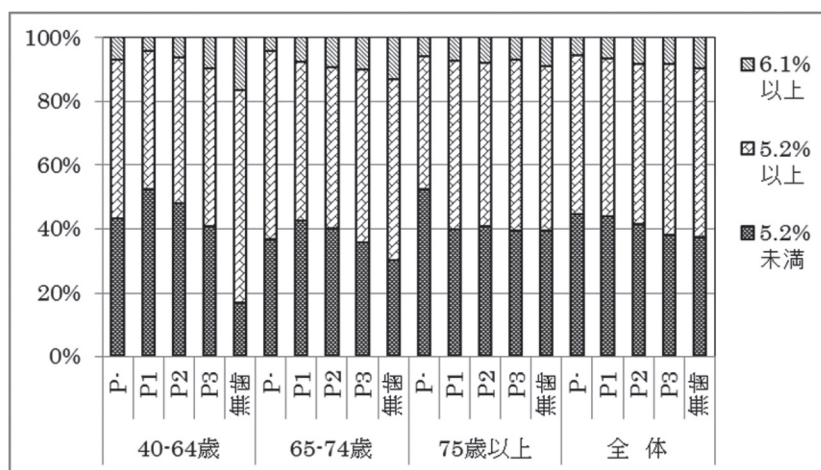


## 1-2 歯周病の程度とHbA1c(JDS 値)

歯周病の程度と HbA1cの関係は、全体では、歯周病の程度が重度になるほど、5.2%未満の割合が少なくなり、6.1%以上の割合が多くなっていた。

年齢階級別では、75 歳以上では P-で 5.2%未満の割合が多く、6.1%以上の割合が少なくなっていたが、40-64 歳、65-74 歳では、逆に P-で 5.2%未満の割合が少なく 6.1%以上の割合が多くなっていた。P1～無歯では、歯周病の程度が重度になるほど、5.2%未満の割合が少なくなり、6.1%以上の割合が多くなり、その差は、年齢階級が若くなるほど大きくなっていた。

		人 数				割 合			
		総数	5.2%未満	5.2%以上	6.1%以上	総数	5.2%未満	5.2%以上	6.1%以上
40-64歳	P-	28	12	14	2	100.0%	42.9%	50.0%	7.1%
	P1	415	217	180	18	100.0%	52.3%	43.4%	4.3%
	P2	506	242	231	33	100.0%	47.8%	45.7%	6.5%
	P3	123	50	61	12	100.0%	40.7%	49.6%	9.8%
	無歯	6	1	4	1	100.0%	16.7%	66.7%	16.7%
65-74歳	P-	44	16	26	2	100.0%	36.4%	59.1%	4.5%
	P1	779	328	389	62	100.0%	42.1%	49.9%	8.0%
	P2	1,326	529	671	126	100.0%	39.9%	50.6%	9.5%
	P3	346	123	188	35	100.0%	35.5%	54.3%	10.1%
	無歯	30	9	17	4	100.0%	30.0%	56.7%	13.3%
75歳以上	P-	50	26	21	3	100.0%	52.0%	42.0%	6.0%
	P1	603	238	320	45	100.0%	39.5%	53.1%	7.5%
	P2	1,349	545	695	109	100.0%	40.4%	51.5%	8.1%
	P3	464	181	249	34	100.0%	39.0%	53.7%	7.3%
	無歯	153	60	79	14	100.0%	39.2%	51.6%	9.2%
全 体	P-	122	54	61	7	100.0%	44.3%	50.0%	5.7%
	P1	1,797	783	889	125	100.0%	43.6%	49.5%	7.0%
	P2	3,181	1,316	1,597	268	100.0%	41.4%	50.2%	8.4%
	P3	933	354	498	81	100.0%	37.9%	53.4%	8.7%
	無歯	189	70	100	19	100.0%	37.0%	52.9%	10.1%



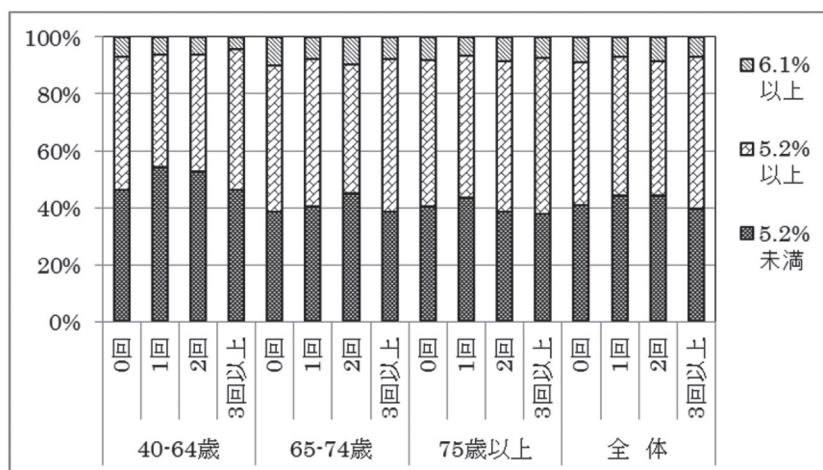


### 1-3 歯科健診受診頻度とHbA1c(JDS 値)

歯科健診受診頻度と HbA1cの関係は、全体では、5.2%未満の割合は0回よりも1回、2回と多くなり3回以上では少なくなっていた。6.1%以上の割合は0回が最も多く、次に2回が多くなっていた。

年齢階級別では、40-64 歳では 6.1%以上の割合は0回が最も多く健診受診回数が増えるほど少なくなっていた。65-74 歳では、全体とほぼ同じ傾向であった。70 歳以上では、5.2%未満の割合は1回が最も多く、2回、3回以上と少なくなっていた。

		人 数				割 合			
		総数	5.2%未満	5.2%以上	6.1%以上	総数	5.2%未満	5.2%以上	6.1%以上
40-64歳	0回	527	244	246	37	100.0%	46.3%	46.7%	7.0%
	1回	180	98	71	11	100.0%	54.4%	39.4%	6.1%
	2回	131	69	54	8	100.0%	52.7%	41.2%	6.1%
	3回以上	240	111	119	10	100.0%	46.3%	49.6%	4.2%
65-74歳	0回	1,145	443	586	116	100.0%	38.7%	51.2%	10.1%
	1回	404	164	209	31	100.0%	40.6%	51.7%	7.7%
	2回	338	152	153	33	100.0%	45.0%	45.3%	9.8%
	3回以上	637	245	343	49	100.0%	38.5%	53.8%	7.7%
75歳以上	0回	1,453	586	748	119	100.0%	40.3%	51.5%	8.2%
	1回	365	159	182	24	100.0%	43.6%	49.9%	6.6%
	2回	250	96	133	21	100.0%	38.4%	53.2%	8.4%
	3回以上	552	209	302	41	100.0%	37.9%	54.7%	7.4%
全 体	0回	3,125	1,273	1,580	272	100.0%	40.7%	50.6%	8.7%
	1回	949	421	462	66	100.0%	44.4%	48.7%	7.0%
	2回	719	317	340	62	100.0%	44.1%	47.3%	8.6%
	3回以上	1,429	565	764	100	100.0%	39.5%	53.5%	7.0%



## まとめ・考察（Ⅳ）

### A 特定健診の歯科質問項目と残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況

#### 歯科階層化判定別残存歯数

- ・全体の傾向として歯科階層化判定で支援の程度が重い者ほど残存歯が少なくなっていたが、0-4 歯の者の割合については動機づけ支援群が一番多かった。
- ・年齢階級別にみると、40-64 歳では動機づけ支援群の方が情報提供群より残存歯数が多いという特徴が見られ、65 歳以上と異なっていた。
- ・75 歳以上では動機づけ支援群の方が積極的支援群より 0-4 歯の者の割合が多いという特徴が見られた。
- ・以上から、歯科階層化判定は、65 歳以上で 5 歯以上ある者については、残存歯数が少ないほど重度に判定されているが、40-64 歳の若年層や 0-4 歯の極端に歯の数が少ない者に関してはこれが当てはまらない。

#### 歯科階層化判定別歯周病の程度

- ・全体の傾向として歯科階層化判定で支援の程度が重い者ほど歯周病の程度が重くなっていた。
- ・年齢階級別にみると、40-64 歳では動機づけ支援群の方が情報提供群より重度歯周病の割合が少ないという特徴が見られ、65 歳以上と異なっていた。
- ・65 歳以上では動機づけ支援群の方が積極的支援群より無歯の者の割合が多いという特徴が見られ、この傾向は、65-74 歳より 75 歳以上でより強く認められた。
- ・以上から、65 歳以上の有歯者においては、歯周病が重度なほど歯科階層化判定が重度に判定されているが、無歯のものについては、これが当てはまらず、75 歳以上に無歯の者が多いことから、75 歳以上でも、歯科階層化判定と歯周病の程度についての関係が当てはまらなくなる可能性が示唆された。

#### 歯科階層化判定別歯科健診受診頻度

- ・各年齢階級においても全体においても、情報提供群の方が支援群よりも歯科健診受診頻度は明らかに高くなっており、歯科階層化判定と歯科健診受診頻度との間に相関があった。これは、階層化の最初のステップが定期健診受診の有無であることから当然の結果といえる。
- ・動機づけ支援群と積極的支援群の間では、わずかだが積極的支援群の方が動機づけ支援群よりも歯科健診受診頻度が少ない傾向にあった。
- ・年齢階級別では、65-74 歳が最も歯科健診受診が多く、次いで 40-64 歳で、75 歳以上が最も歯科健診受診が少ない傾向にあった。

#### 歯科質問項目1別残存歯数

- ・質問項目1に対して「いいえ」と答えた群の方が残存歯数が少なく、どの年齢階級においても、同じ傾向であった。

#### 歯科質問項目1別歯周病の程度

- ・質問項目1に対して「いいえ」と答えた群の方が歯周病の程度が重度になり、どの年齢階級においても、同じ傾向であった。

#### 歯科質問項目1別歯科健診受診頻度

- ・質問項目1に対して「いいえ」と答えた群の方が歯科健診受診頻度が低く、どの年齢階級においても、同じ傾向であった。年齢階級別では、65-74 歳が最も歯科健診受診が多く、次いで 40-64 歳で、75 歳以上が最も歯科健診受診が少ない傾向にあった。



#### **歯科質問項目 5×7別残存歯数**

- ・各年齢階級でも、全体でも、「5-Y 7-Y」が最も残存歯数が多くなり、次に「5-Y 7-N」、更に「5-N 7-Y」の順に残存歯数が少なくなり「5-N 7-N」が最も残存歯数が少ない傾向にあった。

#### **歯科質問項目 5×7別歯周病の程度**

- ・全体では、「5-Y 7-Y」が最も歯周病の程度が軽度となり、次に「5-Y 7-N」、更に「5-N 7-Y」の順に歯周病の程度が重度となり、「5-N 7-N」が最も歯周病の程度が重度の傾向にあった。

#### **歯科質問項目 5×7別歯科健診受診頻度**

- ・歯科健診受診頻度については、当然ながら、「7-Y」（プロフェッショナルケア群）の方が受診頻度が多くなっていた。
- ・プロフェッショナルケアの有無が同じ群の間では、「5-Y」（セルフケア群）の方が、歯科健診受診頻度が多くなっていた。

### **B 残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度と特定健診の検査結果の状況**

#### **残存歯数とHbA1c**

- ・全体では、わずかではあるが、残存歯数が少なくなるほど、HbA1cが高い者の割合が多くなっていた。特に HbA1c6.1%以上の割合は 0-4 歯が多くなっていた。
- ・年齢階級別では、40～64 歳では、残存歯数が多いほど HbA1cが低くなる傾向が強く、年齢階級が高齢になるほど、残存歯数による差が小さくなり、その傾向が弱くなっていた。

#### **歯周病の程度とHbA1c**

- ・全体では、歯周病の程度が重度になるほど、5.2%未満の割合が少なくなり、6.1%以上の割合が多くなっており、歯周病の程度と HbA1cの相関が認められた。
- ・年齢階級別でも、全体と同じ傾向だが、40-64 歳、65-74 歳では、P-で 5.2%未満の割合が少なくなっていた。

#### **歯科健診受診頻度とHbA1c**

- ・全体では、5.2%未満の割合は歯科健診受診頻度が多くなるほど多くなり、3回以上では少なくなっていた。6.1%以上の割合は0回が最も多く、次に2回が多くなっていた。



平成 24 年度香川県 8020 運動推進特別事業  
(香川県歯科医師会委託事業)

平成24年度  
香川県  
歯の健康と医療費に関する実態調査報告書

平成25年3月発行

(社)香川県歯科医師会

会長 豊嶋 健治

〒760-0020 香川県高松市錦町2丁目8番38号

TEL: 087-851-4965 FAX: 087-822-4948

Eメール: jimu@kashi.or.jp HP: <http://www.kashi.or.jp>

